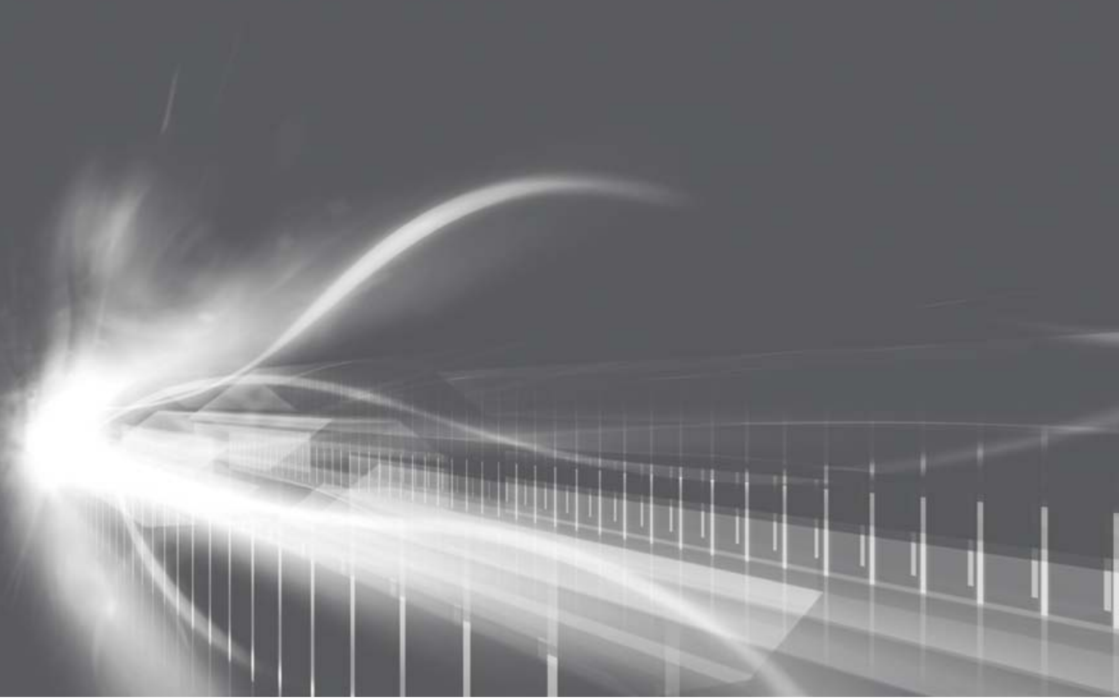


取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

CROWN

TOYOTA

	イラスト目次	**イラスト**から検索
1	**安全・安心のために**	お客様に**必ずお読みいただきたいこと**
2	**メーターの見方**	メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など
3	**各部の操作**	ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など
4	**運転**	運転に必要な操作やアドバイス
5	**室内装備・機能**	室内装備の使い方など
6	**お手入れのしかた**	車のお手入れ・メンテナンスの方法
7	**万一の場合には**	故障したときや、緊急時などの対処
8	**車両情報**	車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など
	さくいん	**症状**から検索
		音から検索
		アルファベットで検索
		五十音で検索

知っておいていただきたいこと 6
本書の見方 10
検索のしかた 11
イラスト目次 12

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために
運転する前に 22
安全なドライブのために 24
シートベルト 26
SRS エアバッグ 31
ポップアップフード 39
お子さまの安全のために 42
子供専用シート 43
チャイルドシートの取り付け.. 51
排気ガスに対する注意 57
1-2. ハイブリッドシステム
ハイブリッドシステムの特徴.. 58
ハイブリッドシステムの注意.. 62
1-3. 盗難防止装置
イモビライザーシステム 68
オートアラーム 69

2 メーターの見方

2. 計器の見方
警告灯／表示灯 76
計器類 80
マルチインフォメーション
ディスプレイ 84
エネルギーモニター／
燃費画面／ ESPO 画面......... 92

3 各部の操作

3-1. キー
キー 100
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
ドア 106
トランク 115
スマートエントリー＆
スタートシステム 121
3-3. シートの調整
フロントシート 128
リヤシート 132
パワーイージーアクセスシステム／
マイコンプリセットドライビング
ポジションシステム／
メモリーコール機能............ 134
ヘッドレスト 139
3-4. ハンドル位置・ミラー
ハンドル 141
インナーミラー 144
ドアミラー 146
3-5. ドアガラス・ムーンルーフの
開閉
パワーウインドウ 149
ムーンルーフ 152

4 運転

4-1. 運転にあたって
運転にあたって 158
荷物を積むときの注意 166

4-2. 運転のしかた

パワー（イグニッション）スイッチ....................167

EV ドライブモード....................173

トランスミッション....................176

方向指示レバー....................181

パーキングブレーキ....................182

4-3. ランプのつけ方・ワイパーの使い方

ランプスイッチ....................183

アダプティブハイビームシステム....................186

フォグランプスイッチ....................193

ワイパー＆ウォッシャー....................195

ヘッドランプクリーナー....................199

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方....................200

4-5. 運転支援装置について

クルーズコントロール....................204

レーダークルーズコントロール....................208

ITS Connect....................223

運転を補助する装置....................232

PCS（プリクラッシュセーフティシステム）....................239

BSM（ブラインドスポットモニター）....................246

4-6. 運転のアドバイス

ハイブリッド車運転のアドバイス....................251

寒冷時の運転....................253

5 室内装備・機能

5-1. エアコンの使い方

フロントエアコン....................260

リヤエアコン....................271

ステアリングヒーター／シートヒーター／シートベンチレーション....................274

5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧....................279

・フロントパーソナルランプ、ルームランプ....................280

・読書灯....................280

5-3. 収納装備

収納装備一覧....................282

・グローブボックス....................283

・コンソールボックス....................284

・カップホルダー／ボトルホルダー....................285

・小物入れ....................287

・カードホルダー....................288

トランク内装備....................289

1
2
3
4
5
6
7
8

5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備 291
・サンバイザー.....................291
・バニティミラー.................291
・時計 292
・アクセサリーソケット 293
・リヤアームレスト.............294
・リヤサンシェード／リヤドアサンシェード 295
・コートフック.....................298
・アシストグリップ.............298
・ステアリングスイッチ 299
トヨタマルチオペレーションタッチ.........300

6 お手入れのしかた

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ..........................306
内装の手入れ..........................310

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット..............................313
ガレージジャッキ 316
エンジンルームカバー 317
ウォッシャー液の補充 318
タイヤについて......................320
タイヤ空気圧について 324
エアコンフィルターの交換....326
電子キーの電池交換 328
ヒューズの点検・交換 330
電球（バルブ）の交換 334

7 万一の場合には

7-1. まず初めに

故障したときは 348
非常点滅灯（ハザードランプ)................ 349
発炎筒 350
車両を緊急停止するには....... 352

7-2. 緊急時の対処法

けん引について 353
警告灯がついたときは 360
警告メッセージが表示されたときは................ 364
パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）........ 386
パンクしたときは（タイヤパンク応急修理キット装着車）...... 396
ハイブリッドシステムが始動できないときは............ 409
シフトレバーがシフトできないときは........ 411
電子キーが正常に働かないときは 412
補機バッテリーがあがったときは 415
オーバーヒートしたときは... 420
スタックしたときは 424

8 車両情報

8-1. 仕様一覧
メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）.428
8-2. カスタマイズ機能
ユーザーカスタマイズ機能一覧 435

さくいん

こんなときは（症状別さくいん）........................ 446
車から音が鳴ったときは（音さくいん）........................ 450
アルファベット順さくいん 452
五十音順さくいん 454

次の装備は、別冊「ナビゲーションシステム取扱書」をお読みください。

- ・GPS ボイスナビゲーション
- ・オーディオ＆ビジュアル
- ・音声操作システム
- ・クリアランスソナー
- ・インテリジェントクリアランスソナー
- ・ETC システム
- ・バックガイドモニター
- ・パノラミックビューモニター（左右確認サポート付）
- ・インテリジェントパーキングアシスト
- ・ハンズフリー
- ・T-Connect
- ・ETC2.0

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。
そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。
トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

● トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。

● 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

● ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
  ・タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
  異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
  ・電装品・無線機の取り付け・取りはずし
  電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
  RF 送信機の取り付けについては、P. 9 も参照してください。

● フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

・エンジン回転数
・電気モーター回転数
・アクセルの操作状況
・ブレーキの操作状況
・車速
・シフトポジション
・駆動用電池の状態

グレード･オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

・お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

● T-Connect によるデータの取り扱いについて

お客様が T-Connect をご利用の場合、記録データとその使用について、T-Connect 利用規約をご覧ください。

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。
・車両の各システムの作動状況
・アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
・車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせて使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。
・お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
・トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは
・データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
・使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- ハイブリッドシステム
- EFI コンピュータ
- レーダークルーズコントロール
- クルーズコントロール
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- VDIM（ビークルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント）
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

ハイブリッドシステムについて

クラウンは電気モーターとガソリンエンジンを組み合わせたハイブリッドシステムを採用しています。

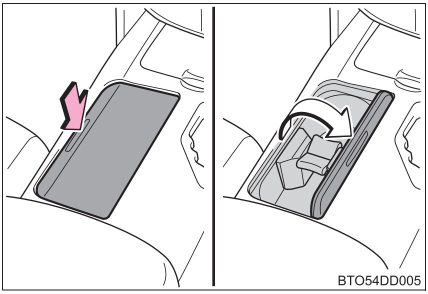
クラウンを安全・快適にお使いいただくために本書をしっかりとお読みください。

本書の見方

警告	お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
注意	お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3 …	操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

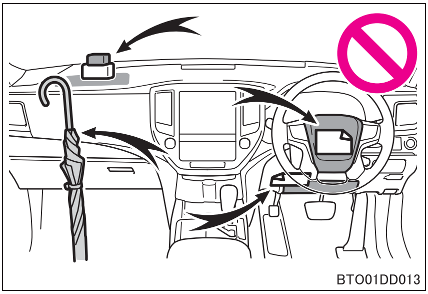
押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



説明の対象となるもの・場所を示しています。

“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味です。

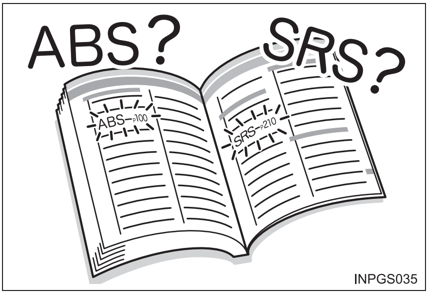


知識	機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

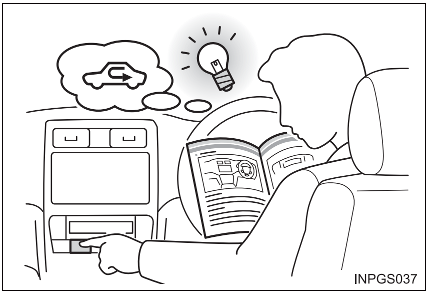
■ 名称から探す

・五十音順さくいん 454
・アルファベット順
　さくいん..........................452



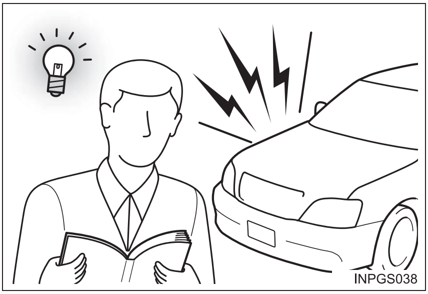
■ 取り付け位置から探す

・イラスト目次.....................12



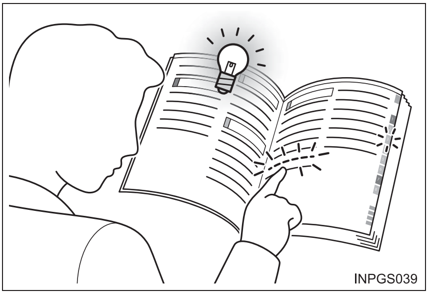
■ 症状や音から探す

・こんなときは
　（症状別さくいん）..........446
・車から音が鳴ったときは
　（音さくいん）..................450



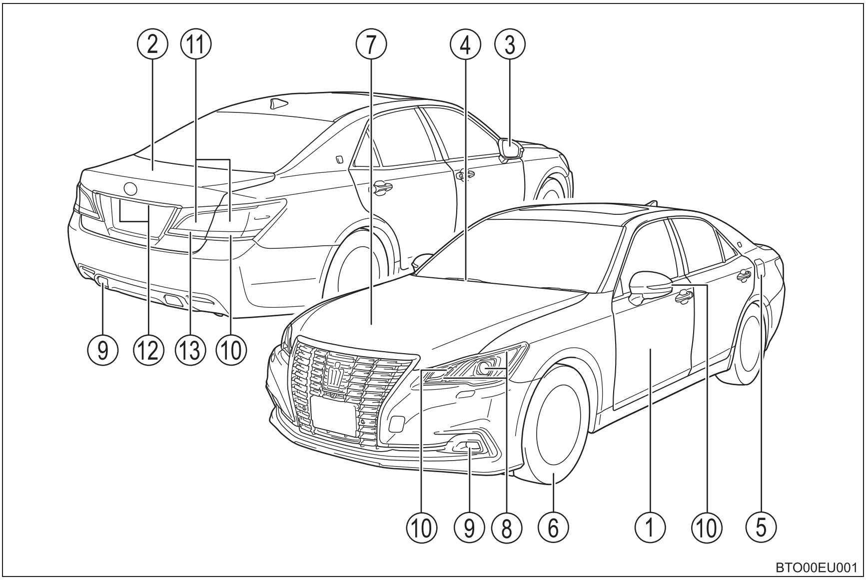
■ タイトルから探す

・目次 2



イラスト目次

■ 外観



制動灯、尾灯などの形状は、グレードなどで異なります。(→ P. 334)

① **ドア ....P. 106**

施錠／解錠 ....P. 106, 108

ドアガラスの開閉 ....P. 149

メカニカルキーでの施錠／解錠 ....P. 412

警告メッセージ ....P. 369

② **トランク ....P. 115**

車内から開ける ....P. 115

車外から開ける ....P. 115

メカニカルキーで開ける ....P. 412

警告メッセージ ....P. 369

③ **ドアミラー ....P. 146**

鏡面の角度調整 ....P. 146

ミラーの格納 ....P. 146

調整位置の登録 ....P. 134

曇りを取る（ミラーヒーター）....................................P. 264

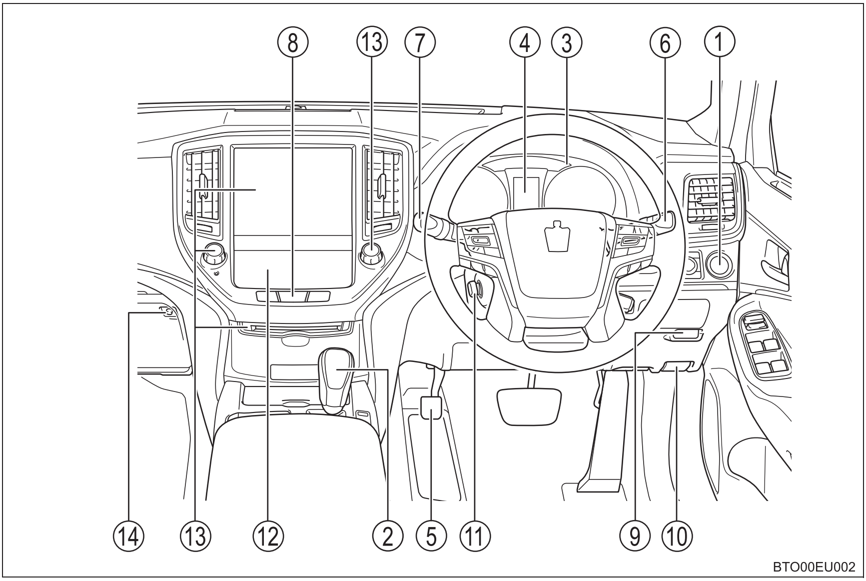
④ **ワイパー . . . . .P. 195**
冬季の注意 . . . . .P. 253
凍結防止（ウインドシールドデアイサー）★ . . . . .P. 265
洗車時の注意 . . . . .P. 308
⑤ **給油口. . . . . .P. 200**
給油方法 . . . . .P. 200
燃料の種類・燃料タンク容量. . . . . .P. 428
⑥ **タイヤ. . . . . .P. 320**
サイズ・空気圧. . . . . .P. 433
冬用タイヤ・タイヤチェーン. . . . . .P. 253
点検・ローテーション. . . . . .P. 320
パンク時の対処. . . . . .P. 386, 396
⑦ **ボンネット . . . . .P. 313**
開け方. . . . . .P. 313
エンジンルームカバー. . . . . .P. 317
エンジンオイル. . . . . .P. 429
オーバーヒート時の対処 . . . . .P. 420
警告メッセージ. . . . . .P. 369

走行に関わる外装のランプバルブ
（交換要領：P. 334, ワット数：P. 434）

⑧ **ヘッドランプ・車幅灯・LED デイライト. . . . . .P. 183**
⑨ **フロントフォグランプ・リヤフォグランプ ★. . . . . .P. 193**
⑩ **方向指示灯 . . . . .P. 181**
⑪ **尾灯 . . . . .P. 183**
⑫ **番号灯. . . . . .P. 183**
⑬ **後退灯**
シフトポジションを R にする . . . . .P. 176

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ インストルメントパネル



① **パワースイッチ . . . . .P. 167**

ハイブリッドシステムの始動・モード切りかえ . . . . .P. 167

ハイブリッドシステムの緊急停止 . . . . .P. 352

ハイブリッドシステムが始動できないときの対処 . . . . .P. 409

警告メッセージ . . . . .P. 380

② **シフトレバー . . . . .P. 176**

シフトポジションの切りかえ . . . . .P. 176

けん引時の注意 . . . . .P. 353

シフトレバーが動かないときの対処 . . . . .P. 411

③ **メーター . . . . .P. 80**

見方・明るさの調整 . . . . P. 80, 81

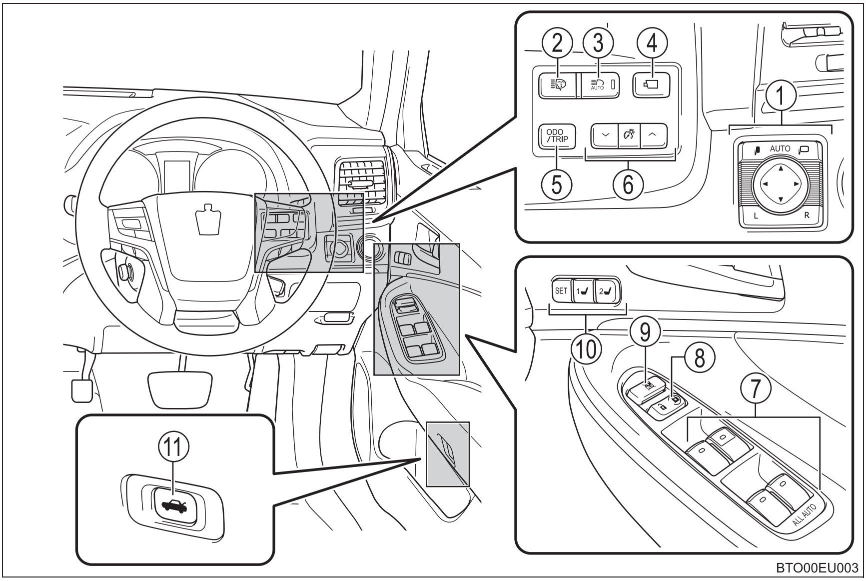
警告灯／表示灯 . . . . .P. 76

警告灯点灯時の対処 . . . . .P. 360

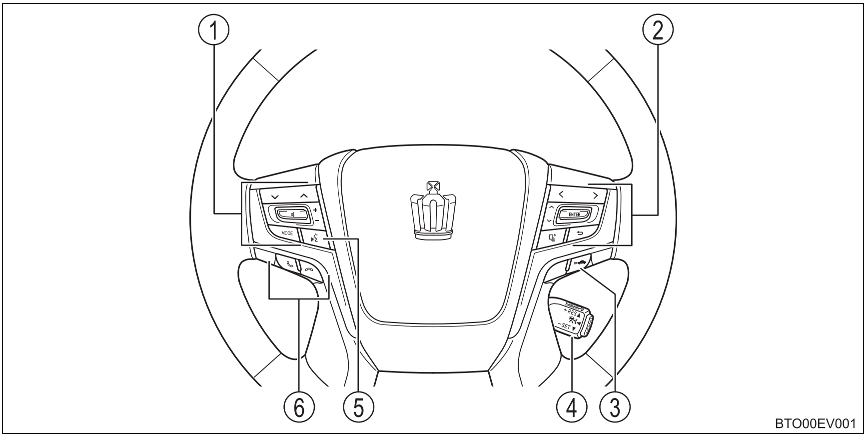
④ **マルチインフォメーションディスプレイ . . . . P. 84**
表示内容 . . . . P. 84
エネルギーモニター . . . . P. 92
警告メッセージ表示時の対処 . . . . P. 364
⑤ **パーキングブレーキ . . . . P. 182**
かける・解除する . . . . P. 182
冬季の注意 . . . . P. 254
警告ブザー・警告メッセージ . . . . P. 370
⑥ **方向指示レバー . . . . P. 181**
ランプスイッチ . . . . P. 183
ヘッドランプ・車幅灯・尾灯 . . . . P. 183
フロントフォグランプ・リヤフォグランプ★ . . . . P. 193
⑦ **ワイパー＆ウォッシャースイッチ . . . . P. 195**
使い方 . . . . P. 195
ウォッシャー液の補充 . . . . P. 318
⑧ **非常点滅灯スイッチ . . . . P. 349**
⑨ **給油口オープナー . . . . P. 202**
⑩ **ボンネット解除レバー . . . . P. 313**
⑪ **ハンドル位置調整スイッチ . . . . P. 141**
調整方法 . . . . P. 141
調整位置の登録 . . . . P. 134
⑫ **トヨタマルチオペレーションタッチ . . . . P. 300**
エアコンの操作方法 . . . . P. 260
リヤウィンドウの曇り取り（リヤウインドウデフォッガー）. . . P. 264
TRC や VSC の作動を停止する . . . . P. 234
車両接近通報装置の切りかえ . . . . P. 59
EV ドライブモードの切りかえ . . . . P. 173
⑬ **オーディオ※**
音楽を聴く※
電話をかける・受ける（ハンズフリー）※
⑭ **トランクオープナーメインスイッチ . . . . P. 116**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。
※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

■ スイッチ類



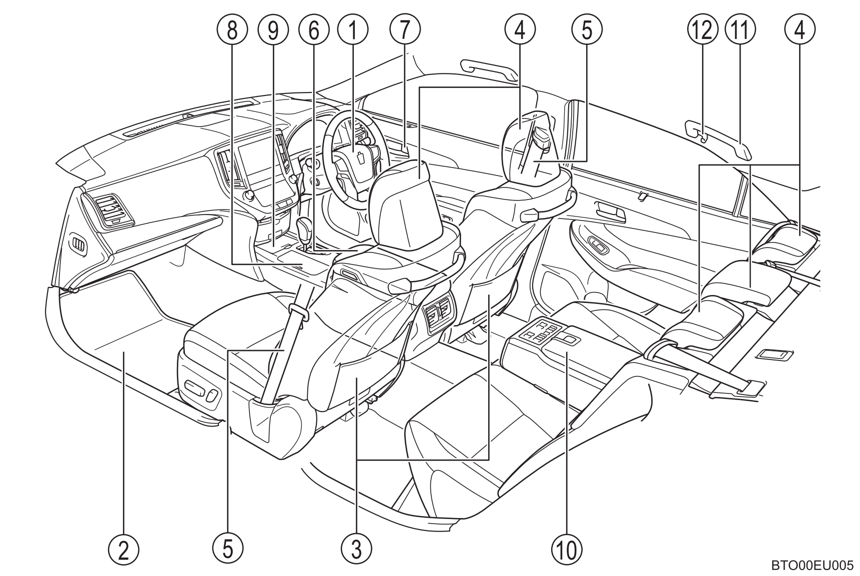
① ドアミラースイッチ ....P. 146
② ヘッドランプクリーナースイッチ★.......................P. 199
③ アダプティブハイビームシステムスイッチ★ ....P. 186
④ パノラミックビューモニター（左右確認サポート付）メインスイッチ★※
IPA プレサポートスイッチ★※
⑤ オドメーター／トリップメーター切りかえ・リセットスイッチ .P. 81
⑥ メーター照度調整スイッチ ....P. 81
⑦ パワーウインドウスイッチ ....P. 149
⑧ ドアロックスイッチ ....P. 108
⑨ ウインドウロックスイッチ ....P. 149
⑩ マイコンプリセットドライビングポジションシステムスイッチ★
....P. 135
⑪ トランクオープナースイッチ..........................P. 115



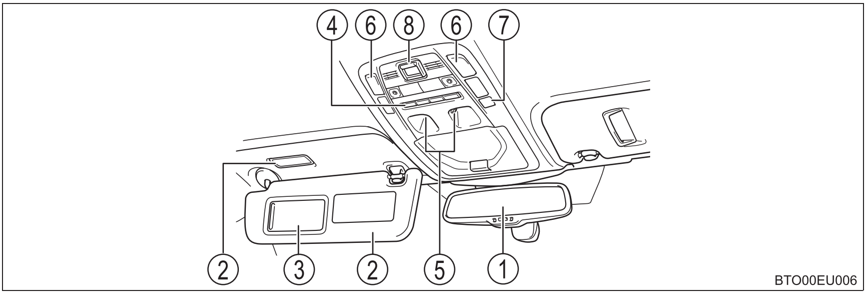
① **オーディオスイッチ ....P. 299**
② **メーター操作スイッチ................................P. 86**
③ **車間距離切りかえスイッチ★ ....P. 208**
④ **クルーズコントロールスイッチ**
クルーズコントロール★ ....P. 204
レーダークルーズコントロール★.......................P. 208
⑤ **トークスイッチ※**
⑥ **電話スイッチ※**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。
※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

■ 室内



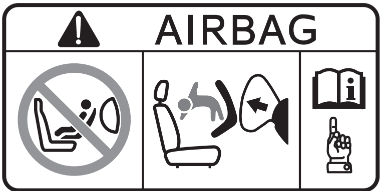
① SRS エアバッグ . . . . P. 31
② フロアマット . . . . P. 22
③ フロントシート . . . . P. 128
④ ヘッドレスト . . . . P. 139
⑤ シートベルト . . . . P. 26
⑥ コンソールボックス . . . . P. 284
⑦ ロックレバー . . . . P. 108
⑧ カップホルダー . . . . P. 285
⑨ 小物入れ . . . . P. 287
⑩ リヤアームレスト . . . . P. 294
リヤエアコンの操作方法★ . . . . P. 271
⑪ アシストグリップ . . . . P. 298
⑫ コートフック . . . . P. 298



① インナーミラー..P. 144
② サンバイザー※1 ／バニティミラーランプ................P. 291
③ バニティミラー..P. 291
④ ルームランプ ....P. 280
⑤ パーソナルランプ ....P. 280
⑥ ムーンルーフスイッチ★ ....P. 152
⑦ 侵入センサー OFF スイッチ★ ....P. 72
⑧ ヘルプネットスイッチパネル★※2

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※1：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。（→ P. 55）



※2：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全にお使いいただくために

運転する前に..............................22
安全なドライブのために 24
シートベルト..............................26
SRS エアバッグ........................31
ポップアップフード..................39
お子さまの安全のために 42
子供専用シート..........................43
チャイルドシートの取り付け ..51
排気ガスに対する注意 57

1-2. ハイブリッドシステム

ハイブリッドシステムの特徴 ..58
ハイブリッドシステムの注意 ..62

1-3. 盗難防止装置

イモビライザーシステム 68
オートアラーム..........................69

運転する前に

点検整備

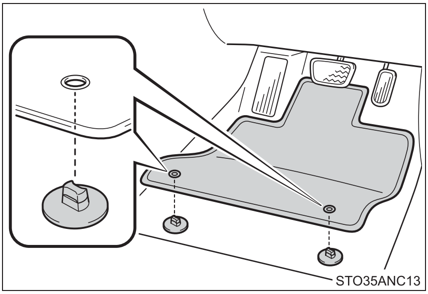
日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。
異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

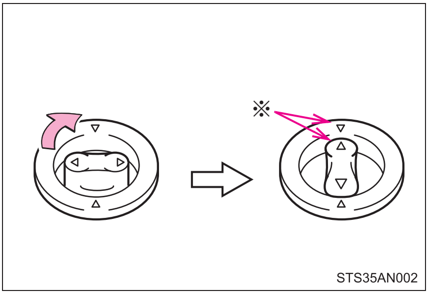
フロアマット

専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する
※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

⚠警告

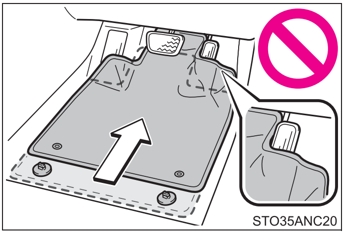
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■**運転席にフロアマットを敷くとき**

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■**運転する前に**

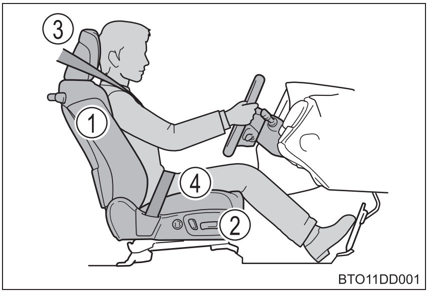
- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ハイブリッドシステム停止およびシフトレバーが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する



安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について



① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→ P. 128）

② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→ P. 128）

③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→ P. 139）

④ シートベルトを正しく着用する（→ P. 26）

シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→ P. 26）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→ P. 43）

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。（→ P. 144, 146）

⚠警告

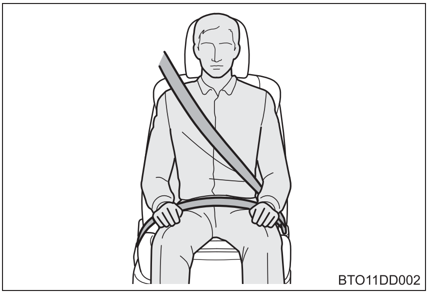
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用する

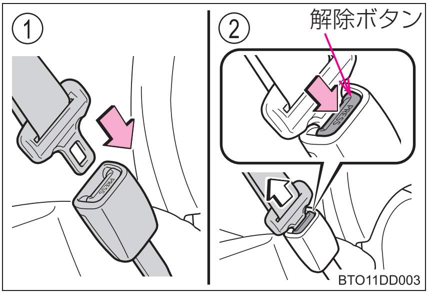


- 肩部ベルトを肩に十分かける

  首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。

- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする

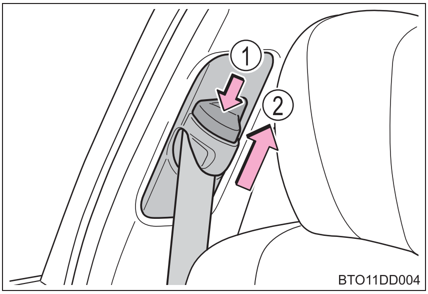
着け方・はずし方



① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む

② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す

シートベルトの高さ調節（フロント席）



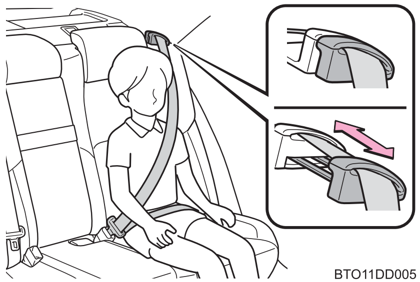
① 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる

② アジャスターを上げる

“カチッ”と音がして固定されるところまで動かしてください。

シートベルトコンフォートガイド（リヤ外側席）

お子さまや体の小さい方はコンフォートガイドを前方にスライドさせて肩部ベルトが首にかからないように調整してください。

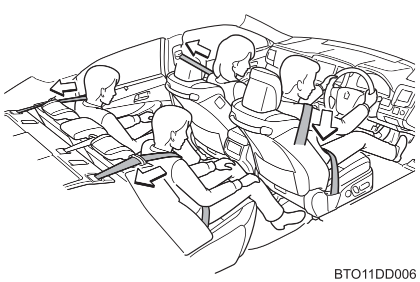


BTO11DD005

シートベルトプリテンショナー（フロント席・リヤ外側席）

前方から強い衝突を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、うしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



BTO11DD006

知識

■シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

●シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。(→ P. 43)

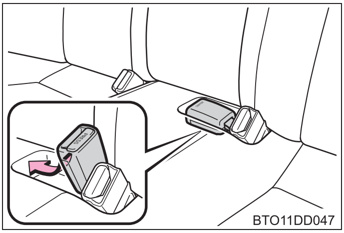
●シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→ P. 26)

■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

■リヤ中央席シートベルトを使用したあとは

バックルを格納してください。



⚠警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

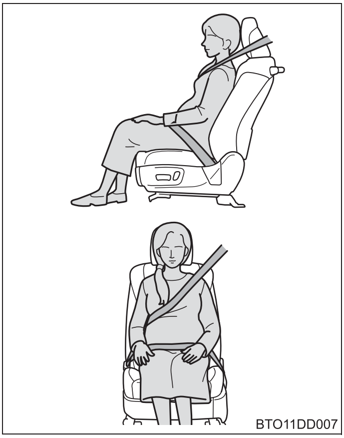
■シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
  お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 26)
通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

警告

■**お子さまを乗せるとき**

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■**プリテンショナー付きシートベルトについて**

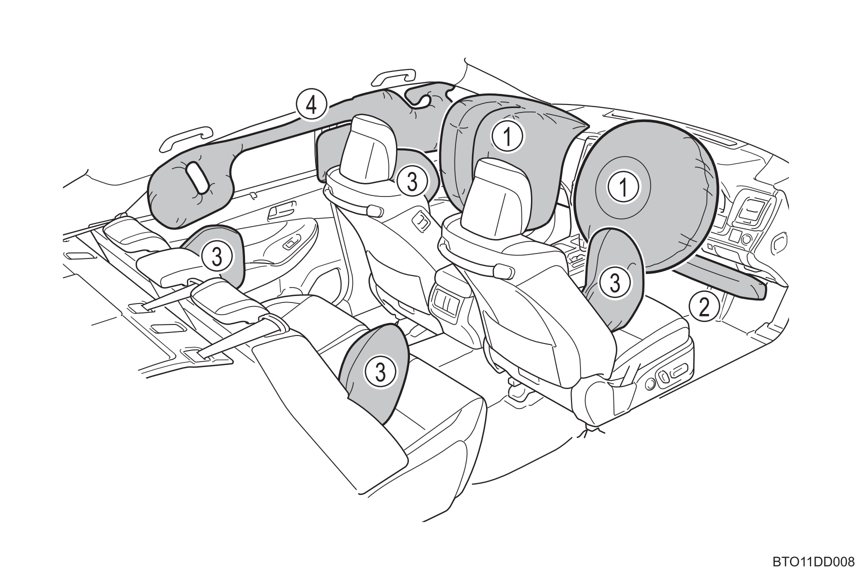
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■**シートベルトの損傷・故障について**

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
（運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和）

② SRS ニーエアバッグ
（運転者の衝撃緩和を補助）

◆ SRS サイド＆カーテンシールドエアバッグ

③ SRS フロントサイドエアバッグ
（フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和）

SRS リヤサイドエアバッグ★
（リヤ外側席乗員の胸などへの衝撃を緩和）

④ SRS カーテンシールドエアバッグ
（フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠警告

■SRS エアバッグについて

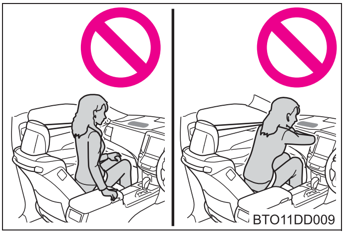
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。

●助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。

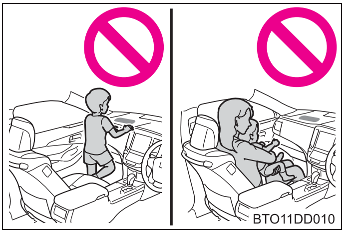
●お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→ P. 43)

●シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない

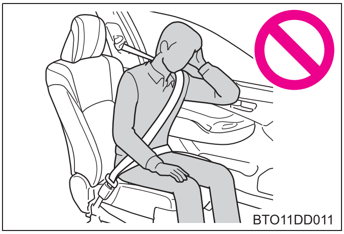


●お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない

●運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



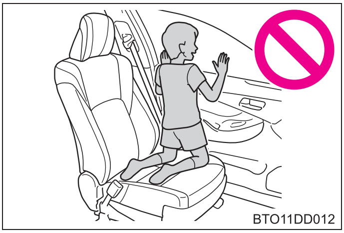
●ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



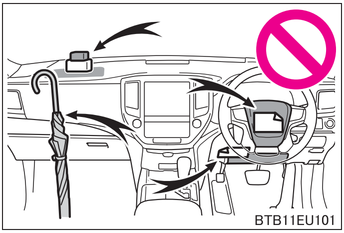
⚠警告

■SRS エアバッグについて

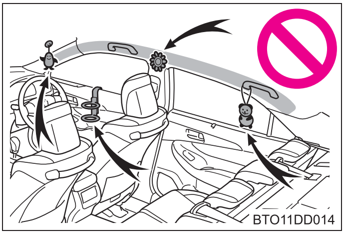
●助手席やリヤシートでは、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



●ダッシュボード・ハンドルのパッド部分・インストルメントパネル下部・グローブボックスのドアなどには何も取り付けたり、置いたりしない



●ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない
（速度制限ラベルを除く：→ P. 402）



●コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。
SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されるおそれがあります。

●SRS　ニーエアバッグがふくらむ場所にビニールカバーが付いている場合は、取り除いてください。

●SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが作動する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って作動したりするおそれがあります。

警告

■**SRS エアバッグについて**

- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS　エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

■**改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・グローブボックス・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

知識

■SRS エアバッグが作動すると

●SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。

●作動音と共に白いガスが発生します。

●フロント席・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。

●フロントウインドウガラスが破損することがあります。

●T-Connect DCM パッケージをご利用のお客様は、SRS エアバッグが作動すると自動的に緊急通報がヘルプネットセンターに送信されます。オペレーターからの呼びかけに応答がない場合は、緊急車両を手配します。
詳しくは別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

■SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

●フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。

・駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
・もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）

●衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

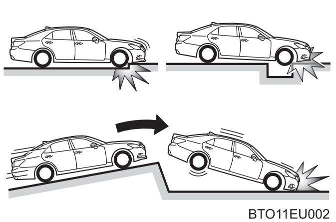
■SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ）

●SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

●前面衝突時でも、特に衝撃が大きい場合は左右の SRS カーテンシールドエアバッグが開く場合があります。

■衝突以外で作動するとき

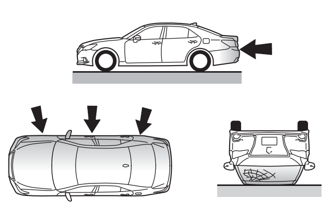
次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグが作動する場合があります。


BTO11EU002

- ●縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- ●深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ●ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

■SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。


BTO11EU003

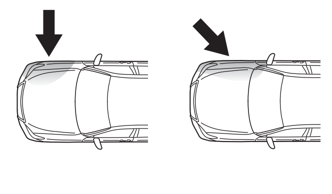
- ●側面からの衝突
- ●後方からの衝突
- ●横転

■SRS エアバッグが作動しないとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ）

斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

●客室部分以外の側面への衝撃

●斜めからの衝撃

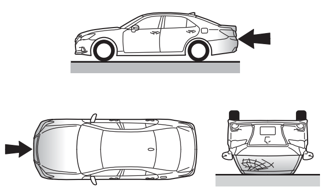

BTO11EU004

SRS サイドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

●前方からの衝突

●後方からの衝突

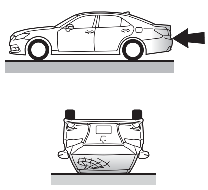
●横転


BTO11EU005

SRS カーテンシールドエアバッグは、後方からの衝撃・または低速での前面や側面からの衝撃では、通常は作動しません。

●後方からの衝突

●横転

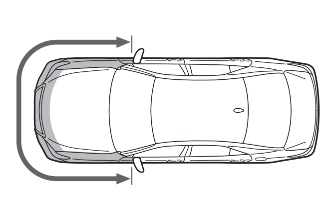

BTO11EU006

■トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

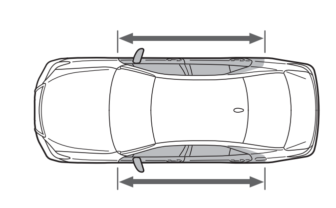
●いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき

●フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



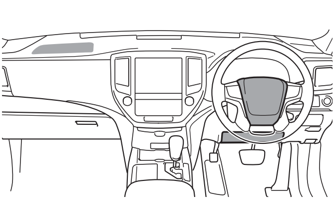
BTO11EU008

●SRS サイド&カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



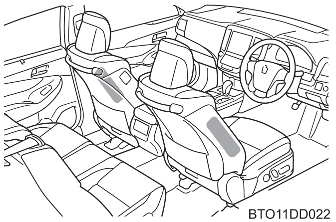
BTO11EU007

●ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席 SRS エアバッグ付近・インストルメントパネル下部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



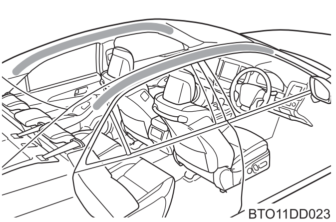
BTB11EU109

●SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



BTO11DD022

●SRS カーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



BTO11DD023

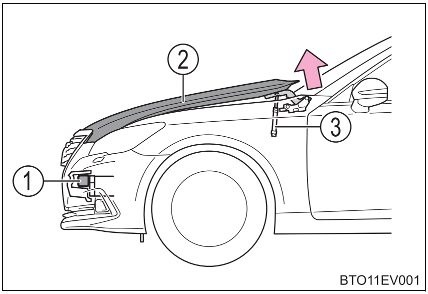
ポップアップフード

ポップアップフードは前方向からの衝突時にボンネットの後方を持ち上げ、エンジンルーム内の空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃を緩和させます。

ポップアップフード

作動速度範囲での走行時に歩行者やその他の物体との衝突により、フロントバンパー裏にあるセンサーが一定以上の衝撃を感知すると、システムが作動し、ボンネットが持ち上がります。

① センサー
② ボンネット
③ リフター



ポップアップフードが作動するとき

次のような衝撃を受けたときに作動します。

● 作動速度範囲（約 25 ～ 55km/h）での走行時、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を正面から受けたとき。（衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、一定以上の衝撃が加われば作動します。また、軽いもの・小さな動物や他の小さな物体でも衝突の状況、速度によっては作動することがあります）

● その他に、次のような車両下部やフロントバンパーに衝撃を受けたときも作動することがあります。
  ・縁石に衝突したとき
  ・深い溝や穴に落ち込んだとき
  ・ジャンプして地面にぶつけたとき
  ・駐車場のスロープ・うねりのある道路・突起物や落下物などにぶつけたとき

⚠警告

■**ポップアップフードが作動したとき**

- ボンネット解除レバーを引かないでください。ポップアップフードが作動したあとにボンネット解除レバーを引くと、さらにボンネットが上がり、思わぬけがをするおそれがあり危険です。ボンネットが上がったまま走行すると視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  ボンネットを無理に押しもどさないでください。作動したボンネットは手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬ傷害につながるおそれがあり危険です。ポップアップフードが作動したあとは点検・修理が必要なため、車両を安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。
- ポップアップフードが作動した直後は、リフターにふれないでください。作動直後はリフターが熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。

知識

■**ポップアップフードについて**

- 廃車するときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- ポップアップフードは、一度作動すると再使用できません。トヨタ販売店で交換してください。

■**ポップアップフードが作動しにくいとき**

- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったときは、衝撃を検知しにくいため、作動しないことがあります。
  また、歩行者の衝撃によっては作動しにくい場合があります。
- 車両が横すべりするなどして、車速が正しく検知できないときは正常に作動しないことがあります。

■**ポップアップフードが作動しないとき**

次のようなときは作動しません

- 横たわっている歩行者に衝突したとき
- 作動速度範囲外での走行時にフロントバンパーが衝撃を受けたとき
- 横方向や後部から衝撃を受けたとき
- 横転、転覆したとき（事故の状況、形態によっては、ポップアップフードが作動することがあります。）

注意

■ポップアップフードについて

●ボンネットが完全に閉まっていないと、正常に作動しないおそれがあります。走行前に必ず確認してください。

●4 輪とも指定されたサイズのタイヤを指定空気圧（→ P. 433）で使用してください。異なるサイズのタイヤを使用すると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●フロントバンパー周辺に何かがぶつかったときは、ポップアップフードが作動していなくても、センサーが損傷しているおそれがあります。必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

●ポップアップフードの部品や配線などを取りはずしたり修理しないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。修理や交換作業が必要なときは、トヨタ販売店にご相談ください。

●フロントバンパー・ボンネット・サスペンションなどをクラウン純正品以外のものに交換しないでください。また、取りはずしたりしないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●フロントバンパーやボンネットにものを取り付けないでください。衝撃を正しく検知できず、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●ボンネットを強く閉めたり、リフターに荷重を加えないでください。リフターが損傷し、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●サスペンションを改造しないでください。車高がかわると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

● お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 43)
● 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
● 走行中にドアを開けたり、パワーウインドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 109)・ウインドウロックスイッチ(→ P. 149)をご使用ください。
● 小さなお子さまには、パワーウインドウ・ボンネット・トランクやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

● お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
● 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 51)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

グループ0：10kgまで
グループ0^{+}：13kgまで
グループⅠ：9～18kg
グループⅡ：15～25kg
グループⅢ：22～36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。
※ ECE R44は、子供専用シートに関する国際法規です。

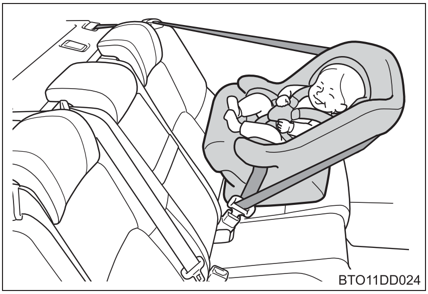
■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにともなう取り付け器具の記号になります。

子供専用シートの種類

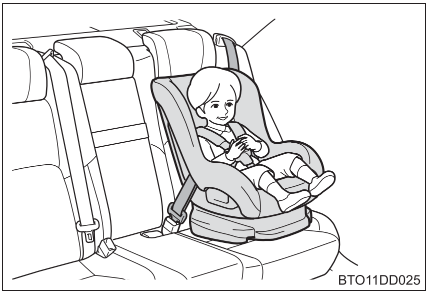
▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、0^{+}に相当



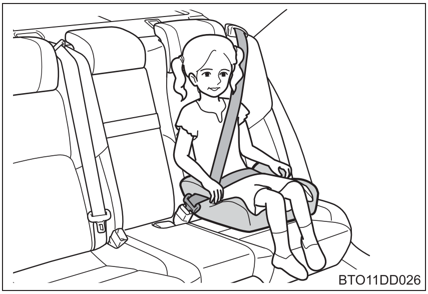
▶ チャイルドシート

ECE R44 基準のグループ 0^{+}、Ⅰに相当



▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループⅡ、Ⅲに相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表（シートベルトでの取り付け）

質量グループ	着席位置（または他の場所）		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席※2
0（10kgまで）	×	U	U
0+（13kgまで）	×	U	U
Ⅰ（9～18kg）	前向きUF※3 うしろ向き×	U	U
Ⅱ（15～25kg）	UF※1, 3	U※1	U※1
Ⅲ（22～36kg）	UF※1, 3	U※1	U※1

● 上表に記入する文字の説明

U :この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの子供専用シートに適しています。

UF :この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きの子供専用シートに適しています。

× :子供専用シートを取り付けることはできません。

※1 ヘッドレストとジュニアシートが干渉し、ジュニアシートが正しく取り付けられない場合は、ヘッドレストを取りはずしてください。

※2 リヤ中央席に子供専用シートを取り付けたときは、リヤ右側席に座らないでください。

※3 背もたれを直立状態にしてください。シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。
表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表（ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け）

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置 リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0（10kg まで）	E	ISO/R1	IL
0＋（13kg まで）	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
Ⅰ（9 ～ 18kg）	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF、IL
	B1	ISO/F2X	IUF、IL
	A	ISO/F3	IUF、IL
Ⅱ（15 ～ 25kg）		（1）	×
Ⅲ（22 ～ 36kg）		（1）	×

● 上表に記入する文字の説明

（1）:サイズ等級表示(AからG)のない子供専用シートの各シート位置でのISOFIX対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF :この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg」に適しています。

× :ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

※ リヤ右側席に子供専用シートを取り付けたときは、リヤ中央席に座らないでください。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。
表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

ISOFIX 子供専用シートのリスト

<table>
<tr><th>質量グループ</th><th>サイズ等級</th><th>固定具</th><th>ISOFIX 子供専用シート</th><th>カテゴリー</th></tr>
<tr><td>0（10kg まで）</td><td>E</td><td>ISO/R1</td><td>トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg</td><td>準汎用</td></tr>
<tr><td rowspan="3">0 ⁺（13kg まで）</td><td>E</td><td>ISO/R1</td><td rowspan="3">トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg</td><td rowspan="3">準汎用</td></tr>
<tr><td>D</td><td>ISO/R2</td></tr>
<tr><td>C</td><td>ISO/R3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Ⅰ（9 ～ 18kg）</td><td>B</td><td>ISO/F2</td><td rowspan="3">トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg</td><td rowspan="3">準汎用</td></tr>
<tr><td>B1</td><td>ISO/F2X</td></tr>
<tr><td>A</td><td>ISO/F3</td></tr>
</table>

知識

■ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■子供専用シートの選択、使用について

●お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。

●お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。

●体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」（→ P. 45）を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類（記号）をご確認の上、適したものを選択してください。

■ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」（→ P. 46）を確認して、適切なシートを選択してください。

1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

（例 1）：体重が 12kg の場合、質量グループは「0 +」になります。

（例 2）：体重が 15kg の場合、質量グループは「Ⅰ」になります。

2 サイズ等級を選択する

手順 1 で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

（例 1）：質量グループが「0 +」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

（例 2）：質量グループが「Ⅰ」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

3 子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

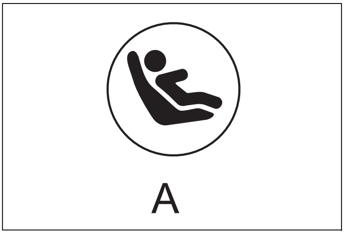
汎用（ユニバーサル）子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。

※ 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。

① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

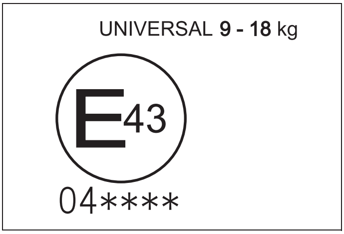
サイズ等級が示されています。（表示される文字は、製品により異なります）

手順 2 で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。



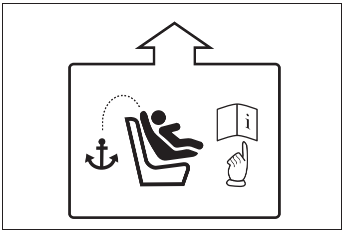
② 汎用（ユニバーサル）子供専用シートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



③ トップテザー（→ P. 51）を示すマーク

商品の取り付け装置の位置により、意匠は異なります。



■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類（サイズ等級別）

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート （B-ISO/F2 と別形状のもの）
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

■助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- ●背もたれを直立状態にする
- ●シートをいちばんうしろにさげる
- ●シートベルトの高さをいちばん低い位置まで下げる

■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。

警告

■子供専用シートを使用しない場合

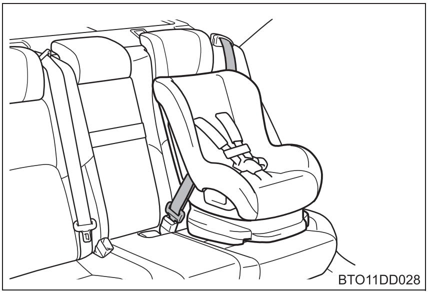
- ●子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- ●子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、トランク内に容易に動かないように収納してください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

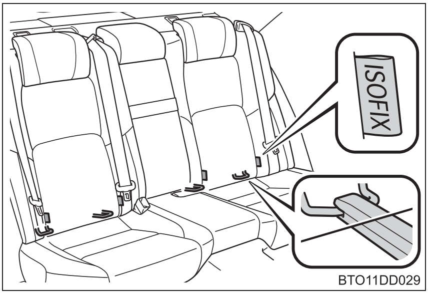
取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

シートベルトによる取り付け
（→ P. 52）



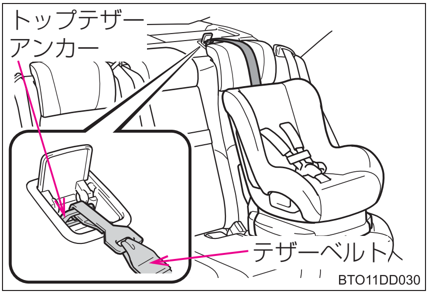
ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー（→ P. 53）

リヤ外側シートに装備されています。（固定専用バーが装備されていることを示すタグがシートに付いています）



トップテザーアンカー（→ P. 53）

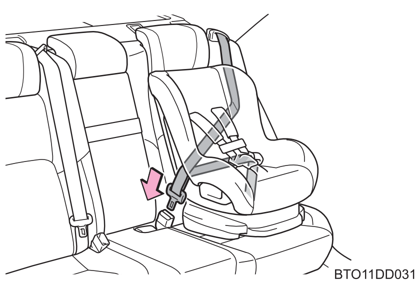
テザーベルトを固定するときに使います。
トップテザーアンカーはリヤ外側席に装備されています。



シートベルトで固定する

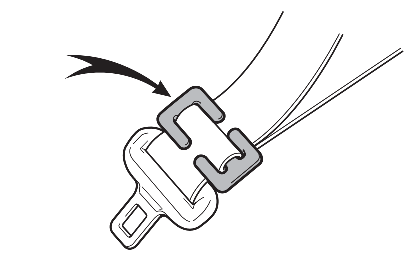
1 リヤパワーシート装着車では、リヤシートがリクライニングしていないことを確認してから、チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。


BTO11DD031

2 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップ（別売）を使用して固定する

ロッキングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。(ロッキングクリップ品番：73119-22010)

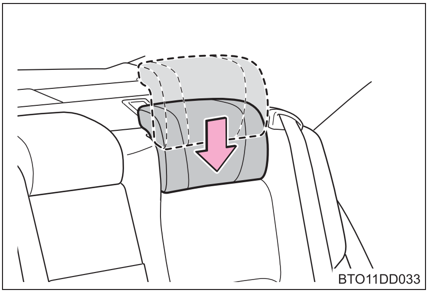

BTO11DD032

取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

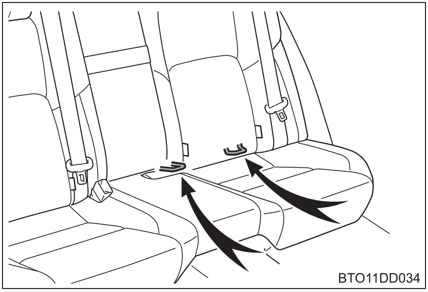
1 リヤパワーシート装着車では、リヤシートがリクライニングしていないことを確認しておく

2 ヘッドレストをいちばん下まで下げる



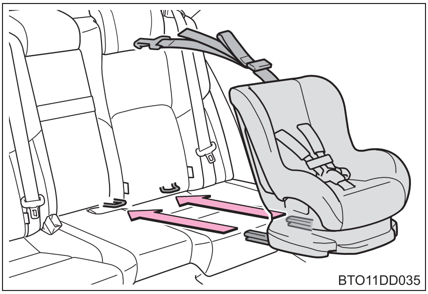
3 ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認する

固定専用バーは、シートクッションの奥にあります。



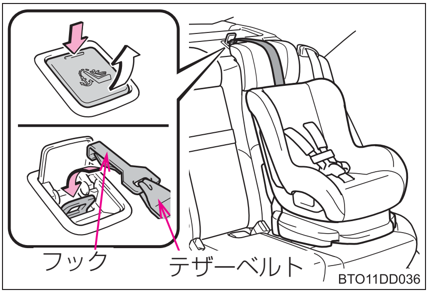
4 チャイルドシートをシートに取り付ける

チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取り付けます。
取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

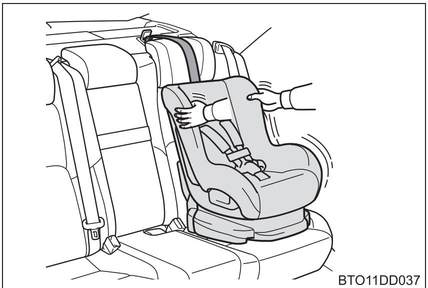


5 フタを開けてトップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。



6 取り付けたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



警告

■**チャイルドシートについて**

●事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。

●チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■**チャイルドシートを取り付けるとき**

●お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

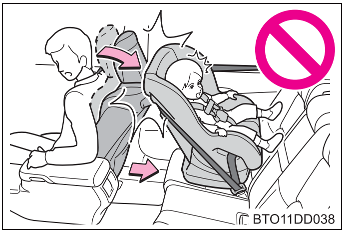
●シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。

●チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。

●チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

警告

■チャイルドシートを取り付けるとき



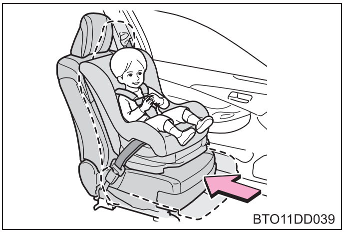
●運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。

●助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。

●やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。

⚠警告

■チャイルドシートを取り付けるとき



●やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。
助手席SRSエアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

●リヤ中央席にチャイルドシートを取り付けたときはリヤ右側席に座らないでください。シートベルトとチャイルドシートが干渉しシートベルトが正しく着用できず、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用して、リヤ右側席にチャイルドシートを取り付けたときはリヤ中央席に座らないでください。シートベルトとチャイルドシートが干渉しシートベルトが正しく着用できず、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■**走行中の留意事項**

トランクを閉じてください。
トランクが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■**駐車するとき**

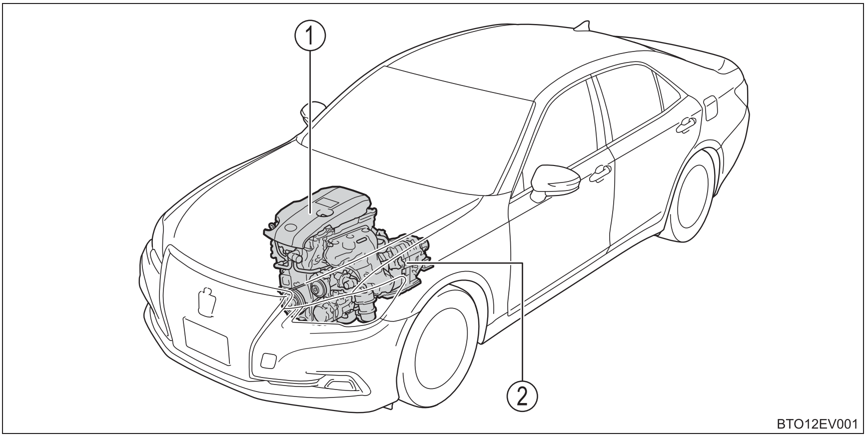
- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、ハイブリッドシステムを停止してください。
- 長時間ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。
  やむを得ないときは、開かれた場所に車を停め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■**排気管について**

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

ハイブリッドシステムの特徴

ハイブリッドシステムは、電気モーターとガソリンエンジンという 2 つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減、クリーン化した環境に配慮した技術となっています。



イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

① ガソリンエンジン

② 電気モーター

◆ 停車時・発進時・低速走行時

停車中はガソリンエンジンを停止※します。
発進時は電気モーターを使って発進します。
低速走行時や下り坂走行時もガソリンエンジンを停止※し、電気モーターを使って走行します。
シフトレバーが N にあるときは駆動用電池への充電が行われません。

※ 駆動用電池の充電が必要なときやエンジン暖機中など、ガソリンエンジンが自動停止しないことがあります。（→ P. 60）

◆ 通常走行時

主にガソリンエンジンを使用して走行します。
必要に応じて電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

◆ 急加速時

アクセルペダルを強く踏み込むと、ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

◆ 減速時・制動時（回生ブレーキ）

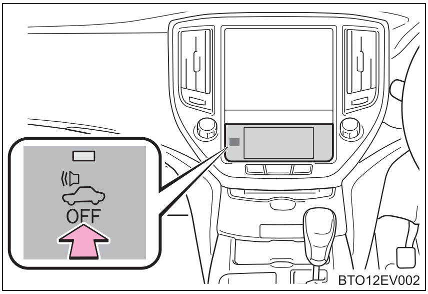
車輪が電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

車両接近通報装置

ガソリンエンジンが停止した状態での走行時、車両の接近を周囲の人に知らせるため、車速に応じた音階で音を鳴らします。車速が約 25km/h をこえると消音します。スイッチ操作で消音することもできます。

消音するには、READY インジケーターが点灯している状態で、スイッチを押す

スイッチ上のインジケーターが点灯します。再度スイッチを押すと ON になります。ハイブリッドシステムを始動するごとに、車両接近通報装置は ON になります。



知識

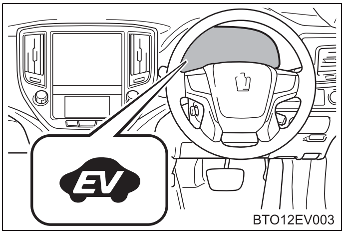
■回生ブレーキについて

次の場合、車の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池へ充電すると共に減速力を得ることができます。

- シフトレバーが D または S で走行中に、アクセルペダルから足を離したとき
- シフトレバーが D または S で走行中に、ブレーキペダルを踏んだとき

■EV インジケーターについて

ガソリンエンジン停止中や、電気モーターのみで走行しているときに、EV インジケーターが点灯します。



■ガソリンエンジンの自動停止について

車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。
ただし、次の状態では自動停止しないことがあります。

- ●ガソリンエンジン暖機中
- ●駆動用電池充電時
- ●駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- ●暖房をかけているとき

■駆動用電池の充電について

ガソリンエンジンの動力による充電や回生ブレーキにより、駆動用電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。しかし、車両を長時間放置すると、少しずつ放電します。そのため少なくとも、2 ～ 3ヶ月に一度、約 30 分間または 16km ほど運転してください。
万一、駆動用電池が完全に放電し、ハイブリッドシステムを始動できないときはトヨタ販売店にご連絡ください。

■補機バッテリーの充電について

→ P. 417

■補機バッテリーあがり発生後や、交換などでターミナルを脱着したとき

ガソリンエンジンの自動停止が行われないことがあります。
自動停止しない状態が 2 ～ 3 日続く場合は、トヨタ販売店へご連絡ください。

■ハイブリッド車特有の音と振動について

ハイブリッド車は、READY インジケーターが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時は確実にシフトレバーを P にして、パーキングブレーキをかけてください。

ハイブリッドシステム始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

●エンジンルームからのモーター音

●ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえる車両後方および駆動用電池からの音

●ハイブリッドシステム始動時および停止時にフロントシート下部から聞こえる“コトン”、“カチッ”などの高電圧リレーの音

●トランクを開けたときに聞こえる作動音

●ガソリンエンジンの始動・停止時や低速走行時、およびアイドリング中にトランスミッション付近から聞こえる音

●急加速時のエンジン音

●ブレーキペダルを踏んだときに聞こえる回生ブレーキの音

●ブレーキペダルを踏んだときや、アクセルペダルをゆるめたときに聞こえる回生ブレーキの音

●ガソリンエンジンの始動・停止による振動

●リヤシート横にある吸入口から聞こえるファンの音

■車両接近通報装置について

次のような場合は、周囲の人に通報音が聞こえにくくなることがあります。

●周囲の騒音が大きい場合

●雨または強風の場合

また、車両接近通報装置は車両前側にあるので、車両前方と比較して、車両後方は聞こえにくくなることがあります。

■メンテナンスや修理・廃車について

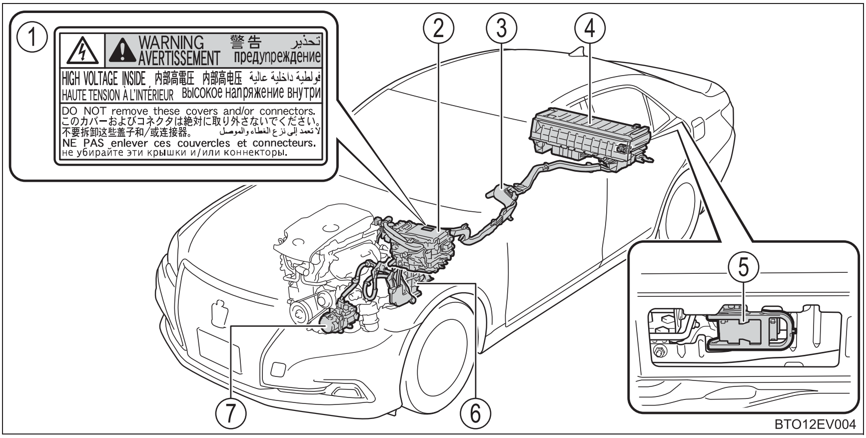
お車のメンテナンスや修理・廃車の際は必ずトヨタ販売店にご相談ください。特に廃車する場合は、トヨタ販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご協力ください。

■カスタマイズ機能

車両接近通報装置の音量を大きくすることや、EV インジケーターを点灯しないように変更できます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 443)

ハイブリッドシステムの注意

ハイブリッドシステムには、駆動用電池・パワーコントロールユニット・オレンジ色の高圧ケーブル・電気モーターなどの高電圧部位（最高約650V）や、冷却用ラジエーターなどの高温部位がありますので、ご注意ください。なお、高電圧部位などには、取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付してありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。

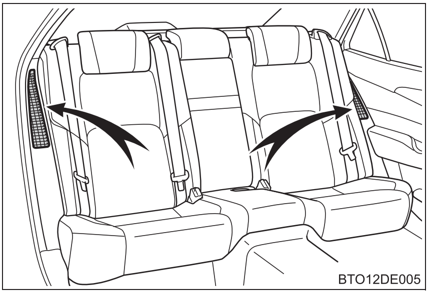


イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

① ラベル
② パワーコントロールユニット
③ 高電圧ケーブル（オレンジ色）
④ 駆動用電池
⑤ サービスプラグ
⑥ 電気モーター
⑦ エアコンコンプレッサー

駆動用電池冷却用吸入口

リヤシート横部には、駆動用電池冷却用の吸入口があります。吸入口をふさいだりすると、駆動用電池の過熱や出力低下の原因となります。


BTO12DE005

緊急停止システム

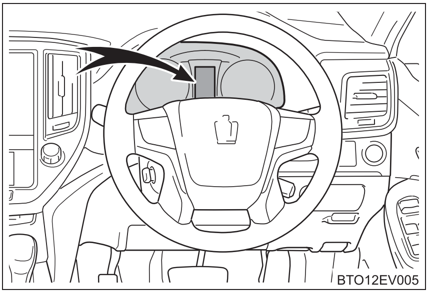
事故により衝撃を受けたときなどは、ハイブリッドシステムを停止して高電圧を遮断します。また、フューエルポンプ制御により燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。
この場合、ハイブリッドシステムを再始動させることができなくなるためトヨタ販売店へご連絡ください。

警告メッセージ

ハイブリッドシステムの異常やお知らせしたい事項が発生すると自動で表示されます。

警告メッセージは、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示された画面の指示に従ってください。(→ P. 364)


BTO12EV005

知識

■警告灯が点灯したときや、警告メッセージが表示されたとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたとき

ハイブリッドシステムを再始動できないおそれがあります。
もう一度始動操作をしてもREADYインジケーターが点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。

■ガス欠になったとき

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量警告灯（→ P. 361）が消灯するまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。（給油量の目安は車両水平状態で約9.7L です。車両の傾きによって給油量はかわります。傾いているときは、少し多めに給油してください）

■電磁波について

- 高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。
- アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が混入する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■駆動用電池について

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

■適合宣言

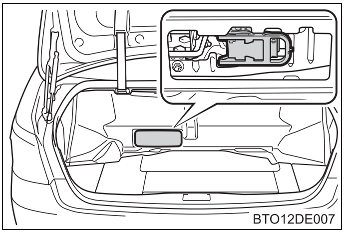
この車両は、ECE100（バッテリー電気車両安全）に基づいた水素排出量に適合しています。

警告

■高電圧・高温について

この車は、高電圧システムを使用しています。
次のことをお守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●高電圧部位・高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし・分解などは絶対に行わないでください。
- ●走行後はハイブリッドシステムが高温になります。車に貼ってあるラベルの指示に従い、常に高電圧・高温部位に注意してください。
- ●サービスプラグが駆動用電池に設置してあります。サービスプラグは絶対にさわらないでください。サービスプラグは、トヨタ販売店での車両の修理時などに、駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。



警告

■**事故が発生したとき**

次のことをお守りいただかないと、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●続発事故防止のため安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P に入れ、ハイブリッドシステムを停止する

●高電圧部位・高電圧配線（オレンジ色）などには、絶対にさわらない

●車室内および車室外に、はみ出している電気配線には絶対さわらない

●液体の付着やもれがある場合は絶対にさわらない
駆動用電池の電解液（強アルカリ性）が目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合はただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診察を受けてください。

●万一、車両火災が発生したときは、ABC 消火器を使用して消火する
水をかける場合は、消火栓などから大量にかけてください。

●タイヤが接地した状態でけん引しない
電気モーターから発電され、破損の状態によっては、火災のおそれがあり危険です。（→ P. 353）

●車の下の路面などを確認し、液体のもれ（エアコンの水以外）が見つかった場合、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火するおそれがあり危険ですので、始動しないでください。
この場合は、トヨタ販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。

⚠警告

■駆動用電池について

●絶対に転売・譲渡・改造などをしないでください。廃車から取りはずされた駆動用電池は事故防止のため、トヨタ販売店を通じて回収を行っていますので、ご協力ください。
適切に回収されないと、次のようなことがおこり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

・不法投棄または放置され、環境汚染となるばかりか、第三者が高電圧部位にふれてしまい、感電事故が発生する
・装備された車両以外で駆動用電池を使用（改造などを含む）し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故などが発生する

特に、転売・譲渡などを行うと、相手にこれらの危険性が認識されず、事故につながるおそれがあります。

●駆動用電池を取りはずさないままでお車を廃棄された場合、高電圧部品・ケーブル・それらのコネクターにふれると、深刻な感電の危険があります。お車を廃棄するときには、トヨタ販売店で駆動用電池を廃棄してください。駆動用電池は適切に廃棄しないと、感電を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠注意

■駆動用電池冷却用の吸入口について

●吸入口をふさぐように荷物などを置かないでください。
吸入口がふさがれると駆動用電池が過熱したり、故障の原因になります。

●吸入口は、目づまりしないよう定期的に清掃してください。

●吸入口に水や異物を入れないでください。
駆動用電池を損傷するおそれがあります。

●駆動用電池周辺に多量の水をこぼさないよう注意してください。
誤ってこぼしてしまったときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

イモビライザーシステム

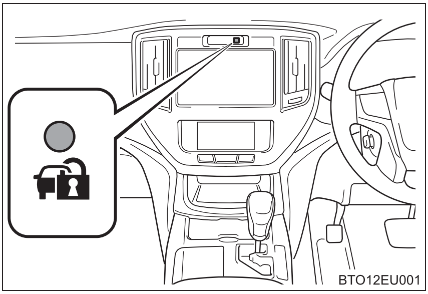
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではハイブリッドシステムを始動できません。
車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

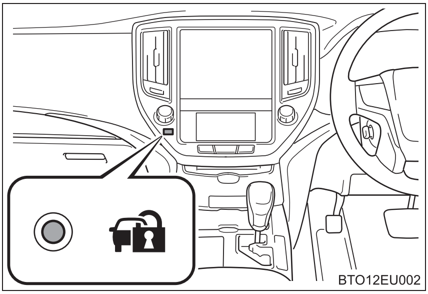
パワースイッチを OFF にすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。

▶ ナビゲーションシステム非装着車



▶ ナビゲーションシステム装着車



知識

■ **メンテナンスについて**

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■ **システムが正常に作動しないとき**

- ●キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- ●キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

注意

■ **イモビライザーシステムを正常に作動させるために**

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートアラーム

オートアラームとは

オートアラームとは、侵入を検知した場合に音と光で警報する機能です。オートアラームを設定すると、次のような状況でオートアラームが作動します。

● 施錠されたドアまたはトランクが、スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコン・メカニカルキーを使わずに解錠されたり、開けられたとき

● ボンネットが開けられたとき

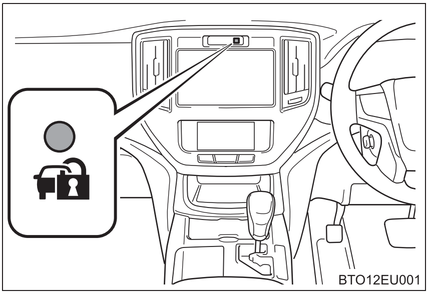
※ T-Connect DCM パッケージをご利用のお客様へは、オートアラームが作動した場合 E メールや電話でお知らせすることができます。
詳しくは、別冊「ナビゲーションシステム取扱書／ T-Connect ／サービスの使い方／マイカー Security」を参照してください。

オートアラームを設定する

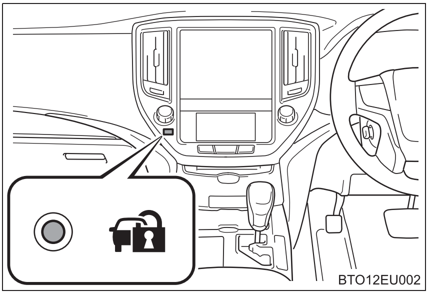
ドア・トランク・ボンネットを閉め、スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコンを使って施錠します。
30 秒以上経過すると、自動的に設定されます。

オートアラームがセットされるとインジケーターは点灯から点滅にかわります。

▶ ナビゲーションシステム非装着車



▶ ナビゲーションシステム装着車



オートアラームの設定を解除・作動を停止する

次のいずれかを行ってください。

● ドアまたはトランクを解錠する

● パワースイッチをアクセサリーモードまたはONモードにするか、ハイブリッドシステムを始動する（数秒後に解除・停止します）

知識

■メンテナンスについて

オートアラームシステムのメンテナンスは不要です。

■ドアを施錠する前の確認

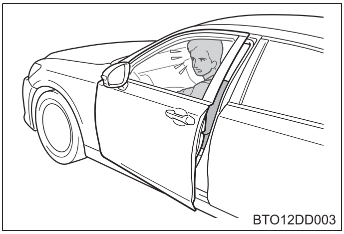
オートアラームの思わぬ作動、および盗難を防ぐため、次のことを必ず確認してください。

- 車内に人が乗っていないか
- ドアガラスとムーンルーフ★が閉じているか
- 車内に貴重品などを放置していないか

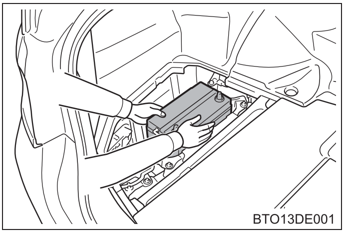
■オートアラームの作動について

次のような場合、オートアラームが作動することがあります。オートアラームを解除・作動を停止する操作を行ってください。

- 車内に残った人が、ドア・トランク・ボンネットを開けたとき



- 施錠後、補機バッテリーあがりなどで補機バッテリーの充電や交換をしたとき（→ P. 417）



■オートアラーム作動によるドアロック機能について

オートアラームが作動したときドアが解錠されていると車内への不正な侵入を防止するため自動的に施錠されることがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■T-Connect（ご契約のお客様のみ）

- ●うっかり通知
  施錠のし忘れや非常点滅灯の消し忘れ、ドアガラスの閉め忘れ、ムーンルーフの閉め忘れを、ご指定のEメールアドレスへお知らせすることができます。
  うっかり通知は車内の電子キー検知を使用しているため、スマートエントリー＆スタートシステムが正しく作動しない場合は、うっかり通知が正しく働かないことがあります。
- ●リモート確認
  ドアの開閉や施錠の状態、非常点滅灯の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどをT-Connectスマホアプリで確認できます。
- ●リモートイモビライザー
  お客様からの要請により、ハイブリッドシステムの再始動とステアリングロックの解除を禁止します。
- ●リモート操作
  T-Connectスマホアプリからドアの施錠操作、非常点滅灯の消灯操作をすることができます。
- ●カーファインダー（ハザード点灯）
  T-Connect スマホアプリを操作し、非常点滅灯を 1 分間点滅させることができます。
  T-Connect スマホアプリは、車両の駐車位置を地図に表示することができます。

詳しくは、別冊「ナビゲーションシステム取扱書／T-Connect／サービスの使い方／マイカーSecurity」を参照してください。

■カスタマイズ機能

メカニカルキーを使って解錠したときにオートアラームが作動するよう、設定を変更することができます。（カスタマイズ一覧：→P. 437）

⚠注意

■オートアラームを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

侵入センサーとは

侵入センサーは、車内に不正に入り込んだ侵入者の動きを超音波で検知するセンサーです。侵入者の動きで検知するため、ドアを開けずガラスを割って入り込んだ侵入者なども検知できます。

このシステムは、車両盗難を防止または抑止する機能であり、すべての侵入に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

■ 侵入センサーを設定する

オートアラームを設定すると、自動でセットされます。(→ P. 69)

■ 侵入センサーを停止する

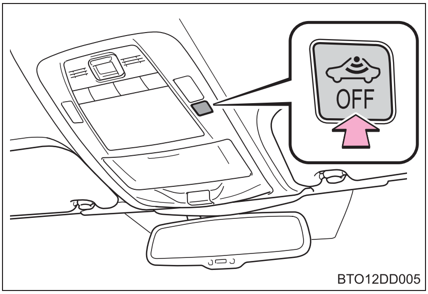
車内で動くものに反応するため、ペットや動くものを車内に残すときは、必ず侵入センサーを停止してからオートアラームを設定してください。

1 パワースイッチを OFF にする

2 侵入センサー OFF スイッチを押す

メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに、侵入センサー停止のメッセージが表示されます。

もう一度スイッチを押すと、侵入センサーは再びセットされます。



知識

■侵入センサーの作動・停止について

●侵入センサーの作動を停止しても、オートアラームは作動します。

●侵入センサーを停止したあとにパワースイッチを押すと、侵入センサーは復帰します。

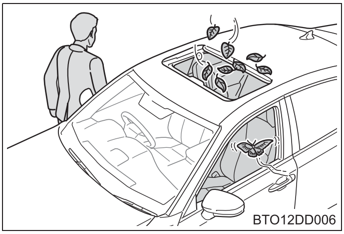
●オートアラームの設定を解除するたびに侵入センサーは復帰します。

■侵入センサーについての留意事項

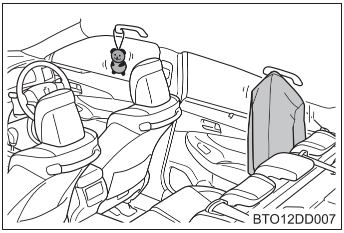
次のような場合、侵入センサーの検知によりオートアラームが作動することがあります。状況に応じ、侵入センサーを停止してからアラームを設定してください。

●ドアガラスやムーンルーフ★などが開いている場合、次のものを検知することがあります。

・室内に入った落ち葉・虫・風など
・他車の侵入センサーなどが発する超音波
・室外の歩行者の動き



●マスコットやアクセサリーをぶら下げた状態で取り付けたり、コートフックに衣類をかけているときなど、動きやすいものが車内にある場合



●振動や騒音が激しい場所、または連続的な衝撃や振動が車両に伝わる状況

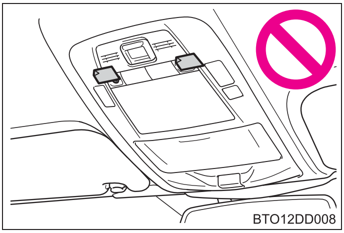
・立体駐車場に駐車したとき
・フェリー・トレーラー・列車などで車両を運搬するとき
・ガラスに付着した氷を削り落すとき
・高圧洗車機や自動洗車機などを使うとき
・ひょう・落雷などのとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

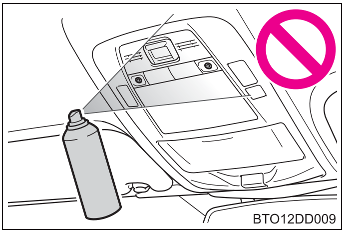
⚠注意

■侵入センサーを正しく作動させるために

●センサーの穴はふさがないようにしてください。



●センサーの穴に向かって、直接消臭スプレーなどを噴霧しないでください。



●運転席と助手席のシートのあいだに、トヨタ純正品以外のアクセサリーを装着したりものを放置したりすると、検知性能が低下することがあります。

メーターの見方

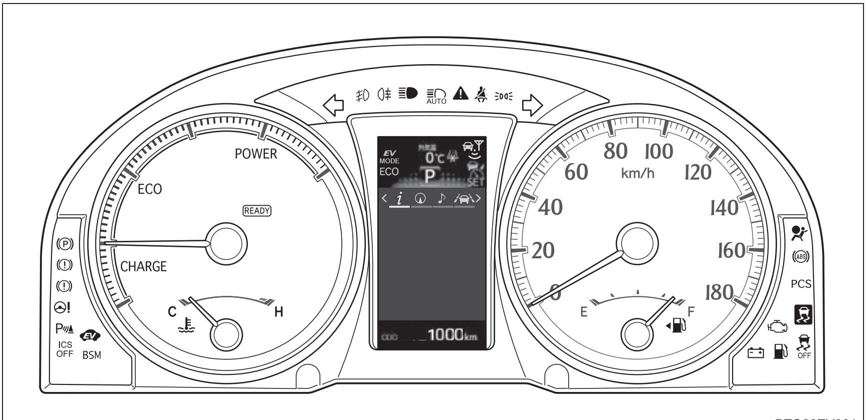
2

2. 計器の見方

警告灯／表示灯 76
計器類 80
マルチインフォメーション
ディスプレイ 84
エネルギーモニター／
燃費画面／ ESPO 画面 92

警告灯／表示灯

メーター・オーバーヘッドコンソール・ドアミラーの警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。
次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。



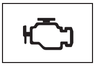
BTO20EV001

警告灯

システム異常などを警告します。

※1

（赤色）
ブレーキ警告灯
（→ P. 360）

※1

エンジン警告灯
（→ P. 360）

※1

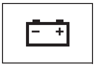
SRS エアバッグ／
プリテンショナー警告灯
（→ P. 360）

※1

ABS ＆ブレーキアシスト
警告灯（→ P. 360）

※1

パワーステアリング警告灯
（→ P. 360）

※1

充電警告灯
（→ P. 360）

※1
PCS
（点滅）
PCS 警告灯★
（→ P. 361）

燃料残量警告灯
（→ P. 361）

シートベルト非着用警告灯
（→ P. 361）

マスターウォーニング
（→ P. 362）

※1

スリップ表示灯
（→ P. 361）

ICS OFF
（点滅）
ICS OFF 表示灯★
（→ P. 361）

パーキングブレーキ未解除
警告灯（→ P. 361）

※1

（黄色）
電子制御ブレーキ警告灯
（→ P. 360）

※2、3

後席シートベルト非着用
警告灯（→ P. 362）

※1 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

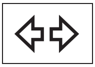
※2 リヤドアを開閉すると約 34 秒間点灯します。
いずれかのリヤシートベルトを着脱すると点灯し続けます。点灯し続けているときに、リヤドアを開閉すると約 34 秒後に消灯します。

※3 オーバーヘッドコンソール部に点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

表示灯

システムの作動状況を表示します。


方向指示表示灯
(→ P. 181)

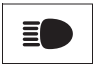
※ 1

(点滅)
スリップ表示灯
(→ P. 234)

尾灯表示灯
(→ P. 183)

※ 1

VSC OFF 表示灯
(→ P. 235)

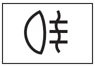

ハイビーム表示灯
(→ P. 183)

アダプティブハイビームシステム表示灯★(→P. 187)

フロントフォグランプ表示灯 (→ P. 193)

※ 2

EV ドライブモード表示灯
(→ P. 173)


リヤフォグランプ表示灯★
(→ P. 194)

READY インジケーター
(→ P. 167)

※ 2

スノーモード表示灯
(→ P. 177)

EV インジケーター
(→ P. 59)

※ 2

スポーツモード表示灯★
(→ P. 177)

※ 2

エコドライブモード表示灯
(→ P. 177)

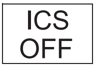
※ 2

パワーモード表示灯★
(→ P. 177)

クリアランスソナー表示灯★
(→別冊「ナビゲーションシステム取扱書」参照)

※ 1

(点灯または速い点滅)
PCS 警告灯★
(→ P. 239)



ICS OFF 表示灯★
(→別冊「ナビゲーションシステム取扱書」参照)

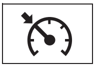
※ 2

レーダークルーズコントロール表示灯★(→P. 208)

※ 2

クルーズコントロールセット表示灯 (→ P. 204)

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※ 2

クルーズコントロール表示灯（→ P. 204）

※ 2、4

低温表示灯（→ P. 80）

BSM
ブラインドスポットモニター表示灯★（→ P. 246）

※ 3、5

BSM（ブラインドスポットモニター）ドアミラーインジケーター★（→ P. 246）

※ 2

ITS Connect アイコン★（→ P. 225）

※ 2

ITS Connect アイコン★（→ P. 225）

※ 2

ITS Connect アイコン★（→ P. 225）

※ 1 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

※ 2 マルチインフォメーションディスプレイ内に表示されます。

※ 3 作動確認のため次の条件のときインジケーターが点灯します。
- BSM メインスイッチが ON の状態で、パワースイッチを ON モードにしたとき
- パワースイッチが ON モードで、BSM メインスイッチを ON にしたとき、システムが正常であればインジケーターは数秒後に消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

※ 4 外気温が約 3 ℃以下のとき、約 10 秒間点滅後に点灯します。

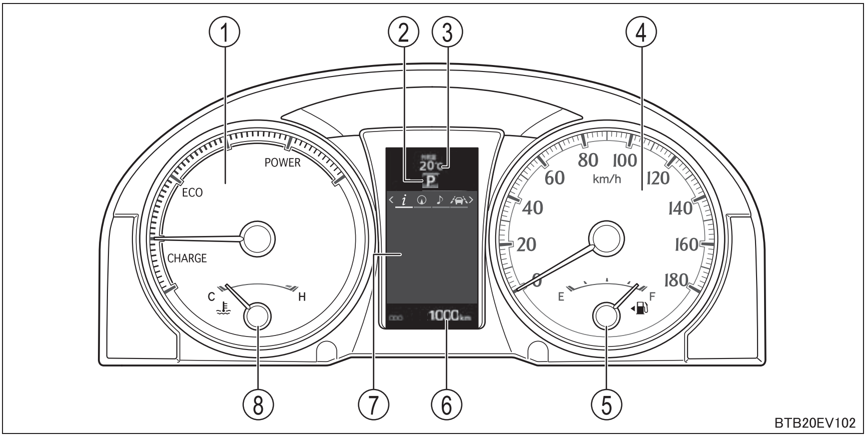
※ 5 ドアミラーに表示されます。

警告

■安全装置の警告灯が点灯しないとき

ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がパワースイッチを ON モードにしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

計器類



① ハイブリッドシステムインジケーター

ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを示します。（→ P. 82）

② シフトポジション・シフトレンジ表示

選択されているシフトポジションまたはシフトレンジを表示します。（→ P. 176）

③ 外気温表示

外気温度を -40 ℃～ 50 ℃の間で表示します。外気温が約 3 ℃以下のときは、低温表示灯（→ P. 79）が点灯します。

④ スピードメーター

車両の走行速度を示します。

⑤ 燃料計

燃料残量を示します。

⑥ オドメーター／トリップメーター

オドメーター：
走行した総距離を km の単位で表示します。

トリップメーター：
リセットしてからの走行距離を km の単位で表示します。区間距離は、トリップ A・トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

⑦ マルチインフォメーションディスプレイ

車両に関するさまざまな情報を表示・設定します。（→ P. 84）

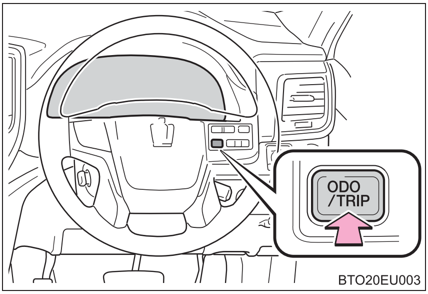
⑧ 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

・ 冷却水の温度が異常に高くなるとブザーが鳴ります。

表示の切りかえ（オドメーター／トリップメーター）

スイッチを押すごとに表示が切りかわります。また、トリップメーター表示中に押し続けると、走行距離を 0 にもどします。

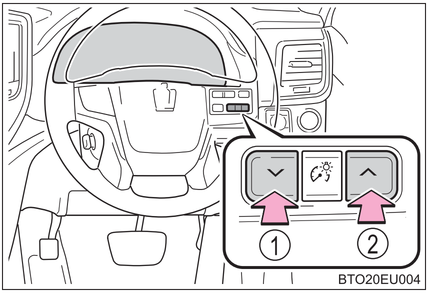


メーター照度調整スイッチ

メーターの明るさを調整できます。

① 暗くする

② 明るくする



知識

■ **メーター・ディスプレイの作動条件**

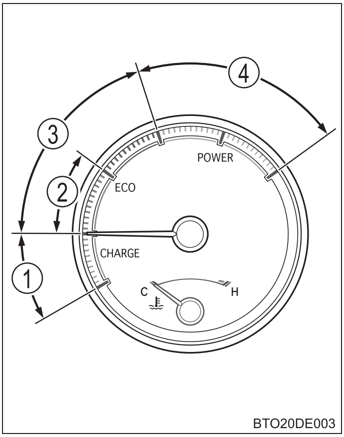
パワースイッチが ON モードのとき

■ **メーターの明るさ調整について**

●車幅灯消灯時と点灯時それぞれの明るさのレベルを調整することができます。

●周囲が暗いときに車幅灯を点灯すると、メーターの明るさが減光されます。
周囲が明るいとき（昼間など）車幅灯を点灯しても、メーターの明るさは減光されません。

■ハイブリッドシステムインジケーターについて



① チャージエリア
回生ブレーキ機能により、エネルギーを回収している状態を示します。

② ハイブリッドエコエリア
ガソリンエンジンの動力を使用しない状況を多く含む状態を示します。
ガソリンエンジンは、各種の条件により自動的に停止・再始動します。

③ エコエリア
エコ運転（環境に配慮した走行）をしている状態を示します。

④ パワーエリア
全開走行時など、エコ運転の範囲をこえている状態を示します。

●インジケーターの針をエコエリアに保つことで、エコ運転が可能です。

●チャージエリアは、回生※状態を示します。回生した電力は、駆動用電池を充電します。

※ ここでの「回生」の意味は、運動エネルギーを電気エネルギーに変換することです。

■外気温表示について

次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

●停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき

●外気温が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

●“--”または“E”が表示されたときは、システム故障のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■割り込み表示について

●スイッチの操作方法などを状況に応じてマルチインフォメーションディスプレイに一定時間表示します。

●一部の割り込み表示の表示／非表示を切りかえることができます（→ P. 88）

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

⚠ 注意

■ハイブリッドシステムや構成部品への損傷を防ぐために

水温計の針が H のレッドゾーンに入ったときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→ P. 420)

マルチインフォメーションディスプレイ

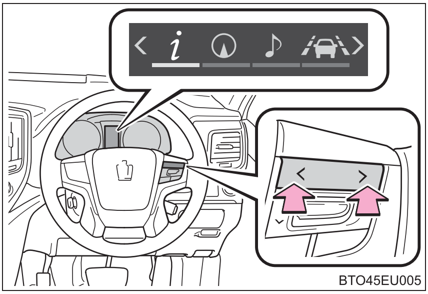
表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、車両に関するさまざまな情報を表示したり、設定したりすることができます。

● メニューアイコン

アイコンを選択して各項目を表示させます。（→ P. 86）

項目によっては状況に応じて自動で表示されます。



ドライブインフォメーション

走行に関するさまざまな情報を表示します。（→ P. 87）

ナビゲーションシステム連携表示★

ナビゲーションシステムと連携して、方位計などを表示します。
また、ナビゲーションシステムで目的地案内中に交差点案内が行われると、マルチインフォメーションディスプレイにも交差点案内が表示されます。

目的地の設定・地図の向きの切りかえなどについては、別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

オーディオシステム連携表示★

選択されているオーディオソースの情報が表示されます。

・オーディオソースを切りかえるには、メーター操作スイッチ（→ P. 86）の を押してオーディオソース選択画面を表示し、 を上下に操作してご希望のオーディオソースを選択して を押す

・オーディオソースの変更を中止する場合は、オーディオソース選択画面でメーター操作スイッチの を押します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

電話連携表示★

ハンズフリー着信などを表示します。

走行支援★

次のシステムの作動状況を表示します。
- レーダークルーズコントロール（→ P. 208）
- ITS Connect★（→ P. 223）

警告メッセージ

車両に異常が発生した場合に、内容・対処法などのメッセージを表示します。（→ P. 364）
- 警告メッセージがないときは、「メッセージなし」と表示されます。
- 複数の警告メッセージがあるときは、メーター操作スイッチ（→ P. 86）の ENTER を上下に操作して警告メッセージを切りかえることができます。
- 警告メッセージがあるときは [警告] が黄色になります。

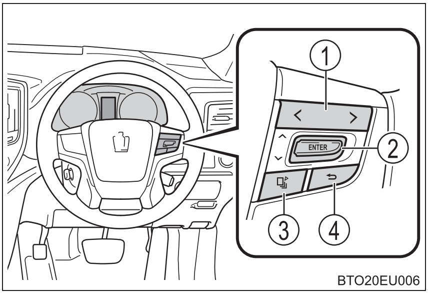
設定

メーターの表示設定や、各システムの設定などを切りかえることができます。（→ P. 88）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ 操作方法

メーター操作スイッチを使って次のように操作します。



① メニューの切りかえ

② 上下操作：
画面の切りかえ・カーソルの移動
押す：
決定・次画面へ移動※・機能の ON ／ OFF
※ 一部の機能のみ

③ トップ画面移動

スイッチを短く押すと [アイコン] に登録した画面が表示されます。

- 工場出荷時ではドライブインフォメーション画面が登録されています。
- トップ画面を変更するときは、登録したい画面を表示中に [スイッチ] を長押しし、表示内容に従ってメーター操作スイッチの ENTER を上下に操作して「はい」を選択し、ENTER を押します。
- 登録できない画面を選択しようとした場合、「この画面は [アイコン] に登録できません」と表示されます。
- 設定画面の [アイコン] スイッチ設定案内（→ P. 88）から [アイコン] スイッチの登録方法などを確認できます。

④ ひとつ前の画面にもどる

ドライブインフォメーション

メーター操作スイッチの

を上下に操作することで項目を選択できます。

■ ドライブインフォメーション 1 ／ドライブインフォメーション 2

次の項目から選択し、1 画面につき 2 項目ずつ表示します。

項目	内容
瞬間燃費	現在の瞬間燃費を表示
リセット間平均燃費	リセット後の平均燃費を表示※1
始動後平均燃費	ハイブリッドシステム始動後の平均燃費を表示※1
給油後平均燃費	給油後の平均燃費を表示※1
リセット間平均車速	リセット後の平均車速を表示※1
始動後平均車速	ハイブリッドシステム始動後の平均車速を表示※1
リセット間走行時間	リセット後の走行時間を表示※1
始動後走行時間	ハイブリッドシステム始動後の走行時間を表示※1
航続可能距離	燃料残量による走行可能な距離を表示※2、3
始動後走行距離	ハイブリッドシステム始動後の走行距離を表示
ブランク	非表示

※1 表示される平均燃費・平均車速・走行時間は参考として利用してください。

※2 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できない場合があります。

※3 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。
給油の際はパワースイッチを OFF にしてください。万一、パワースイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

● リセット方法

リセット間平均燃費・リセット間平均車速・リセット間走行時間は表示のリセットが可能です。

・リセットするには、リセットしたい項目を表示中にメーター操作スイッチの

を長押しします。

・画面に表示されている項目が 2 つともリセット可能な場合は、リセットする項目を選択する画面が表示されます。

■ エネルギーモニター

→ P. 93

■ ブランク（非表示）

ブランク画面を表示します

設定

各装備の機能の ON ／ OFF や設定変更などができます。

1 メーター操作スイッチの ENTER を上下に操作して設定変更したい項目を選択し、ENTER を押す

一部の装備で機能の ON ／ OFF を選択する項目では、ENTER を押すたびに ON ／ OFF が切りかわります。

2 表示内容に従って ENTER を上下に操作し、設定内容を選択して ENTER を押す

■ EV 表示

EV インジケーターの表示・非表示を選択することができます。

■ スイッチ選択

スイッチにお好みの画面をトップ画面として登録する方法を表示します。

お好みの画面を登録しておくと、スイッチを押したときに登録した画面を表示させることができます。（→ P. 87）

■ ドライブインフォ 1 ／ドライブインフォ 2

ドライブインフォメーションに表示させる項目（→ P. 87）をドライブインフォ 1 ／ドライブインフォ 2 それぞれに 2 つまで選択することができます。

■ 割込表示

状況に応じて割り込み表示される項目の表示・非表示を選択することができます。割り込み表示される項目は次のとおりです。

・ナビゲーションシステム連携表示の目的地案内★
・ハンズフリー着信通知★
・ランプスイッチ表示
・メーター照度調整

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ カラー★

カーソルなどの色を選択することができます。
ナビゲーション画面のテーマカラーも連動して変更されます

■ ITS Connect★

ITS Connect 各機能の ON ／ OFF や表示タイミングを変更することができます。
ITS Connect については P. 213, 223 を参照してください。

■ 初期化

メーター表示設定を初期状態にもどすことができます。（→ P. 437）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■設定画面の操作について

次の場合は設定画面の操作が一時中断されます。

- ●警告メッセージが表示されたとき
- ●走行し始めたとき

■オープニング表示について

パワースイッチをアクセサリーモード、またはハイブリッドシステムを始動すると、オープニング画面が表示されます。
ハイブリッドシステムを始動したときに次の操作を行うと、オープニング画面は解除されます。

- ●シフトレバーを P 以外にする
- ●オドメーター／トリップメーター切りかえボタン、またはメーター操作スイッチを操作する

■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、ドライブインフォメーションのデータはリセットされます。

■液晶ディスプレイについて

→ P. 82

⚠警告

■運転中の使用について

●マルチインフォメーションディスプレイを操作するときは、周囲の安全に十分注意してください。

●マルチインフォメーションディスプレイを見続けないでください。前方の歩行者、障害物などを見落とすおそれがあり危険です。

■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばシフトレンジ表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにシフトレンジの表示が切りかわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトすることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ディスプレイの設定を変更するとき

ハイブリッドシステムが作動している状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠注意

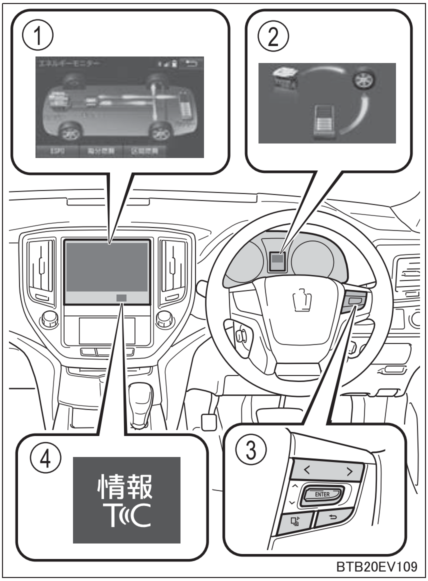
■ディスプレイの設定を変更するとき

補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

エネルギーモニター／燃費画面／ESPO 画面

ハイブリッドシステムの状態を、マルチインフォメーションディスプレイおよびナビゲーション画面に表示します。

① ナビゲーション画面★
② マルチインフォメーションディスプレイ
③ メーター操作スイッチ
④「情報・TC」スイッチ



エネルギーモニターの見方

■ ナビゲーション画面表示（ナビゲーションシステム装着車）

1 「情報・TC」スイッチにタッチし、情報画面を表示させる

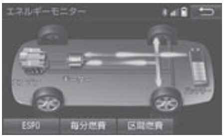
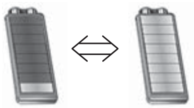
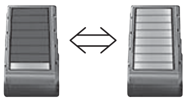
「オンライン」または、「Apps」画面が表示されたときは、「情報」を選択してください。

2 エネルギーモニターモニター：「エネルギー」を選択する
燃費画面：「毎分燃費」または「区間燃費」を選択する
ESPO 画面：「 ESPO 」を選択する

■ マルチインフォメーションディスプレイ表示

ドライブインフォメーション（→ P. 87）表示時にメーター操作スイッチの

を上下に操作して「エネルギーモニター」を選択する

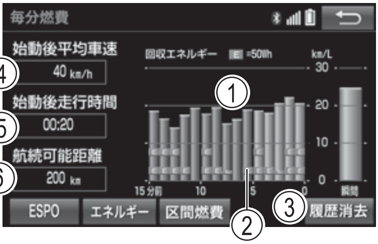
	ナビゲーションシステム画面	マルチインフォメーションディスプレイ
電気のエネルギーで走行しているとき		
ガソリンと電気の両方のエネルギーで走行しているとき		
ガソリンのエネルギーで走行しているとき		
駆動用電池に充電しているとき		
エネルギーの流れがないとき		
駆動用電池の残量表示	少ない 多い 	少ない 多い 

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。
FR 車（後輪駆動）と 4WD 車（4 輪駆動）では、表示画面が異なります。

燃費画面の見方（ナビゲーションシステム装着車）

■ 毎分燃費の見方

区間燃費画面が表示されたときは、「毎分燃費」を選択します。



BTO20DQ205

① 過去 15 分間の 1 分ごとの燃費（平均燃費）

② 過去 15 分間の 1 分ごとのエネルギー回収量

E マーク 1 つが 50Wh です。

③ 履歴消去

④ ハイブリッドシステム始動後平均車速

⑤ ハイブリッドシステム始動後走行時間

⑥ 航続可能距離（→ P. 98）

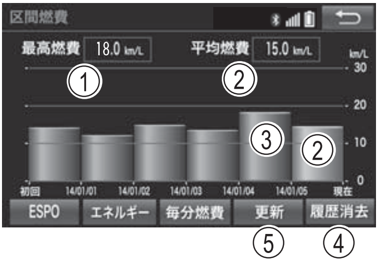
平均燃費はパワースイッチを ON モードにしてからと、前回走行時で色分けして表示されます。

表示される平均燃費は、参考として利用してください。

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

■ 区間燃費の見方

毎分燃費画面が表示されたときは、「区間燃費」を選択します。



① 最高燃費表示

② 平均燃費表示

③ 過去平均燃費表示

平均燃費は最後に更新してからと平均、過去の平均で色分けして表示されます。

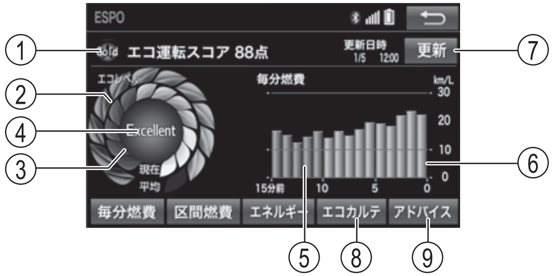
④ 履歴消去

⑤ 平均燃費更新

表示される平均燃費は、参考として利用してください。

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

ESPO 画面の見方（ナビゲーションシステム装着車）



① ステータス／ポイント表示※

エコ運転の採点結果や走行情報をトヨタスマートセンターに送信し、計算されたデータをもとにポイントやステータスを表示します。
ステータスはエコ運転を継続することでブロンズ、シルバー、ゴールドの順にランクがアップします。

② エコレベル平均値

エコレベルメーターの平均値を表示します。

③ エコレベルメーター

ハイブリッドシステムインジケーターの針がエコエリア内の状態を継続させることなどでメーターが増加します。

④ エコレベルインジケーター

エコレベルメーターのレベルに応じて Good · Excellent が表示されます。レベルが低い場合は表示されません。

⑤ 毎分燃費（前回ハイブリッドシステム始動～ハイブリッドシステム停止）

1 分ごとの平均燃費を最大 15 分前までグラフ表示します。

今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

⑥ 毎分燃費（今回ハイブリッドシステム始動～現在）

1 分ごとの平均燃費を最大 15 分前までグラフ表示します。

今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

⑦ 更新スイッチ※

走行情報などをトヨタスマートセンターへ送信し、ステータスなどを更新します。

⑧ エコカルテスイッチ

お車から送信された情報を反映して、月間の走行距離・ガソリン消費量・CO^2 排出量・平均燃費・獲得ポイント・エコ運転スコアが表示されます。

⑨ アドバイススイッチ
- ・ドライバーの運転操作についてエコ運転の観点で診断した結果を表示します。良いところを確認したり、さらに良くするにはどうしたら良いかを知ることができます。
- ・エコ運転や環境に関する豆知識を表示します。

※ T-Connect をご利用されているときに表示されます。

知識

■過去の区間平均燃費の記録を更新するには

区間燃費画面で「更新」を選択すると、平均燃費の値とグラフが更新され、新たに平均燃費の記録を開始します。

■燃費データをリセットするには

「履歴消去」を選択すると、燃費データがリセットされます。

■航続可能距離について

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を示します。

表示される距離は、過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。

■トヨタスマートセンターへ送信する走行情報について

トヨタスマートセンターへ送信する走行情報は、ナビゲーションシステムが算出するものであり、マルチインフォメーションディスプレイに表示される走行距離や燃費等とは一致しないことがあります。

■ESPO 画面について

パソコンや携帯電話のユーザーサイトでもステータスなどをみることができます。

各部の操作 3

3-1. キー
キー 100
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
ドア 106
トランク 115
スマートエントリー＆
スタートシステム 121
3-3. シートの調整
フロントシート...................... 128
リヤシート 132
パワーイージーアクセス
システム／マイコンプリセット
ドライビングポジション
システム／メモリーコール機能
.... 134
ヘッドレスト.......................... 139
3-4. ハンドル位置・ミラー
ハンドル 141
インナーミラー...................... 144
ドアミラー 146
3-5. ドアガラス・ムーンルーフの開閉
パワーウインドウ.................. 149
ムーンルーフ.......................... 152

キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

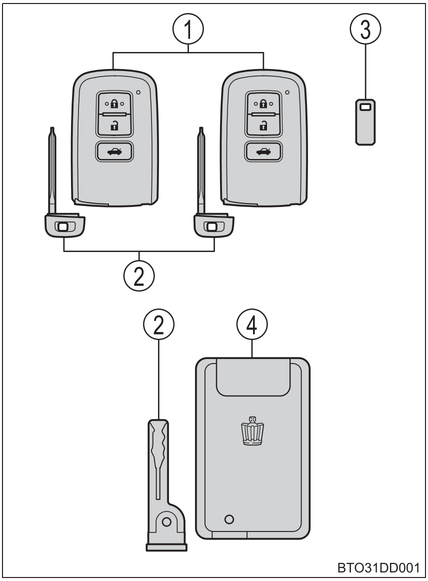
① 電子キー
・スマートエントリー&スタートシステムの作動 (→ P. 121)
・ワイヤレス機能の作動

② メカニカルキー

③ キーナンバープレート

④ カードキー★

スマートエントリー&スタートシステムの作動 (→ P. 121)



ワイヤレスリモコン

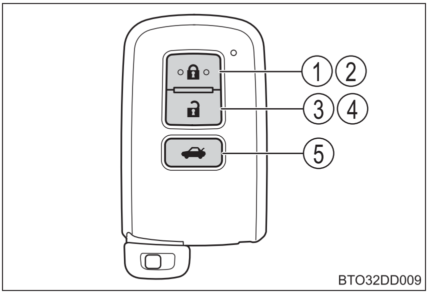
① ドアの施錠 (→ P. 106)

② ドアガラスとムーンルーフ★を閉める (→ P. 106) ※

③ ドアの解錠 (→ P. 106)

④ ドアガラスとムーンルーフ★を開く (→ P. 106) ※

⑤ トランクを開ける (→ P. 115)

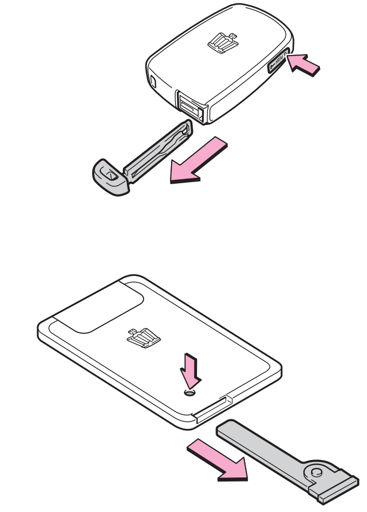


※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。(→ P. 440)

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

メカニカルキーを使うには

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出してください


BTO31DD002

メカニカルキーは挿し込み方向に指定のある片溝キーです。キーシリンダーに挿し込めないときは、キー溝面の向きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー＆スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。（→ P. 412）

知識

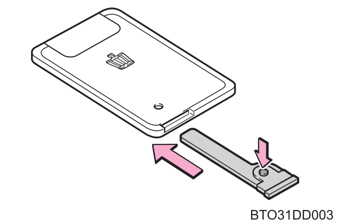
■カードキーについて

●カードキーは非防水です。

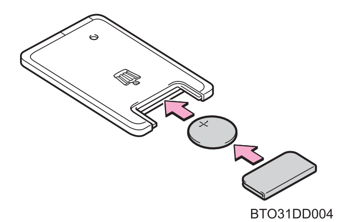
●カードキーに内蔵されているメカニカルキーは、カードキーが正常に作動しないなどの緊急時にのみ使用してください。

●メカニカルキーが取り出しにくいときは、ボールペンの先などでロック解除ボタンを押してください。引き出しにくいときは、コインなどで引っかけてください。

●メカニカルキーをカードキーへ入れるときは、ロック解除ボタンを押しながら奥まで入れてください。



●電池カバーがはずれたときやぬれたときに電池をはずした場合は、電池の＋極をクラウンエンブレム面側にして取り付けてください。



■駐車場などでキーを預けるとき

必要に応じてトランクオープナーメインスイッチを OFF にして、グローブボックスを施錠します。(→ P. 116, 283)
メカニカルキーを取り出し、電子キーのみを渡してください。

■メカニカルキーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのメカニカルキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいメカニカルキーを作ることができます。
キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

■航空機に乗るとき

航空機に電子キーを持ち込む場合は、航空機内で電子キーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

■電池の消耗について

●電池の標準的な寿命は1〜2年です。(カードキーの電池は1年半程度で消耗します)

●電池残量が少なくなると、ハイブリッドシステムを停止した際に車内から警告音が鳴ります。(→ P. 383)

●電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。

・スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
・作動範囲が狭くなった
・電子キーの LED が点灯しない

●電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。

・TV
・パソコン
・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
・電気スタンド
・電磁調理器

■電池の交換方法

→ P. 328

■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

■不正キーの使用について

指定のメカニカルキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空まわりして解錠できません。

⚠ 注意

■キーの故障を防ぐために

●落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない

●湿度の高いところに長時間放置しない

●ぬらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない

●キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない

●分解しない

●電子キー表面にシールなどを貼らない

●テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■電子キー取り扱いの注意

電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

●電池交換時以外は不用意に分解しないでください。
分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。

●必ず日本国内でご使用ください。

■キーを携帯するとき

電源を入れた状態の電化製品とは 10cm 以上離して携帯してください。10cm 以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■スマートエントリー＆スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キー（カードキーを含む）をお持ちください。

■電子キーを紛失したとき

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーとカードキーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

注意

■カードキーの取り扱いについて

●メカニカルキーをカードキーに挿し込むときは、無理な力を与えないでください。カードキーが破損するおそれがあります。

●電池やカードキーの電極がぬれた場合は、電池が腐食するおそれがあります。水の中に落としたときや飲料水などをこぼしたときは、ただちに電池カバーをはずして電池および電極部分をふき取ってください（電池カバーをはずすには、軽く持って引き抜いてください）。電池が腐食した場合は、トヨタ販売店で電池を交換してください。

●電池カバーを取りはずす場合は、押しつぶしたりドライバーなどを使用したりしないでください。
無理にこじ開けようとすると、曲がったり傷を付けたりするおそれがあります。

●電池カバーをひんぱんに取りはずすと、電池カバーが抜けやすくなることがあります。

●電池を取り付けるときは、必ず電池の向きを確認してください。電池の向きを間違えると、電池が急激に消耗する原因になります。

●次のような使い方をした場合は、カードキーの表面に傷を付けたり塗装がはがれたりするおそれがあります。

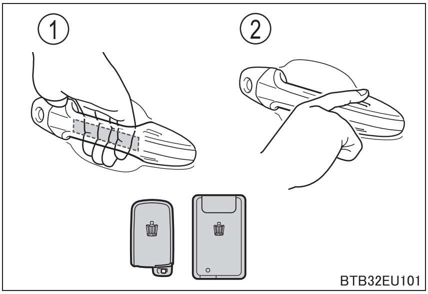
・小銭や鍵などの硬いものと同時に携帯したとき
・シャープペンシルの先端などの鋭利なものでこすったとき
・シンナーやベンジンでカードキーの表面をふいたとき

ドア

車外からの解錠／施錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム

電子キーを携帯して操作します。



① ドアハンドルを握って解錠する

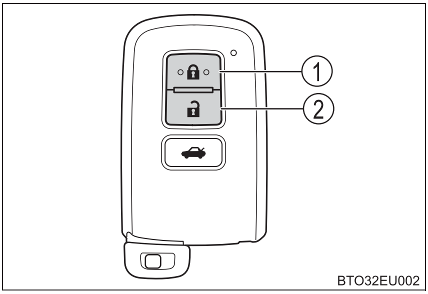
ハンドル裏面のセンサー部に確実にふれてください。

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。

② ドアハンドル上側のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。

◆ ワイヤレスリモコン



① 全ドアを施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。

押し続けるとドアガラスとムーンルーフ★が閉まります。※

② 全ドアを解錠する

押し続けるとドアガラスとムーンルーフ★が開きます。※

※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。（→ P. 440）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■作動の合図

ドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

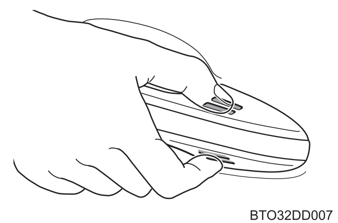
ドアガラスとムーンルーフの開閉をブザーで知らせます。

■解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

■ドアハンドル上側のロックセンサーで施錠できないとき

ドアハンドル上側のロックセンサー部にふれても施錠できないときは、上下のロックセンサー部に同時にふれてください。



BTO32DD007

■半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとすると、ブザーが鳴ります。
ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

■オートアラームの設定

施錠するとオートアラームが設定されます。(→ P. 69)

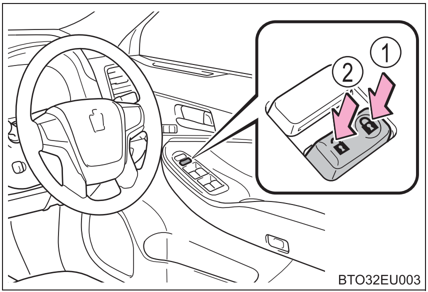
■スマートエントリー & スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

メカニカルキーやロックレバーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 412)
電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 328)

車内からの解錠／施錠

◆ ドアロックスイッチ

① 全ドアを施錠する
② 全ドアを解錠する

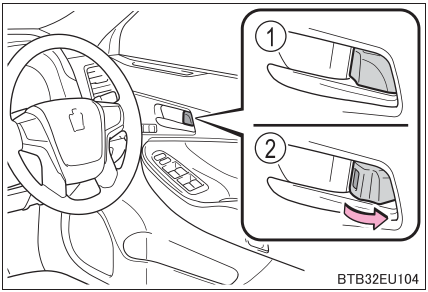


BTO32EU003

◆ ロックレバー

① ドアを施錠する
② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。



BTB32EU104

キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

1 ロックレバーを施錠側にする

2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。

キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

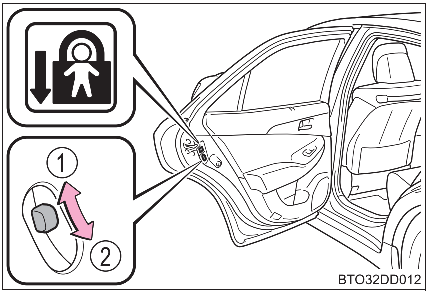
チャイルドプロテクター

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

① 解錠

② 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。



知識

■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

オートドアロック・アンロック機能

次の機能を設定・解除することができます。

機能	作動内容
車速感応オートドアロック	速度が約 20 km/h 以上になると全ドアが施錠されます。
シフト操作連動ドアロック	ハイブリッドシステムが作動中にシフトレバーをPから動かすと全ドアが施錠されます。
シフト操作連動アンロック	シフトレバーをPに入れると全ドアが解錠されます。
運転席ドア開連動アンロック	パワースイッチを OFF にしてから約 43 秒以内に運転席ドアを開けると全ドアが解錠されます。

■ 設定・解除のしかた

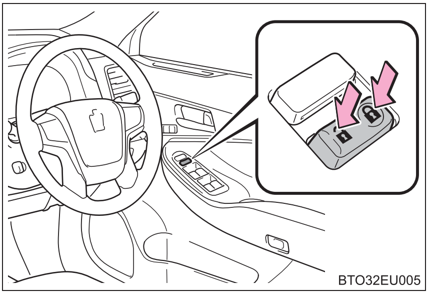
▶ ナビゲーションシステム非装着車

次の手順で、各機能の設定と解除が交互に切りかわります。

1 すべてのドアを閉め、パワースイッチを ON モードにする（その後 20 秒以内に 2 を行う）

2 シフトレバーを P または N に入れ、運転席ドアロックスイッチの 🔒 または 🔓 を約5秒間押して離す

設定を行う機能によってシフトレバーとスイッチの位置を次の表から選択します。
機能を解除するには、同じ手順を行います。



機能	シフトレバーの位置	ドアロックスイッチの位置
車速感応オートドアロック	N	🔒
シフト操作連動ドアロック	P	🔒
シフト操作連動アンロック	P	🔓
運転席ドア開連動アンロック	N	🔓

設定または解除の切りかえ操作が完了すると、すべてのドアが施錠されたあと、解錠されます。

▶ ナビゲーションシステム装着車

設定の変更は、ナビゲーションシステムの画面で行います。
（→ P. 438）

知識

■解錠ドアの切りかえ機能

ワイヤレスリモコンを使用して、スマートエントリー&スタートシステムで解錠できるドアの設定を切りかえることができます。

1 パワースイッチを OFF にする

2 オートアラームの侵入センサーを停止する
(操作中のオートアラーム誤作動防止：→ P. 72)

3 キー表面のインジケーターが消灯しているときに ボタンと同時に、 または のいずれかを約 5 秒間押し続ける

操作を行うごとに次のように設定が切りかわります。(続けて切りかえ操作を行う場合は、ボタンから手を離したあと 5 秒以上間隔をあけてから手順 3 を行ってください)

マルチインフォメーションディスプレイ表示	解錠できるドア	ブザー音
	運転席のドアハンドルを握ると運転席のみ解錠	車外：“ピピッ”(3 回) 車内：“ポーン”(1 回)
	運転席以外のドアハンドルを握ると全席解錠	
	いずれかのドアハンドルを握ると全席解錠	車外：“ピピッ”(2 回) 車内：“ポーン”(1 回)

オートアラームの誤作動防止のため、登録後はいったんワイヤレスリモコンで解錠し、ドアを開閉してください。(ボタンを押して 30 秒以内にドアを開けなかった場合は、ドアが再び施錠されオートアラームが設定されます)
オートアラームが作動し警報が鳴ってしまったときは、作動を停止する操作を行ってください。(→ P. 69)

■衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。
衝撃の度合いや事故の状況によっては作動しないことがあります。

■メカニカルキーでの施錠・解錠

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 412)

■スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 124

■イージークローザー（イージークローザー装着車）

ドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き、ドアが自動で完全に閉まります。

- ●パワースイッチがどの状態であっても、イージークローザーは作動します。
- ●車内や車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めたときは、イージークローザーは作動しません。
- ●イージークローザーが作動中でも、車内のドアレバーや車外のドアハンドルを引いてドアを開けることができます。（ロックレバーやチャイルドプロテクターが施錠側のときを除く）
- ●イージークローザーでドアが閉まったあと数秒間モーター音が聞こえますが、異常ではありません。

■カスタマイズ機能

キー操作によって解錠されるドアの設定などを変更できます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 439）

⚠警告

■**事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
  特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

■**ドアを開閉するときの留意事項**

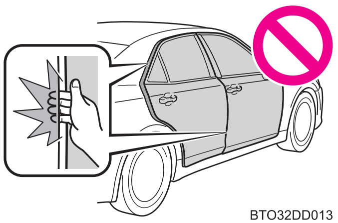
傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

■**ワイヤレスリモコンを使ってドアガラスやムーンルーフを操作するとき**

ドアガラスやムーンルーフに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスやムーンルーフに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

警告

■イージークローザーについて（イージークローザー装着車）


BTO32DD013

●ドアが半ドア状態のときイージークローザーが働き自動的に閉まるため、指などを挟まないように十分注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●半ドア状態からイージークローザーが作動するまで数秒かかります。指などをドアの隙間に挟まないでください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●ロックレバーやチャイルドプロテクターが施錠側になっているドアは、イージークローザーの作動を停止できないため、特にご注意ください。

注意

■イージークローザーの故障を防ぐために（イージークローザー装着車）

ひんぱんにドアの開閉をくり返したり、イージークローザーの作動中にドアに無理な力をかけないでください。

■オートドアロック・アンロック機能の切りかえについて（ナビゲーションシステム非装着車）

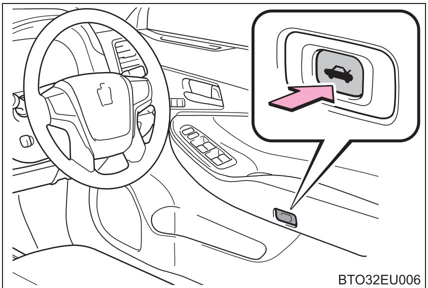
設定または解除の切りかえ操作が完了すると、すべてのドアが施錠されたあと、解錠されます。施錠・解錠の作動がない場合、切りかえられていない場合があります。

トランク

トランクオープナーやスマートエントリー&スタートシステム、ワイヤレスリモコンを使って開けることができます。

車内からトランクを開ける

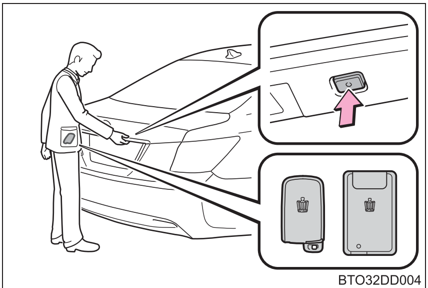
トランクオープナースイッチを押す


BTO32EU006

車外からトランクを開ける

◆ スマートエントリー&スタートシステム

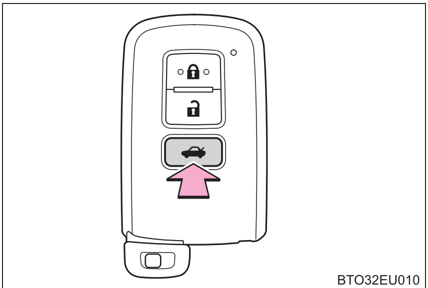
電子キーを携帯し、トランクのスイッチを押す


BTO32DD004

◆ ワイヤレスリモコン

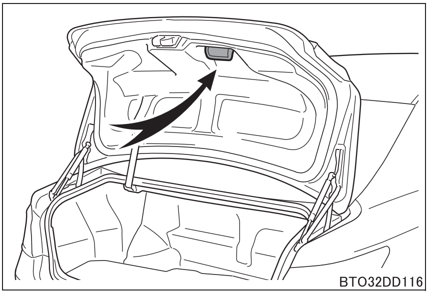
スイッチを押し続ける

ブザーが鳴ります。


BTO32EU010

トランクを閉めるとき

トランクグリップを持って、横方向に力をかけないようにトランクを引き下げ、外から押して閉めてください。



トランクオープナーを一時的に無効にする

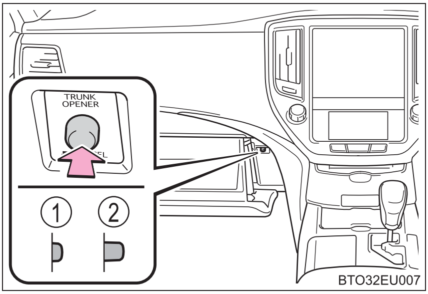
トランクに積んだ荷物の盗難防止などのために、トランクオープナースイッチを一時的に無効にすることができます。

グローブボックス内のメインスイッチを OFF にする

① ON

② OFF

ワイヤレスリモコン・スマートエントリー＆スタートシステムでもトランクを開けられなくなります。



知識

■ トランクランプ

トランクを開けたとき、トランクランプが点灯します。

■ イージークローザー（イージークローザー装着車）

トランクが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き自動で閉まります。

- パワースイッチが OFF になっていても、イージークローザーは作動します。
- イージークローザーが作動しないときには、いったんトランクを半分以上開けてから、再度閉めてください。

■トランク内キー閉じ込み防止機能について

- すべてのドアが施錠されている場合、トランク内に電子キーを置いたままトランクを閉めると、警告音が鳴ります。この場合、車外にあるトランクオープンスイッチで開けられます。
- すべてのドアが施錠されている状態で、予備のキーをトランクに入れたときも、キー閉じ込み防止機能が働き、トランクを開けることができます。盗難防止のため、車から離れるときは必ずすべての電子キーを携帯してください。
- すべてのドアが施錠されている状態でトランク内に電子キーを置いても、電子キーが置かれた場所や、周囲の電波状況によっては、トランク内の電子キーを検知できないことがあります。この場合は、キー閉じ込み防止機能が働かず、トランクを閉めたときに施錠されてしまいます。トランクを閉めるときには、必ず電子キーの所在を確認してください。
- ドアがひとつでも解錠されている場合は、キー閉じ込み防止機能は働きません。この場合は、車内のトランクオープナーでトランクを開けてください。

■メカニカルキーについて

トランクはメカニカルキーを使用して開けることもできます。(→ P. 412)

■スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

メカニカルキーを使ってトランクを開けることができます。(→ P. 412)
電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 328)

■駐車場などでキーを預けるときは

→ P. 102

■カスタマイズ機能

トランクの解錠設定を変更できます。(カスタマイズ一覧：→ P. 439)

⚠警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■走行する前に

● 走行前にトランクが閉まっていることを確認してください。
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

● トランクの中でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。

● お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。
不意にトランクリッドが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■走行中の留意事項

トランク内には絶対に人を乗せないでください。
急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

■トランクの使用にあたって

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

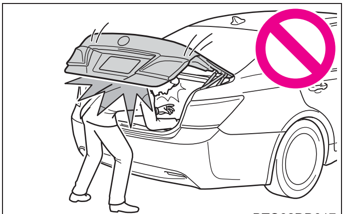
●トランクを開ける前に、トランクリッド上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでトランクリッドが突然閉じるおそれがあります。

●トランクを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。

●人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。

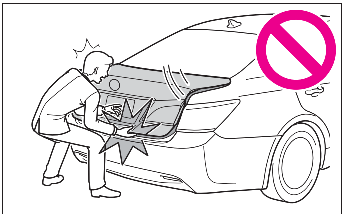
●強風時の開閉には十分注意してください。
トランクリッドが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

●半開状態で使用すると、トランクリッドが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもトランクの開閉がしにくく、急にトランクが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずトランクが全開で静止していることを確認して使用してください。


BTO32DD017

●トランクを閉めるときは、トランクリッドで指などを挟まないよう十分注意してください。

●トランクは必ず外からトランクリッド上面を軽く押して閉めてください。トランクグリップで直接トランクを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。

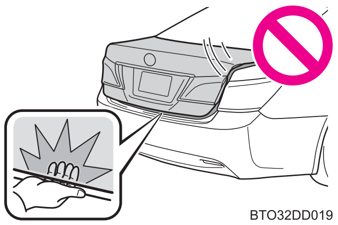

BTO32DD018

●トランクリッドにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を取り付けないでください。トランクリッドの重量が重くなると、開いたあとに突然閉じるおそれがあります。

警告

■イージークローザーについて（イージークローザー装着車）

トランクが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き自動で完全に閉まります。また、作動し始めるまでに数秒かかります。指などをトランクのあいだに挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。


BTO32DD019

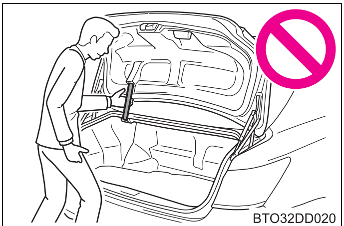
注意

■イージークローザーの故障を防ぐために（イージークローザー装着車）

イージークローザーの作動中は、トランクに無理な力をかけないでください。

■トランク内のフラットケーブルについて

トランク内左側にあるフラットケーブルを持ってトランクを閉めたり、フラットケーブルにハンガーなどをかけたりしないでください。フラットケーブルの中にある配線が断線して、車両が故障するおそれがあります。


BTO32DD020

スマートエントリー&スタートシステム

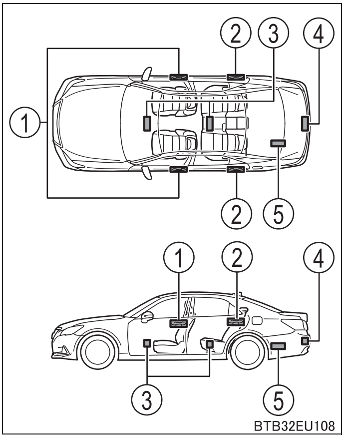
電子キー（カードキーを含む）をポケットに携帯すると、次の操作が行えます。必ず運転者がキーを携帯してください。

- ドアを解錠・施錠する（→ P. 106）
- トランクを開ける（→ P. 115）
- ハイブリッドシステムを始動する（→ P. 167）

知識

■アンテナの位置

① 車外アンテナ（フロント）
② 車外アンテナ（リヤ）★
③ 車内アンテナ
④ トランク外アンテナ
⑤ トランク内アンテナ



■作動範囲

：ドアの施錠・解錠時

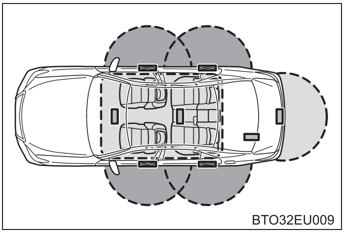
ドアハンドルから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。（電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します）

：トランクの解錠時

トランクオープンスイッチから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。

：エンジン始動時またはモード切りかえ時

車内で電子キーを携帯している場合に作動します。



■節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両の補機バッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

●次の状況では、スマートエントリー＆スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。

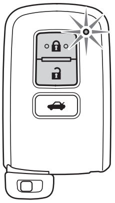
・車の外約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
・5 日間以上スマートエントリー＆スタートシステムを使用しなかった

●14 日間以上スマートエントリー＆スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

■電子キーの節電モードについて

節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電池の消耗を抑えることができます。

電子キーの を押しながら、 を 2 回押し、電子キーのインジケータが４回光ることを確認してください。


BTO32DD008

節電モード中は、スマートエントリー＆スタートシステムを使用できません。節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。

■警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、警告音が鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されることがあります。警告が表示されたときは、ディスプレイの表示をもとに適切に対処してください。
(→ P. 364)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次のとおりです。

警告音	状況	対処方法
車外から“ピー”と5 秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー＆スタートシステムもしくは、ワイヤレス機能で施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
	全ドアが施錠されている状態で電子キーをトランク内に置いたままトランクを閉じた	トランク内から電子キーを取り出したあと、トランクを閉じる
車内から“ポーン、ポーン”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でパワースイッチをアクセサリーモードにした（パワースイッチがアクセサリーモードのとき運転席ドアを開いた）	パワースイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉める

■**機能が正常に働かないおそれのある状況**

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。（対処方法：→ P. 412）

●電子キーの電池が消耗しているとき

●近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき

●無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき

●電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき

・アルミ箔などの金属の貼られたカード
・アルミ箔を使用したタバコの箱
・金属製の財布やかばん
・小銭
・カイロ
・CD や DVD などのメディア

●近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき

●電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき

・他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
・パソコンや携帯情報端末（PDA など）
・デジタルオーディオプレーヤー
・ポータブルゲーム機器

●リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

●充電器など電子機器の近くに電子キーを置いたとき

■ご留意いただきたいこと

●電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。

・ドアの施錠･解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
・トランクの解錠時に電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
・ハイブリッドシステム始動時またはパワースイッチの切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上・ドアポケット、またはグローブボックス内などに置かれていた場合

●インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があり、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。

●電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では、解錠できません。

●車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、ハイブリッドシステムの始動が可能になる場合があります。

●電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）

●ワイヤレスリモコンなどで施錠時にキーが車両の近くにあると、スマートエントリー＆スタートシステムによる解錠ができないことがあります。（ワイヤレスリモコンで解錠すると復帰します）

●手袋を着用していると施錠・解錠しないことがあります。

●ロック操作は、連続で 2 回まで有効です。3 回目以降はロック動作しません。

●電子キーを携帯したまま洗車をすると、水がドアハンドルにかかったときに施錠・解錠をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をしてください。

・キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する（電子キーの盗難に注意してください）
・キーを節電モードに設定し、スマートエントリー＆スタートシステムの作動を停止する（→ P. 122）

●洗車機での洗車中に車内にキーがあると、水がドアハンドルにかかったときに、マルチインフォメーションディスプレイに警報が表示され車外のブザーが吹鳴することがあります。全てのドアを施錠すると警報は止まります。

●ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着すると、センサーが反応しないことがあります。その場合は氷や雪、泥を取り除いて再度操作するか、ドアハンドル下部のロックセンサーを使って操作してください。

●すばやいドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ入ってすぐのドアハンドル操作では、解錠しないことがあります。センサーにふれ解錠したことを確認してからドアハンドルを引いてください。

●作動範囲内に他の電子キーがあると、解錠に時間がかかることがあります。

●ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

■長期間運転しないとき

●盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。

●あらかじめスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にすることができます。(→ P. 439)

■システムを正しく作動させるために

●電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。
作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。:→ P. 123)

●トランク内に電子キーを置かないでください。
電子キーの場所（応急用タイヤ★付近、トランク内側の端)、状況（金属製のかばんの中、金属製のものの付近など)、または周囲の電波環境によっては、キー閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。(→ P. 117)

■スマートエントリー＆スタートシステムが正常に作動しないとき

●ドア・トランクの施錠・解錠：→ P. 412

●ハイブリッドシステムの始動：→ P. 413

■カスタマイズ機能

スマートエントリー＆スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 439)

■カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にしたとき

●ドア・トランクの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドア・トランクの施錠・解錠ができます。(→ P. 106, 412)

●ハイブリッドシステムの始動・パワースイッチのモード切りかえ：→ P. 413

●ハイブリッドシステムの停止：→ P. 168

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

■**電波がおよぼす影響について**

●植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、室内アンテナ・車外アンテナ(→ P. 121)から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。

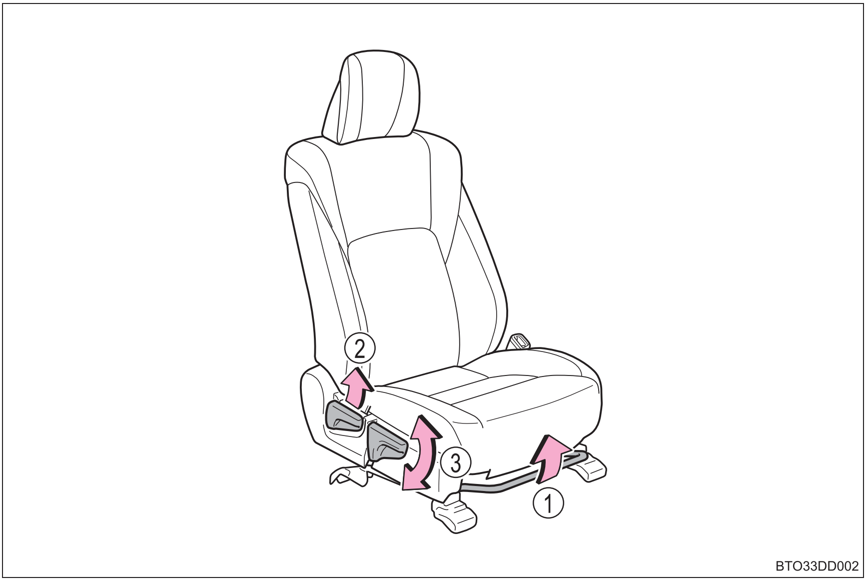
●植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

フロントシート

調整のしかた

▶ マニュアルシート装着車

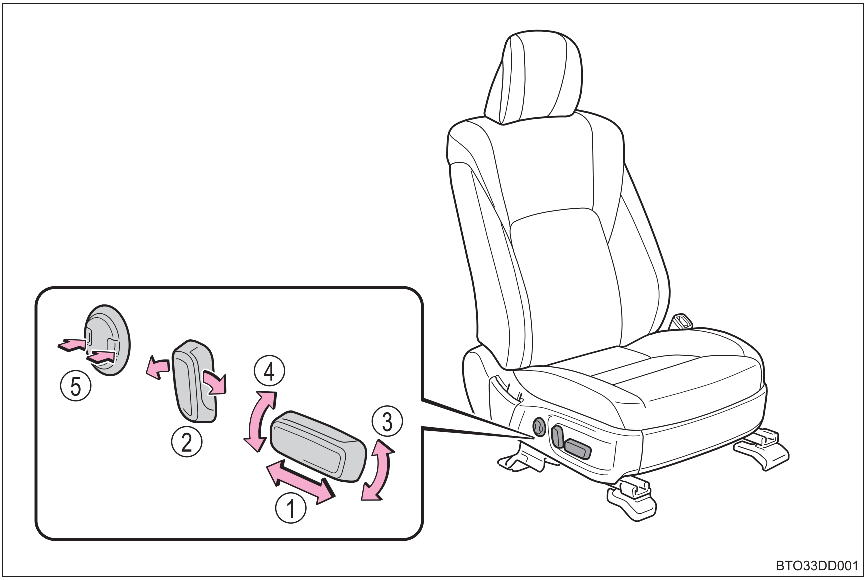


① 前後位置調整

② リクライニング調整

③ シート全体の上下調整（運転席のみ）

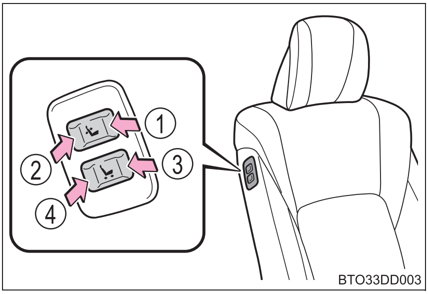
▶ パワーシート装着車



1. 前後位置調整
2. リクライニング調整
3. クッション前端の上下調整（運転席のみ）
4. シート全体の上下調整（運転席のみ）
5. 腰部位置調整（運転席のみ）（ランバーサポート）

助手席側面スイッチ★

① 背もたれを前に傾ける
② 背もたれをうしろに傾ける
③ シートを前方に動かす
④ シートを後方に動かす



知識

■ パワーイージーアクセスシステム★

パワースイッチのモード切りかえ・運転席のシートベルト脱着に連動して、運転席シートとハンドルが動きます。(→ P. 134)

警告

■ シートを調整するとき

● 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。

● シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ リクライニング調整について

背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 運転席からの助手席操作について（助手席側面スイッチ装着車）

助手席に乗員がいるときは操作をしないでください。また、操作中は、助手席に座らないでください。
足を挟むなどして助手席乗員がけがをするおそれがあります。

■ 前後調整の操作をするとき

足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

注意

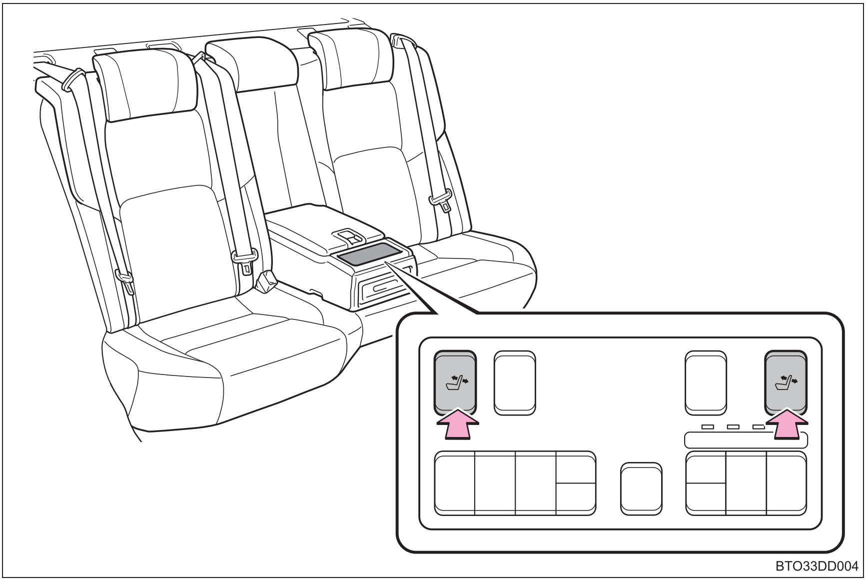
■**運転席からの助手席操作について（助手席側面スイッチ装着車）**

操作するときは助手席の上や足元に作動をさまたげるものがないことを確認してください。シートに無理な力がかかり故障するおそれがあります。

リヤシート

調整のしかた

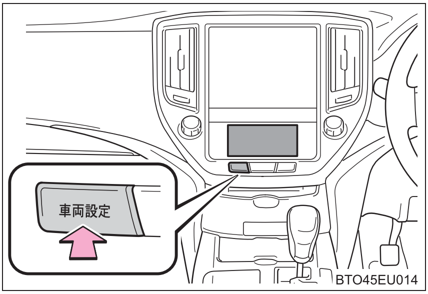
▶ リヤパワーシート装着車



リクライニング調整

フロント席からリヤシートをもどす（リヤパワーシート装着車）

1 車両設定スイッチを押す



2 「後席」を選択し、「リヤシート戻し」を選択する

スイッチを押しているあいだリヤシートがもどります。

BTO33EU005

知識

■フロント席からリヤシートをもどす操作について

パワースイッチが OFF のときでも、車両設定スイッチを押すことにより「リヤシート戻し」画面が表示され、リヤシート位置をもどすことができます。

警告

■リクライニング調整について

背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■フロント席からリヤシートをもどすときは

リヤシートの乗員が車を降りてから操作してください。

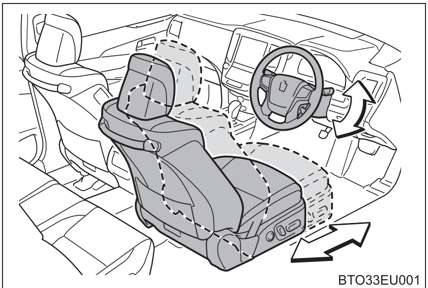
パワーイージーアクセスシステム／マイコンプリセットドライビングポジションシステム／メモリーコール機能★

自動でシート・ハンドル・ドアミラーを動かし、乗り降りしやすい位置に調整したり、お好みのドライビングポジションに調整したりします。

パワーイージーアクセスシステム

乗降時に運転者が乗り降りしやすいよう、シートやハンドルが自動で動きます。

次のすべての操作を行ったとき、シートとハンドルが乗り降りしやすい位置に自動で調整されます。
・パワースイッチを OFF にする
・シートベルトをはずす


BTO33EU001

次のいずれかの操作を行ったとき、シートとハンドルがもとの位置にもどります。
・パワースイッチをアクセサリーモード、または ON モードにする
・シートベルトを着用する

知識

■パワーイージーアクセスシステムの作動について

降車時に、シートの位置が最後方付近にあると、パワーイージーアクセスシステムが作動しない場合があります。

■カスタマイズ機能

パワーイージーアクセスシステムによるシート移動量を変更できます。
（カスタマイズ一覧→ P. 440）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

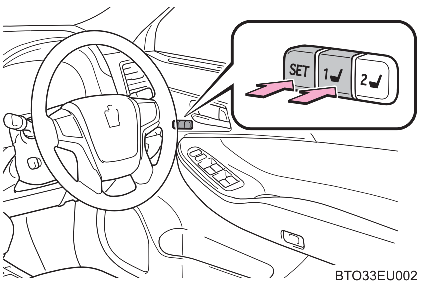
マイコンプリセットドライビングポジションシステム

お好みのドライビングポジション（シートの位置・ハンドルの位置・ドアミラーの角度）を登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。ドライビングポジションは、2 パターンまで登録できます。

■ 登録方法

1. シフトレバーが P の位置にあることを確認する
2. パワースイッチを ON モードにする
3. 運転席・ハンドル・ドアミラー角度をお好みの位置に調整する
4. SET ボタンを押しながら、または SET ボタンを押したあと 3 秒以内に 1、2 のうち登録したいボタンを“ピッ”とブザーが鳴るまで押す

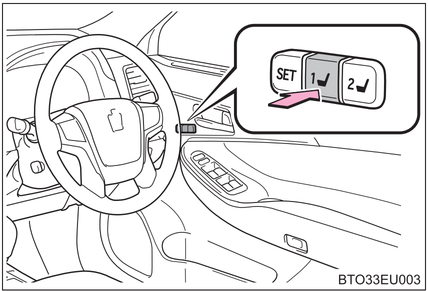
   すでに同じボタンに登録されている場合は、上書きされます。



BTO33EU002

■ 呼び出し方法

1. シフトレバーが P の位置にあることを確認する
2. パワースイッチを ON モードにする
3. 1、2　のうち呼び出したいポジションのボタンを“ピッ”とブザーが鳴るまで押す



BTO33EU003

知識

■ポジションの呼び出し作動を途中で止めたいとき

次のいずれかの操作をします。

●SET ボタンを押す

●1、2 のボタンを押す

●シート調整スイッチ※のいずれかを操作する（シートのみ作動停止）

※：ランバーサポートを除く

●ハンドル位置調整スイッチを操作する（ハンドルのみ作動停止）

■パワースイッチ OFF 後の作動

運転席ドアを開けて 180 秒以内、または運転席ドアを閉め 60 秒以内に呼び出したいポジションのボタンを押すと、シートの位置が調整されます。ハンドルの位置は、パワースイッチを押すと調整されます。

■ドライビングポジションシステムを正しくお使いいただくために

登録位置がシート各調整位置の最端部にある状態で、さらに同じ方向に操作をすると、呼び出し位置にずれが生じることがあります。

メモリーコール機能

お好みのドライビングポジションに電子キー（カードキーを含む）を登録することで、電子キーごとにお好みのドライビングポジションを自動で呼び出すことができます。

■ 登録方法

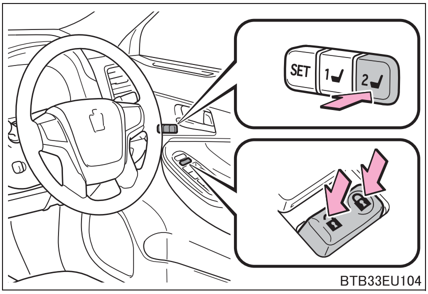
お好みのポジションをあらかじめ 1、2 のいずれかのボタンに登録しておきます。

登録させたい電子キー（カードキーを含む）のみ携帯し、シフトレバーを P にして運転席ドアを閉めてください。
車内にキーが 2 つ以上あると、正確に登録できません。

1. パワースイッチを ON モードにし、連動させたいポジションを呼び出す

   1 または 2 を押すと“ピッ”と音が鳴ります。

2 シートが停止したあと、呼び出したポジションのボタンを押しながら、ドアロックスイッチの施錠側または解錠側を"ピー"とブザーが鳴るまで押す



登録したポジションのボタン、ドアロックスイッチを押すと、それぞれ"ピッ"と音が鳴り、登録が完了すると"ピー"と音が鳴ります。

スマートエントリー&スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでドアを解錠して運転席ドアを開けると、ドライビングポジションが呼び出されます。

■ 呼び出し方法

1 ドライビングポジションを登録した電子キーを携帯し、運転席ドアをスマートエントリー&スタートシステムまたはワイヤレスリモコンで解錠してドアを開ける

ハンドルを除くドライビングポジションが登録された位置へ動きますが、シート位置は乗り込みやすくするために、登録された位置より少し後方に動きます。

ドライビングポジションがすでに登録された位置にある場合は、シートやミラーは動きません。

2 パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするかシートベルトを着用する

シートとハンドルが登録したドライビングポジションに動きます。

■ 解除方法

解除させたい電子キーのみ携帯してください。
車内にキーが 2 つ以上あると、正確に解除できません。

1 パワースイッチを ON モードにする

2 SET ボタンを押しながら、ドアロックスイッチの施錠側または解錠側を"ピッピッ"とブザーが鳴るまで押す

ドアロックスイッチを押すと"ピッ"と音が鳴り、解除が完了すると"ピッピッ"と音が鳴ります。

知識

■メモリーコール機能によるドライビングポジションの呼び出しについて

●電子キーごとにドライビングポジションを登録できるため、携帯する電子キーによっては、呼び出されるドライビングポジションが異なる場合があります。

●運転席ドア以外のドアをスマートエントリー＆スタートシステムで解錠した場合は、ドライビングポジションの呼び出しは行われません。その場合は、登録したドライビングポジションのボタンを押してください。

■カスタマイズ機能

メモリーコール機能による解錠ドアの設定を変更できます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 440）

警告

■シート調整時の警告

シート調整中は、シートがリヤ席乗員にあたったり、運転者の体がハンドルに圧迫されたりしないよう注意してください。

■パワーイージーアクセスシステムでハンドル・シートが作動しているときは

体や荷物などが挟まれないようにしてください。けがをしたり、荷物が破損するおそれがあります。

注意

■メモリーコール機能を登録するときに

手順 2（→ P. 136）のブザーが鳴ったら、ドアロックスイッチから手を離してください。そのままドアロックスイッチを押し続けると、オートドアロック・アンロック機能（→ P. 109）が切りかわる場合があります。

ヘッドレスト

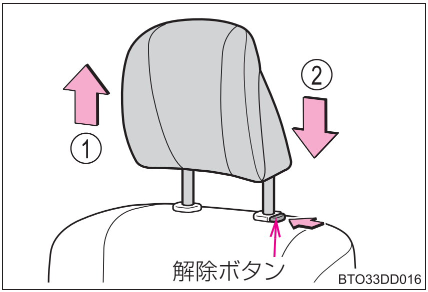
フロント席

上下調整

① 上げる

② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。

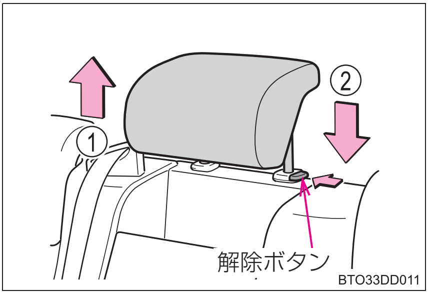


リヤ席

① 上げる

② 下げる

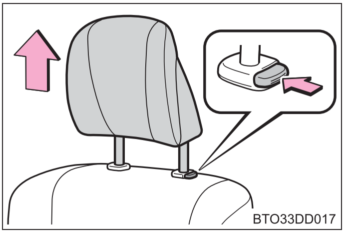
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



知識

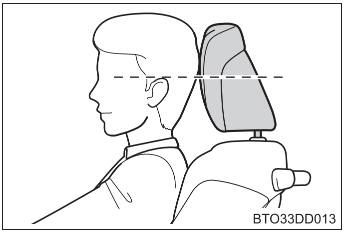
■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます



■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



■リヤ席について

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

警告

■ヘッドレストについて

次のことをお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

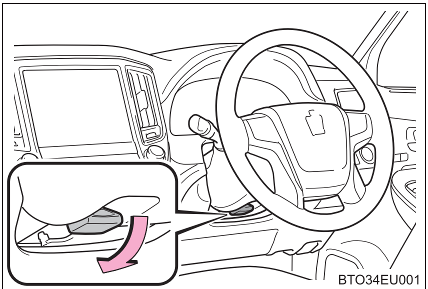
- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

調整のしかた

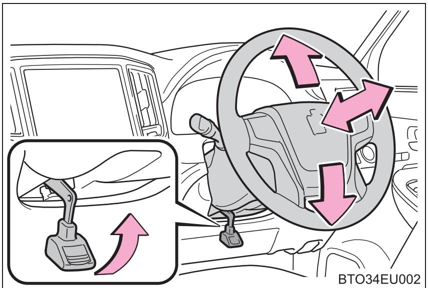
▶ マニュアルチルト＆テレスコピックステアリング

1 ハンドルを持ち、レバーを下げる


BTO34EU001

2 ハンドルを前後・上下に動かし、適切な位置にする

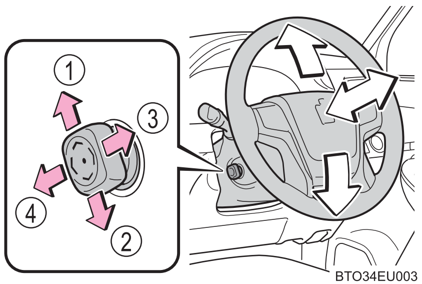
位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。


BTO34EU002

▶ 電動チルト＆テレスコピックステアリング

スイッチを操作すると、ハンドルを次の方向に動かします。

① 上方へ
② 下方へ
③ 手前へ
④ 前方へ

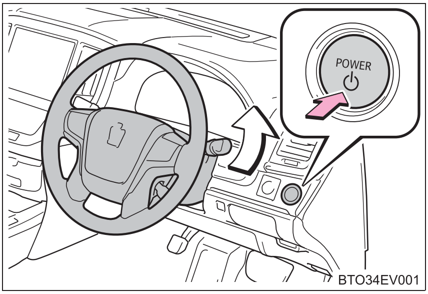


BTO34EU003

オートチルトアウェイ＆リターン機能（マイコンプリセットドライビングポジションシステム装着車を除く）

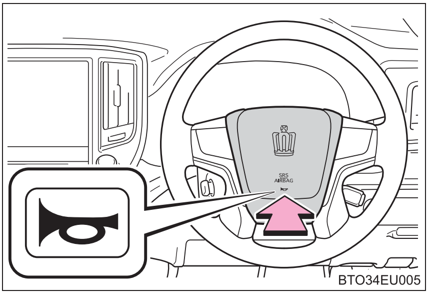
パワースイッチをOFFにすると、乗り降りがしやすいようにハンドルが最前方・最上段に移動します。

パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするともとの位置にもどります。



ホーン

ハンドルの 周辺部を押すとホーンが鳴ります。



知識

■電動チルト＆テレスコピックステアリングの作動条件

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき※

※ 運転席シートベルトを装着していれば、パワースイッチのモードにかかわらず、ハンドルの調整ができます。

■ハンドル位置の自動調整★

お好みのハンドル位置をマイコンプリセットドライビングポジションシステムに登録すると、自動で調整されます。（→ P. 134）

■電動チルト＆テレスコピックステアリングのハンドル位置調整について

パワーイージーアクセスシステム装着車では、車両カスタマイズ機能の「降車時運転席シート移動量調整」で「OFF」以外を選択しているときは、パワースイッチが OFF でも、シートベルトのバックルを装着すると、ハンドルの位置を調整できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■パワーイージーアクセスシステムでのハンドル、シートの作動について

●オートアウェイ機能作動中・オートアウェイ機能作動終了後に、運転席のシート調整スイッチ（→ P. 129）のいずれかを操作、またはマイコンプリセットドライビングポジションシステム（→ P. 135）の操作をした場合、オートリターン機能は作動しません。

●ハイブリッドシステム始動時にハンドル、シートの作動が一時停止し、ハイブリッドシステム始動後に作動が再開することがあります。

●オートリターン機能作動中に車両を発進させるとシートの作動が停止します。
停止したときは、車両を停止しシートの前後位置を適切な位置に調整してください。
なお、この場合、ハンドルはリターン機能作動を継続します。

■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。（→ P. 141）

警告

■走行中の留意事項

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ハンドル位置を調整したあとは（マニュアルチルト＆テレスコピックステアリング装着車）

ハンドル位置が確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然かわり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

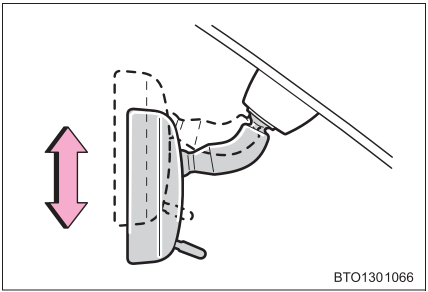
インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する



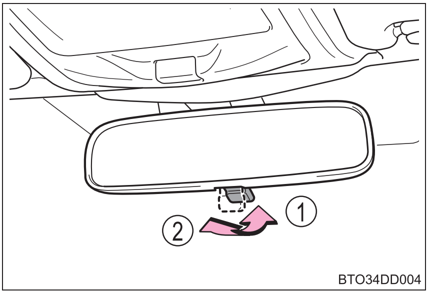
防眩機能

▶ 手動防眩ミラー装着車

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

① 通常使用時

② 防眩時

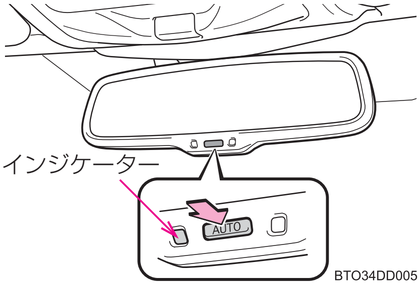


▶ 自動防眩ミラー装着車

後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

自動防眩機能の切りかえ
ON ／ OFF

ON のときはインジケーターが点灯します。
パワースイッチを ON モードにしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。
ボタンを押すと OFF になりインジケーターが消灯します。



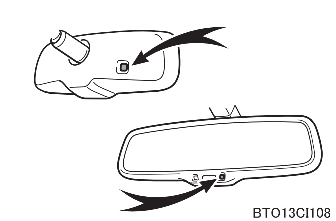
BTO34DD005

3 各部の操作

知識

■ センサーの誤作動防止（自動防眩ミラー装着車）

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。


BTO13CI108

⚠ 警告

走行中はミラーの調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

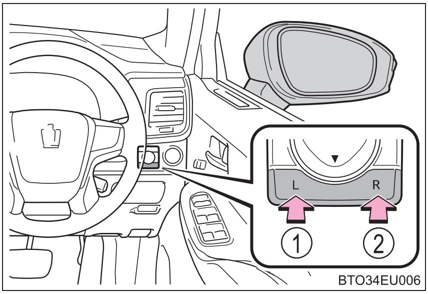
ドアミラー

調整のしかた

1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

① 左

② 右



BTO34EU006

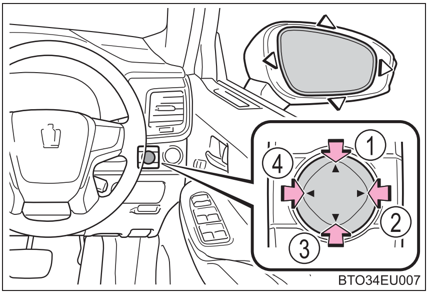
2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを押す

① 上

② 右

③ 下

④ 左



BTO34EU007

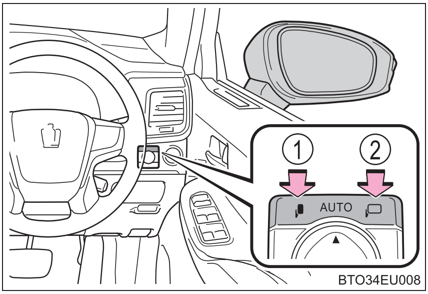
ドアミラーを格納する

ボタンを押す

① 格納する

② もとの位置にもどす

AUTO 電動格納ミラー装着車は、スイッチを中立の位置（AUTO）にすると自動モードに切りかわり、ドアの解錠・施錠と連動します。



BTO34EU008

リバース連動機能について★

ミラー選択スイッチのLまたはRどちらかが選択されているときは、後退時に鏡面が下向きになり、下方が見やすくなります。
この機能を使用しないときは、ミラー選択スイッチを中立の位置（L・Rともに選択していない状態）にしてください。

■ 後退時に下向きになる角度を調整するときは

シフトレバーをRに入れた状態で、鏡面位置を調整することで、下向きに動く角度を調整できます。
次回からシフトレバーをRにするたびに、その角度で作動します。

通常時（シフトレバーがR以外のとき）の鏡面位置を基準に下向きに動く角度を記憶するため、調整後に通常時の鏡面位置を変更すると、それに伴って後退時の鏡面位置も変化します。
通常時の鏡面位置を変更したときは、後退時に下向きになる角度も調整してください。

知識

■鏡面調整の作動条件

パワースイッチがアクセサリーモードまたはONモードのとき

■ミラーが曇ったとき

リヤウインドウデフォッガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→ P. 264）

■ミラー角度の自動調整★

お好みのミラー角度をマイコンプリセットドライビングポジションシステムに登録すると、自動で調整されます。（→ P. 135）

■レインクリアリングミラー

鏡面に付着した水滴を膜状に広げる親水効果を持つコーティングを施しており、雨天時における後方視認性を向上させます。

- 鏡面に汚れなどが付着したときや、地下や屋内駐車場などの日のあたらない場所に長時間駐車したときなどは親水効果が低下しますが、晴天時に1・2日間太陽光をあてることで親水効果は徐々に回復します。
- 低下した親水効果を早く回復させたいときは回復作業（→ P. 308）を行ってください。

■寒冷時に「AUTO」で使用するとき

寒冷時に「AUTO」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると、自動で格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

■走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ミラーが動いているとき

手をふれないでください。
手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ミラーヒーターが作動しているとき

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

注意

■レインクリアリングミラーの取り扱いについて

親水効果には限りがあります。長持ちさせるためには次のことをお守りください。

- シリコーン入りの撥水剤や油膜取り剤、ワックス、その他のカーメンテナンス商品を使用する場合は、鏡面に付着させないよう十分注意してください。
- 砂の付いた布、油膜取り剤、研磨剤など、鏡面を傷付けるものでこすらないでください。
- 鏡面が凍結したときは、温水をかけるか、ミラーヒーターを作動させるなどして解氷してください。
鏡面の凍結部分はプラスチックの板などで削り落とさないでください。
- 撥水洗車を行ったときは、鏡面を大量の水で洗い、きれいなやわらかい布などでふき取ってください。

パワーウインドウ

開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

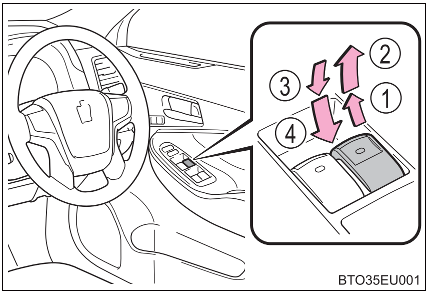
① 閉める

② 自動全閉※

③ 開ける

④ 自動全開※

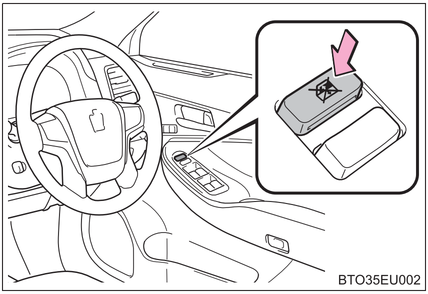
※ 途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



ウインドウロックスイッチ

スイッチを押すと運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ドアガラスを閉めることができないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、閉めることができないドアのパワーウインドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- ●車を停止し、パワースイッチを ON モードの状態で、パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉めることができます。
- ●上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。

1. パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける
2. パワーウインドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 2 秒間押し続ける
3. 再度、パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 2 秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。
以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ドアロック連動ドアガラス開閉機能

- ●メカニカルキーでドアガラスを開閉できます。※（→ P. 412）
- ●ワイヤレスリモコンでドアガラスを開閉できます。※（→ P. 106）

※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。（→ P. 440）

■オートアラーム

オートアラームがセットされているときに、ドアロック連動ドアガラス開閉機能でドアガラスを閉めると、オートアラームが作動することがあります。（→P. 70）

■窓開警告ブザー

パワースイッチが OFF でドアガラスが開いていると、運転席ドアを開けたときにブザーが鳴り、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

■カスタマイズ機能

ドアロック連動ドアガラス開閉機能などの設定を変更できます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 440）

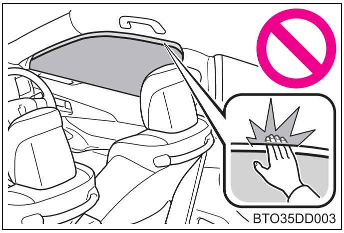
⚠警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ドアガラスを開閉するとき

●運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。
また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。(→ P. 149)

●ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



●ワイヤレスリモコンやメカニカルキーを使ってドアガラスを操作するときは、ドアガラスに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンやメカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

●車から離れるときはパワースイッチを OFF にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■挟み込み防止機能

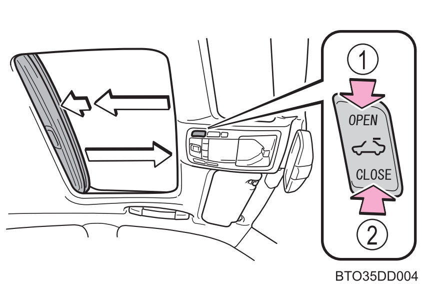
●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。

●挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

ムーンルーフ★

頭上のスイッチでムーンルーフを開閉･チルトアップ／ダウンできます。

ムーンルーフを開閉する



BTO35DD004

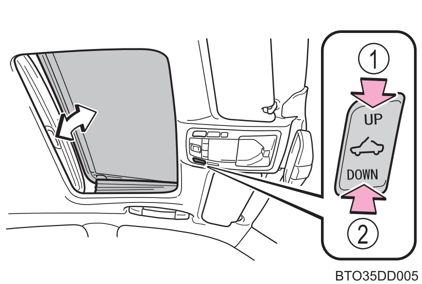
① ムーンルーフを開く※

全開の手前の位置で止まります。（風切り音の低減機能）
全開にしたいときは、スイッチをもう一度押してください。

② ムーンルーフを閉める※

※ 途中で停止するときは、ムーンルーフスイッチを軽く押します。

チルトアップ／ダウンする



BTO35DD005

① チルトアップ※

② チルトダウン※

※ 途中で停止するときは、ムーンルーフスイッチを軽く押します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間は操作できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■挟み込み防止機能

ムーンルーフを閉めるとき、またはチルトダウンするときに、ムーンルーフが異物の挟み込みを感知すると、作動が停止し少し開きます。

■サンシェード

手動で開閉できます。また、ムーンルーフが開くと連動して開きます。

■ドアロック連動ムーンルーフ開閉機能

●メカニカルキーでムーンルーフを開閉できます。※（→ P. 412）

●ワイヤレスリモコンでムーンルーフを開閉できます。※（→ P. 106）

※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。（→ P. 440）

■オートアラーム

オートアラームがセットされているときに、ドアロック連動ムーンルーフ開閉機能でムーンルーフを閉めると、オートアラームが作動することがあります。（→ P. 70）

■ムーンルーフが正常に閉まらないとき

次の操作を行ってください。

●閉まるときに反転し、閉じ切らない場合

1 車を停止する

2 スイッチの“CLOSE”側を押し続ける※1
ムーンルーフが閉じ、再び開き、10 秒間停止します。※2 その後再び閉じ、チルトアップし、1 秒間停止します。チルトダウン後、いったん開いてから閉じます。

3 ムーンルーフが完全に閉まったことを確認し、スイッチから手を離す

●チルトダウン時に反転し、閉じ切らない場合

1 車を停止する

2 スイッチの“UP”側を押し続け※1、ムーンルーフをチルトアップ位置にする

3 スイッチから一度手を離し、再度“UP”側を押し続ける※1
ムーンルーフがチルトアップの状態で 10 秒間停止し、※2 微調節後 1 秒間停止します。チルトダウン後、いったん開いてから閉じます。

4 ムーンルーフが完全に閉まったことを確認し、スイッチから手を離す

※1 途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。

※2 10 秒間停止したあとにスイッチから手を離すと、それ以降オート作動できなくなります。その場合は、スイッチの“UP”、または、“CLOSE”側を押し続けてください。ムーンルーフがチルトアップし、1 秒間停止します。その後、チルトダウンし、いったん開いてから閉じます。ムーンルーフが完全に閉まったことを確認したら、スイッチから手を離してください。

以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ムーンルーフ開警告ブザー

パワースイッチが OFF でムーンルーフが開いていると、運転席ドアを開けたときにブザーが鳴り、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

■カスタマイズ機能

ドアロック連動ムーンルーフ開閉機能などの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 440)

⚠警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ムーンルーフを開けているとき

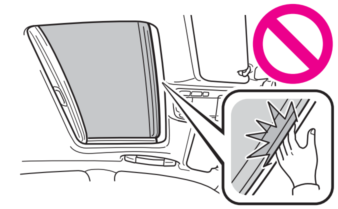
●走行中はルーフから手や顔を出さない

●開口部に腰かけない

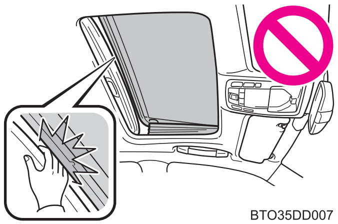
■ムーンルーフを開閉するとき

●運転者は、ムーンルーフ開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはムーンルーフの操作をさせないでください。お子さまや他の人がムーンルーフに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

●ムーンルーフを開閉や、チルトダウンするときは、乗員の手・腕・頭・首を挟んだり巻き込んだりしないように注意してください。


BTO35DD006

●ワイヤレスリモコンやメカニカルキーを使ってムーンルーフを操作するときは、ムーンルーフに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンやメカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がムーンルーフ挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。


BTO35DD007

●車から離れるときはパワースイッチをOFF にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■挟み込み防止機能

●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。

●挟み込み防止機能は、ムーンルーフが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを押し続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

運転 4

4-1. 運転にあたって
運転にあたって 158
荷物を積むときの注意........... 166

4-2. 運転のしかた
パワー（イグニッション）
スイッチ 167
EV ドライブモード 173
トランスミッション.............. 176
方向指示レバー 181
パーキングブレーキ.............. 182

4-3. ランプのつけ方・
ワイパーの使い方
ランプスイッチ 183
アダプティブハイビームシステム
.... 186
フォグランプスイッチ........... 193
ワイパー＆ウォッシャー....... 195
ヘッドランプクリーナー....... 199

4-4. 給油のしかた
給油口の開け方......................200

4-5. 運転支援装置について
クルーズコントロール 204
レーダークルーズコントロール
....208
ITS Connect........................223
運転を補助する装置...............232
PCS（プリクラッシュ
セーフティシステム）..........239
BSM（ブラインド
スポットモニター）.............246

4-6. 運転のアドバイス
ハイブリッド車運転の
アドバイス............................251
寒冷時の運転..........................253

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

ハイブリッドシステムを始動する

→ P. 167

発進する

1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする（→ P. 176）
2 パーキングブレーキを解除する（→ P. 182）
3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを P にします。（→ P. 176）

駐車する

1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
2 パーキングブレーキをかける
3 シフトレバーを P にする（→ P. 176）
4 パワースイッチを押してハイブリッドシステムを停止する
5 電子キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め※を使用してください。
※ 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

上り坂の発進のしかた

1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを D にする
2 アクセルペダルをゆっくり踏む
3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

■上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。(→ P. 232)

■ハイブリッドシステム出力の抑制について（ブレーキオーバーライドシステム）

●アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、ハイブリッドシステム出力を抑制する場合があります。

●ブレーキオーバーライドシステム作動中は、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。(→ P. 375)

■急発進の抑制について（ドライブスタートコントロールシステム）

●次のような通常と異なる操作が行われた場合、ハイブリッド出力を抑制する場合があります。

・アクセルペダルを踏み込んだまま、シフトレバーを操作した（R から D または S、D または S から R、N から R、P から D または S、P から R）とき。この場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。(→ P. 375)

・後退時にアクセルペダルを踏みすぎたとき。

●ドライブスタートコントロールシステムが作動していると、ぬかるみや新雪などからの脱出が困難な場合があります。そのようなときは、TRC の作動を停止(→ P. 234)することにより、ドライブスタートコントロールシステムが停止し、脱出しやすくなります。

■燃費を良くする走り方

ハイブリッド車も急加速を控えるなど、通常のガソリン車と同様の心がけが必要です。(→ P. 251)

■雨の日の運転について

●雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。

●雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。

●雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

⚠警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき

車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している状態で停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。
  - ・アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ・後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
  - ・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
  - ・ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ハイブリッド車は電気モーターでの走行時にエンジン音がしないため、周囲の人が車両の接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置が ON でも、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かないことがありますので、十分注意して運転してください。特に車両接近通報装置を OFF にしているときは、注意が必要です。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を停めたりしないでください。
  排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
  なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 352 を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→ P. 176)

⚠警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転するとき

●走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。

●すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。

■すべりやすい路面を運転するとき

●急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。

●急激なアクセル操作、シフトチェンジによるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。

●水たまり走行後はブレーキペダルを踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■シフトレバーを操作するとき

●シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

●車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

●車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

●車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

●走行中にシフトレバーをNに入れると、ハイブリッドシステムの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。

●アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠警告

■継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。
必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

■停車するとき

- 不必要にアクセルペダルを踏み込まないでください。
  シフトレバーが P または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯しているときは常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
  排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

警告

■駐車するとき

●炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。
放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる

●ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

●ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。

●シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。

●車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P に入れ、ハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。
READY インジケーターが点灯しているあいだは、車から離れないでください。

●READY インジケーターが点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。

■仮眠するとき

必ずハイブリッドシステムを停止してください。
READY インジケーターが点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やハイブリッドシステムの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

■ブレーキをかけるとき

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。
ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- 電子制御ブレーキシステムが機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- ブレーキシステムは２つ以上の独立したシステムで構成されており、一つの油圧システムが故障しても、残りは作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■万一脱輪したとき

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■運転しているとき

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。
アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、ハイブリッドシステム出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■駐車するとき

必ずシフトレバーをＰにしてください。Ｐにしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

⚠注意

■部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかり持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法はP. 386, 396を参照してください。

■冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスミッション・トランスファー（4WD 車）・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

⚠ 警告

■積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はトランクに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
  - ・運転席足元
  - ・助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
  - ・パッケージトレイ
  - ・インストルメントパネル
  - ・ダッシュボード
  - ・ナビゲーション画面の前
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

■荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

パワー（イグニッション）スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、ハイブリッドシステムの始動またはパワースイッチのモードを切りかえることができます。

ハイブリッドシステムの始動のしかた

1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

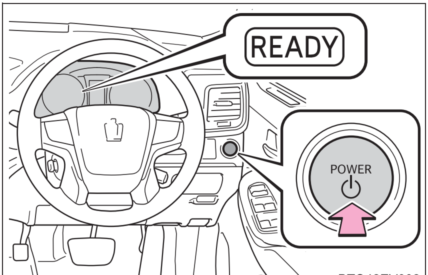
2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

3 ブレーキペダルをしっかり踏む

マルチインフォメーションディスプレイに とメッセージが表示されます。

表示されないと、ハイブリッドシステムは始動しません。

4 パワースイッチを押す



BTO42EV002

READYインジケーターが点灯すれば、ハイブリッドシステムは正常に始動しています。

READY インジケーターが点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

パワースイッチのどのモードからでもハイブリッドシステムを始動できます。

5 READY インジケーターが点灯したことを確認する

READY インジケーターが消灯している状態では走行できません。

ハイブリッドシステムの停止のしかた

1 車両を完全に停止させる

2 シフトレバーを P の位置にする

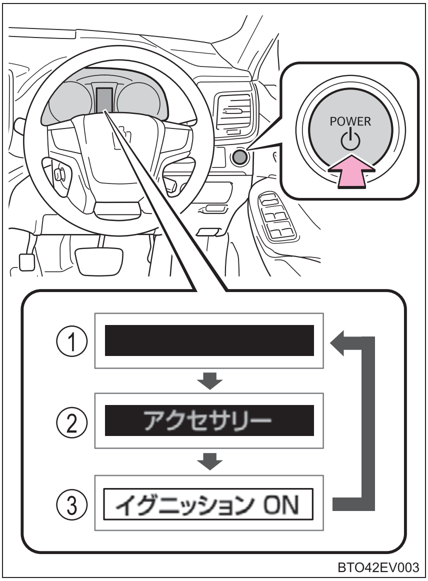
3 パーキングブレーキをかける（→ P. 182）

4 パワースイッチを押す

5 ブレーキペダルから足を離してマルチインフォメーションディスプレイの「アクセサリー」の表示が消灯していることを確認する

パワースイッチの切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードを切りかえることができます。（スイッチを押すごとにモードが切りかわります）



① OFF ※

非常点滅灯が使用できます。

② アクセサリーモード

オーディオなどの電装品が使用できます。

③ ON モード

すべての電装品が使用できます。
オドメーター／トリップメーターの切りかえスイッチを押すと表示がオドメーター、またはトリップメーターに切りかわります。

※ シフトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりません。

シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止したとき

シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、ハイブリッドシステムは停止しますが、パワースイッチのモードは OFF になりません。次の手順で OFF にしてください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認する
2. シフトレバーを P の位置にする
3. マルチインフォメーションディスプレイに「アクセサリー」が表示されていることを確認し、パワースイッチを 1 回押す
4. マルチインフォメーションディスプレイの「アクセサリー」の表示が消灯していることを確認する

知識

■自動電源 OFF 機能

シフトレバーが P にあるとき、20 分以上アクセサリーモードか 1 時間以上 ON モード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしたままにしておくと、パワースイッチが自動で OFF になります。
ただし、自動電源 OFF 機能は、補機バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリーモード、または ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■ハイブリッド車特有の音と振動について

→ P. 61

■電子キーの電池の消耗について

→ P. 103

■外気温が低いときは

ハイブリッドシステム始動時にREADYインジケーターの点滅時間が長くなることがあります。READY インジケーターが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

■スマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 124

■ご留意いただきたいこと

→ P. 125

■ハイブリッドシステムが始動しないとき

● イモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。（→ P. 68）トヨタ販売店へご連絡ください。

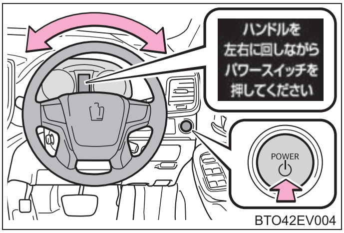
● シフトレバーがPの位置にあるか確認してください。ハイブリッドシステムを始動するときに、シフトレバーが傾いたり、P 以外の位置にするとハイブリッドシステムを始動することができない場合があります。マルチインフォメーションディスプレイに「始動時は P レンジに入れてください」、または「ハイブリッドシステム停止　P レンジに入れてください」が表示されます。

■ステアリングロックについて

パワースイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。パワースイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないとき

マルチインフォメーションディスプレイに「ハンドルを左右に回しながらパワースイッチを押してください」が表示されます。シフトレバーが P の位置にあることを確認して、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。



■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にハイブリッドシステムの始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10 秒程度でもとの状態にもどります。

■マルチインフォメーションディスプレイに「スマートエントリー&スタートシステム故障　取扱書を確認」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■万一、READY インジケーターが点灯しないときは

正しい手順で始動操作を行っても READY インジケーターが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。

■ハイブリッドシステムに異常があるときは

→ P. 365

■電子キーの電池が切れたときは

→ P. 328

■パワースイッチの操作について

●パワースイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せてない場合は、モードの切りかえやハイブリッドシステムの始動ができない場合があります。また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。

●パワースイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、ハイブリッドシステムが始動しない場合があります。パワースイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは

→ P. 413

警告

■ハイブリッドシステムを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。
思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

■走行中の警告

ハイブリッドシステムの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステアリングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■緊急時のハイブリッドシステム停止方法

走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したい場合には、パワースイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してください。(→ P. 352)
ただし、緊急時以外は走行中にパワースイッチにふれないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

注意

■補機バッテリーあがりを防止するために

- ハイブリッドシステム停止中は、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- ハイブリッドシステム停止中に、マルチインフォメーションディスプレイの「アクセサリー」の表示が消灯していない場合、パワースイッチが OFF になっていません。パワースイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、パワースイッチがアクセサリーモードとなるため、そのまま放置すると補機バッテリーあがりの原因となります。

■ハイブリッドシステムを始動するとき

もしハイブリッドシステムが始動しにくい場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■パワースイッチの操作について

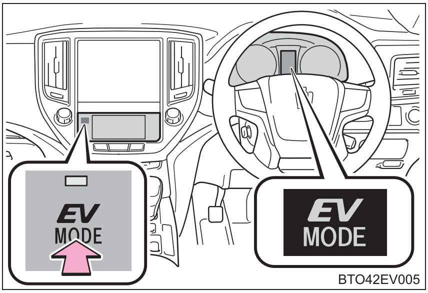
パワースイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

EV ドライブモード

EV ドライブモードは、駆動用電池から電力を供給し、電気モーターのみを使って走行するモードです。早朝、深夜の住宅街や屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

通常は車両接近通報装置が ON になっているため、静かに走行したい場合は OFF にしてください。(→ P. 59)

EV ドライブモードの ON ／ OFF を切りかえる



BTO42EV005

EV ドライブモードになると、マルチインフォメーションディスプレイに「EV MODE」が表示されます。

もう一度スイッチを押すと通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）にもどります。

知識

■EV ドライブモードの切りかえについて

次のときは EV ドライブモードに切りかわらない場合があります。EV ドライブモードに切りかわらないときはブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ハイブリッドシステムが高温のとき
  炎天下に駐車したあとや登降坂、高速走行後など
- ハイブリッドシステムが低温のとき
  約 0 ℃を下まわるような低温下に長時間駐車したあとなど
- ガソリンエンジンが暖機運転中のとき
- 駆動用電池の充電量が低いとき
  エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態（→ P. 93）
- 車速が高いとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- フロントウインドウガラスの曇り取りを使用しているとき

■ガソリンエンジンが冷えているときの EV ドライブモードの切りかえについて

ガソリンエンジンが冷えているときにハイブリッドシステムを始動した場合、しばらくすると暖機運転のためガソリンエンジンが自動的に始動し、EV ドライブモードに切りかえることができなくなります。
ハイブリッドシステム始動操作後、READY インジケーターが点灯したら、ガソリンエンジンが始動する前に EV ドライブモードスイッチを押してください。

■EV ドライブモードの自動解除について

EV ドライブモードで走行中、次のときは自動的に通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。EV ドライブモードが解除されるときは、ブザーが鳴り、EV ドライブモード表示灯が点滅したあと、消灯します。

●駆動用電池の充電量が低下したとき
エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態（→ P. 93）

●車速が高いとき

●アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

■EV ドライブモードの走行可能距離

EV ドライブモードの走行可能距離は数百 m から約 1km 程度です。ただし、車両の状況によっては EV ドライブモードが使用できない場合があります。（走行距離は、駆動用電池の充電量や走行状態によって異なります）

■燃費について

ハイブリッドシステムは、通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）において、最も燃費がよくなるように制御されています。EV ドライブモードを多用すると、燃費が悪くなることがあります。

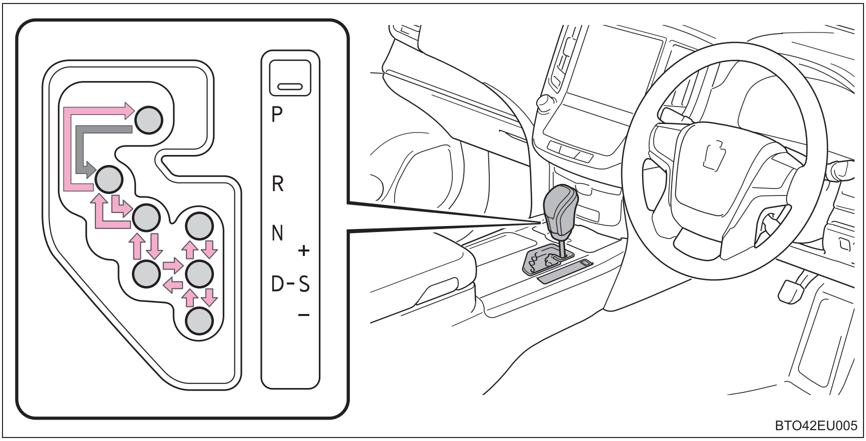
⚠ 警告

■走行中の警告

EV ドライブモードではエンジン音がしないため、周囲の人が車両の発進や接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置が ON でも、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かない場合がありますので、十分注意してください。特に車両接近通報装置を OFF にしているときは、注意が必要です。

トランスミッション

シフトレバーの動かし方



パワースイッチが ON モードの状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの使用目的

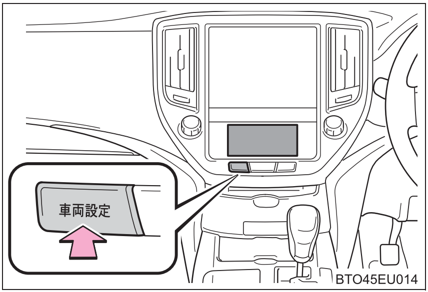
シフトポジション	目的および状態
P	駐車またはハイブリッドシステムの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行※1
S	S モード走行※2 (→ P. 178)

※1 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

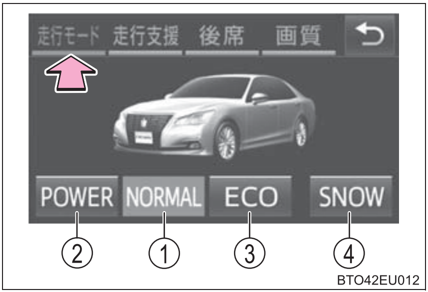
※2 S モードはシフトレンジを選択することで、加速力やエンジンブレーキ力を切りかえることができます。

走行モードの選択

1 車両設定スイッチを押す



2 「走行モード」を選択し、各走行モードを選択する



① NORMAL

通常走行に適しています。

② POWER ／ SPORT ※

ステアリングの応答性およびハイブリッドシステムの制御により、アクセルレスポンスを向上させ、山岳路などできびきびとした走りを楽しみたいときに適しています。

※ ロイヤル：POWER
アスリート：SPORT

③ ECO（エコドライブモード）

通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになり、またエアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、燃費を向上させる走行に適しています。

④ SNOW（スノーモード）

雪道など、すべりやすい路面での発進・走行するときに選択してください。

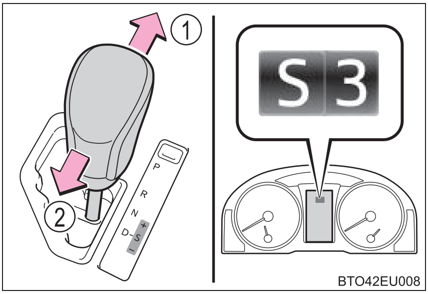
「NORMAL」、「ECO」選択時に押すことができます。
解除するにはもう一度押します。

NORMAL・POWER ／ SPORT・ECO のモードを切りかえるには、選択されていないいずれかのモードを選択します。
また、エコドライブモードが ON の状態はパワースイッチを OFF にしても記憶されています。

「POWER ／ SPORT」、「ECO」、「SNOW」を選択時、マルチインフォメーションディスプレイ内の表示灯が点灯します。

S モードでのシフトレンジ選択

シフトレバーを S ポジションにすると、S モードに切りかわります。シフトレバーの操作で思い通りのシフトレンジを選択し、運転することができます。シフトレバーの“－”側または“＋”側の操作でシフトレンジを選択することができます。



① シフトアップ

② シフトダウン

シフトレバーを操作するごとに 1 速ずつ変速します。
“＋”側へ押し続けたときは、S6 になります。

S1 から S6 レンジのあいだで選択されているシフトレンジがメーターに表示されます。

S ポジションへ操作したときの初期レンジは、車速に応じて S2・S3・S4 もしくは S5 に設定されます。

■ シフトレンジ機能

- 加速力・エンジンブレーキ力は、6 段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字が小さい方が、加速力・エンジンブレーキ力は大きくなり、エンジン回転数も高くなります。
- 1 から 5 のシフトレンジでの加速時は、車速に応じて、シフトレンジが自動的に切りかわります。

知識

■シフトダウン制限警告ブザー

安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーを操作してもシフトダウンできない場合があります。（このときブザーが 2 回鳴ります）

■スノーモード、POWER ／ SPORT の自動解除

●スノーモードまたは POWER ／ SPORT を選択して走行後、ハイブリッドシステムを停止すると、自動的に NORMAL に切りかわります。

●POWER ／ SPORT 選択時に「SNOW」を押すと NORMAL（スノーモード）に切りかわります。

■駆動力の抑制について（ドライブスタートコントロールシステム）

次のような通常と異なる操作が行われた場合、駆動力を抑制する場合があります。

●アクセルペダルを踏み込んだまま、シフトレバーを操作した（R から D または S、D または S から R、N から R、P から D または S、P から R）とき。
この場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。（→ P. 375）

●後退時にアクセルペダルを踏みすぎたとき。

■クルーズコントロール★またはレーダークルーズコントロール★を使って走行しているとき

エンジンブレーキを目的に次の操作を行っても、クルーズコントロールまたはレーダークルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。

●S モード走行時に 5 または 4 へシフトダウンしたとき

●D ポジションで走行中に走行モードを POWER ／ SPORT にしたとき

■リバース警告ブザー

シフトレバーを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

■エコドライブモード時のエアコン作動について

エコドライブモードは、暖房／冷房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。空調の効きをよりよくしたいときは、風量の調整またはエコドライブモードの解除をしてください。

■シフトレバーを P からシフトできないとき

→ P. 411

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠ 警告

■ **すべりやすい路面を走行するとき**

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

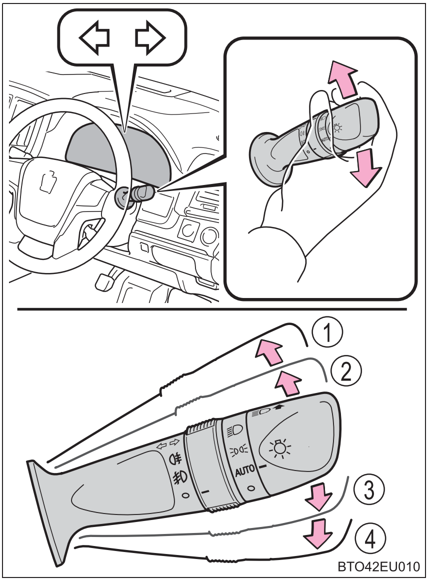
⚠ 注意

■ **駆動用電池の充電について**

シフトレバーが N では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、N で長時間放置すると駆動用電池の残量が低下し、走行不能になるおそれがあります。

方向指示レバー

操作のしかた



① 左折

② 左側へ車線変更（レバーを途中で保持）

レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。

③ 右側へ車線変更（レバーを途中で保持）

レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。

④ 右折

知識

■ **作動条件**

パワースイッチが ON モードのとき

■ **表示灯の点滅が異常に速くなったとき**

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

パーキングブレーキをかけるには、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングペダルをいっぱいまで踏み込む
(再度踏み込むと解除される)

BTO42EU011

知識

■冬季のパーキングブレーキの使用について

→ P. 254

■パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー

→ P. 370

注意

■走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

ランプスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

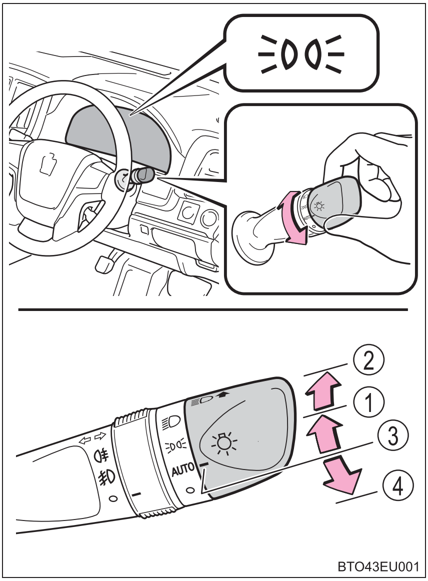
操作のしかた

① 車幅灯・尾灯・番号灯・インストルメントパネルランプを点灯

② 上記ランプとヘッドランプを点灯

③ AUTO ヘッドランプ・LED デイライト（→ P. 184）・車幅灯などを自動点灯・消灯（パワースイッチが ON モードのとき）

④ 消灯



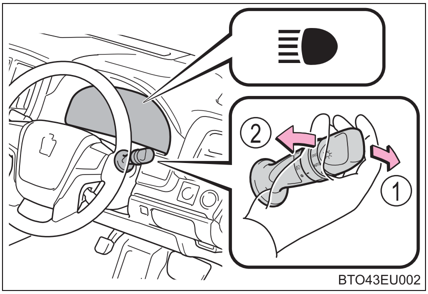
ハイビームにする

① ヘッドランプ点灯時ハイビームに切りかえ

レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。

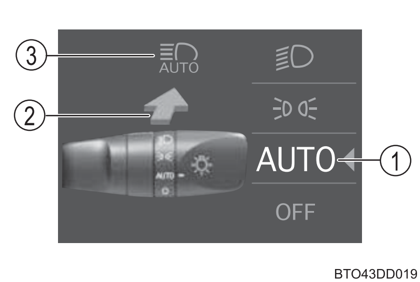
② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



マルチインフォメーションディスプレイ

ランプスイッチを操作すると、マルチインフォメーションディスプレイにランプスイッチの状態が約 3 秒間表示されます



BTO43DD019

① 現在のスイッチ位置

選択されているスイッチ位置が明るく表示されます。

② ハイビーム切りかえ操作表示

アダプティブハイビームシステムスイッチが ON のときに表示されます。

③ アダプティブハイビームシステム表示★

アダプティブハイビームシステムが作動すると明るくなります。

AFS（アダプティブフロントライティングシステム）★

AFS は、交差点やカーブで優れた視認性を確保するため、ハンドル操作によって変化するタイヤの角度や車速に応じて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

車速が 10km/h 以上のときに作動します。

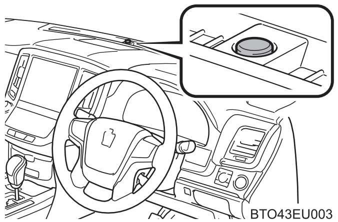
知識

■LED デイライト

日中での走行時、自車が他の運転者から見やすくなるように、ハイブリッドシステム始動後、パーキングブレーキを解除し、ランプスイッチを AUTO にするとLED デイライトが自動で点灯します。（車幅灯より明るく点灯します。）
LED デイライトは夜間の使用を意図したものではありません。

■ライトセンサー

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。


BTO43EU003

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ランプ消し忘れ防止機能

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にして運転席ドアを開けるとすべてのランプが自動的に消灯します。

再びランプを点灯する場合は、パワースイッチを ON モードにするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度 または の位置にします。

■オートレベリングシステム

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■カスタマイズ機能

ライトセンサーの感度の設定やマルチインフォメーションディスプレイ表示の有無を変更できます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 441）

⚠注意

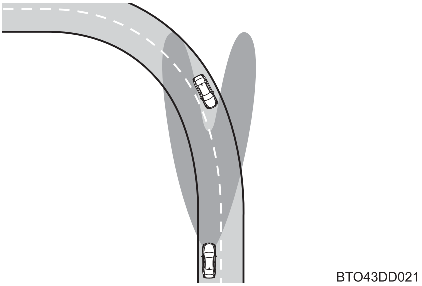
■補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

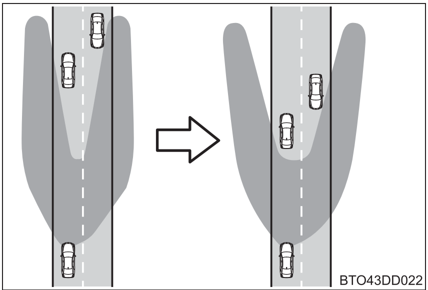
アダプティブハイビームシステム★

アダプティブハイビームシステムは、インナーミラーに設置されたカメラセンサーにより対向車または先行車のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビーム・ロービーム・遮光範囲可変ビームを切りかえます。

遮光範囲可変ビーム切りかえ中は、対向車や先行車の範囲を遮光し、それら以外の範囲をハイビームで照射します。これにより、前方車両を眩惑することなく、前方の視界確保を補助します。


BTO43DD021

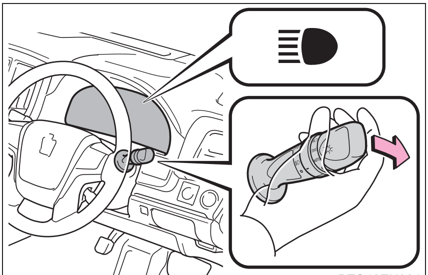
また、対向車や先行車の位置がかわった場合には遮光範囲を変化、追従させることができます。


BTO43DD022

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アダプティブハイビームシステムの使い方

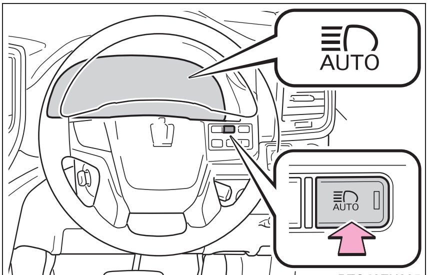
1 ランプスイッチをAUTOまたは にし、レバーを前方へ押す



BTO43EU004

2 アダプティブハイビームシステムスイッチを押す

ヘッドランプが点灯しているとき、アダプティブハイビームシステム表示灯が点灯します。



BTO43EU005

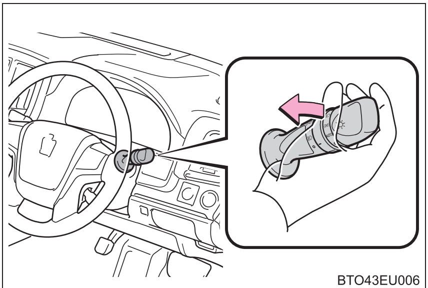
マルチインフォメーションディスプレイ

ランプスイッチを操作すると、マルチインフォメーションディスプレイに約３秒間表示されます。
ヘッドランプが点灯しておりランプスイッチがハイビーム位置のとき、アダプティブハイビームシステム表示が明るくなります

BTO43DD020

手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

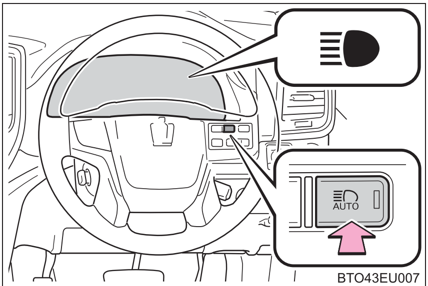

BTO43EU006

レバーをもとの位置にもどす

アダプティブハイビームシステム表示灯が消灯します。

アダプティブハイビームシステムにもどすには、再度レバーを前方に押します。

■ ハイビームへの切りかえ



BTO43EU007

アダプティブハイビームシステムスイッチを押す

アダプティブハイビームシステム表示灯が消灯し、ハイビーム表示灯が点灯します。

アダプティブハイビームシステムにもどすには、再度スイッチを押します。

ハイビーム・ロービーム・遮光範囲可変ビームの自動切りかえ条件

● 次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。
・車速が約 30km/h 以上
・車両前方が暗い
・ランプを点灯した対向車または先行車が存在しない

● 次の条件のいずれかのとき、対向車または先行車の位置に応じて、ロービームが点灯します。
・車速が約 25km/h 以下
・車両前方が明るい
・前方車両の動きが速く、その車両にまぶしさを与える

● 次の条件をすべて満たしたとき、対向車または先行車の位置に応じて、遮光範囲可変ビームへ切りかわります。
・車速が約 30km/h 以上
・車両前方が暗い

● 次の条件をすべて満たし、車速が約15～30km/hで住宅地を走行していると判断した場合、左側ヘッドランプはロービーム、右側ヘッドランプはハイビームを点灯します。
・車両前方が暗い
・ランプを点灯した対向車または先行車がいない

知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■アダプティブハイビームシステムについて

●次の状況では、ハイビームが自動でロービームや遮光範囲可変ビームに切りかわらない場合があります。

・見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
・他車が前方を横切ったとき
・連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき

●対向車のフォグランプにより、ハイビームからロービームや遮光範囲可変ビームに切りかわる場合があります。

●街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームや遮光範囲可変ビームに切りかわる場合や、遮光範囲が変化する場合があります。

●次の原因により、遮光範囲の追従速度やロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。

・対向車または先行車のランプの明るさ
・対向車または先行車の動きや向き
・対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
・対向車または先行車が二輪車のとき
・道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
・乗車人数や荷物の量

●アダプティブハイビームシステムは車両前方にあるランプの明るさなどで周囲の状況を認識します。従って、ハイビーム・ロービーム・遮光範囲可変ビームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。

●自転車などの軽車両は検知しない場合があります。

●次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

・悪天候時（霧・雪・砂嵐・大雨など）
・フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
・フロントウインドウガラスにひび割れや破損があるとき
・インナーミラーやカメラセンサーが変形しているときや、汚れているとき
・カメラセンサーの温度が非常に高いとき
・周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
・対向車または先行車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
・急激な明るさの変化が連続するとき
・起伏や段差が多い道路を走行しているとき
・カーブが多い道路を走行しているとき
・車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
・コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
・自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
・パンクやけん引などにより車両が傾いているとき

●ランプスイッチが OFF または の位置のとき、およびロービーム点灯中にアダプティブハイビームスイッチを押すと、マルチインフォメーションディスプレイに「AHS はハイビーム点灯が必要です」が表示されます。

■カスタマイズ機能

遮光範囲可変ビームを非作動にするなどの変更ができます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 441）

⚠警告

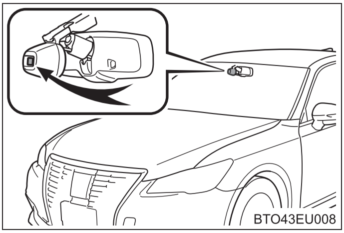
■安全にお使いいただくために

アダプティブハイビームシステムを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

⚠注意

■**アダプティブハイビームシステムを正しく作動させるために**

アダプティブハイビームシステムを正しく作動させるために次のことをお守りください。



- カメラセンサーのレンズにふれない
- インナーミラーやカメラセンサーに強い衝撃を与えない
- カメラセンサーを分解しない
- インナーミラーやカメラセンサーに液体をかけない
- カメラセンサーの近くのフロントウインドウガラスにステッカーを貼らない
- ダッシュボードの上にものを置かない
- インナーミラーやカメラセンサー周囲にアクセサリーを取り付けない
- 荷物を積み過ぎない
- 車両を改造しない
- トヨタ純正品以外のフロントウインドウガラスに交換しない

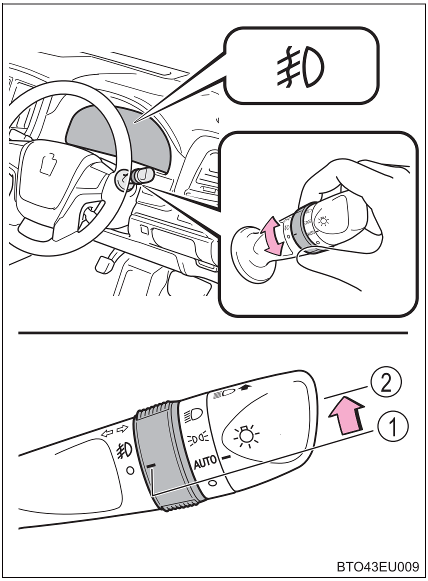
フォグランプスイッチ

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

▶ フロントフォグランプスイッチ

① o 消灯する

② 点灯する



▶ フロント＆リヤフォグランプスイッチ

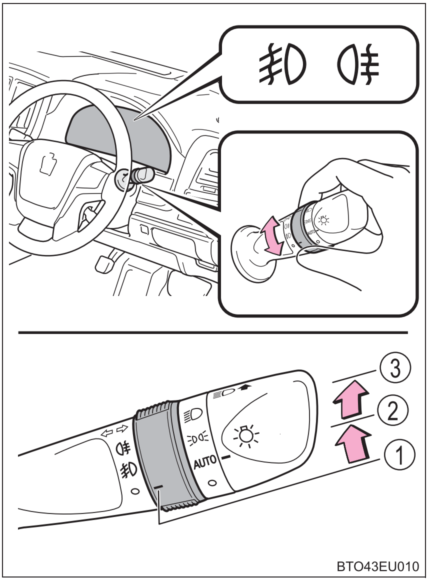
① ○ 消灯する

② フロントフォグランプを点灯する

③ フロント＆リヤフォグランプを点灯する

手を離すと の位置までもどります。

再度操作すると、リヤフォグランプのみ消灯します。



知識

■点灯条件

フロントフォグランプ：
ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。
リヤフォグランプ：
リヤフォグランプは、フロントフォグランプが点灯しているときのみ使用できます。

■リヤフォグランプについて

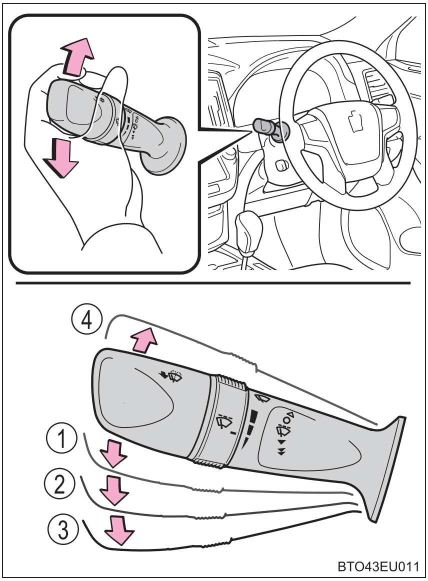
- リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 雨や霧、雪などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。
  視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。
  必要なとき以外は使用しないでください。

ワイパー & ウォッシャー

操作のしかた

▶ 間欠時間調整式ワイパー

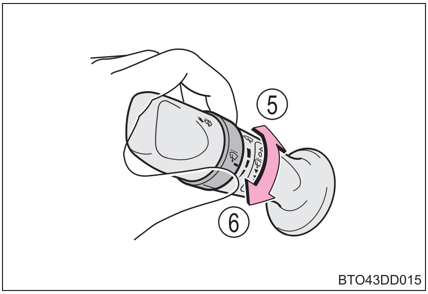
間欠作動を選択しているとき、間欠作動の時間を調整することができます。
間欠作動の時間は、車速に応じてかわります。
次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。ワイパーの間欠時間も調整できます。



① 間欠作動

車速が高くなると、作動頻度が増えます。

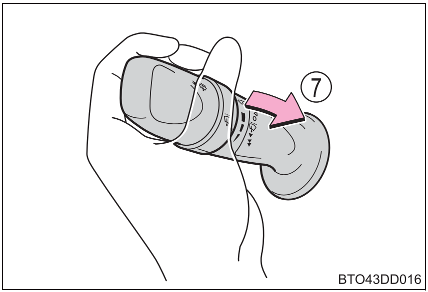
② 低速作動
③ 高速作動
④ 一時作動



⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（増）
⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（減）

⑦ ウォッシャー液を出す

ワイパーが連動して作動します。



▶ 雨滴感知式ワイパー

“AUTO”を選択しているとき、雨滴量と車速に応じてワイパーが作動します

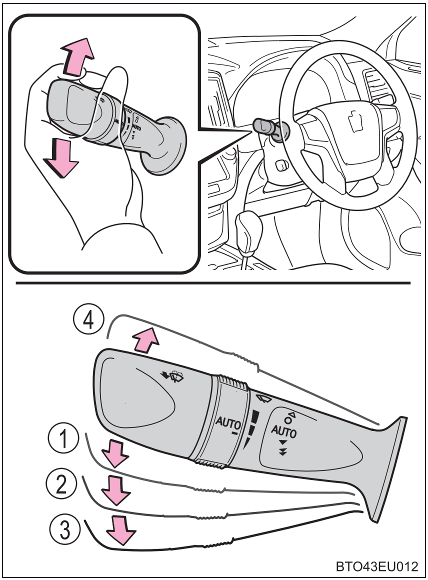
“AUTO”が選択されているときは、次のようにツマミをまわして、雨滴センサーの感度も調整できます。

① オート作動（AUTO モード）

② 低速作動

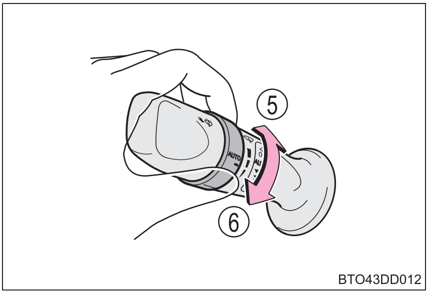
③ 高速作動

④ 一時作動



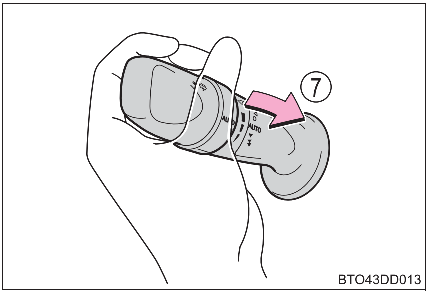
⑤ 雨滴センサーの感度調整（高）

⑥ 雨滴センサーの感度調整（低）



⑦ ウォッシャー液を出す

ワイパーが連動して作動します。



BTO43DD013

知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■車速による作動への影響

車速によってワイパー作動への影響があります。

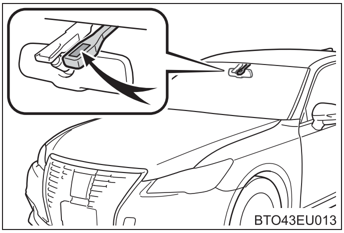
●間欠時間

●ウォッシャー連動時のワイパー作動（液だれ防止作動が働くまでの時間）

■雨滴感知センサー

●雨滴感知センサーが雨滴量を判定します。

光学センサーを使用しているため、フロントウインドウガラスに朝日や夕日が断続的にあたるときや、虫などで汚れたときに、正しく作動しないことがあります。


BTO43EU013

●パワースイッチがONモードのときにAUTOモードにすると、動作確認のためワイパーが 1 回作動します。

●雨滴感知センサーの温度が 90℃以上または－ 15℃以下のときは、AUTO 作動しないことがあります。その場合は、AUTO モード以外でワイパーを使用してください。

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

警告

■AUTO モード時のワイパー作動について

AUTO モードでは、センサーにふれたり、フロントウインドウガラスに振動があるなどの要因で不意にワイパーが動くおそれがあります。ワイパーで指などを挟まないように注意してください。

■ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

■フロントウィンドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

■ワイパーアームを立てるとき（寒冷地仕様車）

ワイパーを積雪時の停止位置に切りかえてから立ててください。（→ P. 254）
停止位置を切りかえずに立てると、ワイパーアームとボンネットが干渉し、傷が付くおそれがあります。

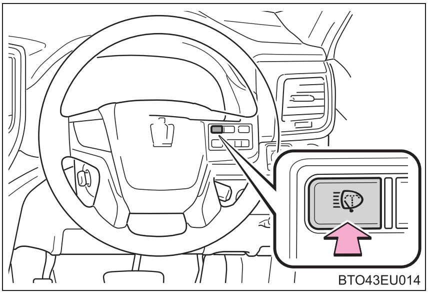
■雨滴感知センサー

フロントウインドウガラスに撥水コーティングを行うと雨滴感知センサーが雨滴量を正確に感知できず、オート作動が正常に作動しないことがあります。

ヘッドランプクリーナー★

ヘッドランプにウォッシャー液を噴射します。

スイッチを押してヘッドランプを洗浄する



知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードでヘッドランプが点灯しているとき

注意

■ウォッシャー液が出ないとき

ヘッドランプクリーナースイッチを操作し続けないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

給油口の開け方

給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、パワースイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■燃料の種類

- 無鉛レギュラーガソリン
- バイオ混合ガソリン（レギュラー）

■バイオ混合ガソリンについて

エタノールの混合率 10%以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン（酸素含有率 3.7%以下）を使用することができます。

⚠ 警告

■給油するときは

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。
静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

●キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、"シュー"という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。
すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

●気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。

●喫煙しないでください。

●給油口にノズルを確実に挿入してください。

●継ぎ足し給油をしないでください。

●正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

⚠注意

■給油するとき

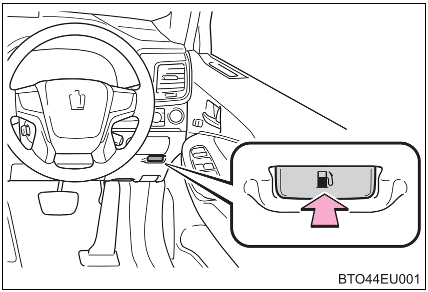
指定のガソリンを使用してください。
指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン※）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。
次のような状態になるおそれがあります。

- ガソリンエンジンの始動性が悪くなる
- ガソリンエンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- ガソリンエンジンの出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

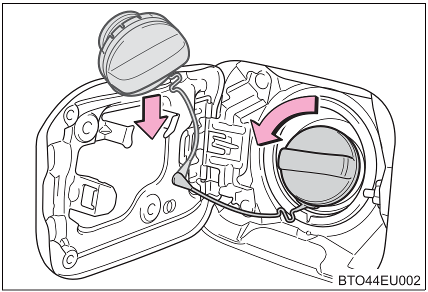
※エタノール混合率10%をこえるもの、またはETBE混合率22%をこえるもの

給油口の開け方

1 給油口オープナーを押して、給油口を開ける



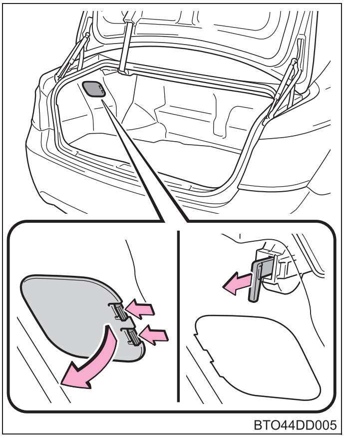
2 キャップをゆっくりまわして開け、ホルダーにはめ込む



知識

■給油口が開かないとき

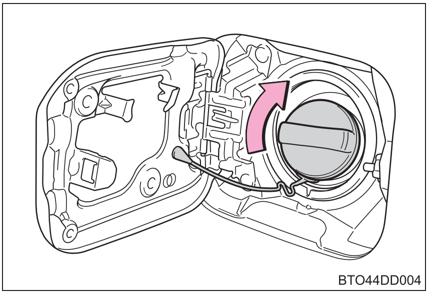
給油口オープナーを押しても給油口が開かないときは、トランク内のカバーを取りはずし、その穴の上側にあるレバーを引くことで、給油口を開けることができます。



給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



⚠警告

■キャップが正常に閉まらないとき

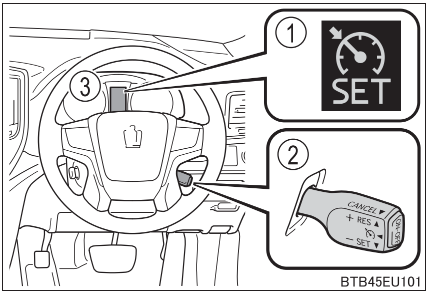
必ずトヨタ販売店へご連絡ください。
正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

クルーズコントロール★

機能概要

アクセルペダルを踏まなくても一定の速度で走行できます。

① 表示灯
② クルーズコントロールスイッチ
③ マルチインフォメーションディスプレイ



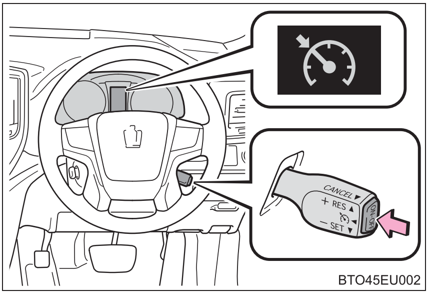
BTB45EU101

速度を設定する

1 ON-OFF スイッチを押して、システムを ON にする

マルチインフォメーションディスプレイにクルーズコントロール表示灯が点灯します。

OFF にするには、再度スイッチを押します。

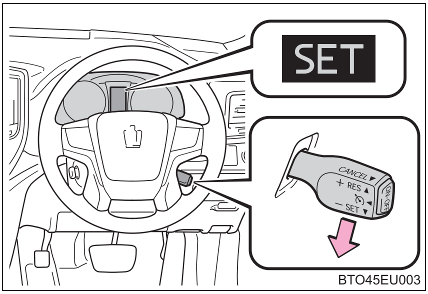


BTO45EU002

2 希望の速度まで加速／減速し、レバーを下げて設定する

マルチインフォメーションディスプレイにセット表示灯が点灯します。

レバーを離したときの速度で定速走行できます。

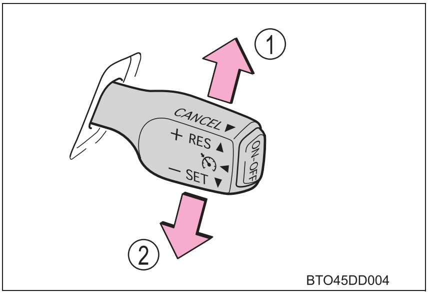


BTO45EU003

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度になるまでレバーを操作します。



① 速度を上げる

② 速度を落とす

微調整：
レバーを上または下に軽く操作して手を離す

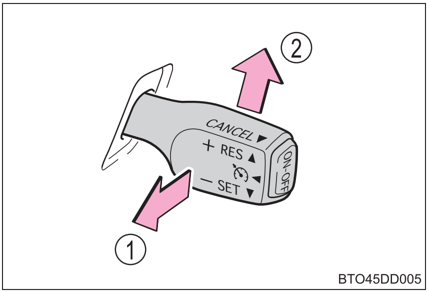
調整：
希望の車速になるまでレバーを保持する

設定速度は、次のとおりに増減されます。

微調整：
レバー操作するごとに約 1.6km/h

調整：
レバーを保持するあいだ

定速走行を解除する・復帰させる



① 解除するには、レバーを手前に引く

ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。

② 定速走行にもどすには、レバーを上げる

レバーを上げると、もとの定速走行にもどります。ただし、実際の速度が約40km/h 以下になると設定速度が消去されるため、復帰しません。

知識

■設定条件について

●シフトレバーが D または S の 4 レンジ以上のとき設定できます。

●車速は約 40 ～約 100km/h の範囲で設定できます。

■車速設定後の加速について

●通常走行と同様にアクセルで加速できます。加速後、設定車速にもどります。

●クルーズコントロールを解除しなくても、希望の速度まで加速して、レバーを下げることにより設定車速を変更することができます。

■定速走行の自動解除

次のとき、自動的に定速走行が解除されます。

●設定速度より実際の速度が約 16km/h 以上低下した

●実際の速度が約 40km/h 以下になった

●VSC が作動した

●TRC が一定時間作動した

●TRC または VSC を OFF にした

■定速走行中、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき

ON-OFF スイッチでシステムを一度 OFF にし、再度設定してください。
設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告

■誤操作を防ぐために

クルーズコントロールを使用しないときは、ON-OFF スイッチでシステムをOFF にしてください。

■クルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。
車のコントロールを失い、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 交通量の多い道
- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な下り坂
  急な下り坂では設定車速以上になることがあります。

レーダークルーズコントロール★

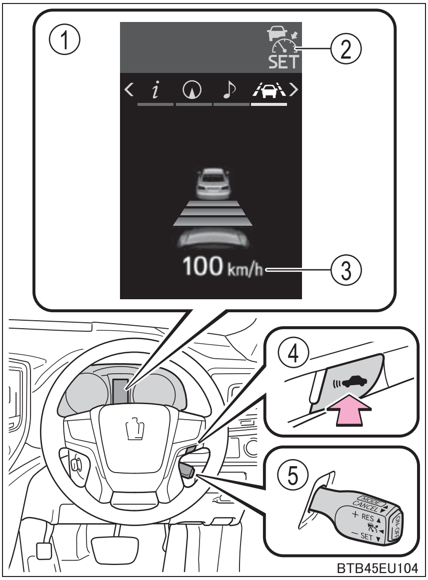
機能概要

アクセルペダルを踏まなくても、車間制御モードで先行車の車速変化に合わせた追従走行を行ったり、定速制御モードにより一定の速度で走行できます。
通信利用型レーダークルーズコントロールは ITS Connect を装備している車両のみ使用できます。

先行車との車間距離が確保しやすい高速道路や自動車専用道路などで使用してください。

- 車間制御モード（→ P. 212）
- 通信利用型レーダークルーズコントロール（ITS Connect 装着車のみ）（→ P. 213）
- 定速制御モード（→ P. 215）

① マルチインフォメーションディスプレイ
② 表示灯
③ 設定速度
④ 車間距離切りかえスイッチ
⑤ レーダークルーズコントロールスイッチ

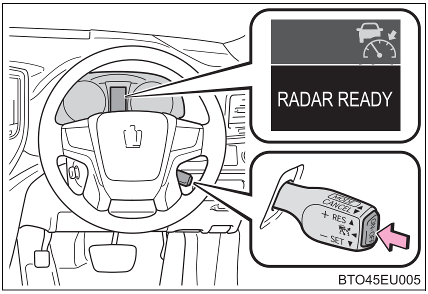


車速を設定する

1 ON-OFF スイッチを押してシステムを ON にする

マルチインフォメーションディスプレイにレーダークルーズコントロール表示灯が点灯します。

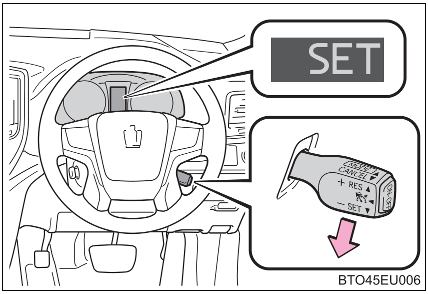
OFF にするには、再度スイッチを押します。



2 希望の速度まで加速／減速し、レバーを下げて速度を設定する

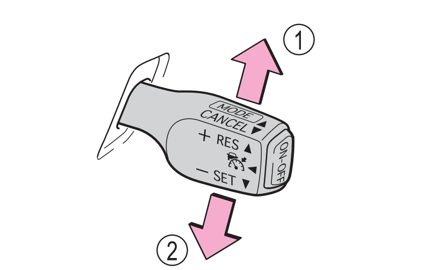
マルチインフォメーションディスプレイにセット表示灯と設定速度が表示されます。

レバーを離したときの速度で定速走行できます。



設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度が表示されるまでレバーを操作します。



BTO45DD009

① 速度を上げる

② 速度を落とす

微調整：
レバーを上または下に軽く操作して手を離す

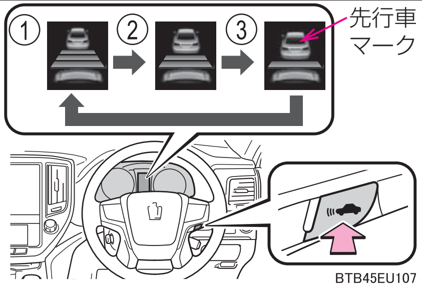
調整：
希望の車速になるまでレバーを保持する

車間制御モードでは、設定速度は、次のとおりに増減されます。：
微調整：レバー操作するごとに約 1km/h
調整：レバーを保持するあいだ、0.75 秒ごとに約 5km/h

定速制御モード（→ P. 215）では、設定速度は、次のとおりに増減されます。：
微調整：レバー操作するごとに約 1.6km/h
調整：レバーを保持するあいだ

車間距離を変更する

スイッチを押すごとに次のように車間距離を切りかえます。



BTB45EU107

① 長い

② 中間

③ 短い

パワースイッチが ON モードになるたびに①に設定されます。

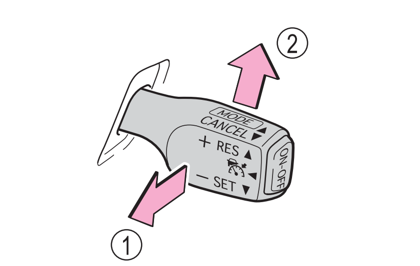
先行車がいる場合、先行車マークも表示されます。

車間距離選択の目安

次の目安を参考に車間距離を選択してください。
(速度 80km/h で走行している場合)
なお、車速に応じて車間距離は増減します。

車間距離選択	車間距離
長い	約 50m
中間	約 40m
短い	約 30m

制御を解除する・復帰させる



BTO45DD011

① 解除するには、レバーを手前に引く

ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。

② もとの制御状態にもどすには、レバーを上げる

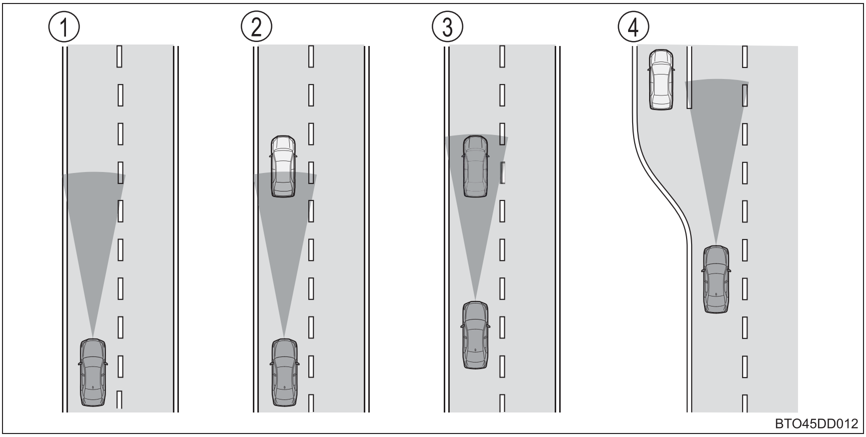
レバーを上げると、もとの定速走行にもどります。

ただし、定速制御モード時は実際の速度が約 40km/h 以下になると設定速度が消去されるため、復帰しません。

車間制御モードでの走行

レーダーセンサーにより、車両前方約 100m 以内の先行車の有無・先行車との車間距離を判定して先行車との適切な車間距離を確保する制御をします。

長い下り坂を走行しているときは、車間距離が短めになります。



① 定速走行：
先行車がいないとき

運転者が設定した車速で定速走行します。また、車間距離切りかえスイッチを操作して、希望の車間距離に設定することもできます。

② 減速走行：
設定した車速より遅い先行車が現れたとき

先行車を検知すると自動で減速し、より大きな減速が必要な場合はブレーキがかかります。十分に減速できない状態で先行車に接近した場合は、接近警報を鳴らします。

③ 追従走行：
設定した車速より遅い先行車に追従するとき

先行車の車速変化に合わせて、運転者の設定した車間距離になるよう追従します。

④ 加速走行：
設定した車速より遅い先行車がいなくなったとき

設定車速まで加速し、定速走行にもどります。

接近警報

追従走行中の他車の割り込みなど、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、表示の点滅とブザーで運転者に注意をうながします。その場合は、ブレーキを踏むなど適切な車間距離を確保してください。

■ 警報されないとき

車間距離が短くても、次のような場合は警報されないことがあります。

● 先行車と自車の車速が同じか先行車の方が速いとき

● 先行車が極端な低速走行をしているとき

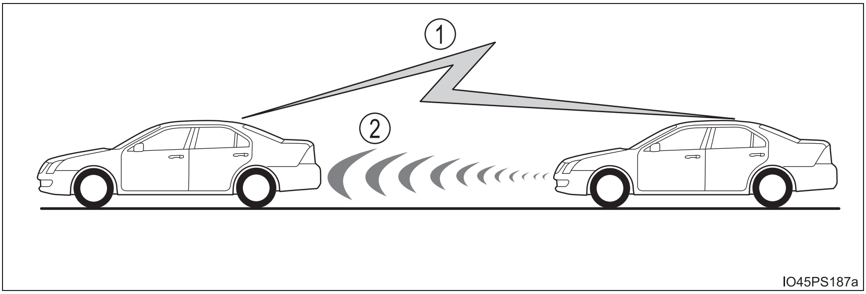
● 速度を設定した直後

● アクセルペダルが踏まれたとき

通信利用型レーダークルーズコントロール（ITS Connect 装着車）

通信利用型レーダークルーズコントロールは、ITS Connect が装着されている車両のみ利用できます。
ITS Connect については P. 223 を参照してください。
このシステムは車間制御モードでの追従走行中、先行車も通信利用型レーダークルーズコントロールに対応している場合に自動的に作動します。

■ 情報取得



① 先行車との通信

加減速情報などを取得します。

② ミリ波レーダー

車間距離情報などを取得します。

■ システム作動について

先行車の加減速の情報を通信で取得することにより、先行車の加減速に素早く追従して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行に寄与します。また、先行車が認識できなくなった場合は自動的に車間制御モードに切りかわります。

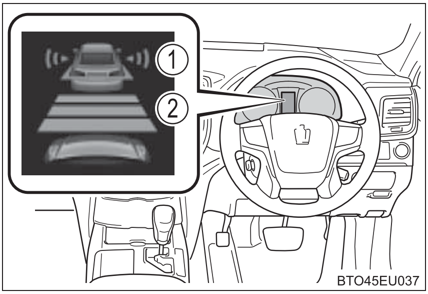
■ 通信利用型レーダークルーズコントロールの ON ／ OFF を変更する

マルチインフォメーションディスプレイの 画面（→ P. 88）から、通信利用型レーダークルーズコントロールの ON（作動）／ OFF（非作動）を変更することができます。

■ システム作動時の表示

① 先行車通信マーク

② 車間距離表示



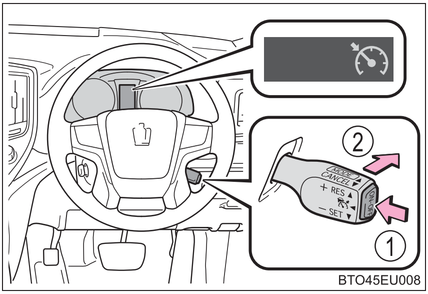
■ 通信利用型レーダークルーズコントロールの作動目安

レーダークルーズコントロールの車間距離設定に応じて本機能の作動レベルがかわります（→ P. 211）

車間距離選択	作動目安
長い	ゆったりとした加減速による追従走行
中間	中間の追従走行
短い	きびきびとした加減速による追従走行

定速制御モードを選択する

定速制御モードは先行車の車速変化に合わせた追従走行を行わず、一定の速度で走行します。レーダーセンサーの汚れなどにより、車間制御モードで走行できない場合のみご使用ください。



BTO45EU008

① ON-OFF　スイッチを押して、システムを ON にする

マルチインフォメーションディスプレイにレーダークルーズコントロール表示灯が点灯します。

OFF にするには再度 ON-OFF スイッチを押します。

② 定速制御モードに切りかえ（約 1 秒間レバーを前方に押し続ける）

定速制御モードに切りかえると、クルーズコントロール表示灯が点灯します。

定速制御モードから車間制御モードにもどすには、再度レバーを前方に約 1 秒間押し続けます。

希望の速度を設定したあとは車間制御モードに切りかえることはできません。

パワースイッチを OFF にし、再度パワースイッチを ON モードにした場合は、自動で車間制御モードにもどります。

設定速度をかえるには
→ P. 210

制御を解除する・復帰させるには
→ P. 211

知識

■設定条件について

●シフトレバーが D または S の 4 レンジ以上のとき設定できます。

●車速は約 50 ～約 100km/h の範囲で設定できます。

■車速設定後の加速について

通常走行と同様にアクセル操作で加速できます。加速後、設定車速にもどります。ただし、車間制御モード時は先行車との距離を保持するため設定車速以下になることもあります。

■車間制御モードの自動解除

次のとき、自動的に車間制御モードが解除されます。

●速度が約 40km/h 以下になった

●VSC が作動した

●TRC が一定時間作動した

●TRC または VSC を OFF にした

●センサーが何かでふさがれて適切に働かない

●ワイパーが高速で作動した（ワイパーの設定を AUTO モードまたは高速作動にしたとき）

●走行モードをスノーモードにセットした

●プリクラッシュブレーキが作動した

その他の理由で車間制御モードが自動解除されるときは、システムが故障している可能性があります。トヨタ販売店にご相談ください。

■通信利用型レーダークルーズコントロールについて

●本機能によって、車間制御モードの速度や車間距離設定が変更されることはありません。

●先行車が通信利用型レーダークルーズコントロールに対応していないときは、本機能は作動しません。

●先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。必要に応じてブレーキ・アクセルを操作してください。

■通信利用型レーダークルーズコントロールが作動しないおそれがある状況

次の状況では、通信利用型レーダークルーズコントロールが作動しない、または通信利用型レーダークルーズコントロールから車間制御モードに切りかわる場合があります。

●先行車との通信が途絶したとき

●センサーが先行車を誤って検知したとき

●トンネルやビル街などで、自車または先行車のGPS受信状態や通信状態が悪化しているとき

●雪道などスリップしやすい路面を走行しているとき

●急な坂道を走行しているとき

●追従していた先行車が車線変更などで離脱したとき

●通信していた先行車との間に、通信利用型レーダークルーズコントロールに対応していない車両が割りこんできたとき

■定速制御モードの自動解除

次のとき、自動的に定速制御が解除されます。

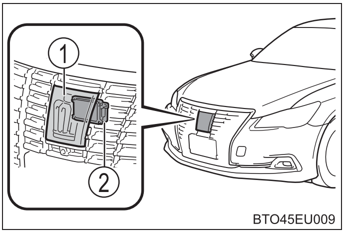
- ●設定速度より実際の速度が約 16km/h 以上低下した
- ●車速が約 40km/h 以下になった
- ●VSC が作動した
- ●TRC が一定時間作動した
- ●TRC または VSC を OFF にした
- ●プリクラッシュブレーキが作動した

■レーダーセンサーとグリルカバーについて

車間制御を正しく作動させるためにセンサーとグリルカバーは常にきれいにしておいてください。（ビニールやつらら・雪など、汚れ検知機能で検知できないものもあります）
汚れを検知したときは、レーダークルーズコントロールは解除されます。

① グリルカバー

② レーダーセンサー



■レーダークルーズコントロールの警告メッセージ・警告ブザー

走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージ・警告ブザーで注意をうながします。（→ P. 366）

警告

■安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
レーダークルーズコントロールは運転者の操作の一部を支援し、操作負担を軽減するためのシステムで、支援の範囲には限りがあります。
システムが正常に機能していても、運転者が認識している先行車の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。なお、誤った使い方をしたり、操作慣れなどで注意を怠ったりすると、思わぬ危険を招くことがあります。

■システムの支援内容に関する注意点

システムの支援には限界があるため、次の点に注意してください。
システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●運転者が見る過程での支援内容
レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離を検知するのみであり、わき見やぼんやり運転を許容するシステムでも、視界不良を補助するシステムでもありません。
運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。

●運転者が判断する過程での支援内容
レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離が適正かどうかを判断しており、それ以外の判断はしません。このため、危険性があるかどうかなど運転者は自ら安全の判断をする必要があります。

●運転者が操作する過程での支援内容
レーダークルーズコントロールは、先行車への追突を防止する機能はありません。このため、危険性があれば運転者自らが安全を確保する必要があります。

■誤操作を防ぐために

レーダークルーズコントロールを使わないときはON-OFFスイッチでシステムを OFF にしてください。

警告

■レーダークルーズコントロールを使用してはいけない状況

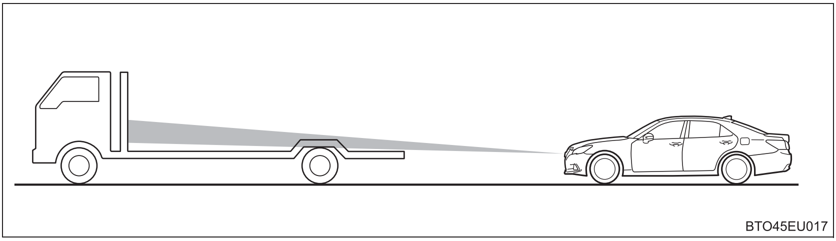
次の状況では、レーダークルーズコントロールを使用しないでください。
適切な制御が行われず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 交通量の多い道
- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な下り坂や急で勾配の変化が激しい坂
  急な下り坂では設定車速以上になることがあります。
- 高速道路の出入り口
- レーダーセンサーが正しく働かないような悪天候時（霧・雪・砂嵐・激しい雨など）
- 接近警報がひんぱんに鳴るとき

■センサーが正しく検知しないおそれのある先行車

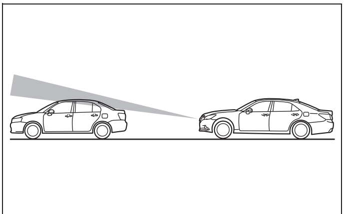
次のような場合にシステムによる減速が不十分な場合はブレーキペダルを、加速が必要な場合はアクセルペダルを、状況に応じて操作してください。
センサーが正しく車両を検知できず、接近警報（→ P. 213）も作動しないため、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 先行車が急に割り込んできたとき
- 先行車が低速で走行中のとき
- 同じ車線に停車中の車がいるとき
- 先行車のうしろ部分が小さすぎるとき（荷物を積んでいないトレーラーなど）



警告

- 同じ車線を二輪車が走行中のとき
- 周囲の車より水や雪がまき散らされ、レーダーセンサーの検知のさまたげになる場合
- 自車の車両姿勢が上向きになる場合（重い荷物を積んだときなど）

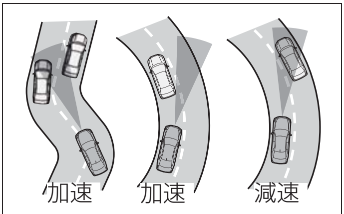


BTO45EU018

■車間制御が正しく働かないおそれのある状況

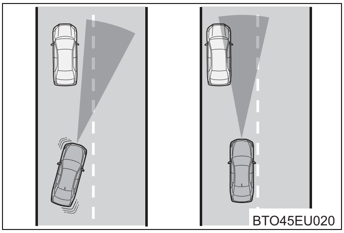
次の状況では、必要に応じてブレーキで減速（場合によってアクセルペダルを操作）してください。
レーダーセンサーが正常に車両を検知せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- カーブ路や車線幅が狭い道路などを走行する場合



BTO45EU019

- ハンドル操作が不安定な場合や、車線内の位置が一定でない場合



BTO45EU020

- 先行車が急ブレーキをかけた場合

警告

■**レーダーセンサーの取り扱い**

レーダークルーズコントロールが効果を発揮できるように次のことをお守りください。お守りいただかないと、センサーが正しく作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

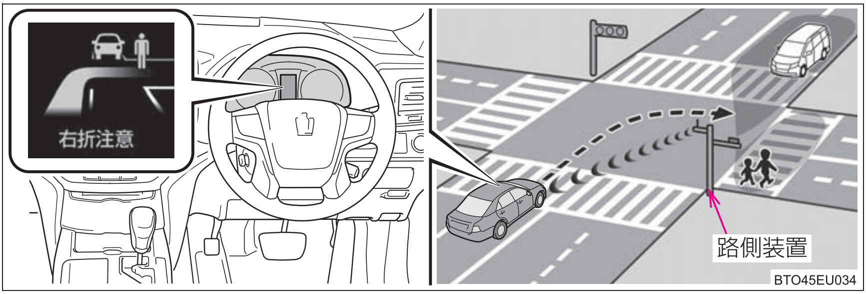
- センサーとグリルカバーは常にきれいにしておく
  お手入れをする際は、センサーやグリルカバーを傷付けないよう、やわらかい布を使ってください。
- センサー周辺への強い衝撃を避ける
  センサーの位置がずれると、システムに異常が起こるおそれがあります。センサー、または周辺に強い衝撃を受けた際は、必ずトヨタ販売店にて点検を受け、調整してください。
- センサーを分解しない
- センサーやグリルカバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカーを貼ったりしない
- センサーやグリルカバーを改造したり塗装したりしない
- センサーの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください
- センサーは電波法の基準に適合しています。センサーに貼り付けられているラベルはその証明ですので、はがさないでください。また、センサーを分解・改造すると罰せられることがあります。

ITS Connect★

ITS Connect の概要

ITS Connect は、交通情報や周辺車両の情報を受信することにより、安全運転や快適な運転を支援するシステムです。

◆ 安全運転を支援する通知・案内・注意喚起



ITS Connect は、道路に設置された DSSS ※用路側装置や通信機を搭載した車両と無線通信することで、見通しが悪い交差点の交通状況などの情報を受信します。
受信した情報は、状況に応じて通知・案内や注意喚起としてマルチインフォメーションディスプレイに表示され、運転者に注意を促すことにより安全運転を支援します。

※ DSSS（Driving Safety Support Systems）とは、運転者の認知・判断の遅れや誤りによる交通事故を未然に防止することを目的とするシステムで、警察庁が推進しているプロジェクトです。

◆ 通信利用型レーダークルーズコントロール

先行車との通信により受信した加速／減速情報をレーダークルーズコントロールの制御に利用し、よりスムーズな追従走行にに寄与することで快適な運転を支援します。詳細は P. 213 を参照してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

■**安全にお使いいただくために**

●安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
ITS Connect はあらゆる状況で安全運転の支援をするものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ITS Connect は安全運転の支援を目的として設計していますが、その効果はさまざまな条件によりかわり、常に同じ性能を発揮できるものではありません。
「システムが正常に作動しないおそれがあるとき」の項目（→ P. 230）をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。

■**ITS Connect について**

次のような状況では、ITS Connect は作動しません。

●交差点に DSSS 用路側装置が設置されていないとき

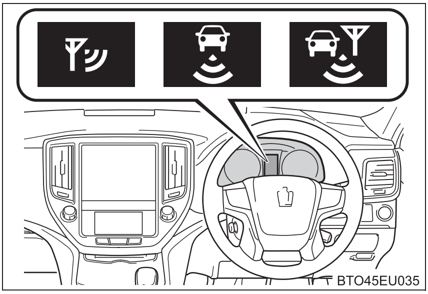
●先行車や接近してくる車両に通信機が搭載されていないとき

■**右折時注意喚起について**

交差点に設置されているDSSS用路側装置が対向車と歩行者の両方を感知しているか、または対向車のみを感知しているかによって、注意喚起表示は異なります。
そのため、注意喚起の表示内容が実際の交通状況と異なる場合があります。「割り込み表示による通知・案内・注意喚起」（→ P. 226）をお読みいただき、必ず自らの目視による安全確認を行ってください。

ITS Connect アイコンの見方

ITS Connect の機能が利用可能なとき、マルチインフォメーションディスプレイに次のアイコンを表示して通信の接続状態をお知らせします。



アイコン	接続状態
	道路に設置された DSSS 用路側装置から必要な情報を取得できている
	通信機を搭載した車両から必要な情報を取得できている
	道路に設置された DSSS 用路側装置、および通信機を搭載した車両、両方から必要な情報を取得できている

割り込み表示による通知・案内・注意喚起

状況に応じて、次の通知・案内・注意喚起をマルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示します

■ 右折時注意喚起

交差点で右側方向指示灯を点滅させて右折待ちをしているときに、対向車や歩行者がいるにもかかわらず発進しようとしているなど、対向車や右折先の歩行者を見落としている可能性があるとシステムが判断したときに、ブザーと表示で注意喚起を行います。
交差点に設置されている DSSS 用路側装置（感知器）の種類によって、注意喚起の表示は次のように異なります。

▶ 対向車および歩行者を感知する交差点

BTO45EU024

▶ 対向車のみを感知する交差点

BTO45EU038

・注意喚起の表示内容は、実際の交通状況と異なる場合があります。
・一定時間経過後に注意喚起が消えますが、周囲に車や人がいないことを示すものではありません。

■ 赤信号注意喚起

赤信号の交差点手前にさしかかってもアクセルペダルを踏み続けているなど、赤信号を見落としている可能性があるとシステムが判断したときに、ブザーと表示で注意喚起を行います。

BTO45EU026

■ 信号待ち発進準備案内

赤信号で停車したとき、青信号にかわるまでの待ち時間の目安をバー表示で表します。
待ち時間が残り少なくなるとバー表示が消え、まもなく信号がかわることを表します。

BTO45EU025

■ 緊急車両存在通知

緊急車両（救急車）がサイレンを鳴らして近辺を走行しているときに、ブザーが鳴り、自車に対する緊急車両のおおよその方向・距離・進行方向を表示します。
緊急車両の距離と進行方向が表示されていないときは、自車のすぐ近くに緊急車両がいることを表します。

BTO45EU027

■ 一時停止注意喚起※（ETC2.0 ユニット装着車）

一時停止の交差点手前にさしかかってもアクセルペダルを踏み続けているなど、一時停止を見落している可能性があるとシステムが判断したときにブザーと表示で注意喚起を行います。

BTO45EU023

■ **前方停止車両存在案内※（ETC2.0 ユニット装着車）**

見通しが悪いカーブの先などで、渋滞などによって先行車両が停止または低速で走行しているときに、ブザーと表示でお知らせします。

BTO45EU021

■ **わき道車両存在案内※（ETC2.0 ユニット装着車）**

見通しが悪い交差点のわき道に車両がいるときに、ブザーと表示でお知らせします。

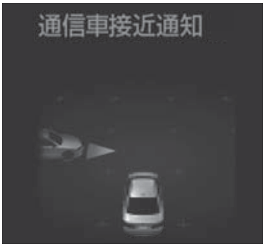
BTO45EU022

※ 一時停止注意喚起・前方停止車両存在案内・わき道車両存在案内について、正常に作動しないおそれがある状況など、詳しくは別冊「ナビゲーションシステム取扱書／ナビゲーション／地図画面を操作する／ DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能を使用する」を参照してください。

通信車両接近通知

交差点などで停車しているときに、通信機を搭載した車両が接近してくると、通信車両のおおよその方向を表示します。

接近してくる方向が正面の場合は、右側方向指示灯を点滅させているときのみ表示します。



BTO45EU036

■ 通信車両接近通知の使い方

- マルチインフォメーションディスプレイで専用の通知画面を表示しているときに使用することができます。
  ハンドルのメーター操作スイッチの＜または＞を押して　を選択し、　を上または下に操作して、通知画面を表示してください。
- 車両が停止しているときに表示が有効になります。車両が完全に停止していないときは通知されません。

各機能の設定変更

マルチインフォメーションディスプレイの　（→ P. 88）で、以下の機能の設定を変更することができます。

機能	設定内容
右折時注意喚起	ON ／ OFF の切りかえ
	表示タイミングの切りかえ
赤信号注意喚起	ON ／ OFF の切りかえ
	表示タイミングの切りかえ
一時停止注意喚起※	ON ／ OFF の切りかえ
	表示タイミングの切りかえ
前方停止車両存在案内※	ON ／ OFF の切りかえ
わき道車両存在案内※	ON ／ OFF の切りかえ
緊急車両存在通知	ON ／ OFF の切りかえ
信号待ち発進準備案内	ON ／ OFF の切りかえ
通信利用型レーダークルーズコントロール	ON ／ OFF の切りかえ

※ ETC2.0 ユニット装着車のみ表示されます。

知識

■交差点ごとの作動する通知・案内・注意喚起について

道路に設置されている DSSS 用路側装置の種類により発信している情報が異なるため、交差点によって作動する通知・案内・注意喚起は異なります。

■システムが正常に作動しないおそれがあるとき

●例えば次のような状況などでは、車両の位置や向きを正しく特定できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

・高いビルや高い街路樹に囲まれているとき
・トンネルや高架下を通過しているとき
・ハイブリッドシステムを始動してから、しばらく走行するまでの間

●例えば次のような状況などでは、正しく通信ができず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

・周囲に大型車が走行しているときなど、通信が遮られたとき
・通信を妨害する電波が発せられているとき
・DSSS 用路側装置の向きが変わってしまっているとき
・DSSS 用路側装置がメンテナンス中や故障しているとき
・他車両の通信機が故障しているとき

●右折時注意喚起は、次のような状況などでは正常に作動しないおそれがあります。

・交差点内で一旦停止せずに右折しようとしたとき
・周囲の環境や天候、DSSS 用路側装置の劣化などの影響により、対向車や歩行者の検知性能が低化しているとき
・対向車や歩行者が周囲の建物や別の車両に隠れているとき
・DSSS 用路側装置の検知範囲外に対向車や歩行者がいるとき

●赤信号注意喚起は、次のような状況などでは正常に作動しないおそれがあります。

・遅い速度で走行しているとき
・停車しているとき
・DSSS 用路側装置が設置された交差点付近の側道を走行しているとき
・DSSS 用路側装置から受信した情報が誤っているとき

●信号待ち発進準備案内は、次のような状況などでは正常に作動しないおそれがあります。

・前方の信号機が青信号、黄信号または矢印信号のとき
・青信号にかわるまでの待ち時間が残り少ないとき
・停車していないとき
・DSSS 用路側装置から受信した情報が誤っているとき

- ●緊急車両存在通知は、次のような状況などでは正常に作動しないおそれがあります。
  - ・緊急車両と自車の距離が一定以上離れているとき
  - ・緊急車両が自車から遠ざかる方向に走行しているとき
  - ・立体交差付近を走行しているとき
  - ・緊急車両から受信した情報が誤っているとき
- ●緊急車両接近通知、次のような状況などでは正常に作動しないおそれがあります。
  - ・相手通信車両から受信した情報が誤っているとき

■ITS Connect 機器に関する情報

- ●本システムは、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License2.0 に基づき T-Kernel ソースコードを利用しています。
- ●本システムは ITS Connect 推進協議会が規定する相互接続性確認試験に適合しています。
  機種名：DTU-1000
  型式認定番号：10003
- ●本システムは周波数 760MHz の電波を発信するため、お車を海外へ持ち込んだ場合はその国の関連法規に違反する場合があります。

■ITS Connect に関するお問い合わせについて

ITS Connect に関するお問い合わせ（機器の調子・機能・使用方法や道路上の通信設備の整備計画など）はトヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠注意

■ITS Connect 機器取り扱いの注意

- ●ITS Connect 機器は電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。ITS Connect 機器に貼り付けられているラベルはその証明ですのではがさないでください。
- ●ITS Connect 機器を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらのシステムは補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ECB（電子制御ブレーキシステム）

電子制御により、ブレーキ操作に応じたブレーキ力を発生させます。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力の確保に貢献します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂やすべりやすい丘面で発進するときに、車が後退するのを防止します。

◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ NAVI・AI-AVS （AVS：アダプティブバリアブルサスペンションシステム）★

路面の状態や運転操作などに応じ、ショックアブソーバーの減衰力を４輪独立に制御することで、なめらかな乗り心地と優れた安定感の確保に貢献し、車両の姿勢維持に寄与します。
また、走行モードの切りかえにより、SPORT モードを選択したときには、スポーツ走行に適した減衰力に切りかわります。(→ P. 177)

◆ VDIM（ビークルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント）

ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・EPS・トランスミッションを総合的に制御します。
すべりやすい路面の走行などで急な運転操作をした際に、ブレーキ・ハイブリッドシステム出力などを制御することで、車両の安定性確保に貢献します。

◆ PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★

→ P. 239

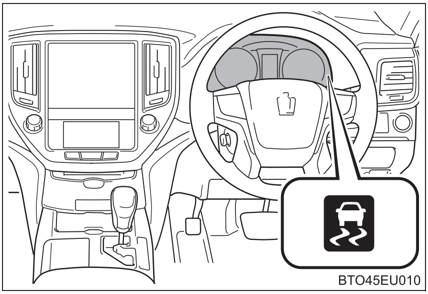
◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

TRC・VSC・ABS が作動しているとき

TRC・VSC・ABS が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。

このようなときに

を押すことにより、脱出しやすくなります。

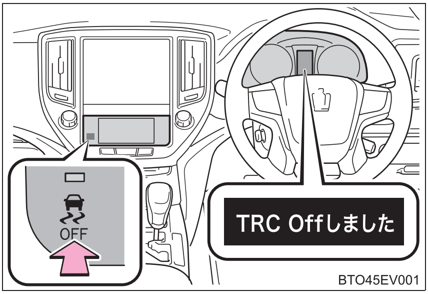
TRC を停止するには

を押す

ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」と表示されます。

もう一度

を押すと、システム作動可能状態にもどります。



知識

■TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには停車時に を 3 秒以上保持してください。

ブザーが鳴り、VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」と表示されます。

もう一度 を押すと、システムが作動可能状態にもどります。

■ を押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」が表示されたとき

TRC が作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

■TRC と VSC を停止したとき

プリクラッシュブレーキ、プリクラッシュブレーキアシストも作動を停止します。（→ P. 243）

■ABS・ブレーキアシスト・VSC・TRC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。

- 車体やハンドルに振動を感じる
- 車両停止後もモーター音が聞こえる

■ECB の作動音

次のような場合に ECB の作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- ブレーキペダルを操作したときに、エンジンルームから聞こえる作動音（“カチ”、“シュー”、“ジー”という音）
- 運転席ドアを開けたときに車両前方から聞こえるブレーキシステムのモーター音（“ジー”という音）
- ハイブリッドシステム停止後 1 ～ 2 分経過時に、エンジンルームから聞こえる作動音（“カチ”、“シュー”、“ジー”という音）

■EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン”という音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にした場合でも、ハイブリッドシステム停止後に再始動すると、自動的に TRC と VSC は作動可能状態にもどります。

■TRC OFF の作動制限

TRC のみ作動を停止している場合は、車速が高くなると TRC は作動を再開します。
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による作動再開はありません。

■EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。
その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

■NAVI・AI-AVS の NAVI 協調機能について（ナビゲーションシステム装着車）

AVS の制御に加え、ナビゲーションの道路コーナー情報により、コーナーの前からあらかじめ減衰力を制御します。これにより、優れたコーナーリング性能を確保します。ナビゲーションにおいてルート探索可能な道路で作動します。

■ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- シフトレバーの位置が P または N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトレバーを P または N の位置にした
- アクセルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

■緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

●非常点滅灯が点滅していないこと

●車速 55km/h 以上

●ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

●非常点滅灯を点滅させた

●ブレーキペダルを離した

●車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

警告

■ABS の効果を発揮できないとき

●タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき（雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど）

●雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

●泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき

●タイヤチェーンを装着しているとき

●道路のつなぎ目など、段差をこえたとき

●凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

警告

■**TRC の効果を発揮できないとき**

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■**ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき**

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や、凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐停車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■**スリップ表示灯が点滅しているとき**

VSC または TRC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■**TRC や VSC を OFF にするとき**

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC 機能、VSC 機能を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

■**タイヤを交換するとき**

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・銘柄・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 433）
異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC が正常に作動しません。
タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■**タイヤとサスペンションの取り扱い**

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

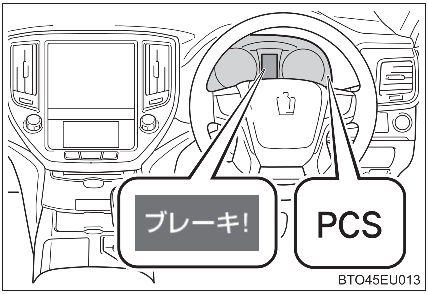
PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★

レーダーセンサーにより、前方の車両や障害物と衝突の可能性があると判断したときに、警報により運転者に対して回避操作をうながし、衝突の防止に役立ちます。前方の障害物と衝突の可能性が高い、または前方の障害物と衝突が避けられないと検知したとき、自動的にブレーキを作動させ、乗員や車両への衝撃の軽減に寄与します。

必要に応じて、スイッチ操作でプリクラッシュセーフティシステムのON ／ OFF を切りかえることができます。（→ P. 240）

◆ 衝突警告表示

衝突の可能性が高いと検知したとき、“ピピピ・・・”とブザー音が鳴り、PCS 警告灯が点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに衝突警告表示を出し、回避操作をうながします。



◆ プリクラッシュブレーキアシスト

衝突の可能性が高いときには、ブレーキペダルが踏まれる強さに応じてブレーキ力を増強します。
運転者のブレーキ操作をシステムが判断し、警告灯・警告表示・ブザー音での警報を作動させない場合があります。

◆ プリクラッシュブレーキ

衝突の可能性が高いときに警告灯・衝突警告表示・ブザー音で警報を行い、さらに衝突が避けられないと判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突速度を低減します。

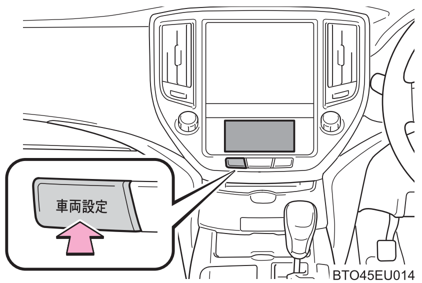
◆ サスペンションコントロール★

衝突の可能性が高いと判断したとき、NAVI・AI-AVS（→ P. 236）の働きを利用して、ショックアブソーバーの減衰力を最適に制御します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

プリクラッシュセーフティシステムの切りかえ

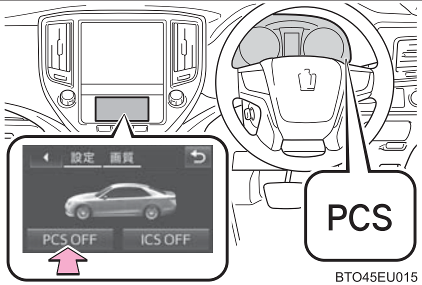
1 車両設定スイッチを押す



BTO45EU014

2 「設定」を選択し、「PCS OFF」を選択する

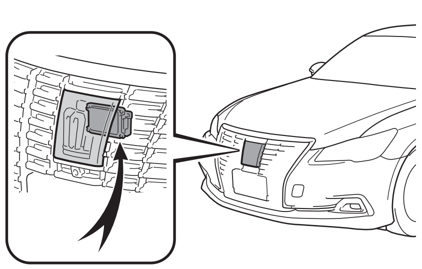
PCS 警告灯が点灯します。



BTO45EU015

レーダーセンサー

走行中に路上またはその付近に車や障害物があるかどうかを検知し、その位置や速度・進路から衝突するおそれがあるかどうか判断します。


BTO45EU016

知識

■システムの作動条件

「PCS OFF」スイッチ（→ P. 240）が選択されておらず（PCS 警告灯が消灯時）、次の状態のとき、作動します。

●衝突警告表示の作動条件：

・車速が約 15km/h 以上
・自車から見た前方の車両か障害物への接近速度が約 15km/h 以上

●プリクラッシュブレーキアシストの作動条件：

・VSC OFF スイッチが押されていないとき
・車速が約 30km/h 以上
・自車から見た前方の車両や障害物への接近速度が約 30km/h 以上
・ブレーキペダルが踏まれているとき

●プリクラッシュブレーキの作動条件：

・VSC OFF スイッチが押されていないとき
・車速が約 15km/h 以上
・自車から見た前方の車両や障害物への接近速度が約 15km/h 以上

●サスペンションコントロールの作動条件：

・車速が約 5km/h 以上
・自車から見た前方の車両や障害物への接近速度が約 30km/h 以上

■衝突の可能性がなくてもシステムが作動するとき

センサーの前方がさえぎられる次のような場合、システムが衝突の可能性があると判断し、作動することがあります。

●カーブまたは右左折時に対向車とすれ違ったとき

●車両前方の障害物（前方車両・ETC ゲートなど）に急速に接近したとき

●上り坂を走行中など進行方向の道路上方に構造物（看板・低い天井・蛍光灯など）があるとき

●幅が狭い、または天井の低い場所（橋・トンネル・高架下など）を通過するとき

●凹凸のある路面を走行するとき

●路面上に金属物、段差または突起物があるとき

●車高が極端に変化しているとき

●センサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき

●カーブの入り口の道路脇に障害物（ガードレールなど）があるとき

●自車の車両姿勢が前上がりになる場合（重い荷物を積んだときなど）

また、ブレーキをかけたときに通常よりブレーキが強くかかる場合があります。

■センサーが検知しない場合

パイロンなどのプラスチック類は検知できません。人や動物・二輪車・木・雪の吹きだまりなどは検知しない場合があります。

■システムの作動しない環境

プリクラッシュセーフティシステムは、想定されていない状況では有効に作動しない場合があります。

●きついカーブや起伏がある場所

●交差点などで、自車の進行方向に急な飛び出しがある状況

●自車の進行方向に車の急な割り込みがある状況

●雨・霧・雪・砂嵐などの悪天候の状況

●VSC が OFF で車が横すべりの状態

●車両姿勢が極端に変化している状態

●レーダーセンサー周辺への強い衝撃などにより、レーダーセンサーの向きがずれているとき

●大きくハンドルを切るなどにより、障害物が前方に突然出現したとき

●前方の車両や障害物への部分的な衝突や接触をする状況

■システムの自動解除

システムの異常が検知された場合、センサーが障害物を検知できない状況（センサーの汚れなど）では、システムの動作が自動的に解除されます。このような場合には、衝突の可能性があってもシステムは有効に作動しません。

■システムに異常がある、またはシステムが一時的に使用できないとき

PCS 警告灯が点滅し、警告メッセージが表示されます。（→ P. 361, 365）

■TRC と VSC を停止したとき

● TRC と VSC の作動を停止(→ P. 235)したときは、プリクラッシュブレーキ、プリクラッシュブレーキアシストの作動も停止します。
ただし、警報機能は作動します。

● マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、PCS 警告灯が点灯します。

⚠ 警告

■安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
プリクラッシュセーフティシステムを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

本システムは衝突の回避を支援、あるいは衝突の被害を軽減することを目的として設計していますが、その効果はさまざまな条件（→ P. 241, 242）によりかわります。そのため、常に同じ性能が発揮できるものではありません。また、プリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がブレーキペダルを踏んでいたり、ハンドルを操作していると、その操作状態によっては運転者の回避操作と判断され、自動ブレーキが作動しない場合があります。

警告

■**レーダーセンサーの取り扱い**

プリクラッシュセーフティシステムが効果を発揮できるように次のことをお守りください。お守りいただかないと、センサーが正しく作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- センサーとグリルカバーは常にきれいにしておく
  お手入れをする際は、センサーやグリルカバーを傷付けないよう、やわらかい布を使ってください。
- センサー周辺への強い衝撃を避ける
  センサーの位置がずれると、システムに誤作動または異常が起こることがあります。センサー、または周辺に強い衝撃を受けた際は、必ずトヨタ販売店にて点検を受け、調整してください。
- センサーを分解しない
- センサーやグリルカバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカーを貼ったりしない
- センサーやグリルカバーを改造したり塗装したりしない
- センサーの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください
- センサーは電波法の基準に適合しています。センサーに貼り付けられているラベルはその証明ですので、はがさないでください。また、センサーを分解・改造すると罰せられることがあります。

警告

■**システムの支援内容に関する注意点**

プリクラッシュセーフティシステムは、警報やブレーキ制御により衝突回避支援を行うために、運転者が「見る」・「判断する」・「操作する」過程で、支援を行います。システムの支援には限界があるため、次の点に注意してください。

- 運転者が見る過程での支援内容
  プリクラッシュセーフティシステムは、前方の障害物を可能な範囲で検知するのみであり、わき見やぼんやり運転を許容するシステムでも、視界不良時の運転を補助するシステムでもありません。運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。
- 運転者が判断する過程での支援内容
  プリクラッシュセーフティシステムは、検知しうる前方の障害物の情報のみから衝突の可能性を判断するものです。安全の確保の判断は運転者自らが行う必要があります。
- 運転者が操作する過程での支援内容
  プリクラッシュセーフティシステムの制動制御は、衝突が避けられないと判断した段階で作動するもので、運転者の適切な操作なしに衝突を回避したり、安全に停止させるものではありません。このため、危険性があれば自らが安全を確保する必要があります。

BSM（ブラインドスポットモニター）★

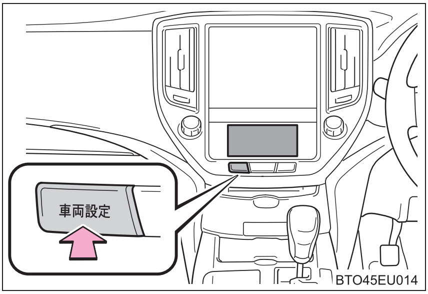
ブラインドスポットモニターは、運転者による車線変更時の判断を支援するシステムです。

レーダーセンサーにより、隣の車線のドアミラーに映らない領域（死角領域）を併走する車両を検知し、ドアミラーのインジケーターによって車両の存在を知らせます。

◆ BSM メインスイッチ

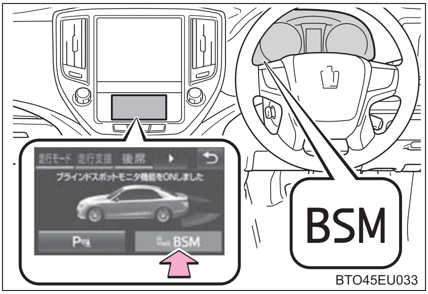
押すごとに ON ／ OFF が切りかわります。

1 車両設定スイッチを押す



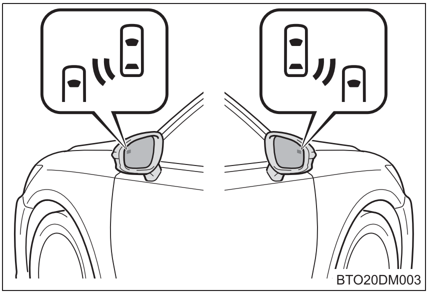
2 「走行支援」を選択し、「BSM」を選択する

ON になるとブラインドスポットモニター表示灯が点灯します。



◆ ドアミラーインジケーター

死角領域に車両を検知したときは、検知した側のドアミラーインジケーターが点灯します。
また、方向指示レバーを操作した際に死角領域に車両がいたときは、ドアミラーインジケーターが点滅します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ブラインドスポットモニターが検知できる範囲

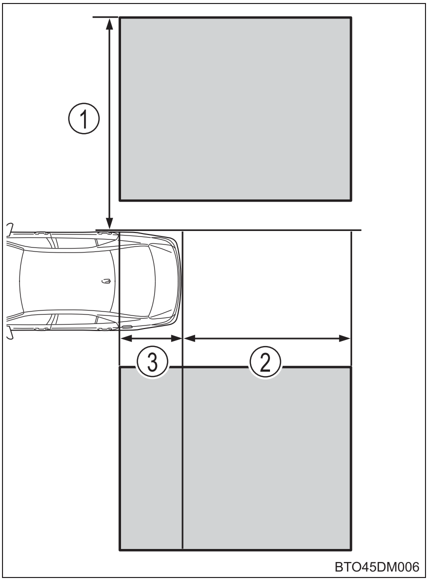
死角領域となる、次の範囲に入った車両を検知します。

① 車両側面から外側に約 3.5m

車両側面から外側に約 0.5m は検知しません

② 車両後端から後方に約 3m

③ 車両後端から前方に約 1m



知識

■ブラインドスポットモニターの作動条件

BSM メインスイッチが ON の状態で、車速が約 16km/h 以上のとき

■センサーが車両を検知する条件

ブラインドスポットモニターは、次のような状況で検知範囲に入った車両を検知します。

- 隣の車線を走行する他車に自車が追い越されるとき
- 他車が車線変更中に検知範囲に進入するとき

■センサーが検知しない条件

ブラインドスポットモニターは、次のような車両や車両以外のものを検知対象としません。

- 小型の二輪車・自転車・歩行者など※
- 対向車
- ガードレール・壁・標識・駐車車両などの静止物※
- 同じ車線を走行する後続車※
- 2 つ隣の車線を走行する他車※

※：状況によっては検知することがあります。

■ブラインドスポットモニターが有効に作動しないおそれがある状況

●次のような状況では有効に検知しないおそれがあります。

- ・大雨・霧・雪などの悪天候時
- ・氷雪・泥などがリヤバンパーに付着したとき
- ・水たまりなどぬれた路面を走行するとき
- ・検知範囲に入る他車と自車の速度差が大きすぎるとき
- ・停止状態から発進した際に、検知範囲に他車が存在し続けたとき
- ・急勾配の上り・下りが連続した坂道を走行しているとき
- ・複数台の他車が狭い間隔で連続して接近するとき
- ・車線の幅が広く、隣の車線の他車が自車から離れすぎているとき
- ・検知範囲に入る他車と自車の速度がほとんど等しいとき
- ・自車線と隣車線の高さに差があるとき
- ・BSM メインスイッチを ON にした直後

●特に次のような状況では不要な検知が増えることがあります。

- ・ガードレールや壁などとの距離が短い状況で、それらが検知範囲に入ったとき
- ・後続車との車間距離が短いとき
- ・車線の幅が狭く、2 つ隣の車線を走行する他車が検知範囲に入ったとき
- ・車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーを装着しているとき

■ドアミラーインジケーターの視認性について

強い日差しのもとでは、ドアミラーインジケーターが見えづらいことがあります。

■システムに異常があるときは

次のような原因で異常が検知されたときは、警告表示でお知らせします。(→368)

●センサーが故障しているとき

●センサーが汚れているとき

●極めて高温または低温の環境での使用

●電圧異常

⚠ 警告

■安全にお使いいただくために

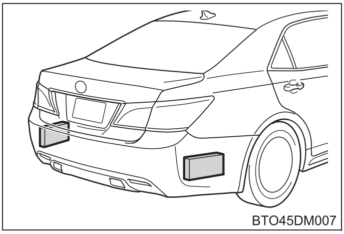
安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

ブラインドスポットモニターは、死角に入った車両の存在をドライバーに提供する、補助的なシステムです。本システムだけで安全な車線変更の可否を判断できるものではないため、システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、状況によっては有効に機能しないことがあるため、運転者は自らの目視による安全確認を行う必要があります。

■レーダーセンサーの取り扱い

ブラインドスポットモニターのセンサーは、車両後部に左右ひとつずつ設置されています。システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

● センサー周辺のバンパーは常にきれいにしておく



● センサー周辺のバンパーへの強い衝撃を避ける

センサーの位置がずれると、検知範囲に入った車両を検知できないなど、システムに異常が起こるおそれがあります。強い衝撃を受けた際は、必ずトヨタ販売店にて点検を受けてください。

● センサーを分解しない

● センサーやセンサー周辺のバンパーにステッカーを貼らない

● センサーやセンサー周辺のバンパーを改造しない

● センサーやセンサー周辺のバンパーを塗装しない

● 本製品は各国の電波法に適合しています。製品に貼られているシールはその証明ですので、剥がさないでください。

製品を改造しないでください。改造すると認証番号が無効となります。

R 204Y51100100

ハイブリッド車運転のアドバイス

環境に配慮した経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

◆ エコドライブモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、燃費向上につながります。（→ P. 177）

◆ ハイブリッドシステムインジケーターの利用

メーター内のハイブリッドシステムインジケーターの針をエコエリアの範囲に保つことで、環境に配慮した走行が可能です。（→ P. 82）

◆ シフトレバーの操作

信号待ちや渋滞のときなどは、シフトレバーを D にしましょう。また、駐車するときはシフトレバーを P にしましょう。シフトレバーを N にしても、燃費向上の効果はありません。N では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、エアコンなどを使用していると駆動用電池の残量が低下します。

◆ アクセルペダル・ブレーキペダルの操作

● 急加速・急減速を控え、スムーズな運転を心がけましょう。ゆるやかに加速・減速することで、より効果的に電気モーターを使用でき、余分なガソリン消費を抑えることができます。

● 加速のくり返しは、駆動用電池の残量を低下させ、結果、燃費が悪化するため控えましょう。走行中、アクセルペダルを少しもどすことで駆動用電池の残量を回復させることができます。

◆ 減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。
減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ 渋滞

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは燃費を悪化させます。お出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

◆ 高速道路での運転

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルペダルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ エアコンの ON ／ OFF

必要時以外は OFF にしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

夏季：外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り燃費向上につながります。

冬季：ガソリンエンジン・車室内が暖まるまで、ガソリンエンジンが自動停止しないので、燃料を消費します。また、過剰な暖房を避けると、燃費向上につながります。

◆ タイヤ空気圧の点検

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、燃費の悪化につながります。
また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいため、乾燥した路面では燃費の悪化につながります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを交換しましょう。

◆ 荷物

重い荷物が積まれていると、燃費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。また、大型ルーフキャリアの装着も重い荷物と同様に燃費の悪化につながります。

◆ 走行前の暖機運転

ガソリンエンジンが冷えているときは、ガソリンエンジンの始動／停止を自動的に行いますので、暖機運転は必要ありません。
なお、短距離走行のくり返しは、暖機運転のためのガソリンエンジン始動がひんぱんに行われることになりますので、燃費の悪化につながります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬を迎える前の準備

● 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
・エンジンオイル
・冷却水
・ウォッシャー液

● 補機バッテリーの点検を受けてください。

● 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（後部タイヤ用）を使用してください。※

タイヤは 4 輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。
（タイヤについて：→ P. 320）

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

● ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。

● フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。

● 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。

● 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをＰに入れて駐車し、輪止め※をしてください。

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

ワイパー停止位置の切りかえ（寒冷地仕様車）

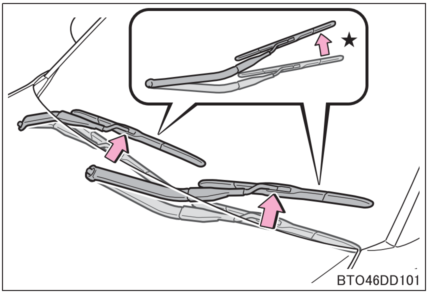
積雪や凍結のおそれがある場合は、あらかじめボンネット下に格納されているワイパーを積雪時の停止位置に切りかえておきます。

ワイパーアームのフック部をしっかり持って、ワイパー停止位置の切りかえを行ってください。

■ 積雪時の停止位置にする

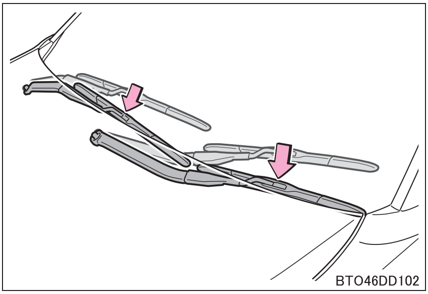
ガラス面にそって引き上げます。

★：10cm 以上



■ 通常の停止位置にもどす

フック上部を手で押します。



知識

■タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

●安全に作業できる場所で行う

●うしろ 2 輪に取り付ける

●タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う

●取り付け後約 0.5 ～ 1.0km 走行したら締め直しを行う

■寒冷地用ワイパーブレードについて

●降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。

●高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

警告

■**冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

■**タイヤチェーン装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30km/h のどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

■**駐車時の警告**

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。
輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠注意

■タイヤチェーンの使用について

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。
トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■フロントウインドウガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。
ウインドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

■ワイパーアームを立てるとき（寒冷地仕様車）

ワイパーを積雪時の停止位置に切りかえてから立ててください。（→ P. 254）
停止位置を切りかえずに立てると、ワイパーアームとボンネットが干渉し、傷が付くおそれがあります。

室内装備・機能 5

5-1. エアコンの使い方

フロントエアコン 260
リヤエアコン 271
ステアリングヒーター／
シートヒーター／
シートベンチレーション 274

5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧 279
・フロントパーソナルランプ、
ルームランプ 280
・読書灯................................. 280

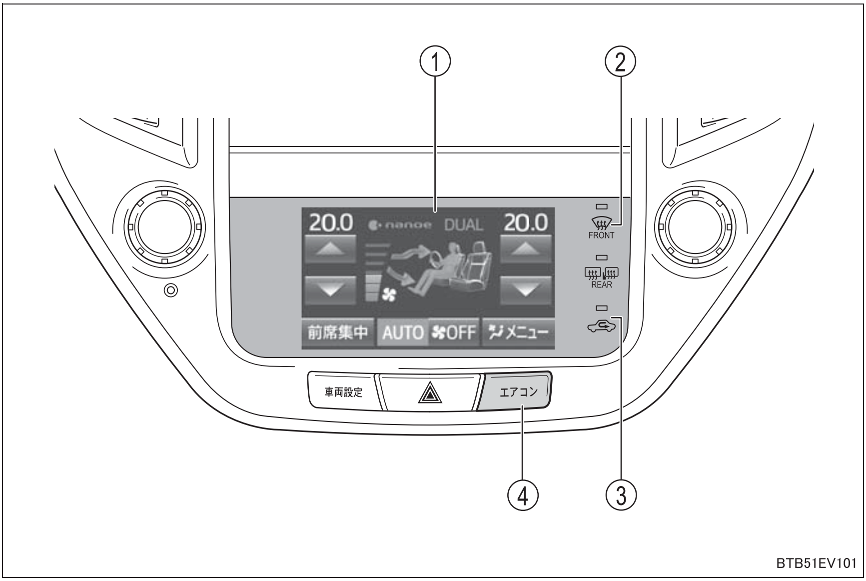
5-3. 収納装備

収納装備一覧 282
・グローブボックス 283
・コンソールボックス 284
・カップホルダー／
ボトルホルダー 285
・小物入れ............................. 287
・カードホルダー 288
トランク内装備 289

5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備................... 291
・サンバイザー 291
・バニティミラー................. 291
・時計..................................... 292
・アクセサリーソケット 293
・リヤアームレスト............. 294
・リヤサンシェード／
リヤドアサンシェード...... 295
・コートフック 298
・アシストグリップ............. 298
・ステアリングスイッチ 299
トヨタマルチ
オペレーションタッチ 300

フロントエアコン



① 操作画面
② フロントウインドウガラス曇り取り
③ 内外気切りかえスイッチ
④ エアコン操作画面表示スイッチ

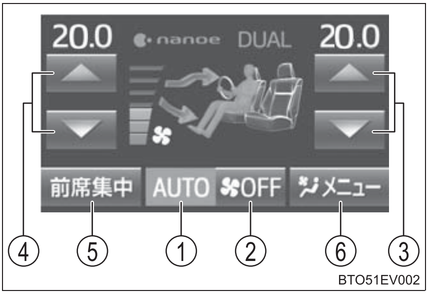
操作画面内のスイッチが作動状態のとき、各スイッチの表示が明るくなります

エアコン操作画面について

1 エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させる

2 操作画面を選択し、エアコンの設定をする

操作画面内のスイッチ以外をタッチすると、運転席側、または助手席側操作画面に切りかわります。



① AUTO

エアコンが作動し、吹き出し口と風量が自動で調整されます。

② OFF

エアコンの作動を停止します。

③ 温度調整

設定温度を上げるときは を、

下げるときは を選択します。

④ 助手席側温度調整

設定温度を上げるときは を、下げるときは を選択します。

・連動モード時に操作すると、左右独立モードに切りかわり、画面に「DUAL」が表示されます。

⑤ 前席集中

後席の送風を止め省エネ空調します。
室温や外気温などの条件により、室内の快適性を保つため、後席に送風されることがあります。

⑥ エアコンメニュー

画面が切りかわり、風量や吹き出し口などの切りかえができます。

→ P. 262

・切りかわった画面の を選択することにより、エアコン操作画面にもどります。

エアコン操作について

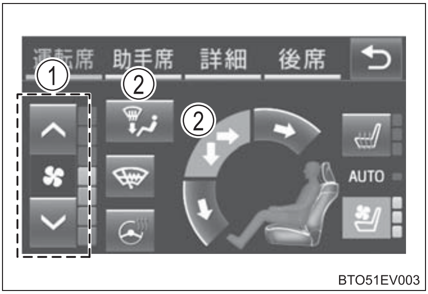
エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させる

■ 風量・吹き出し口切りかえ

「メニュー」を選択し、「運転席」または「助手席」を選択する

次の操作については、運転席側を代表して説明してあります。
・ 運転席と助手席は連動します

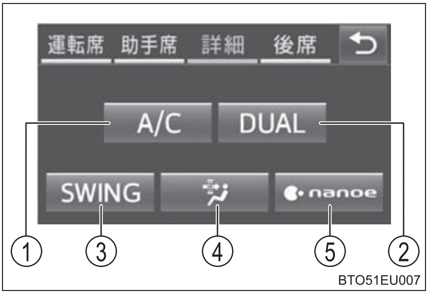
① 風量を切りかえる
② 吹き出し口を切りかえる



■ 「詳細」操作画面

「メニュー」を選択し、「詳細」を選択する

① 冷房・除湿する
② 運転席と助手席の設定温度を別々に設定する（→ P. 261）
③ 中央吹き出し口を自動で首ふりする★
④ 花粉を除去する
⑤ 「nanoe（ナノイー）」を作動する★



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

オート設定で使用する

1. エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させ、「AUTO」を選択する
2. 温度を設定する
3. ファンを止めたいときは、エアコン操作画面の「OFF」を選択する

■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえるとAUTOスイッチの表示色は反転しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

■ 運転席と助手席の設定温度を別々に設定する（左右独立モード）

次のいずれかの操作をすると、左右独立モードが ON になり、エアコン操作画面に「DUAL」が表示されます。

- 「詳細」操作画面の「DUAL」を選択する

  左右独立モードになりスイッチの色が明るくなります。

- エアコン操作画面の助手席側の設定温度を変更する

その他の機能

■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

を押す

ボタンを押すたびに外気導入・内気循環に切りかわります。

内気循環を選択しているとき、 の表示灯が点灯します。

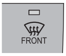
・外気導入時でも、室内の温度が高いときは、内気循環になります。

■ 花粉除去モードを使用するには

詳細操作画面（→ P. 262）で、 を選択する

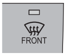
花粉除去モードが ON のとき、スイッチの色が明るくなります。
内気循環に切りかわり、上半身に送風して花粉を除去します。

■ フロントウインドウガラスの曇りを取るには



を押す

除湿機能が作動し、風量が増えます。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。（自動的に切りかわる場合もあります）
風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。

曇りが取れたら再度 

を押すと前のモードにもどります。

■ リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときにご使用ください。

を押す

リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーターはしばらくすると自動的に OFF になります。

■ ウインドシールドデアイサー★

フロントウインドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐためにご使用ください。

1 エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させ、「メニュー」を選択する

2 「運転席」を選択する

3 を選択する

ウインドシールドデアイサーが ON とき、スイッチの色が明るくなります。
ウインドシールドデアイサーはしばらくすると自動的に OFF になります。

BTO51EV004

リヤエアコンを操作するには（リヤエアコン装着車）

1 エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させる

2 「メニュー」を選択し、「後席」を選択する

① AUTO

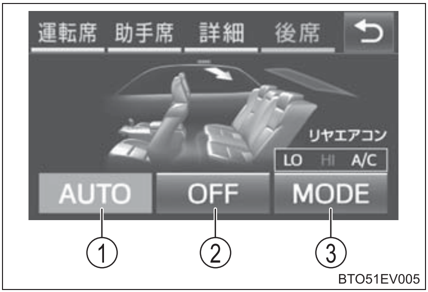
リヤエアコンが作動し、風量が自動で調整されます。（→ P. 272）
暖房時は、送風が停止する場合があります。

② OFF

リヤエアコンの作動を停止します。

③ MODE

リヤエアコンの作動状態を切りかえます。（→ P. 272）



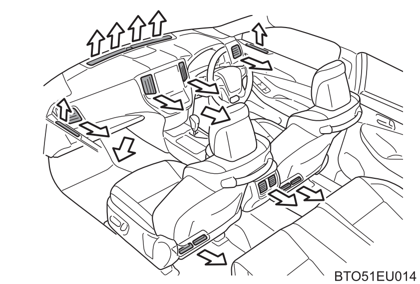
BTO51EV005

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

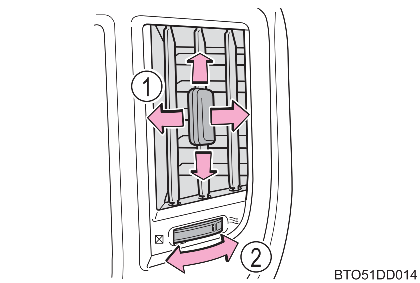
■ 吹き出し口の位置

吹き出し切り替えスイッチの選択により、風が出る位置や風量が変化します。


BTO51EU014

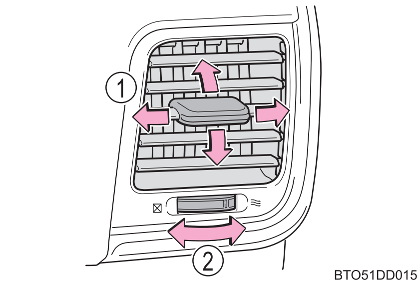
■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ 中央吹き出し口



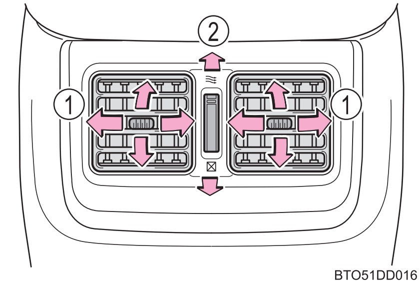
BTO51DD014

▶ 左右吹き出し口



BTO51DD015

▶ リヤ吹き出し口



BTO51DD016

① 風向きの調整

② 吹き出し口の開閉

知識

■オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、「AUTO」を選択した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■温度調整について

左右独立モードのとき、リヤ吹き出し口の温度は、運転席側に連動しています。（天井部のリヤエアコン吹き出し口を除く）

■ガラスの曇りについて

- ●車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、「A/C」を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
- ●「A/C」を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- ●内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■外気導入・内気循環について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

■外気温度が 0 ℃近くまで下がったとき

「A/C」を選択しても除湿機能が働かない場合があります。

■にタッチしたときは

●「AUTO」がONで吹き出し口がのときにを選択するとガラスへの送風が止まります。

●「AUTO」が ON で、吹き出し口が以外のときにを選択すると足元へ送風しながらガラスへも送風し、ガラスを曇りにくくします。ガラスへの送風を止めたいときはもう一度を選択します。

■花粉除去モードについて

●外気温が低いときは、フロントウインドウガラスの曇りを防止するために次のような作動をする場合があります。

- ・内気循環に切りかわらない
- ・除湿機能が作動する
- ・約 1 分後に作動が停止する

●雨天時はガラスが曇るため、「A/C」を選択してください。

●湿度が非常に高いときに使うとガラスが曇る場合があります。

●花粉除去モードが OFF のときも花粉はフィルターで取り除かれています。

■「ナノイー」※1 について

エアコンには「ナノイー」技術が搭載されています。この技術は運転席中央側の吹き出し口を通じて、水に包まれた肌や髪にやさしい弱酸性の「ナノイー」を放出し、室内を爽やかな空気で満たします※2。

●「ナノイー」の作動中、次の条件で効果を発揮します。次の条件以外では、効果が十分に得られない場合があります。

- ・吹き出し口が上半身に送風、上半身と足元に送風、または足元に送風のとき
- ・運転席側の吹き出し口が開いているとき

●「ナノイー」作動時は、微量のオゾンが発生し、かすかに臭うことがありますが、森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。

●作動中、かすかに作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

※1 「nanoe」、「ナノイー」および「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

※2 温湿度環境、風量・風向きによっては「ナノイー」の効果が十分に得られない場合があります。

■換気とエアコンの臭いについて

●車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。

●エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■エアコンフィルターついて

→ P. 326

■エコドライブモードのエアコン作動について

●エコドライブモードは燃費性能を優先させるため、空調システムが次のように制御されます。

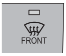
・エンジン回転数やコンプレッサーの作動を制御し、暖房／冷房の能力を抑制します。
・オート設定での使用時、ファンの風量を抑制します。

●空調の効きをより良くしたいときは、次の操作を行ってください。

・風量を調整する
・エコドライブモードを解除する

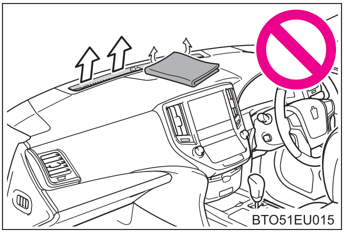
⚠警告

■**フロントウインドウガラスの曇りを防止するために**

● 外気の湿度が高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、

を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

● フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口をさえぎるようなものを置かないでください。送風がさえぎられ、曇りが取れにくくなることがあります。



■**リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター／ウインドシールドデアイサー★作動中の警告**

● ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

● フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

■**「ナノイー」について**

このシステムは、高電圧の部品を含むため、分解・修理はしないでください。修理が必要な場合は、トヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠注意

■**補機バッテリーあがりを防ぐために**

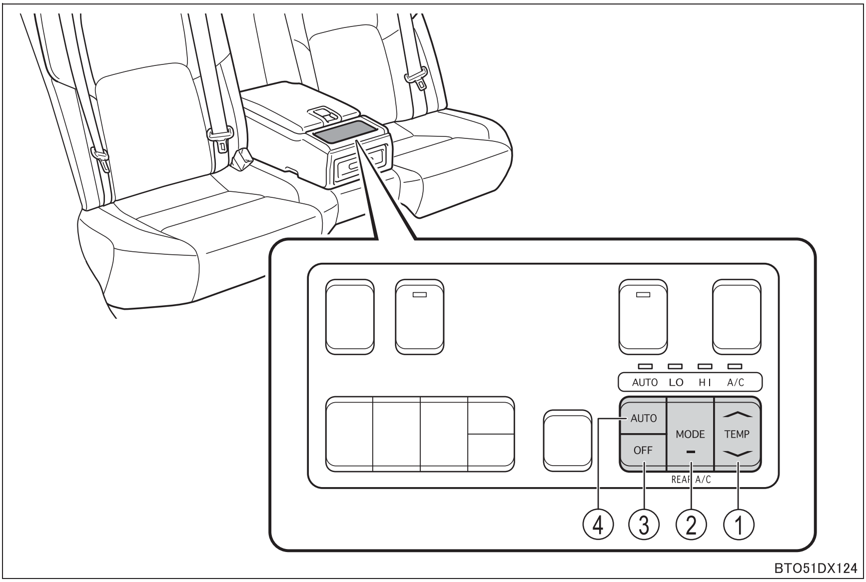
ハイブリッドシステム停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

■**「ナノイー」の損傷を防ぐために**

運転席の吹き出し口の近くでスプレーを使用したり、吹き出し口にものをはめ込んだり貼ったりしないでください。システムが正常に働かなくなるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

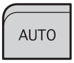
リヤエアコン★



① 温度調整
② モード切りかえ
③ リヤエアコンの停止
④ リヤエアコンの自動作動

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

オート設定を使うとき

リヤ操作部にある

を押す

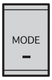
リヤエアコンが自動で作動します。

・フロント席から操作することもできます。（→ P. 265）

■ リヤエアコンの作動について

フロントエアコンの風量制御をもとに自動で風量を調整します。

お好みの設定で使うとき

リヤ操作部にある

を押す

リヤエアコンが作動します。

・フロント席から操作することもできます。（→ P. 265）

■ リヤエアコンの作動について

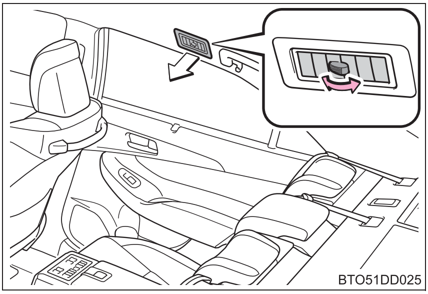
スイッチを押すごとに次のように切りかわります。
AUTO※1 → LO A/C → HI A/C →停止※2

モード表示	リヤエアコン	風量
LO（タッチパネル） LO A/C（リヤ操作部）	作動	弱
HI（タッチパネル） HI A/C（リヤ操作部）	作動	強

※1 リヤエアコン操作画面のスイッチを操作したときに選択できます。リヤ操作部から選択したいときは、AUTO スイッチを押します。

※2 リヤエアコン操作画面のスイッチを操作したときに選択できます。リヤ操作部から選択したいときは、OFF スイッチを押します。

風向きの調整



⚠注意

■補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステム停止中は、必要以上にリヤエアコンを使用しないでください。

ステアリングヒーター／シートヒーター★／シートベンチレーション★

ハンドル左右のグリップ部やシートを温めたり、シートから風を出して通気をよくできます

警告

●低温やけどを負うおそれがあるため、次の方がステアリングヒーター／シートヒーターに触れないようにご注意ください。

・乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
・皮膚の弱い方
・疲労の激しい方
・深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方

●異常過熱や低温やけどの原因になるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。

・長時間連続使用しない
・毛布・クッションなどを使用しない

注意

●シートヒーター／シートベンチレーションの故障を防ぐために凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

●補機バッテリーあがりを防ぐためにハイブリッドシステムが停止した状態で使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

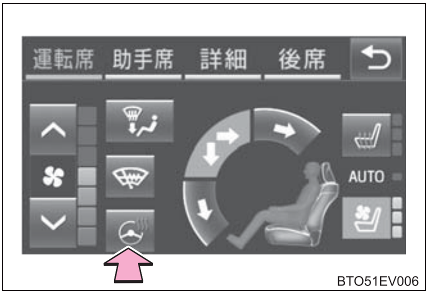
ステアリングヒーター

1 エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させ、「メニュー」を選択する

2 「運転席」を選択する

3 を選択する

ステアリングヒーターが ON とき、スイッチの表示色が反転します。



BTO51EV006

知識

■**作動条件**

パワースイッチが ON モードのとき

■**タイマー機能**

約 30 分後に自動で OFF になります。

■**スイッチ表示が点滅した場合**

スイッチを OFF にし、もう一度スイッチを選択してください。点滅がさらに続く場合はシステムの異常が考えられます。作動を停止し、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■**カスタマイズ機能**

ステアリングヒーター自動作動の変更ができます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 442）

シートヒーター

■ フロントシート

1 エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させ、「メニュー」を選択する

2 運転席を操作するときは「運転席」を、助手席を操作するときは「助手席」を選択する

▶ 運転席

選択するごとに、AUTO →強→中→弱→ OFF の順に切りかわります

作動中はスイッチが明るくなり、作動状態がスイッチ横に表示されます。

BTO51EV008

▶ 助手席

選択するごとに、AUTO →強→中→弱→ OFF の順に切りかわります

作動中はスイッチが明るくなり、作動状態がスイッチ横に表示されます。

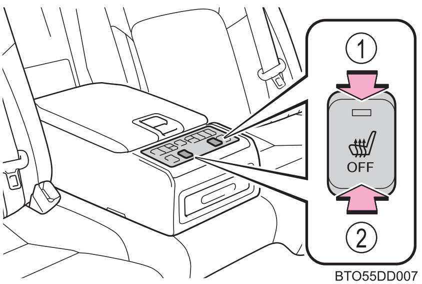
BTO51EU017

■ リヤシート（リヤシートヒーター装着車）

① シートを暖める

作動中は、レベルインジケーターが点灯します。
シートが暖まると自動的に「弱」になります。

② OFF



BTO55DD007

知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■シートヒーターの AUTO について

エアコンの設定温度、外気温などに応じて、シートヒーター、OFF、シートベンチレーション（装着車のみ）が自動的に切りかわります。

シートベンチレーション（フロントシート）

1 エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示させ、「メニュー」を選択する

2 運転席を操作するときは「運転席」を、助手席を操作するときは「助手席」を選択する

▶ 運転席

選択するごとに、AUTO →強→中→弱→ OFF の順に切りかわります

作動中はスイッチが明るくなり、作動状態がスイッチ横に表示されます。

BTO51EV009

▶ 助手席

選択するごとに、AUTO →強→中→弱→ OFF の順に切りかわります

作動中はスイッチが明るくなり、作動状態がスイッチ横に表示されます。

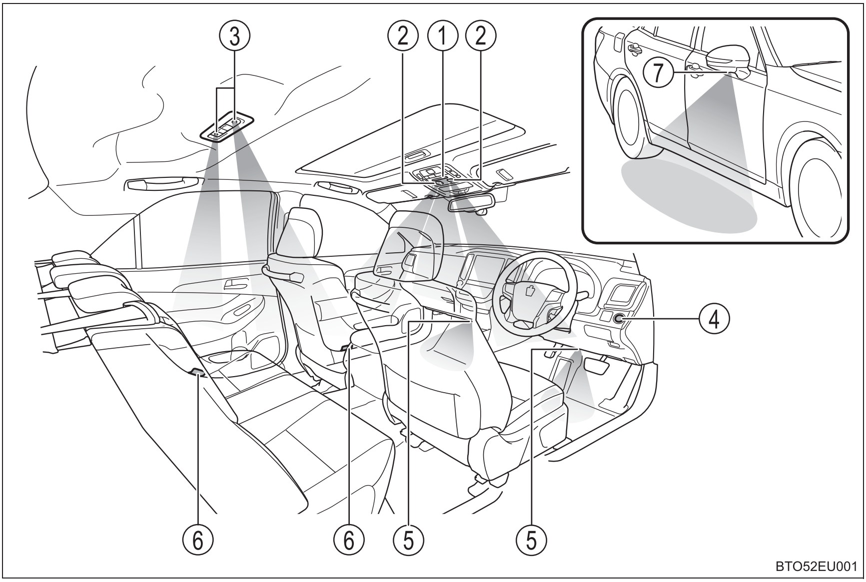
BTO51EU019

知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

室内灯一覧



① ルームランプ
(→ P. 280)

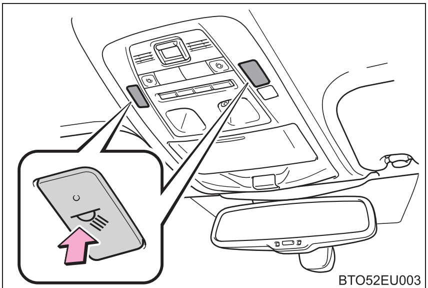
② フロントパーソナルランプ
(→ P. 280)
③ 読書灯
(→ P. 280)
④ パワースイッチ照明
⑤ 足元照明
⑥ ドアカーテシランプ
⑦ ドアミラー照明★

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

フロントパーソナルランプ、ルームランプ

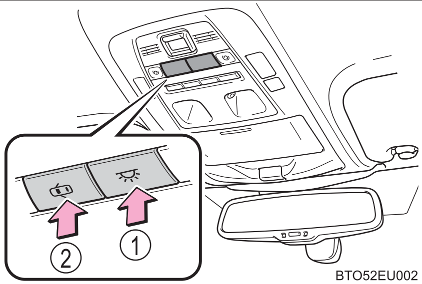
■ フロントパーソナルランプ

ランプを点灯・消灯する


BTO52EU003

■ ルームランプ

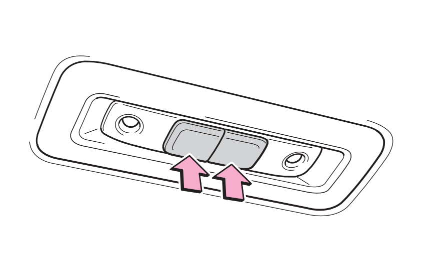
① ランプを点灯・消灯する
② ドアの開閉に連動してランプの点灯・消灯を切りかえる



BTO52EU002

読書灯

ランプを点灯・消灯する


BTO52EU004

知識

●電子キーの検知・ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・パワースイッチのモードにより、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。（イルミネーテッドエントリーシステム）

●足元照明は、シフトレバーをＰからＰ以外にすると減光されます。

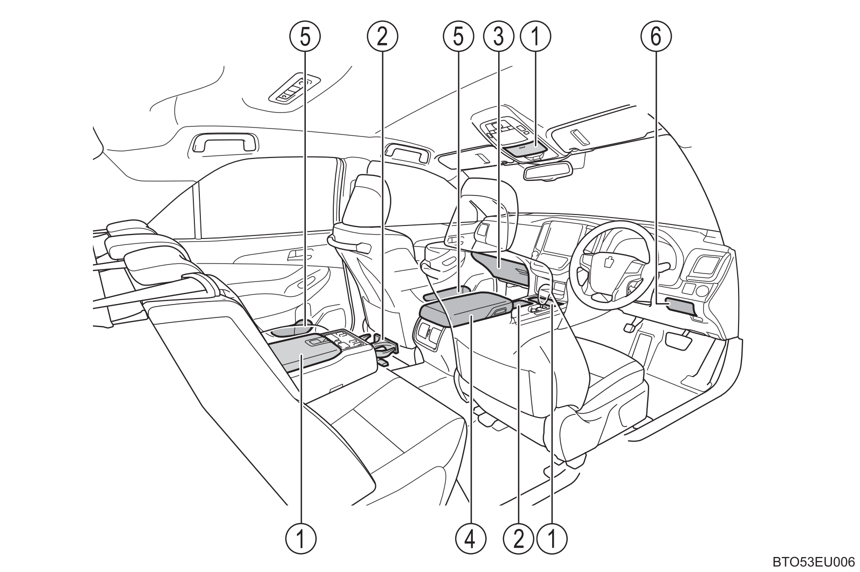
●パワースイッチがOFFの場合、室内灯が点灯したままのときは、約20分後に自動消灯します。

●室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。
（カスタマイズ一覧：→P. 442）

注意

補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

収納装備一覧



① 小物入れ★ (→ P. 287)
② カップホルダー (→ P. 285)
③ グローブボックス (→ P. 283)
④ コンソールボックス (→ P. 284)
⑤ ボトルホルダー (→ P. 285)
⑥ カードホルダー★ (→ P. 288)

⚠ 警告

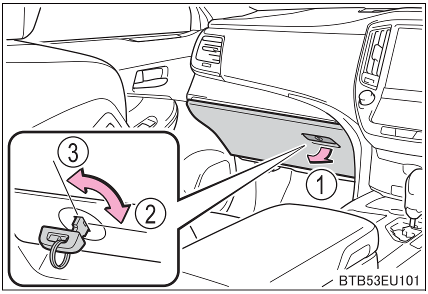
● メガネ･ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。
放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
- 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

● 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

グローブボックス

① 開ける（レバーを引く）
② メカニカルキーで施錠
③ メカニカルキーで解錠



知識

●車幅灯点灯時は、グローブボックス内のランプが点灯します。

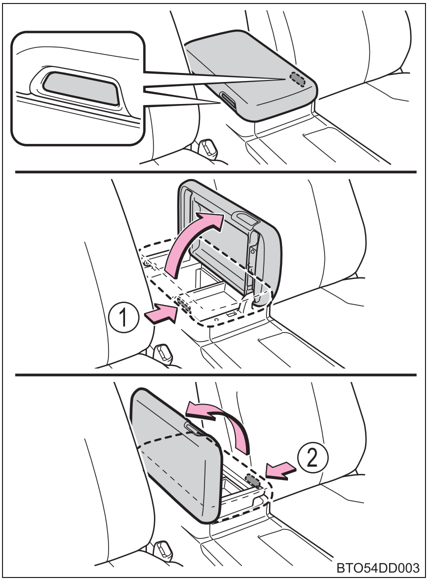
●グローブボックス内に、トランクオープナーメインスイッチがあります。
（→ P. 116）

コンソールボックス

ボタンを押してフタを持ち上げる

① 運転席側から開ける

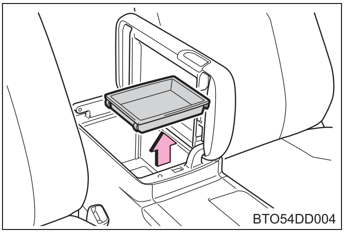
② 助手席側から開ける



知識

■コンソールボックス内のトレイについて

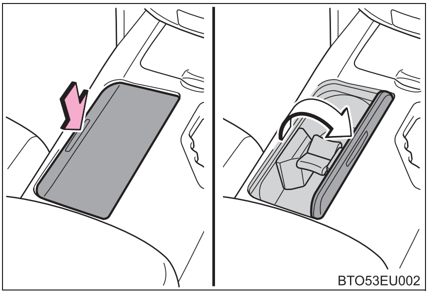
引き上げて取りはずすことができます。



カップホルダー／ボトルホルダー

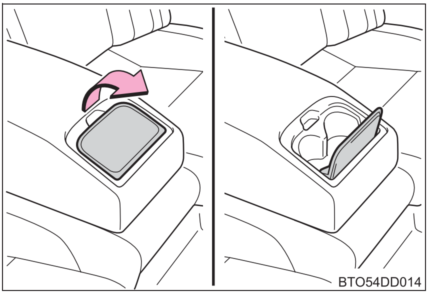
■ フロントカップホルダー

カップホルダーのフタを押して開ける



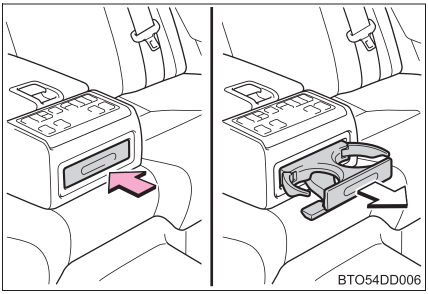
■ リヤカップホルダー

▶ A タイプ



リヤアームレストを倒し、フタ開ける

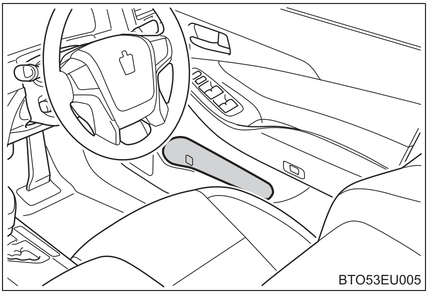
▶ B タイプ



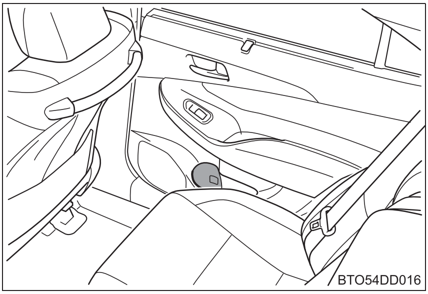
リヤアームレストを倒し、アームレストのカップホルダーを押して開ける

■ ボトルホルダー

▶ フロント



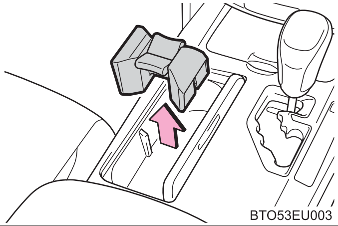
▶ リヤ



知識

■仕切りの取りはずし（フロントカップホルダー）

カップホルダー内を清掃するために、仕切りを取りはずすことができます。


BTO53EU003

■カップホルダーを収納するとき（リヤカップホルダー B タイプ）

アームレストを倒した状態で収納してください。アームレストを倒した状態にしないと、収納できません。

■ボトルホルダーとして使用するときは

●ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。

●ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

警告

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために、温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

注意

■カップホルダーの破損を防ぐために（リヤカップホルダー B タイプ）

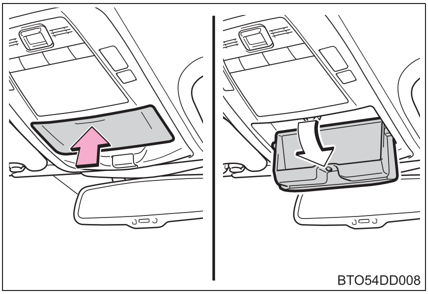
リヤカップホルダーが出ている状態で、リヤアームレストを格納しないでください。

■ボトルホルダーについて

ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

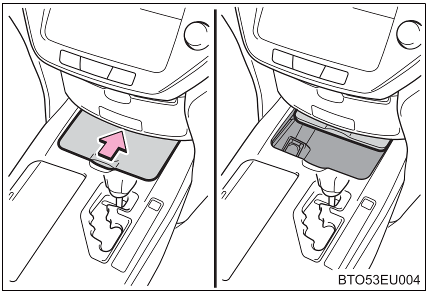
小物入れ

▶ A タイプ★



押して開ける

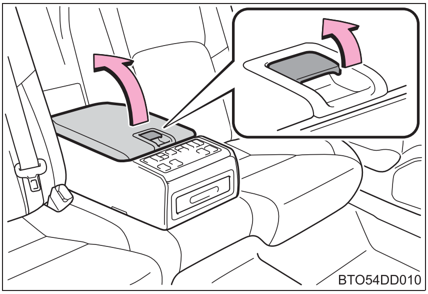
▶ B タイプ



フタをスライドさせて開く

フタをもう一度前方に押すと閉じます。

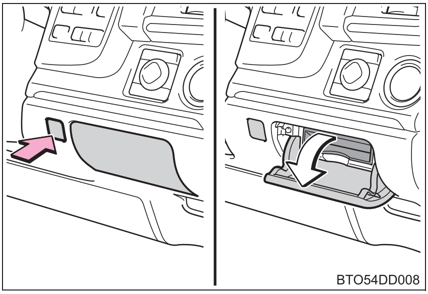
▶ C タイプ★



リヤアームレストを倒して、レバーを引いて開ける

カードホルダー★

ボタンを押して開ける



注意

■収納してはいけないもの

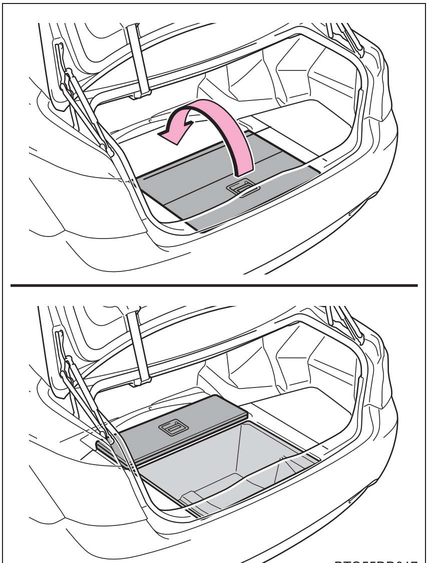
カードホルダーには、カード以外のものを入れないでください。カードホルダーが破損するおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

トランク内装備

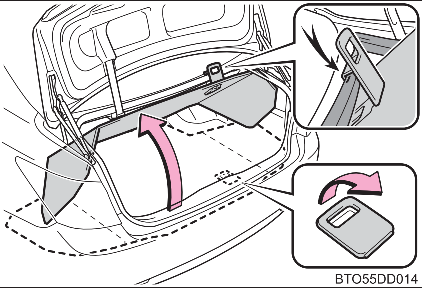
ラゲージマット

▶ タイヤパンク応急修理キット装着車



BTO55DD017

▶ 応急用タイヤ装着車



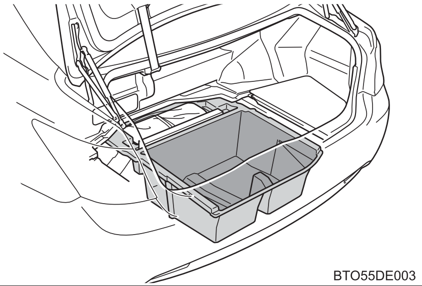
BTO55DD014

● レバーを持ってラゲージマットを折りたたむ（タイヤパンク応急修理キット装着車）

● レバーを引き上げ、ラゲージマットを持ち上げる（応急用タイヤ装着車）

レバーをトランクの縁にかけることができます。

ラゲージボックス（タイヤパンク応急修理キット装着車）



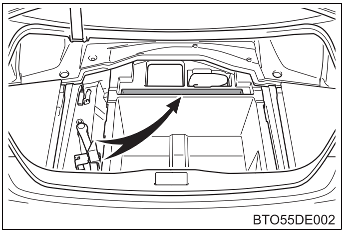
BTO55DE003

知識

■ラゲージボックスについて

ラゲージボックスに停止表示板を収納することができます。

● 停止表示板のケースの大きさ、形によっては、収納できないことがあります。



注意

■トランクを閉めるときは（応急用タイヤ装着車）

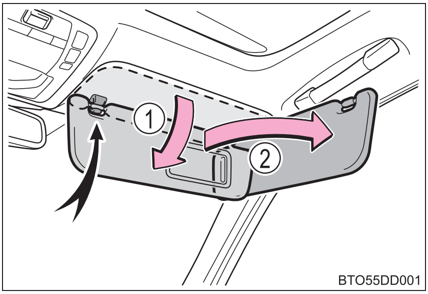
ラゲージマットのレバーをトランクの縁にかけたままにしないでください。ラゲージマットが破損するおそれがあります。

その他の室内装備

サンバイザー

① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす

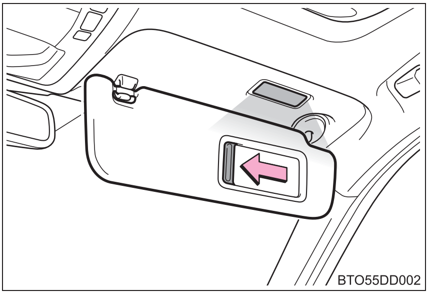
② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



バニティミラー

カバーをスライドして開ける

カバーを開けるとバニティランプが点灯します。



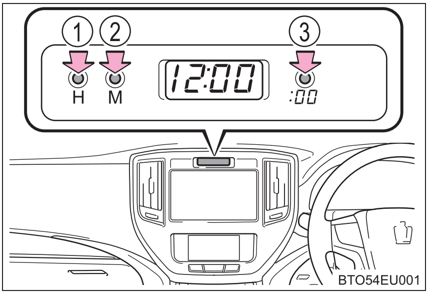
注意

補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

▶ ナビゲーションシステム非装着車



① “時”を調整する（H）

② “分”を調整する（M）

③ “分”を 00 にする※（：00）

※（例）1:00 ～ 1:29 → 1:00
1:30 ～ 1:59 → 2:00

▶ ナビゲーションシステム装着車

別冊の「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

知識

■時刻が表示されるとき

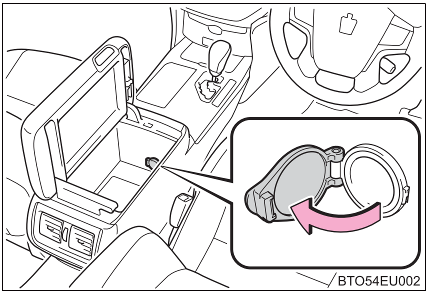
パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

アクセサリーソケット

DC12V ／ 10A（消費電力 120W）未満の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

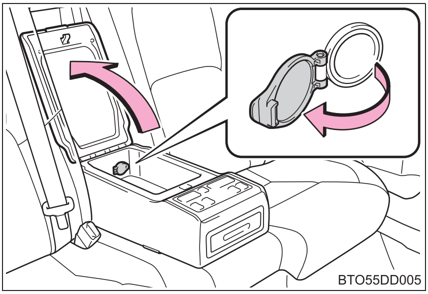
電気製品を使用するときは、すべてのアクセサリーソケットに接続されている電気製品の消費電力合計を 120W 未満にしてください。

▶ フロント



フタを開けて使用する

▶ リヤ★



フタを開けて使用する

知識

作動条件：パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

注意

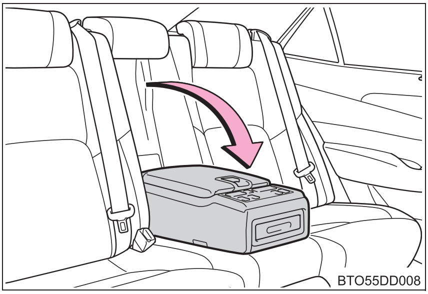
● ショートや故障をふせぐために、ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。

● 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリーソケットを長時間使用しないでください。

5
室内装備・機能

リヤアームレスト

手前に倒して使用します。



注意

■アームレストの破損を防ぐために

過度の負荷をかけないでください。

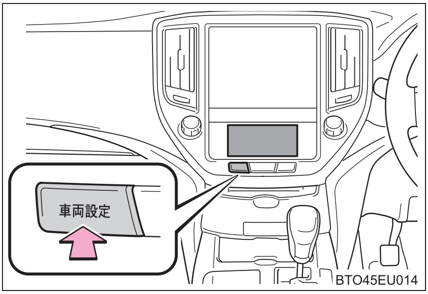
リヤサンシェード★／リヤドアサンシェード★

■ リヤサンシェード

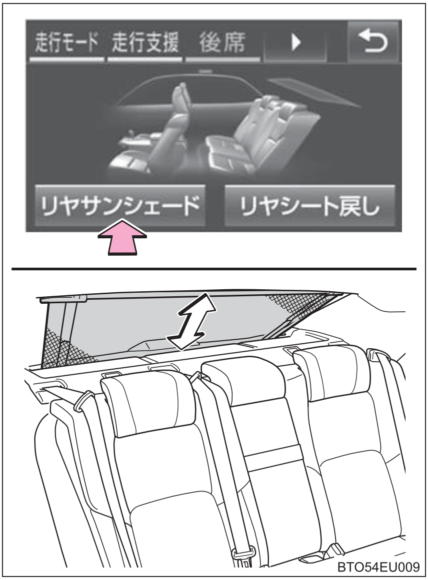
スイッチ操作でリヤサンシェードが上昇／下降します。

● フロント席からの操作

1 車両設定スイッチを押す



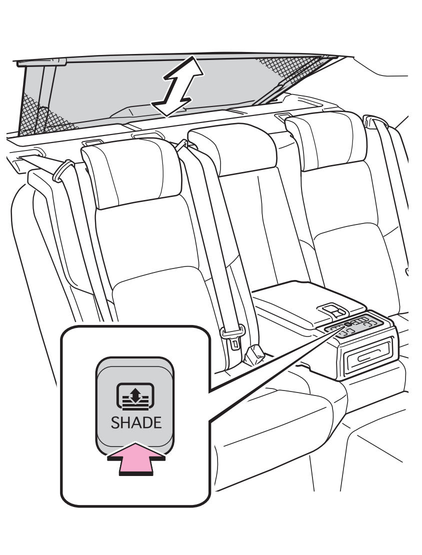
2 「後席」を選択し、「リヤサンシェード」を選択する



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

● リヤ席からの操作

上昇／下降

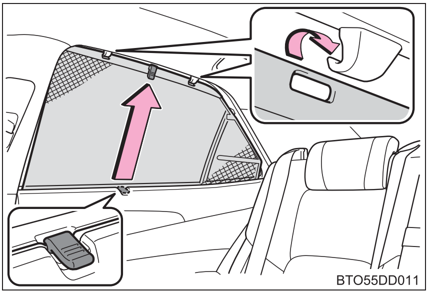


BTO55DD010

■ リヤドアサンシェード

ツマミをしっかりと持って引き出し、フックにかける

もどすときはフックからはずし、ゆっくり収納します。


BTO55DD011

知識

■リヤサンシェードの作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■パワースイッチ OFF 後の作動

パワースイッチを OFF にしたあと、約 1 分間リヤサンシェードをリヤ席から操作できます。

■リバース連動機能

リヤサンシェードが上がった状態でシフトレバーをRにすると、後方を見やすくするためにリヤサンシェードが下降します。

ただし、次のいずれかを行うと、リヤサンシェードは再度上昇します。

- スイッチをもう一度押す※
- シフトレバーをPに入れる
- シフトレバーをR以外にし、15km/h以上で走行する

※ スイッチ操作後はリバース連動機能が作動しない場合があります。作動可能状態にするには、再度上記の操作を行ってください。

■カスタマイズ機能

シフトレバーを R にしてからリバース連動機能が働くまでの時間を変更できます。（カスタマイズ一覧：→ P. 443）

警告

リヤサンシェードが作動しているときは、留め金部分や溝に指を置かないでください。
巻き込まれてけがをするおそれがあります。

注意

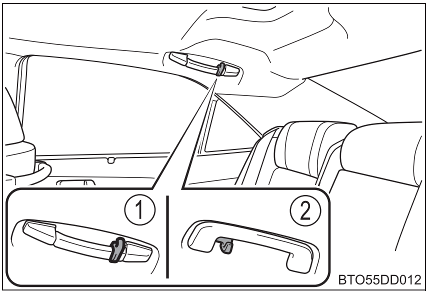
- 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止しているときは、リヤサンシェードを操作しないでください。
- 正常に機能させるために、次のことをお守りください。
  - ・リヤサンシェードのモーターや他の部分に負荷をかけすぎない
  - ・開閉のさまたげになる部分にものを置かない
  - ・リヤサンシェード・リヤドアサンシェードにものを貼らない
  - ・溝をきれいに保つ
  - ・長時間リヤサンシェードの操作を続けない

コートフック

コートフックは、リヤのアシストグリップに付いています。

① ムーンルーフ装着車

② ムーンルーフ非装着車

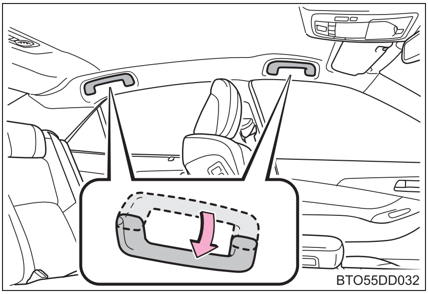


⚠警告

ハンガーや他の硬いもの、鋭利なものをかけないでください。
SRS カーテンシールドエアバッグがふくらんだときにそれらのものが飛び、重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

アシストグリップ

天井に取り付けられているアシストグリップは、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



⚠警告

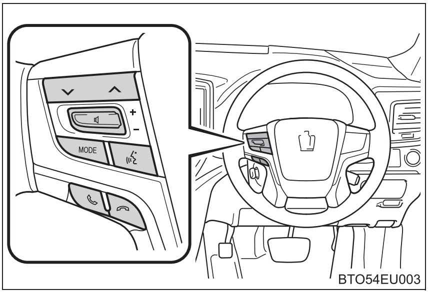
アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がるときなどに使用しないでください。
アシストグリップが破損し、転倒などしてけがをするおそれがあります。

⚠注意

アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけたりしないでください。

ステアリングスイッチ

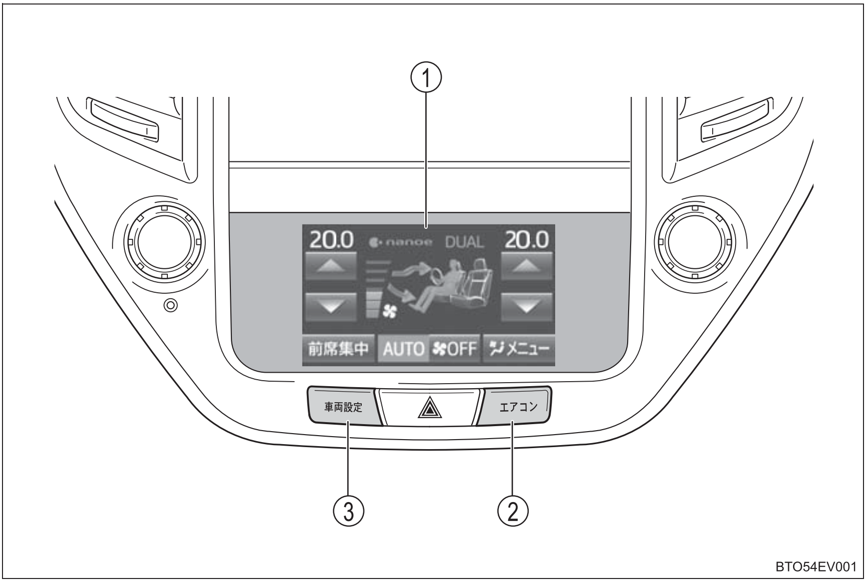
ハンドル左側にあるスイッチで、オーディオを操作することができます。
装着されているオーディオ・ナビゲーションシステムによっては、操作が異なる場合があります。詳しくは製品に付属の各説明書をご覧ください。



⚠ 警告

運転中にオーディオスイッチを操作するときは、十分注意してください。

トヨタマルチオペレーションタッチ



① 操作画面

② エアコン操作画面表示スイッチ

③ 車両設定スイッチ

エアコンの操作

エアコン操作画面表示スイッチを押し、エアコン操作画面を表示します (→ P. 261)

各機能の操作、設定

車両設定スイッチを押し、各機能の操作、設定画面を表示します

- 走行モード（→ P. 177）
- 走行支援★（→ P. 246、ナビゲーションシステム取扱書参照）
- 後席★（→ P. 132, 295）
- 設定★（→ P. 240、ナビゲーションシステム取扱書参照）
- 画質（→ P. 301）

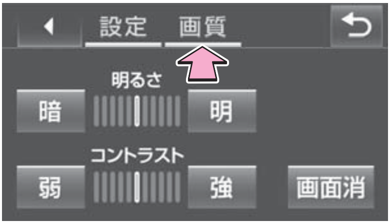
・ を選択することにより次の画面に切りかわります。

を選択すると前の画面にもどります。

画質の調整

1 車両設定スイッチを押し、設定画面を表示させる

2 「画質」を選択し、各調整スイッチを選択する



BTO54EU007

項目	スイッチ	機能
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする

■ 画面表示を消すには

「画面消」を選択すると、画面表示が消えます。

エアコン操作画面表示スイッチ、または車両設定スイッチを押すと再度画面が表示されます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

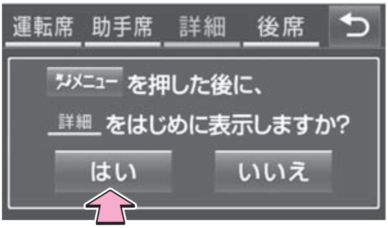
はじめに表示される画面の変更

エアコン操作画面の「メニュー」を選択したあと、および車両設定スイッチを押したあと、最初に表示される画面を変更することができます。

1 最初に表示させたい画面を表示させる

2 表示された画面のタブを長押しする

3 「はい」を選択する



BTO54EU008

知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■操作画面について

●各操作画面から を選択すると、エアコン操作画面にもどります。

●車両設定の画面から操作せずにしばらくすると、エアコン操作画面にもどります。

■液晶画面について

●液晶画面は、斜め方向からみると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。

●太陽の光などの外光が画面にあたると画面が見にくくなります。

●偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

■オープニング画面について

パワースイッチを ON モードにすると、オープニング画面が表示されます。

●ナビゲーションシステム装着車は、季節により表示される画面が異なります。

警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中はハンドルの操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

注意

■**画面を清掃するときは**

画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷が付くことがあります。
また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

■**補機バッテリーあがりを防ぐために**

ハイブリッドシステムが停止しているときは、長時間操作をしないでください。

お手入れのしかた

6

6-1. お手入れのしかた
外装の手入れ............................306
内装の手入れ............................310
6-2. 簡単な点検・部品交換
ボンネット 313
ガレージジャッキ..................316
エンジンルームカバー...........317
ウォッシャー液の補充...........318
タイヤについて......................320
タイヤ空気圧について...........324
エアコンフィルターの交換 ...326
電子キーの電池交換...............328
ヒューズの点検・交換...........330
電球（バルブ）の交換...........334

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

  ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

知識

■セルフリストアリングコート

お車のボデーには、洗車などによる小さなすり傷を自然に復元する、傷付きにくい塗装を使用しています。

- 新車時から５～８年のあいだ、効果が持続します。
- 傷が復元するまでの時間は、傷の深さや周囲の温度により変化します。
  なお、お湯をかけて塗装を暖めると、復元するまでの時間が短くなる場合があります。
- 鍵や硬貨などによる深い傷は復元できません。
- 成分にコンパウンド（磨き粉）が含まれるワックス類は使用しないでください。

■自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■高圧洗浄機を使うとき

●室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。

●洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。

●駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。
近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■洗車などで車に水をかけたとき

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

●電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する
（電子キーの盗難に注意してください）

●電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー＆スタートシステムの作動を停止する（→ P. 122）

■アルミホイール

●中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。

●18 インチタイヤ装着車は、メッキ用クリーナーを使用しないでください。ホイールが変色するおそれがあります。

●夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。

●洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■フロントドアガラスの撥水コーティングについて★

●撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。

・フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
・汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
・コンパウンド（磨き粉）が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
・金属製の道具で霜取りをしない

●水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■レインクリアリングミラーの親水効果回復作業について

鏡面の親水効果は、太陽光をあてることにより徐々に回復します（→ P. 147）が、速く回復させたいときは次の作業を行ってください。

1. 鏡面に水をかけ、泥汚れなどを洗い流す
2. 水を含ませたきれいなやわらかい布などで汚れを落とす
3. ガラスクリーナーか中性洗剤で洗浄後、十分な水で洗剤を洗い流す
4. きれいなやわらかい布などで鏡面に付いた水をふき取る
5. 屋外に車両を駐車し、鏡面に太陽光を５時間程度あてる
   （汚れの量や種類により、回復時間は異なります）

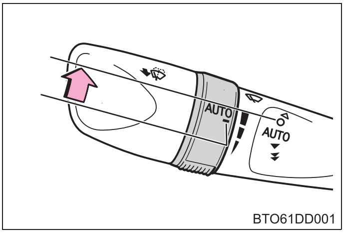
⚠警告

■洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■フロントウインドウガラスを清掃するとき（雨滴感知式ワイパー装着車）

ワイパースイッチを停止してください。AUTO モードになっていると、次のようなときにワイパーが不意に作動し、指などを挟み重大な傷害を受けたり、ワイパーブレードなどを損傷するおそれがあります。



- ●雨滴センサー上部のフロントウインドウガラスに手でふれたとき
- ●水分を含んだ布などを雨滴センサーに近付けたとき
- ●フロントウインドウガラスに衝撃を与えたとき
- ●車内から雨滴センサー本体にふれるなどして衝撃を与えたとき

■排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

■ブラインドスポットモニター★について

リヤバンパーの塗装に傷が付くと、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。トヨタ販売店にご相談ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

注意

■**塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

●次のような場合は、ただちに洗車してください。

・海岸地帯を走行したあと
・凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
・コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
・ばい煙･油煙･粉じん･鉄粉･化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
・ほこり・泥などで激しく汚れたとき
・塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき

●塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。

・18 インチタイヤ装着車は、ホイールの補修を行った場合、補修箇所が目立つおそれがあります。

●ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■**ランプの清掃**

●注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。
ランプを損傷させるおそれがあります。

●ランプにワックスがけを行わないでください。
レンズを損傷するおそれがあります。

■**自動洗車機を使用するとき（雨滴感知式ワイパー装着車）**

ワイパースイッチを停止してください。（→ P. 196）
AUTO モードになっていると、不意にワイパーが作動してワイパーブレードなどを損傷するおそれがあります。

■**高圧洗浄機を使用するときは**

ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴムまたは樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。
高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。

●駆動系部品

●ステアリング部品

●サスペンション部品

●ブレーキ部品

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る。

汚れ落ちしない場合は、中性洗剤を濃度約 1%に希釈してふき取ってください。

本革部分の手入れ

● 掃除機などでほこりや砂を取り除く
● うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る

ウール用の中性洗剤を約 5% の水溶液までうすめたものを使用してください。

● 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
● 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

● 掃除機をかけて、大まかな汚れを取る
● スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
● 数分間洗剤につけておいてから汚れを落とし、固くしぼったきれいな布で洗剤をふき取る

シート布地部分の手入れ

フローリング用粘着クリーナーなどで髪の毛やほこりを取り除く

知識

■本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。
スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。
シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■スーパー UV カットガラス★について

- ドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいて清掃してください。
- ドアガラスの汚れがひどいときは、ドアガラスの開閉をくり返さないでください。

警告

■車両への水の浸入

- 床・トランク内・駆動用電池冷却用吸入口など、車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。(→ P. 63)
  駆動用電池や電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 31)
  電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■内装の手入れをするときは(特にインストルメントパネル)

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

注意

■清掃するとき使用する溶剤について

●変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。

・シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
・シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤

●艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。
インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

●革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く

●直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰で車を保管する

●ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■床に水がかかると

水で洗わないでください。
オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

●熱線やアンテナを損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線やアンテナにそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。

●熱線やアンテナを引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■スーパー UV カットガラス★を清掃するときは

ドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品（ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど）を使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

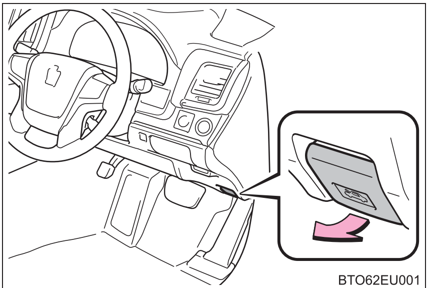
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ボンネット

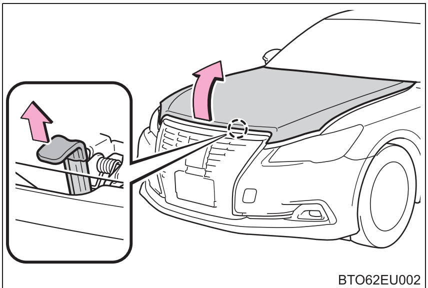
室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

1 ボンネット解除レバーを引く

ボンネットが少し浮き上がります。


BTO62EU001

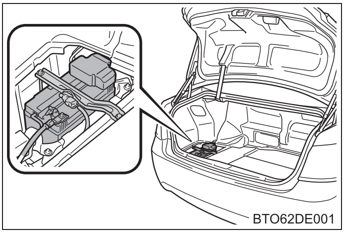
2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける


BTO62EU002

知識

■補機バッテリーについて

この車両の補機バッテリーはトランク（助手席側）のカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。（補機バッテリーはバッテリー液の補充が必要ないタイプのため、バッテリー液量等の点検は不要です）


BTO62DE001

⚠警告

■**走行前の確認**

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■**修理・車検・整備点検をする場合は**

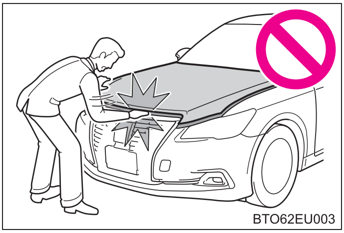
整備モードに切りかえる必要がありますので、必ずトヨタ販売店にご相談ください。高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■**エンジンルーム点検後の確認**

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■**ボンネットを閉めるとき**

手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



■**補機バッテリーの交換について**

交換する際はクラウン専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、ガス（水素）が室内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあり危険です。
補機バッテリーの交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

注意

■ボンネットやダンパーステーへの損傷を防ぐために

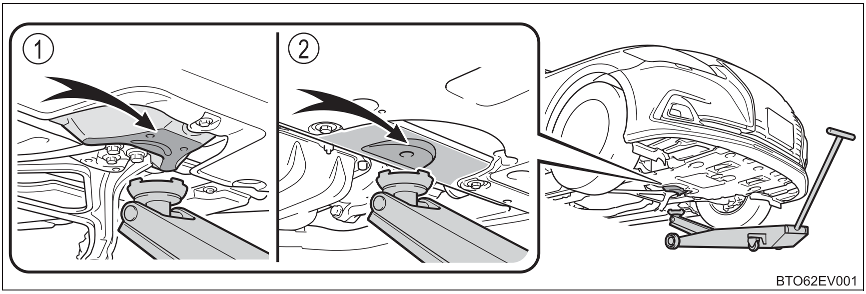
- ●ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。
- ●ボンネットには、ボンネットを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
  - ・ロッド部を軍手などでふれない
  - ・ボンネットにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を付けない
  - ・ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない

ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取扱説明書に従って、安全に作業してください。

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。
正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

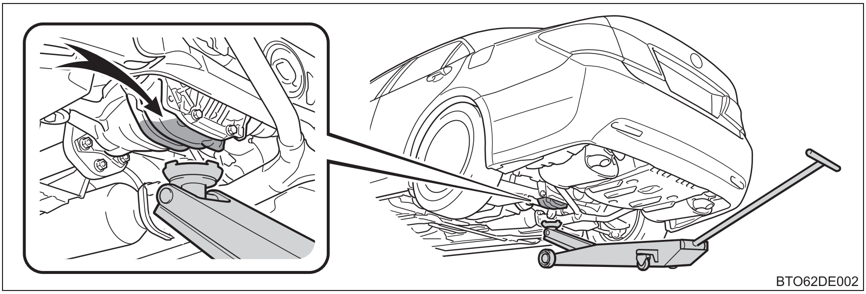
◆ フロント側



① FR 車（後輪駆動）

② 4WD 車（4 輪駆動）

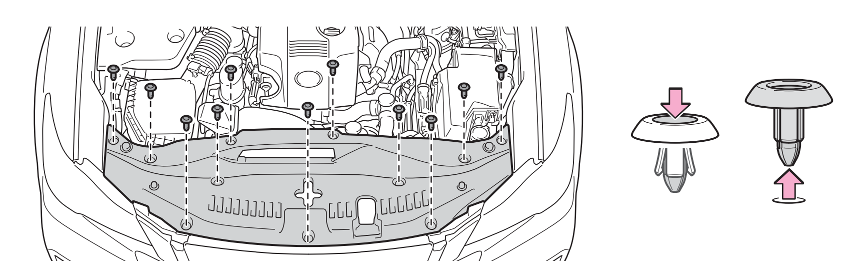
◆ リヤ側



エンジンルームカバー

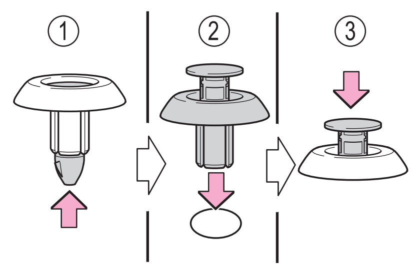
電球（バルブ）の交換・点検などを行うとき作業がしづらい場合に取りはずします。

エンジンルームカバーの取りはずし方


BTO62EV002

クリップの取り付け方

① 中央部分を押し上げる
② 挿し込む
③ クリップ中央部分を押す



BTO62DD338

警告

■けがを防ぐために

エンジンルームカバーを取りはずす前に、パワースイッチを OFF にしてください。熱くなった部品でやけどをしたり、作動中の部品に巻き込まれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意

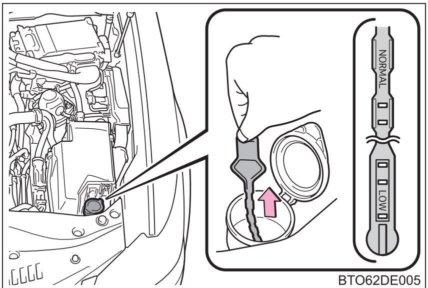
■エンジンルームカバー取り付け後の確認

もとの場所に確実に取り付けられていることを確認してください。

ウォッシャー液の補充

補充のしかた

液面が LOW の位置に近づいたらウォッシャー液を補給してください。

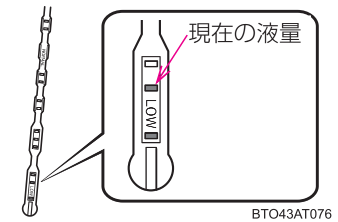


BTO62DE005

知識

■ゲージの使い方

ウォッシャー液の膜が張っているゲージの穴部の位置を確認して、ウォッシャー液の残量を判断します。
残量がゲージの先端から 2 つめの穴部より下まわった（LOW の位置まで低下した）ら、ウォッシャー液を補給してください。



BTO43AT076

警告

■ウォッシャー液を補充するとき

ハイブリッドシステムが熱いときやハイブリッドシステム作動中は、ウォッシャー液を補充しないでください。
ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

注意

■ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くおそれがあります。

■ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。
タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション（タイヤ位置交換）を FR 車は 10,000km ごとに、4WD 車は 5,000km ごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。
点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

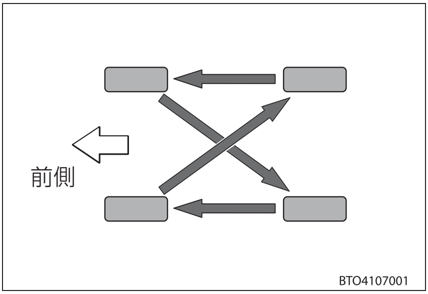
  空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ
- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



知識

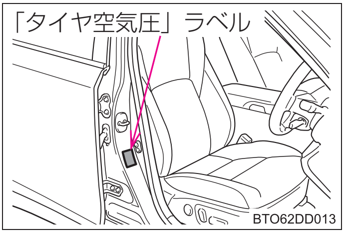
■タイヤ空気圧の数値

タイヤサイズ	空気圧※　kPa（kg/cm²）	
	前輪	後輪
215/60R16 95H	250（2.5）	
215/55R17 94V	230（2.3）	
225/45R18 91W	230（2.3）	

応急用タイヤ★：420kPa（4.2kg/cm²）※

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧



■タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■低偏平タイヤについて（18 インチタイヤ装着車）

雪道や凍結路では、普通のタイヤとくらべてグリップ力が低下します。冬用タイヤかタイヤチェーンを使用し、道路状態に応じた速度で注意深く運転するようにしてください。

■低偏平タイヤの空気圧点検（18 インチタイヤ装着車）

低偏平タイヤは、走行性能を優先したタイヤです。特に空気圧は定期的に点検してください。2 週間に 1 回（最低でも 1ヶ月に 1 回）、または長距離ドライブの前には、必ず空気圧を点検してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

■点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。
お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

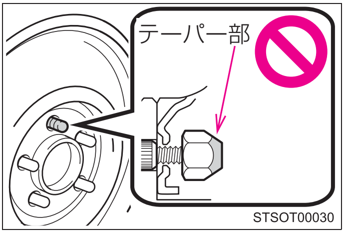
■異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

■タイヤ交換時の注意

- 必ずナットのテーパー部を内側にして取り付けてください。テーパー部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

⚠注意

■低偏平タイヤについて（18 インチタイヤ装着車）

低偏平タイヤのホイールは、路面から衝撃を受けたとき、ホイールに通常より大きなダメージを与えることがあります。そのため次のことにご注意ください。

- 適切なタイヤ空気圧で使用する
  空気圧が低すぎると簡単に損傷することがあります。
- 段差や凹凸のある路面、路上にあいた穴、平らでない舗道・縁石や他の障害物を避ける
  タイヤおよびホイールがひどく損傷することがあります。

■走行中に空気もれが起こったら

走行を続けないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に 1 回以上実施してください。低偏平タイヤの場合、2 週間に 1 回、または長距離ドライブの前には必ず空気圧を点検してください。(→ P. 433)

知識

■タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- ●燃費の悪化
- ●乗り心地や操縦安定性の低下
- ●摩耗によるタイヤ寿命の低下
- ●安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

■タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- ●タイヤが冷えているときに点検する
- ●タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する
  タイヤの外観だけでは空気圧が適正がどうか判断できません。
- ●走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- ●荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

警告

■**タイヤの性能を発揮するために**

適正なタイヤ空気圧を維持してください。
タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●過度の摩耗

●偏摩耗

●操縦安定性の低下

●タイヤの過熱による破裂

●タイヤとホイールのあいだからの空気漏れ

●ホイールの変形、タイヤの損傷

●走行時にタイヤが損傷する可能性の増大
（路上障害物、道路のつなぎ目や段差など）

注意

■**タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは**

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。
バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

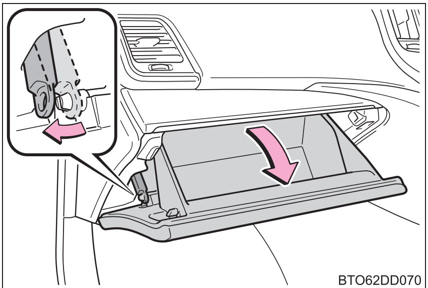
エアコンフィルターの交換

エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

交換のしかた

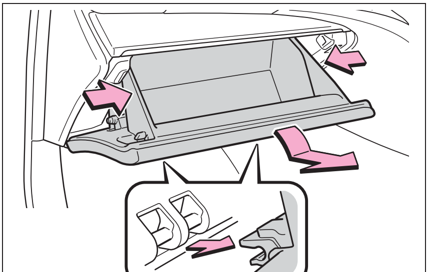
1 パワースイッチを OFF にする

2 グローブボックスを開き、ダンパーステーのピンをはずす



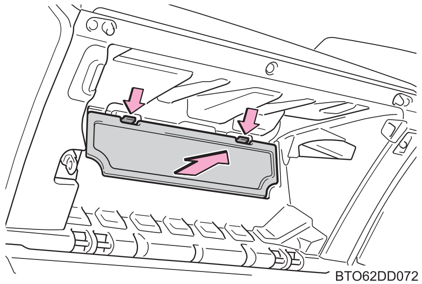
BTO62DD070

3 グローブボックス側面を内側に押して上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメを下方向に引きながらはずして取りはずす



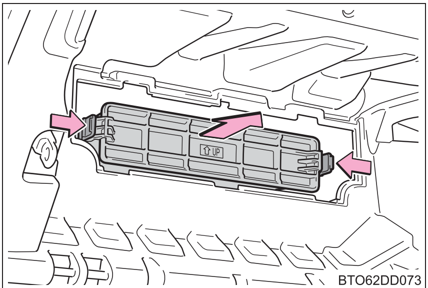
BTO62DD071

4 ツメを押してロックをはずし、フィルターカバーを取りはずす



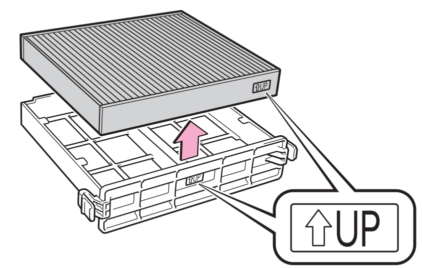
BTO62DD072

5 ツメを押してロックをはずし、フィルターケースを取りはずす


BTO62DD073

6 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



BTO62DD074

7 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

知識

■エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは次の時期を目安に交換してください。

15,000km[7,500km※1] ごと、ただし 12ヶ月をこえないこと※2

※1 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

※2 芳香剤などの使用により脱臭寿命が著しく低下する場合があります。エアコンの臭いが気になりだしたらフィルターを交換してください。

■エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

注意

■エアコンを使用するときの注意

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。
  水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

電子キーの電池交換

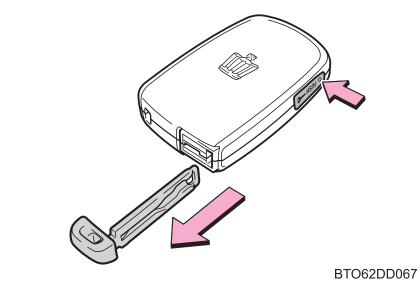
電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

● マイナスドライバー
● 小さいマイナスドライバー
● リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

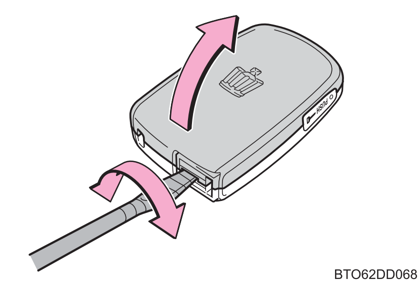
1 メカニカルキーを抜く



BTO62DD067

2 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

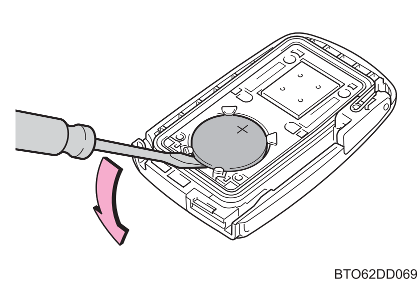


BTO62DD068

3 消耗した電池を取り出す

カバーをはずしたときに、上側のカバーに電子キーのモジュールが貼り付き、電池面が隠れている場合があります。この場合、電子キーのモジュールをひっくり返し、図のように電池が見える状態で作業してください。

新しい電池は、＋極を上にして取り付けます。



BTO62DD069

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

知識

■リチウム電池 CR2032 の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

■カードキーの電池交換が必要なときは

カードキーの電池は市販されていないため、トヨタ販売店で交換してください。

■電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- ●スマートエントリー＆スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- ●作動距離が短くなる

警告

■取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。
部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

■交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

- ●ぬれた手で電池を交換しない
  錆の原因になります。
- ●電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- ●電極を曲げない

ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

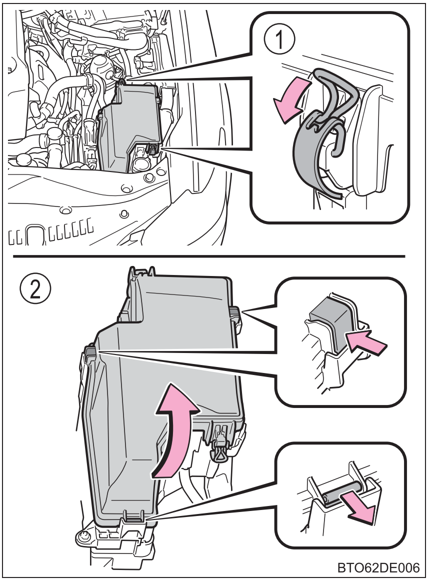
1 パワースイッチを OFF にする

2 ヒューズボックスを開ける

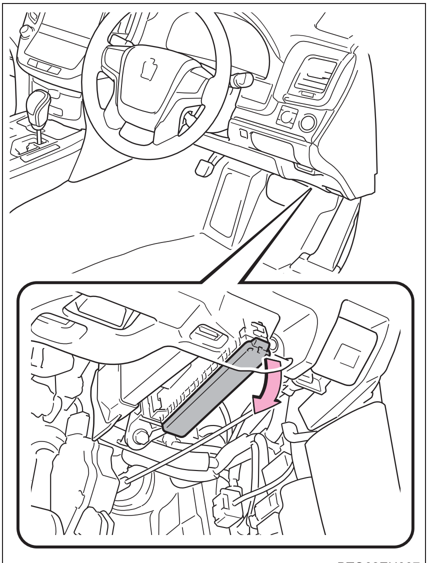
▶ エンジンルーム

① クリップをはずす

② ツメを押しながら、カバーを取りはずす

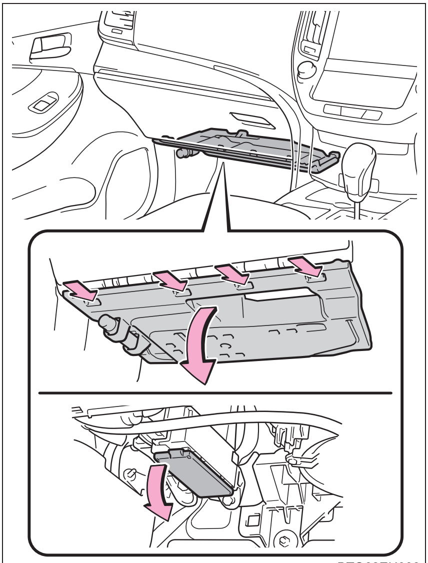


▶ 運転席足元★


BTO62EU007

カバーを手前に引きながら取りはずす

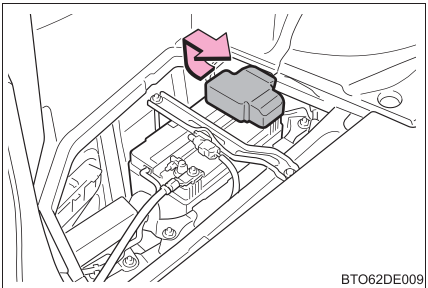
▶ 助手席足元


BTO62EU008

足元のカバーを取りはずし、ヒューズボックスのカバーを取りはずす

▶ トランク内

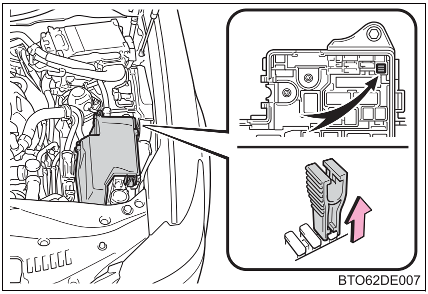
左側のデッキボードをはずし、補機バッテリーの＋端子のカバーをはずす


BTO62DE009

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

3 ヒューズを引き抜く

ヒューズはずしでヒューズを引き抜くことができます。

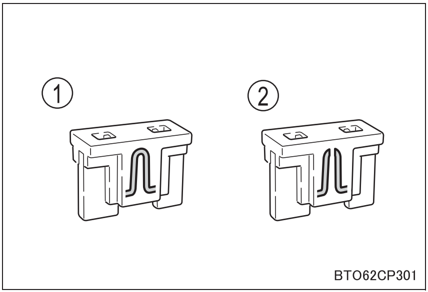


4 ヒューズが切れていないか点検する

① 正常

② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



知識

■ヒューズを交換したあとは

● 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
（→ P. 334）

● 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■補機バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■電球（バルブ）を交換するとき

この車両に指定されているトヨタ純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のトヨタ純正品以外は使用できない場合があります。

警告

■**車の故障や、車両火災を防ぐために**

次のことをお守りください。
お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

注意

■**ヒューズを交換する前に**

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

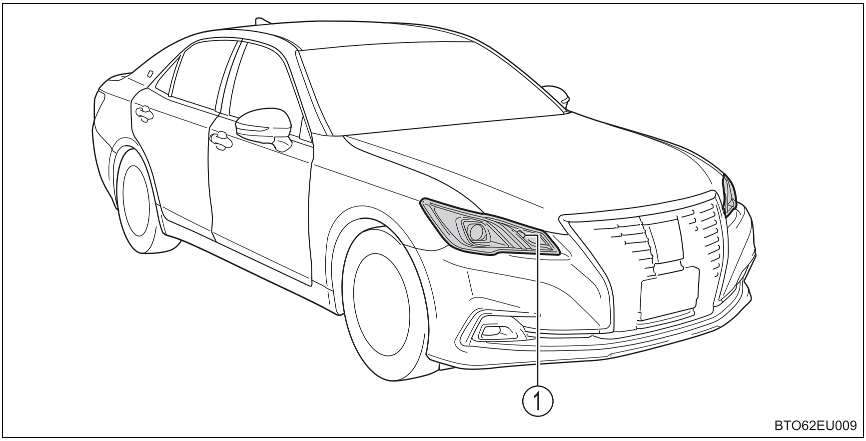
次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

電球の用意

切れた電球の W（ワット）数を確認してください。（→ P. 434）

バルブ位置

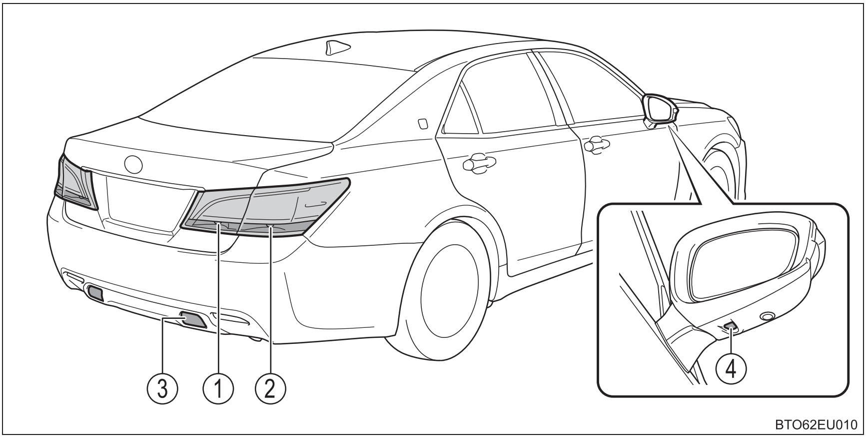
■ フロント



① フロント方向指示灯／非常点滅灯

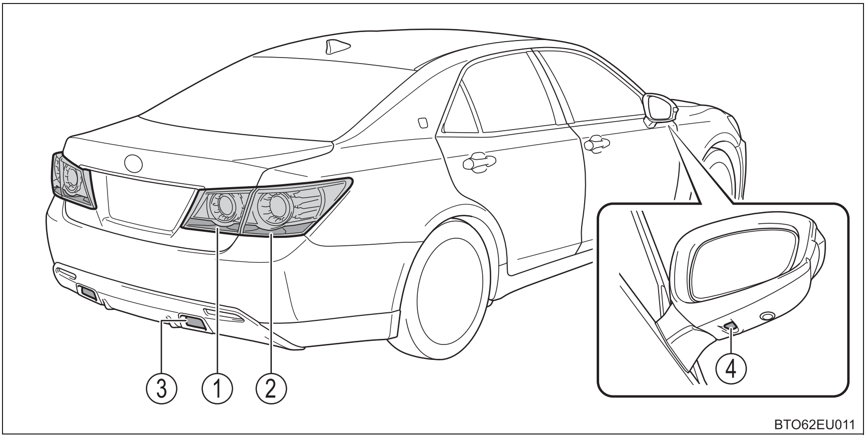
■ リヤ

▶ ロイヤル



① 後退灯
② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
③ リヤフォグランプ★
④ ドアミラー照明★

▶ アスリート



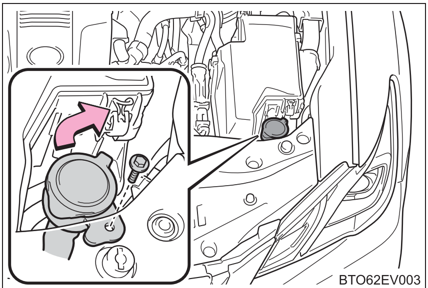
① 後退灯
② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
③ リヤフォグランプ★
④ ドアミラー照明★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

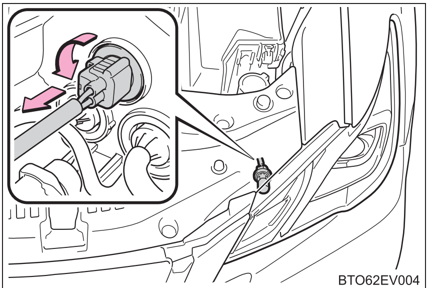
電球交換のしかた

■ フロント方向指示灯／非常点滅灯

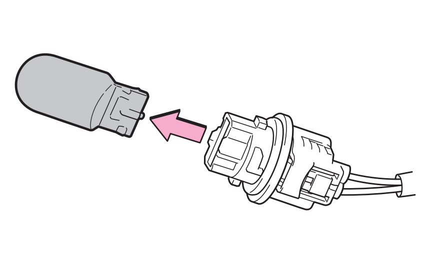
1 助手席側を交換するときは、ネジ（1　本）を取りはずしてウォッシャー液注入口の位置をずらす


BTO62EV003

2 ソケットをまわして取りはずす


BTO62EV004

3 電球を取りはずす

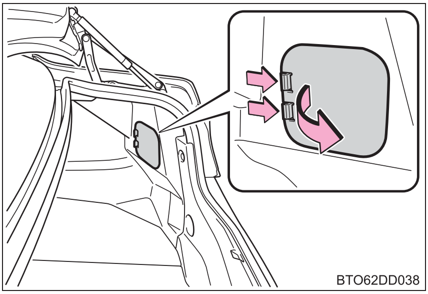

BTO62DD037

4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

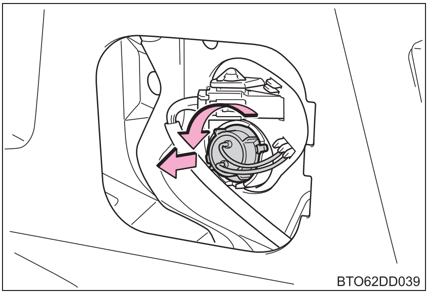
助手席側の電球を交換したときは、取りはずしたネジを必ずもとどおりに取り付けてください。

■ リヤ方向指示灯／非常点滅灯

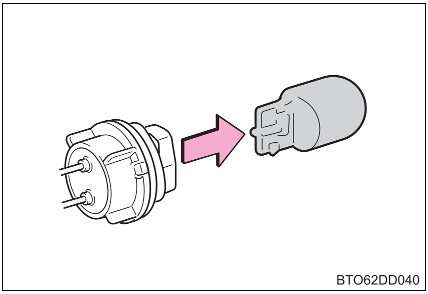
1 トランクを開け、カバーを取りはずす



2 ソケットを取りはずす



3 電球を取りはずす



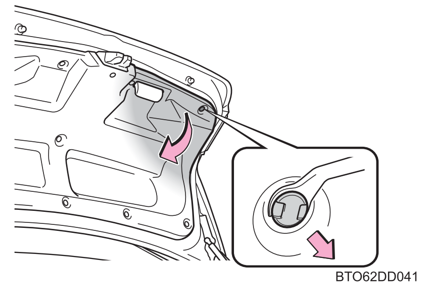
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

カバーをもとどおりに取り付けてください。

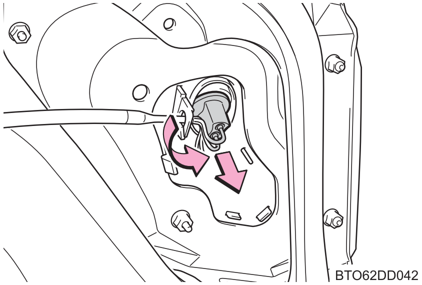
■ 後退灯

1 トランクを開け、クリップ（1個）を取りはずし、カバーをめくる

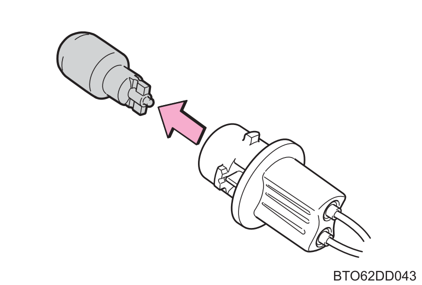
クリップの破損を防ぐため、市販のクリップリムーバーのご使用をおすすめします。



2 ソケットを取りはずす



3 電球を取りはずす

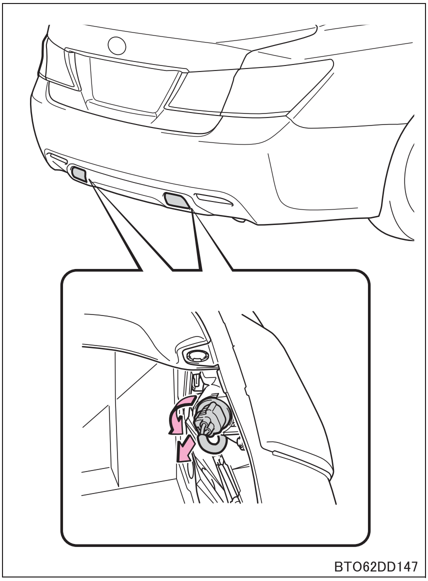


4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

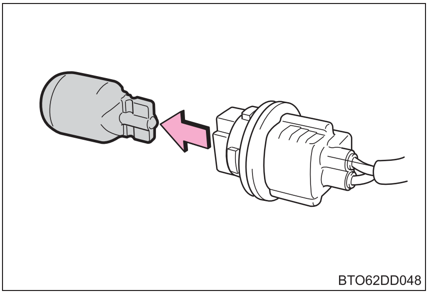
カバーをもとにもどすときは、取りはずしたクリップをそのまま挿し込みます。

■ リヤフォグランプ★

1 ソケットを取りはずす



2 電球を取りはずす

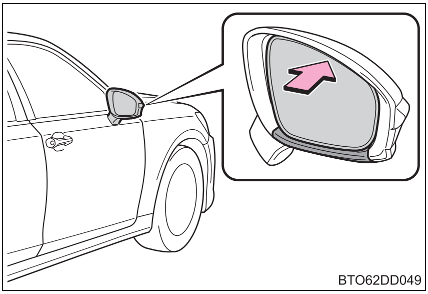


3 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ドアミラー照明★

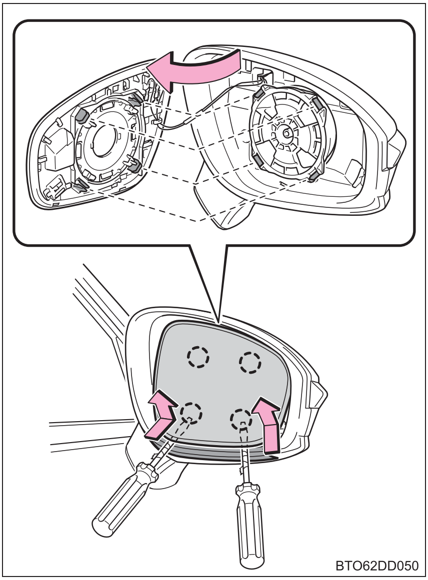
1 ミラーの上端を押して鏡面を上向きにし、ミラーのカバー下部に保護テープを貼り付ける



2 保護テープを巻いたマイナスドライバー（2 本）の先端を挿し込んで、ミラー裏側のツメ（4ヶ所）をはずす

ミラーを手前に引き出すようにして、2ヶ所ずつツメをはずします。

ミラーが急に落下しないよう、慎重に作業してください。

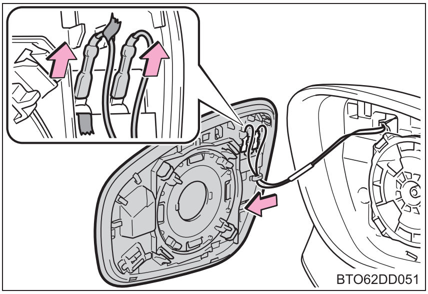


3 裏面にあるコードをフックからはずし、コネクター類の接続をはずしてミラーを取りはずす

細いコネクターをはずすときは、組み付け時に間違えないよう、いずれかの側にテープなどで印を付けておきます。

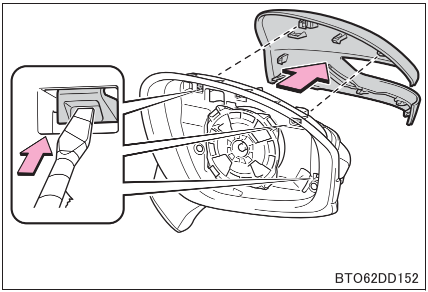
ミラーを落とさないように、慎重に作業してください。

ミラーを持つときは、グリースが塗布してある箇所をつかまないように注意してください。



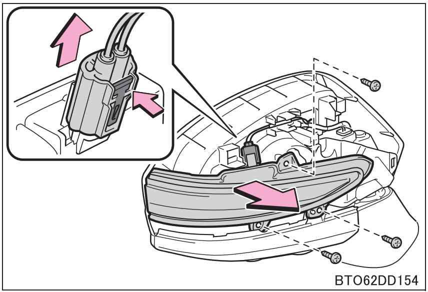
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

4 保護テープを巻いたマイナスドライバーの先端を挿し込んでツメ（3ヶ所）をはずして、カバーを取りはずす



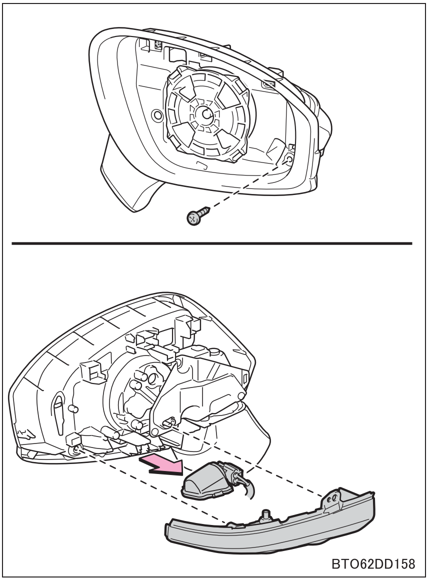
5 ネジ（3 本）をはずして、サイド方向指示灯を取りはずす

コネクタのツメを押し、サイド方向指示灯をはずします。

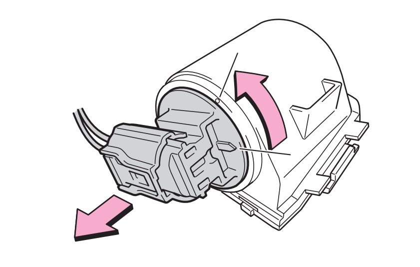


6 ネジ（1 本）をはずして、下側のカバーを取りはずし、ランプ本体をはずす

パノラミックビューモニター装着車は、カバーにカメラが付いています。

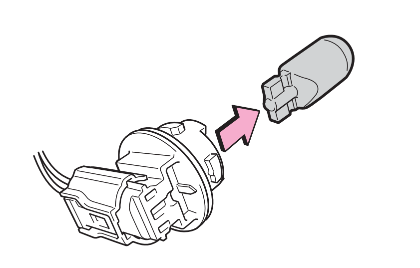


7 ソケットを取りはずす



BTO62DD055

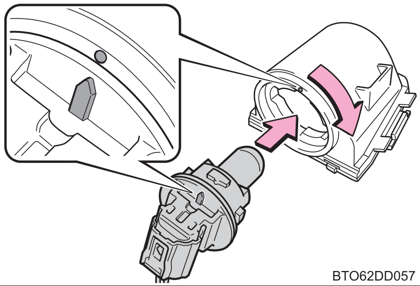
8 電球を取りはずす



BTO62DD056

9 新しい電球を取り付けてから、ソケットをランプ本体に固定する

ランプ本体・ソケットそれぞれに刻印されているマークの位置を合わせてソケットを挿し込みます。

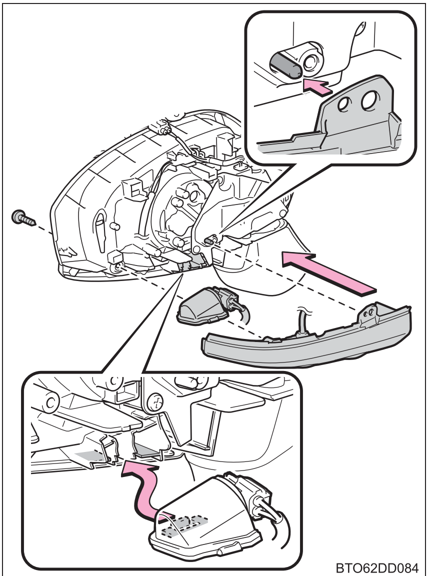


BTO62DD057

10 ランプ本体を取り付け、下側のカバーを取り付けてネジ（1本）で固定する

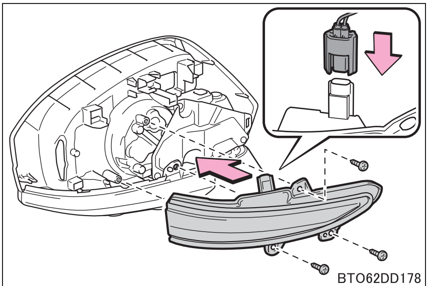
ランプ本体をアウターミラーに取り付けます。

アウターミラーの軸にカバーを入れてから固定します。



BTO62DD084

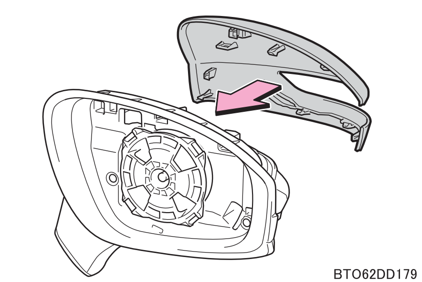
11 コネクタを取り付け、サイド方向指示灯をネジ（3 本）で固定する



BTO62DD178

12 カバーを取り付ける

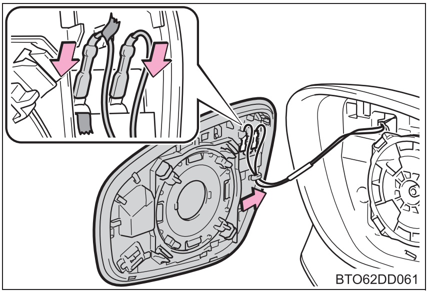
ツメが確実に固定されていることを確認してください。



BTO62DD179

13 取りはずしたコネクターをもとどおりに取り付ける

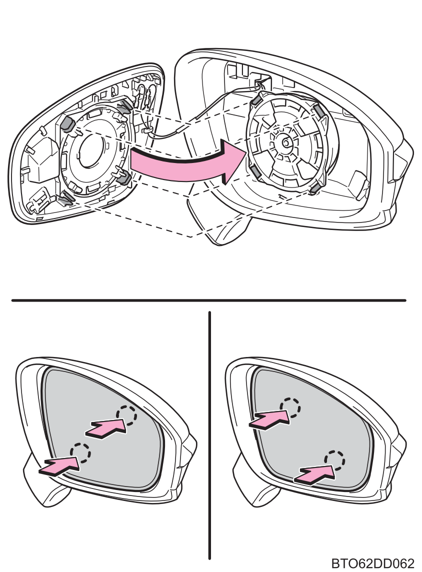
コード類はもとどおりフックにかけて固定します。



14 ツメの位置を合わせ、対角の2ヶ所ずつ順番に鏡面を押し込んで、ミラーを固定する

必ず図の順序で2ヶ所を同時に押し込み、パチッと音がしてツメが固定されたことを確認してください。

音が確認できないときは、無理に押し込まずにいったんミラーをはずして、ツメの位置が合っているか確認してください。



■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプ（前照灯）
- 車幅灯／LED デイライト
- フロントフォグランプ
- サイド方向指示灯／非常点滅灯
- 尾灯
- 尾灯／制動灯
- ハイマウントストップランプ
- 番号灯

知識

■LED ランプについて

ヘッドランプ・車幅灯／ LED デイライト・フロントフォグランプ・サイド方向指示灯／非常点滅灯・尾灯・制動灯・ハイマウントストップランプ・番号灯は、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- ●レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ●ランプ内に水がたまっている

■電球（バルブ）を交換するとき

→ P. 332

警告

■電球を交換するとき

- ●必ずハイブリッドシステムを停止し、ランプを消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- ●電球のガラス部を素手でふれないでください。
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- ●電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- ●電球・ソケット・電気回路および構成部品を、修理または分解しないでください。
感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

注意

■ **ドアミラー照明を交換するとき**

工具・体がフロントドアガラスにあたって作業しづらい場合は、ドアガラスを開けて作業スペースを広げてください。無理に作業すると、車両に傷が付く原因になります。

万一の場合には 7

7-1. まず初めに

故障したときは......................348

非常点滅灯
（ハザードランプ）...............349

発炎筒....................................350

車両を緊急停止するには.......352

7-2. 緊急時の対処法

けん引について......................353

警告灯がついたときは...........360

警告メッセージが
表示されたときは................364

パンクしたときは
（応急用タイヤ装着車）........386

パンクしたときは（タイヤパンク
応急修理キット装着車）.......396

ハイブリッドシステムが
始動できないときは............409

シフトレバーが
シフトできないときは........411

電子キーが正常に
働かないときは....................412

補機バッテリーが
あがったときは....................415

オーバーヒートしたときは...420

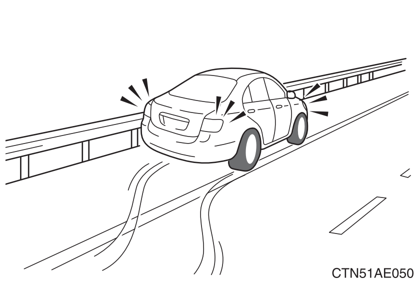
スタックしたときは..............424

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

非常点滅灯（→ P. 349）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する

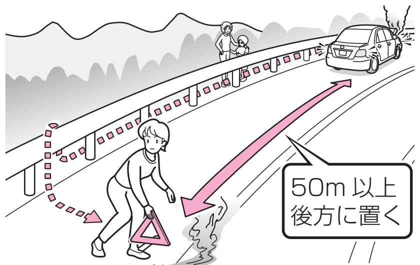
非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



CTN51AE050

高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 350）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
  - ・見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
  - ・発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する

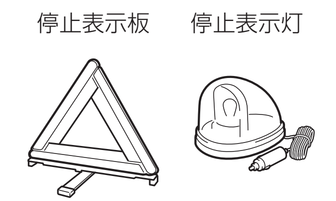


ITIRMO001

知識

■停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。



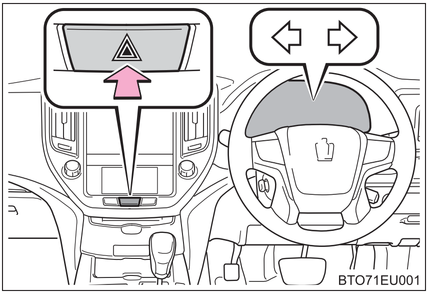
ITIRMO004

非常点滅灯（ハザードランプ）

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。



知識

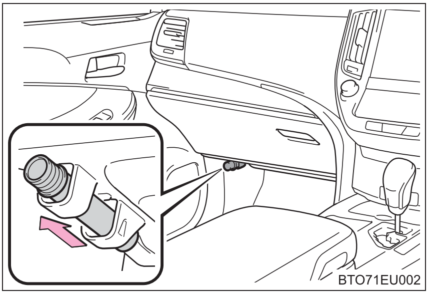
■非常点滅灯について

ハイブリッドシステム停止中（READY インジケーターが点灯していないとき）に、非常点滅灯を長時間使用すると、補機バッテリーがあがるおそれがあります。

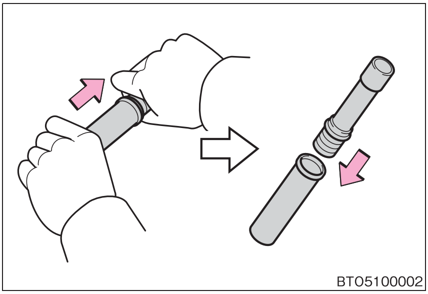
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
（トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください）
発炎時間は約 5 分です。非常点滅灯と併用してください。

1 助手席足元の発炎筒を取り出す

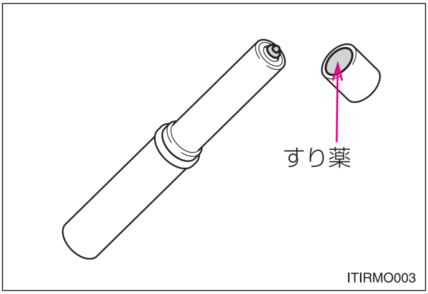


2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる

必ず車外で使用してください。
着火させる際は、筒先を顔や体に向けないでください。



知識

■発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

警告

■発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける

ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

2 シフトレバーを N に入れる

▶ シフトレバーが N に入った場合

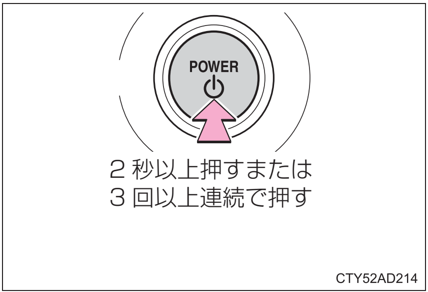
3 減速後、車を安全な道路脇に停める

4 ハイブリッドシステムを停止する

▶ シフトレバーが N に入らない場合

3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる

4 パワースイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してハイブリッドシステムを停止する



5 車を安全な道路脇に停める

⚠ 警告

■走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するとき

ハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。ハイブリッドシステムを停止する前に、十分に減速するようにしてください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

その場合は、レッカー車または車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

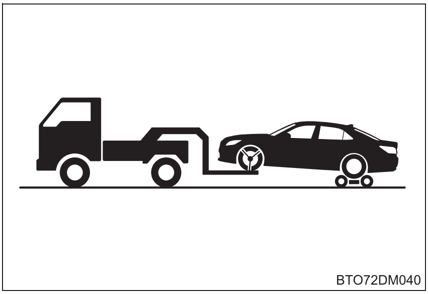
次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

● ハイブリッドシステムの異常警告表示が表示され、車が動かない

● 異常な音がする

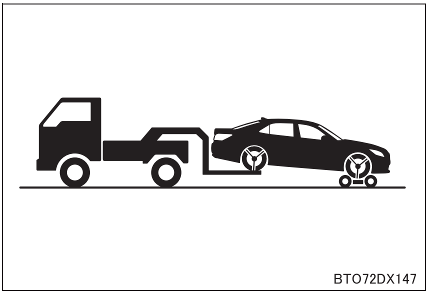
レッカー車でけん引するときは

▶ 前向きにけん引するときは



台車を使用して後輪を持ち上げる

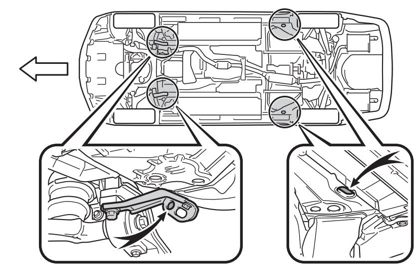
▶ うしろ向きにけん引するときは



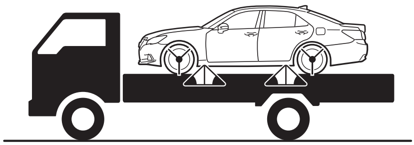
台車を使用して前輪を持ち上げる

車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送するときは、図の場所で固縛する


BTO72DE041

鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が 45°になるように固縛する


BTO72EU001

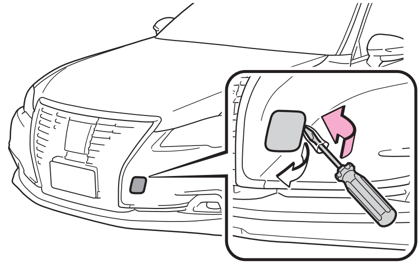
けん引されるとき

1 けん引フックを取り出す（→ P. 387, 397）

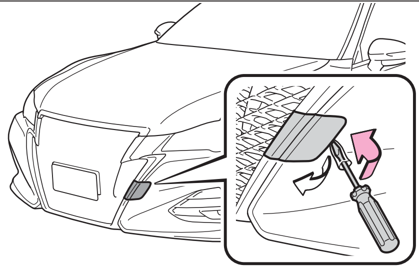
2 マイナスドライバーを使ってフタをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

▶ ロイヤル

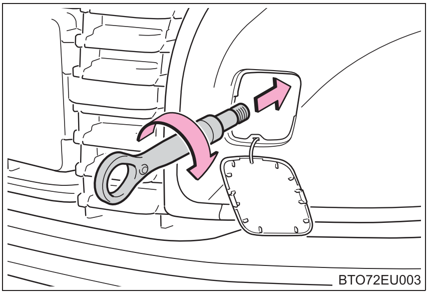

BTO72EU002

▶ アスリート

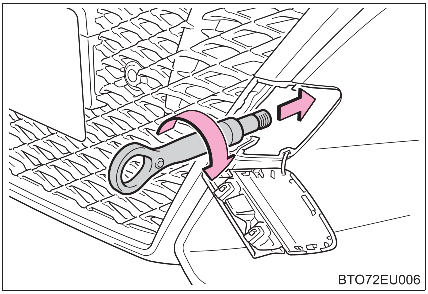

BTO72EU005

3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める

▶ ロイヤル

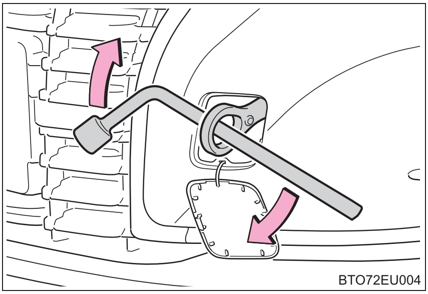


▶ アスリート

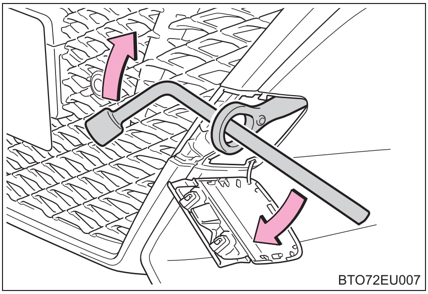


4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける

▶ ロイヤル



▶ アスリート

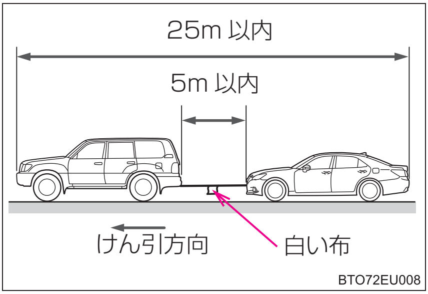


5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

6 ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：
0.3m 平方（30cm × 30cm）以上



7 運転者はけん引される車両に乗り、ハイブリッドシステムを始動する

ハイブリッドシステムが始動しないときは、パワースイッチを ON モードにしてください。

8 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

シフトレバーがシフトできないときは：→ P. 411

知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■他車にけん引してもらうときに

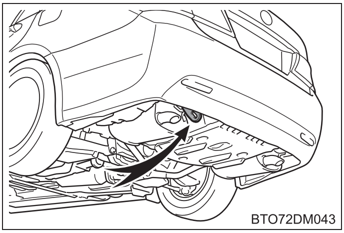
ハイブリッドシステムが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■ホイールナットレンチについて

工具袋に搭載されています。（→ P. 387, 397）

■緊急用フックについて

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったとき、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうときに使用することができます。他車をけん引することはできません。



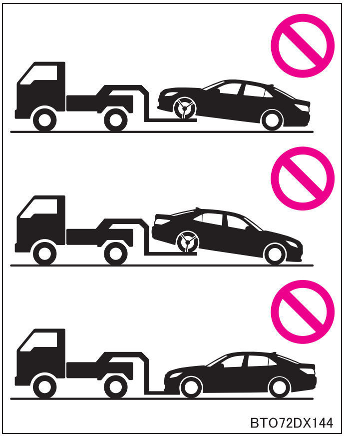
⚠警告

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■レッカー車でけん引するとき

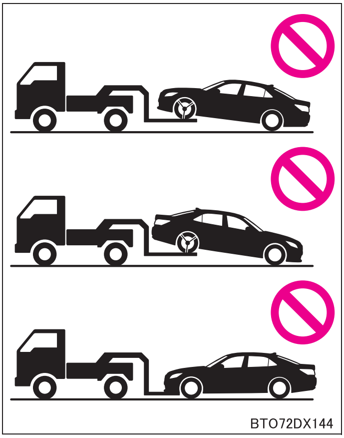
▶FR 車（後輪駆動）

必ず 4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、車の向きがかわり事故につながったりするおそれがあります。また、モーターが回転して発電し、故障や破損の状態によっては火災が発生するおそれがあります。



▶4WD 車（4 輪駆動）

4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品の破損や、車が台車から飛び出したり、モーターが回転することにより発電され、故障や破損の状態によっては火災が発生するおそれがあります。



警告

■**他車にけん引してもらうときの運転について**

●けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたるおそれがあります。

●パワースイッチを OFF にしないでください。ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

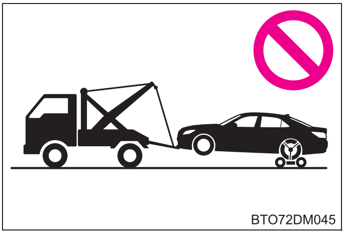
■**けん引フックを車両に取り付けるとき**

指定の位置にしっかりと取り付けてください。
指定の位置にしっかり取り付けていないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。

注意

■**レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。



■**車両運搬車に車を固定するとき**

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

■**駆動系部品の損傷を防ぐために**

●他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。

・ワイヤーロープは使用しない
・速度は 5km/h 以下、距離は車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめる
・前進方向でけん引する
・サスペンション部などにロープをかけない

●この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

注意

■長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で 4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

■緊急用フックについて

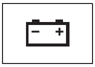
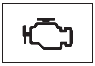
次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

- ●やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- ●緊急用フックで他車をけん引しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
 (赤色)	**ブレーキ警告灯（警告ブザー※1）** ・ブレーキ液の不足 ・ブレーキ系統の異常 **→ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。走行を続けると危険です。**
	**充電警告灯** 充電系統の異常 **→ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。**
	**エンジン警告灯** ・ハイブリッドシステムの異常 ・エンジン電子制御システムの異常 ・電子制御スロットルの異常 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 ・SRS エアバッグシステムの異常 ・プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	ABS & ブレーキアシスト警告灯 ・ABS の異常 ・ブレーキアシストの異常 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	パワーステアリング警告灯（警告ブザー） EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 (黄色)	**電子制御ブレーキ警告灯** ・電子制御ブレーキシステムの異常 ・回生ブレーキの異常 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
PCS （点滅）	**PCS 警告灯★** プリクラッシュセーフティシステムの異常 システムの異常時以外にも、警告灯が次のように作動します。 ・システムの作動時には、速い点滅でお知らせします。（→ P. 239） ・プリクラッシュセーフティシステムをOFFにすると点灯します。（→ P. 240） ・システムが一時的に使用できないときに点滅します。（→ P. 374） ・VSC を OFF にすると点灯します。（→ P. 375） **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	スリップ表示灯 ・VSC の異常 ・TRC の異常 ・ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常 VSC・TRC・ABS の作動時には、点滅します。（→ P. 234） **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
ICS OFF （点滅）	**ICS OFF 表示灯★** インテリジェントクリアランスソナーの異常 システムの異常時以外にも、警告灯が次のように作動します。 ・ソナー部の汚れなどによりシステムが一時的に使用できないときに点滅します。（→ P. 374） ・ワイパーが高速作動し、システムが一時的に使用できないときに点灯します。（インテリジェントクリアランスソナーについては、別冊の「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください） **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	パーキングブレーキ未解除警告灯（警告ブザー※2） パーキングブレーキが完全にかかっていない、または解除されていない可能性があります。 **→パーキングブレーキを解除する**
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 9.7L 以下になった **→燃料を補給する**
	シートベルト非着用警告灯（警告ブザー※3） 運転席・助手席シートベルトの非着用 **→シートベルトを着用する**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	後席シートベルト非着用警告灯 **(警告ブザー※4)** 後席シートベルトの非着用 **→シートベルトを着用する**
	マスターウォーニング システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。 →P. 364

※1 ブレーキ警告ブザー：
ブレーキ液が不足しているときに車速が約5km/h以上になると警告ブザーが鳴ります。(→ P. 364)

※2 パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：
パーキングブレーキをかけたまま、車速が約 5km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。
警告ブザーが鳴ったときは、パーキングブレーキを解除してください。

※3 シートベルト非着用警告ブザー：
運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後もシートベルトを非着用のまま 24 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音がかわり 90 秒間鳴ります。

※4 後席シートベルト非着用警告ブザー：
シートベルト非着用（いずれかのシートベルト着脱により、後席シートベルト非着用警告灯が点灯し続けているとき）のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後もシートベルトを非着用のまま 24 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音がかわり 90 秒間鳴ります。
リヤドアを開けると、ブザー吹鳴条件が解除されます。

知識

■シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■後席シートベルト非着用警告灯の作動について

- リヤドアを開閉すると約 34 秒間点灯します。
- いずれかのリヤシートベルトを着脱すると点灯し続けます。
  点灯し続けているときに、リヤドアを開閉すると約 34 秒後に消灯します。

■パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

補機バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

■警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

⚠警告

■パワーステアリング警告灯が点灯したとき

ハンドル操作が非常に重くなることがあります。
ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

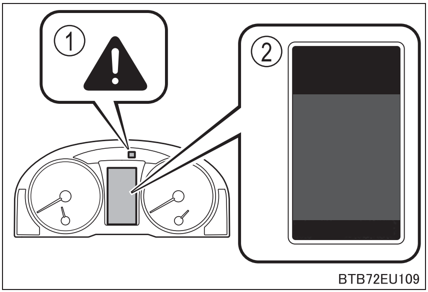
警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。

① マスターウォーニング

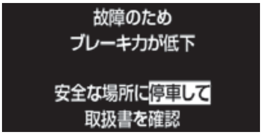
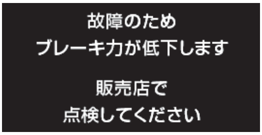
マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。

② マルチインフォメーションディスプレイ

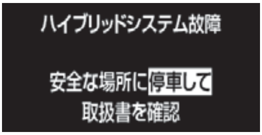


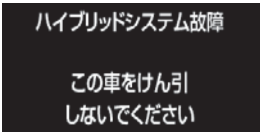
処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

警告メッセージ・警告ブザー一覧

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 （赤色）（点滅）	**ブレーキ液の不足** **ブレーキ系統の異常** 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。走行を続けると危険です。**
 （黄色）	**回生ブレーキシステムの異常** **電子制御ブレーキシステムの異常** 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。走行を続けると危険です。**

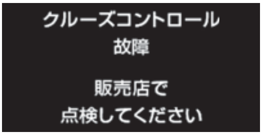
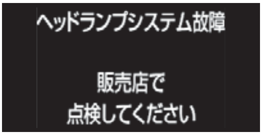
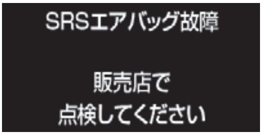
<table>
<tr><th>警告メッセージ</th><th>警告内容・対処方法</th></tr>
<tr><td>

</td><td>エンジンオイル圧力の異常
エンジンオイルの圧力が異常に低いと表示されます。
・警告ブザーが鳴ります。
→ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>

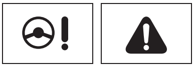
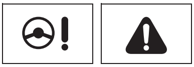
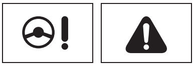
</td><td rowspan="2">ハイブリッドシステムの異常
警告ブザーが鳴ります。
→ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>

（点滅）</td></tr>
<tr><td>
（点滅）</td><td>PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★の異常
警告ブザーが鳴ります。
→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</td></tr>
</table>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 	クリアランスソナー★の異常 　異常のあるソナーが点滅して表示されます。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	**クルーズコントロールシステム★またはレーダークルーズコントロールシステム★の異常** 　ON/OFF スイッチを一度 OFF にし、再度設定してください。 　・警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	**ヘッドランプシステム（オートレベリングシステム・AFS★・アダプティブハイビームシステム★など）の異常** 　警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	**SRS エアバッグ・シートベルトプリテンショナーの異常** 　警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	ABS・ブレーキアシストの異常 　警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**

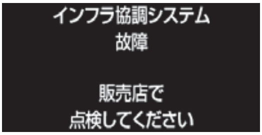
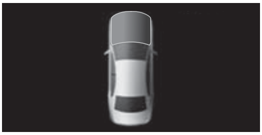
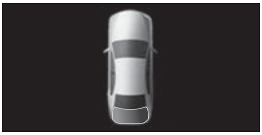
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
スマートエントリー& スタートシステム故障 取扱書を確認 （点滅）	**スマートエントリー&スタートシステムの異常** 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
故障のため ハンドルが重くなります 販売店で 点検してください 	**パワーステアリングシステムの異常** 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
電源異常のため ハンドルが重くなります 販売店で 点検してください 	
EPS故障 販売店で 点検してください 	
ICS故障 販売店で 点検してください （点滅）	**インテリジェントクリアランスソナー★の異常** 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**

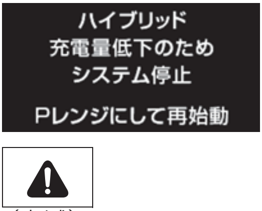
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 	ドライブスタートコントロールシステムの異常 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	ブレーキオーバーライドシステムの異常 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	BSM（ブラインドスポットモニター）★の異常 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	ポップアップフードが作動した 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
 	ポップアップフードの異常 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**

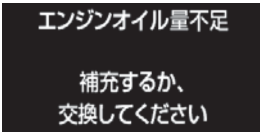
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 ⚠	**ITS Connect（インフラ協調システム）★の異常** 警告ブザーが鳴ります。 **→ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。**
	各ドアが確実に閉まっていない 開いているドアが表示されます。 各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5km/h をこえたときには警告ブザーが鳴り ⚠ が点滅します。 **→各ドアを閉める**
	**ボンネットが確実に閉まっていない★** ボンネットが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5km/h をこえたときには 警告ブザーが鳴り ⚠ が点滅します。 **→ボンネットを閉める**
	**トランクが確実に閉まっていない** トランクが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5km/h をこえたときには警告ブザーが鳴り ⚠ が点滅します。 **→トランクを閉める**
 ⚠ （点滅）	**窓が確実に閉まっていない状態でパワースイッチを OFF にして運転席ドアを開けた** 警告ブザーが鳴ります。 **→窓を閉める**

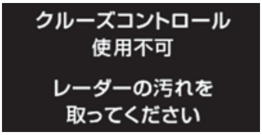
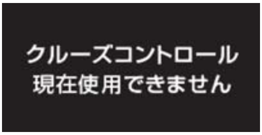
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 （点滅）	ムーンルーフ★が確実に閉まっていない状態でパワースイッチを OFF にして運転席ドアを開けた 警告ブザーが鳴ります。 →ムーンルーフを閉める
 （点滅）	窓・ムーンルーフ★が確実に閉まっていない状態でパワースイッチを OFF にして運転席ドアを開けた 警告ブザーが鳴ります。 →窓・ムーンルーフを閉める
 （点滅）	パーキングブレーキが解除されず車速が 5km/h をこえたときには警告ブザーが鳴ります →パーキングブレーキを解除する
 （点滅）	駆動用電池の残量が低下 警告ブザーが鳴ります。 →シフトレバーが N の状態では充電できないため、長時間停車するときはシフトレバーを P に入れる
 （点滅）	長時間シフトレバーがNになっているため駆動用電池の残量が低下 警告ブザーが鳴ります。 →車両を動かす場合は、ハイブリッドシステムを再始動する

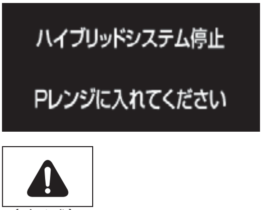
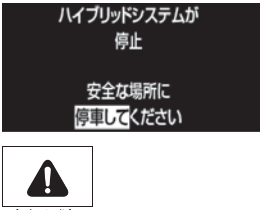
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 （点滅）	**シフトレバーが N のとき、アクセルペダルを踏んだ** 警告ブザーが鳴ります。 **→アクセルペダルから足を離し、シフトレバーをD、S または R に入れる**
 （点滅）	**上り坂などでの停車時に、アクセルペダルを踏んで車両を保持している** 警告ブザーが鳴ります。そのままの状態を続けるとハイブリッドシステムが過熱するおそれがあります。 **→アクセルペダルから足を離し、ブレーキを踏む**
	ハイブリッドシステムの過熱 負荷の高い走行状況（例えば、長い上り坂を走行）のときにメッセージが表示される場合があります。 ・警告ブザーが鳴ります。 **→車両を停車して点検する（→ P. 420）**
	**エンジンオイルの不足** 傾斜地などに停車したとき表示される場合があります。水平な場所に移動し、警告メッセージが表示されるか確認ください。 警告ブザーが鳴ります。 **→エンジンオイル量を点検し、オイルを補給する**
	クリアランスソナー★のセンサー部分の汚れ、氷などの付着 **→汚れおよび氷などを取り除く**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 	**レーダークルーズコントロール★のセンサー部分の汚れ、氷などの付着** 警告ブザーが鳴ります。 **→汚れおよび氷などを取り除く**
 	**レーダークルーズコントロール★の車間制御の測定不可** 警告ブザーが鳴ります。 **→スノーモードを OFF にする** **→ワイパーを止めるか、オートまたは高速作動以外にかえる**
	(レーダークルーズコントロール★の車間制御中) 衝突の危険性 警告ブザーが鳴ります。 **→ブレーキで減速する**
 PCS (点滅)	**衝突の可能性が高い、またはプリクラッシュブレーキが作動している (プリクラッシュセーフティシステム★)** 警告ブザーが鳴ります。 **→ブレーキで減速する**
   (点滅)	**衝突の可能性が高い、またはインテリジェントクリアランスソナー★が作動している** 警告ブザーが鳴ります。 **→ブレーキで減速する**

★:グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 （点滅）	**衝突の可能性が高い、またはインテリジェントクリアランスソナー★が作動している** 警告ブザーが鳴ります。 **→路肩など安全な場所に停車、ソナーを確認する**
 （点滅）	**ハイブリッドシステム作動中でシフトレバーがＰ以外のとき、運転席ドアを開けた** 警告ブザーが鳴ります。 **→シフトレバーをＰにする**
 （点滅）	**シフトレバーがＰ以外のとき、ハイブリッドシステムを停止した** 警告ブザーが鳴ります。 **→シフトレバーをＰにする**
 （点滅）	**走行中にハイブリッドシステムが停止した** 警告ブザーが鳴ります。 **→路肩など安全な場所に停車する**
	走行中にハイブリッドシステムが停止した 警告ブザーが鳴ります。 **→通常より力を入れてハンドルを操作する**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
プリクラッシュセーフティ 現在使用できません PCS （点滅）	**PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★が現在機能していない** **→グリルまたはレーダーセンサーの汚れを取り除く**
BSM 現在使用できません 	**BSM（ブラインドスポットモニター）★のセンサー周辺のバンパーの汚れ、氷などの付着** 警告ブザーが鳴ります。 **→汚れおよび氷などを取り除く**
ICS現在使用できません ICS OFF（点滅） （点滅）	**センサー部分の汚れなどにより、インテリジェントクリアランスソナー★が現在機能していない** **→汚れおよび氷などを取り除く**
ICS現在使用できません ICS OFF （点滅）	**ワイパーが高速作動している。またはオート作動時の豪雨などによる高速作動により、インテリジェントクリアランスソナー★が現在機能していない** **→豪雨でない場合はワイパーを止めるか、低速作動にする**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 （点滅）	**インテリジェントクリアランスソナー★の作動により、車両停止後にアクセルペダルが踏まれている** 警告ブザーが鳴ります。 **→アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏む**
 （点滅）	**アクセルペダルを踏みながらシフトレバーを動かしドライブスタートコントロールシステムが作動した** 警告ブザーが鳴ります。 **→一度アクセルペダルから足を離す**
 （点滅）	**アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれているため、ブレーキオーバーライドシステムが作動した** **→アクセルペダル、またはブレーキペダルから足を離す**
	ヘッドランプがロービームの状態でアダプティブハイビームシステムスイッチ★を押した **→ヘッドランプをハイビームに切りかえる（→ P. 183）**
	VSC が OFF になり、プリクラッシュブレーキ★の作動が停止した **→VSC を ON にする（→ P. 235）**

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
電力消費が大きいため 一部の空調･ヒータ作動を 制限中です	電力消費が大きいため、エアコンやシートヒーター★などの作動を一時制限した →不要な電装品をオフにし、電力消費を控えてください。電源状態が復帰するまでしばらくお待ちください。
補機バッテリ（始動用） 充電不足 取扱書を 確認してください （点滅）	補機バッテリーが充電不足 →数秒後※に表示が消えたとき 約 15 分以上、ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電してください。 →表示が消えないとき 「補機バッテリーがあがったときは」(→P. 415)の手順でハイブリッドシステムを始動してください。 ※ 約 6 秒間表示されます。

その他に表示されるメッセージ

警告メッセージ	警告内容
駆動用電池の 冷却部品の メンテナンスを販売店で 受けてください	**駆動用電池の冷却部品のメンテナンス時期** フィルターが目づまりしている、冷却用の吸入口がふさがれている、またはダクトにすき間があるなどが考えられます。 **→トヨタ販売店で駆動用電池の冷却部品のメンテナンス受けてください。**
EVモードに 現在切りかえできません 暖機中のため EVモードに 現在切りかえできません ハイブリッド 充電不足のため EVモードに 現在切りかえできません EV速度域超過のため EVモードに 現在切りかえできません アクセル踏みすぎのため EVモードに 現在切りかえできません	**EV ドライブモードに切りかえできない状況**※ EV ドライブモードを使用できない理由（暖機中／電池充電不足／ EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）の表示がでる場合があります。 ・警告ブザーが鳴ります。 **→EV ドライブモードが使用できる状況になってから使用する**

警告メッセージ	警告内容
EVモードが 解除されました ハイブリッド 充電不足のため EVモードが 解除されました EV速度域超過のため EVモードが 解除されました アクセル踏みすぎのため EVモードが 解除されました	**EV ドライブモードが自動解除された**※ EV ドライブモードを使用できない理由（電池充電不足／ EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）の表示がでる場合があります。 ・警告ブザーが鳴り EV MODE が点滅します。 **→しばらく走行する**

※ EV ドライブモードの作動条件については、P. 174 を参照してください。

知識

■警告メッセージについて

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示と異なる場合があります。

■レーダークルーズコントロール★の警告メッセージについて

次のような場合は、車間距離が短くても、車間制御中の警告メッセージが表示されないおそれがあります。

- ●先行車と自車の車速が同じか先行車の方が速いとき
- ●先行車が非常に低速で走行しているとき
- ●速度を設定した直後
- ●アクセルペダルが踏まれたとき

■インテリジェントクリアランスソナー★の警告メッセージについて

インテリジェントクリアランスソナーにつきましては、別冊の「ナビゲーションシステム取扱書」をご覧ください。

■警告ブザーについて

→ P. 363

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

⚠注意

■「電力消費が大きいため 一部の空調・ヒータ作動を制限中です」がひんぱんに表示されるときは

充電系の異常やバッテリーが劣化している可能性があります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

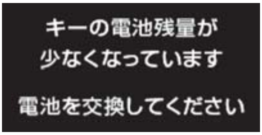
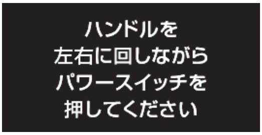
■「補機バッテリー（始動用）充電不足 取扱書を確認してください」がひんぱんに表示されるときは

補機バッテリーが劣化している可能性があります。その状態で放置しておくと、補機バッテリーあがりを起こすおそれがあるため、トヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容
1 回	なし	キーが見つかりません キーの所在を 確認してください	電子キーを携帯していないか、電子キーが正常に作動しない状態でハイブリッドシステムを始動しようとした →**電子キーを携帯してハイブリッドシステムを始動する**
1 回	3 回	キーが見つかりません キーの所在を 確認してください	パワースイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した →**電子キーを車内にもどす**
			シフトレバーがPの状態でパワースイッチを OFF にせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された →**パワースイッチを OFF にする** →**電子キーを車内にもどす**
1 回	連続音	キーが見つかりません キーの所在を 確認してください 電源をOffしてください （交互に表示） （点滅）	シフトレバーがPの状態でパワースイッチを OFF にせずに、電子キーを外に持ち出してドアを施錠しようとした →**パワースイッチを OFF にしたあと、再度施錠する**
9回	なし	キーが見つかりません キーの所在を 確認してください	正規の電子キーが車室内に無い状態で走行をはじめた →**車室内に電子キーがあるか確認する**

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容
連続音	なし	駐車時はPレンジに入れてください （点滅）	シフトレバーが P 以外の状態で、パワースイッチを OFF にせずに運転席ドアが開いた **→シフトレバーを P にする**
連続音	連続音	駐車時はPレンジに入れてください キーが見つかりません キーの所在を確認してください （交互に表示） （点滅）	シフトレバーがP以外の状態でパワースイッチを OFF にせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された **→シフトレバーを P にする** **→電子キーを車内にもどす**
なし	連続音	車室内にキーがあります	車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー＆スタートシステムでドアを施錠しようとした **→車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する**
1 回	連続音	車室内にキーがあります	車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした **→車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する**

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容
1 回	なし		・メカニカルキーで解錠してパワースイッチを押した際、車室内でキーを検出できなかった ・パワースイッチを押したとき車室内でキーを検出できないことが 2 回連続で続いた →**ブレーキを踏みながら電子キーでパワースイッチにふれる**
1 回	なし	始動時は Pレンジに 入れてください （点滅）	ハイブリッドシステム始動不可能なシフトレバー位置でハイブリッドシステムを始動しようとしている →**シフトレバーを P にする**
なし	なし	バッテリ保護のため 自動で電源を Offしました	自動電源 OFF 機能が作動した →**次回ハイブリッドシステム始動時に約 5 分間ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電する**

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容
1 回	なし		電子キーの電池残量が少ない **→新しい電池と交換する（→ P. 328）**
1 回	なし	 （点滅）	電子キーが正常に働かないときのハイブリッドシステムの始動の方法（→ P. 413）でパワースイッチに電子キーをふれた **→ブザーが鳴ってからブレーキペダルを踏んでパワースイッチを押す**
なし	なし		· パワースイッチが OFF の状態でドアロックを解錠し、運転席のドアを開閉した · ハイブリッドシステムを始動せずにパワースイッチをアクセサリーモードにした · ON モードのときに、シフトレバーを P レンジ以外から、P レンジにした **→ブレーキを踏んでパワースイッチを押す**
1 回	なし	 （点滅）	パワースイッチを押してから約3秒以内にステアリングロックが解除できなかった **→ブレーキを踏んでハンドルを左右にまわしながらパワースイッチを押す**

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容
1 回	なし	駐車時はPレンジに 入れてください (点滅)	シフトレバーがP以外の状態でパワースイッチを OFF にした →**シフトレバーを P にする**
1 回	なし	電源をOffしてください (点滅)	シフトレバーがP以外でパワースイッチを OFF にしたあとシフトレバーを P にした →**パワースイッチを押して OFF にする**
断続音	なし	パワースイッチを 押し続けると ハイブリッドシステム 非常停止 (点滅)	走行中にパワースイッチを押した →**ハイブリッドシステムを緊急停止させるとき以外は、すみやかにパワースイッチから手を離す**
連続音	なし	再始動時は Nレンジにして パワースイッチを 押してください (点滅)	走行中にハイブリッドシステムを緊急停止させ、走行中に再度 ON モードにした →**ハイブリッドシステムを再始動させる場合は、シフトレバーを N にし、パワースイッチを押す**※

※ 車両の状態により、ハイブリッドシステムが再始動できない場合があります。

知識

■警告メッセージについて

→P. 378

■警告ブザーについて

→P. 363

パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）

この車両には、応急用タイヤが搭載されています。
パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。
（タイヤについての詳しい説明は P. 320 を参照してください）

警告

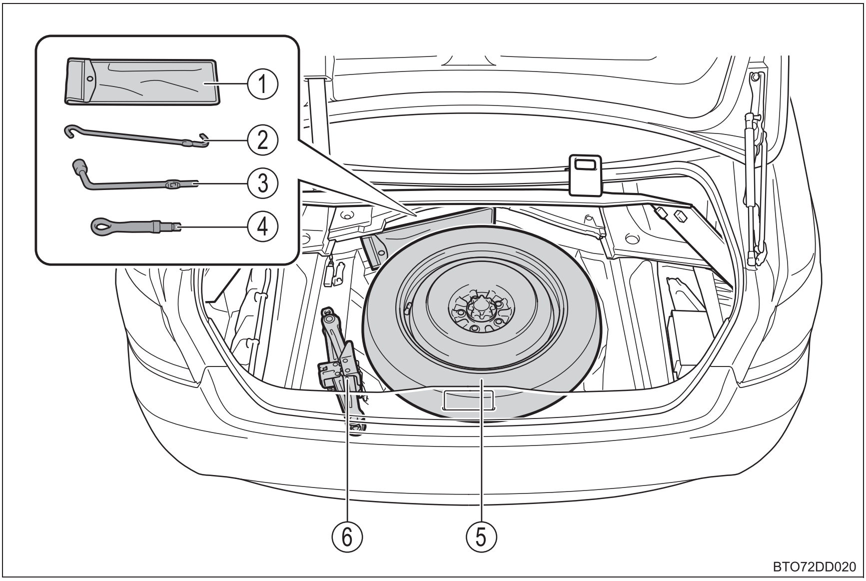
■タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの位置



① 工具袋
② ジャッキハンドル
③ ホイールナットレンチ
④ けん引フック
⑤ 応急用タイヤ
⑥ ジャッキ

警告

■**ジャッキの使用について**

次のことをお守りください。
ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、ハイブリッドシステムを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

ジャッキの取り出し方

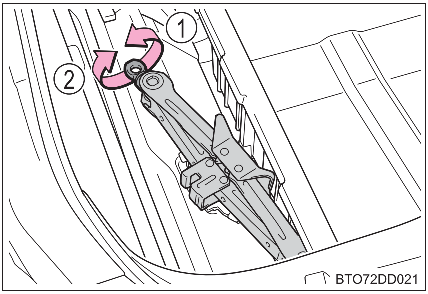
1 ラゲージマットを取りはずす

2 ジャッキをゆるめて取りはずす

① 締まる

② ゆるむ

ジャッキを収納するときは、ジャッキと固定具がかみ合うよう確実に固定してください。

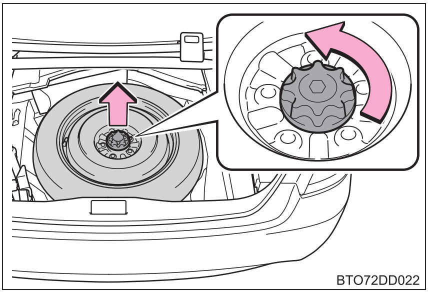


応急用タイヤの取り出し方

1 ラゲージマットを取りはずす

2 留め具をはずし、スペアタイヤを取り出す

スペアタイヤの留め具が固くてまわらないときは、車載のレンチを使用してください。(タイヤを固定するときは、留め具を手で取り付けてください。レンチなどの工具は使用しないでください。)



⚠ 警告

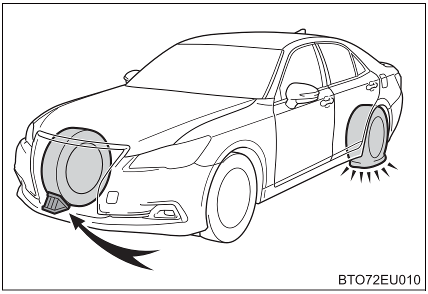
■応急用タイヤを収納するとき

ボデーと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

パンクしたタイヤの交換

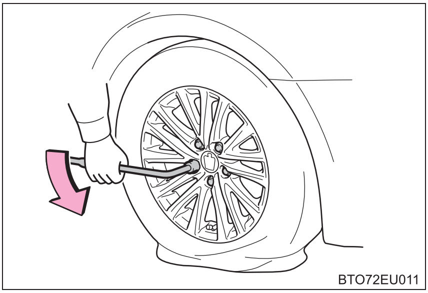
1 輪止め※をする

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

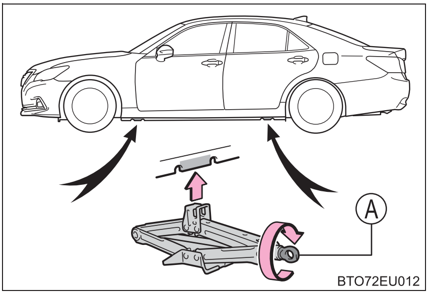


パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

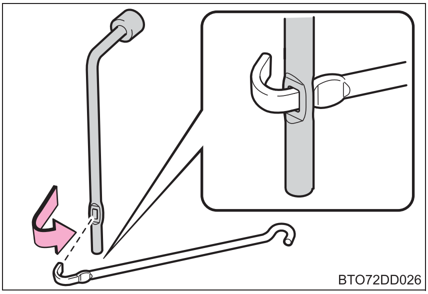
2 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる



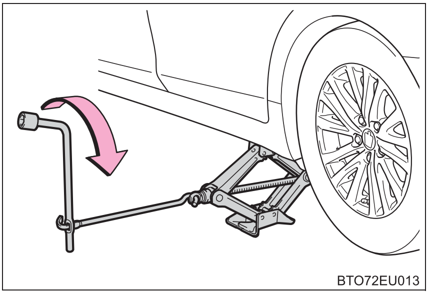
3 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける



4 ホイールナットレンチをジャッキハンドルに組み付ける

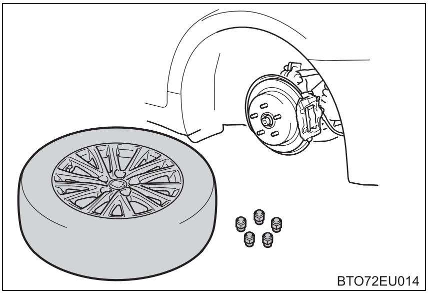


5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの表面に傷が付かないよう表面を上にします。



警告

■**タイヤ交換について**

●走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。

●次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

・ねじ部にオイルやグリースを塗らない
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。またナットがゆるみホイールが落下するおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

・ホイールの交換後は、すぐに 103N・m（1050kgf・cm）の力でナットを締める

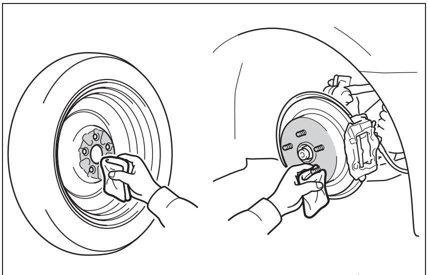
・タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する

・ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける

応急用タイヤの取り付け

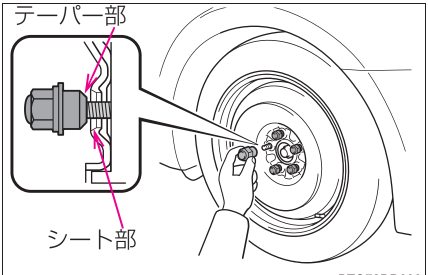
1 ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。


BTO72DD029

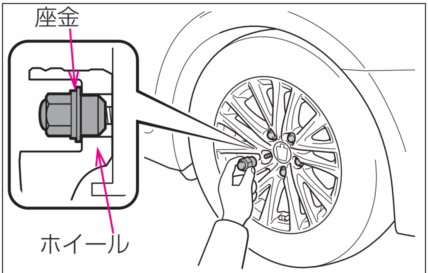
2 応急用タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

アルミホイールからスチールホイールにかえるとき：
ナットのテーパー部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



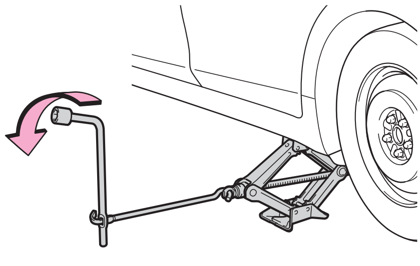
BTO72DD030

アルミホイールからアルミホイールにかえるとき：
ナットの座金がホイールにあたるまでまわす



BTO72EU015

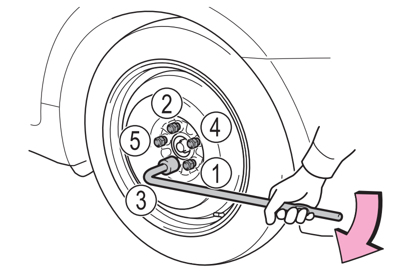
3 車体を下げる



BTO72EU016

4 図の番号順でナットを 2、3 度しっかり締め付ける

締め付けトルク：
103N・m（1050kgf・cm）



BTO72DD033

5 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

知識

■応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。（→ P. 433）

■応急用タイヤを装着しているとき

標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。

■雪道・凍結路で後輪がパンクしたとき

1 前輪を応急用タイヤに交換する

2 パンクした後輪をはずした前輪に交換する

3 タイヤチェーンを後輪に装着する

警告

■応急用タイヤを使用するとき

- ●お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- ●同時に 2 つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- ●できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- ●急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避けてください。

■応急用タイヤを装着しているとき

正確な車両速度が検出できない場合があり、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

・ABS
・ブレーキアシスト
・VSC
・NAVI・AI-AVS★
・レーダークルーズコントロール★
・クルーズコントロール★
・クリアランスソナー★
・インテリジェントクリアランスソナー★
・TRC
・VDIM
・PCS★
・AFS★
・アダプティブハイビームシステム★
・GPS ボイスナビゲーション★
・EPS
・バックガイドモニター★
・パノラミックビューモニター（左右確認サポート付）★
・インテリジェントパーキングアシスト★

また、次のシステムは、性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響を与えるおそれがあります。

・4WD システム★

■応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、100km/h 以上の速度で走行しないでください。
応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

■タイヤチェーンの装着について

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。
タイヤチェーンが車体にあたり、車を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パンクしたときは（タイヤパンク応急修理キット装着車）

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。（パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です）

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

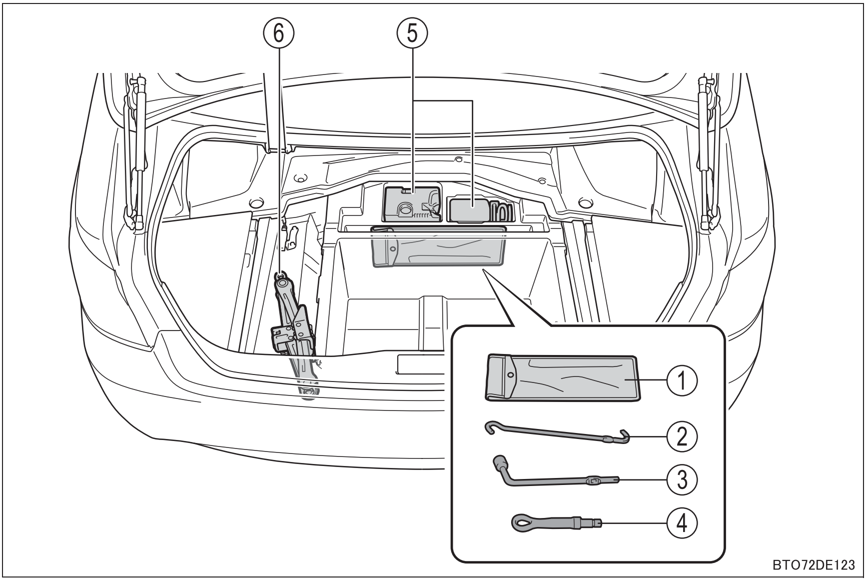
■パンクしたままの走行について

タイヤがパンクした状態で走行を続けないでください。
短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

応急修理する前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置



① 工具袋
② ジャッキハンドル
③ ホイールナットレンチ
④ けん引フック
⑤ タイヤパンク応急修理キット
⑥ ジャッキ※

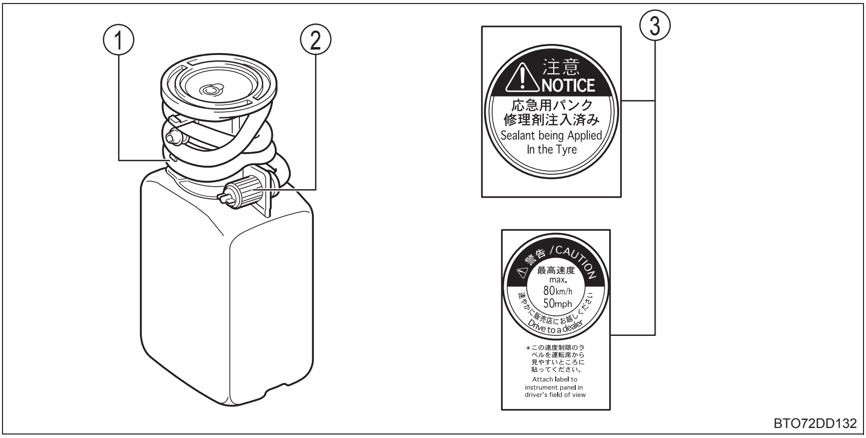
※ ジャッキの使い方（→ P. 390）

7

万一の場合には

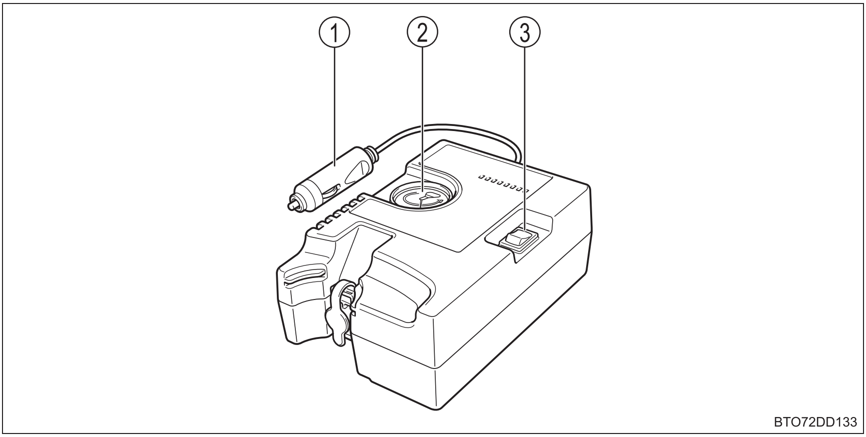
タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称

■ ボトル



① ホース
② 空気逃がしキャップ
③ ラベル

■ コンプレッサー

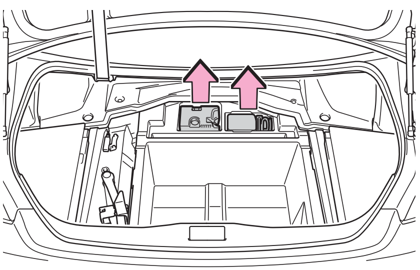


① 電源プラグ
② 空気圧計
③ 電源スイッチ

応急修理キットの取り出し方

1 ラゲージマットを取りはずす

2 応急修理キットを取り出す



BTO72DE124

ジャッキの取り出し方

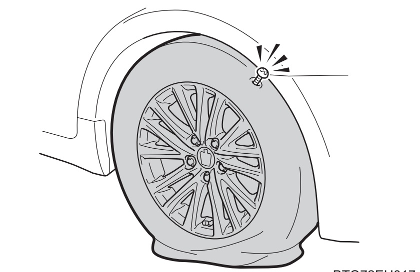
→ P. 389

応急修理する前に

タイヤの損傷程度を確認してください。

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

- タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。
- パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。

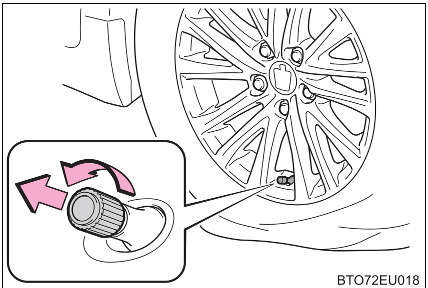


BTO72EU017

応急修理するとき

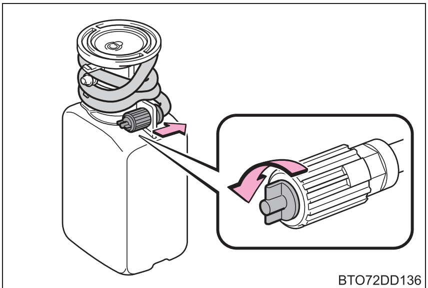
1 応急修理キットを取り出す

2 パンクしたタイヤのバルブから、バルブキャップを取りはずす


BTO72EU018

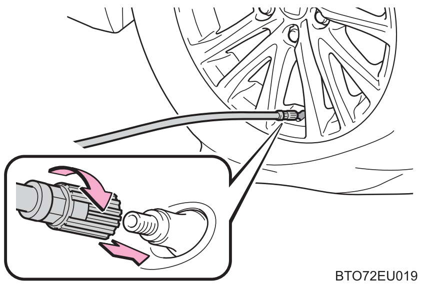
3 ホースをのばし、空気逃がしキャップを取りはずす

空気逃がしキャップは再度使用するため、なくさないように保管してください。

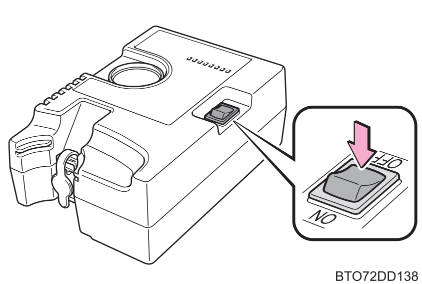

BTO72DD136

4 ボトルのホースをパンクしたタイヤのバルブに接続する

ホース先端を時計まわりにまわして、しっかりと最後までねじ込みます。

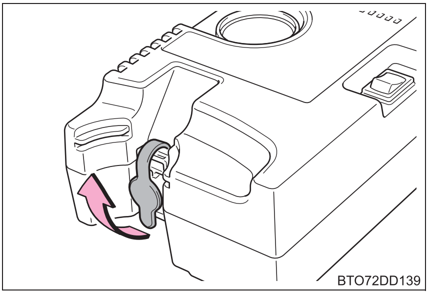

BTO72EU019

5 コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認する

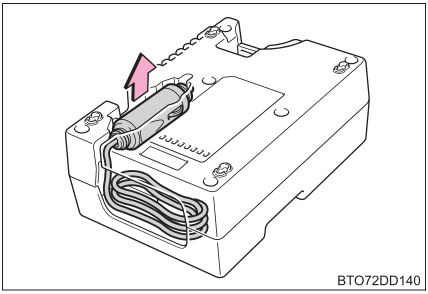


BTO72DD138

6 コンプレッサーのゴム栓をはずす

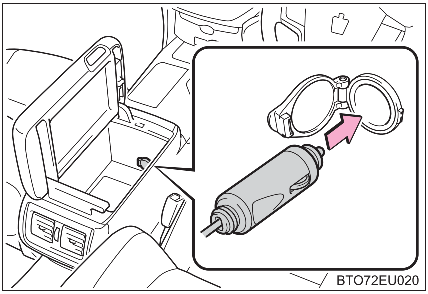


7 コンプレッサーの電源プラグをはずす

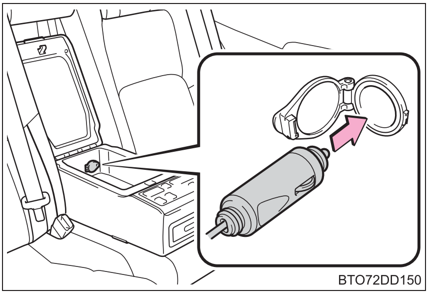


8 コンプレッサーの電源プラグをアクセサリーソケットに挿し込む（→P. 293）

▶ フロント



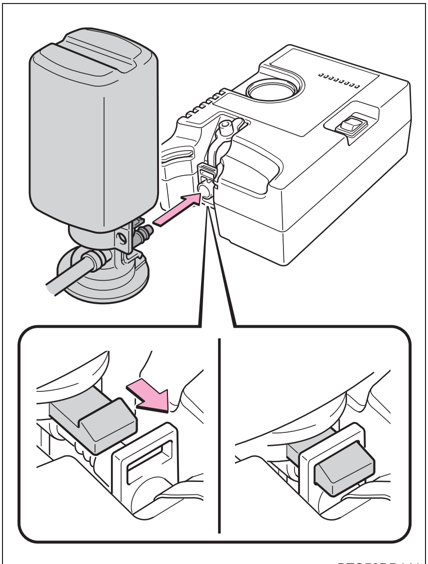
▶ リヤ★



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

9 ボトルをコンプレッサーに接続する

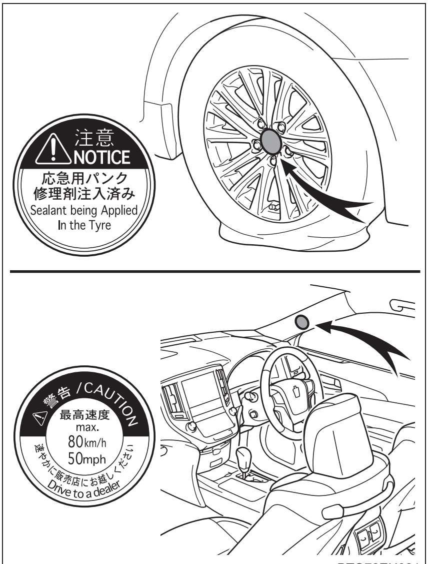
しっかり接続されているか確認してください。



BTO72DD141

10 付属のラベル 2 枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

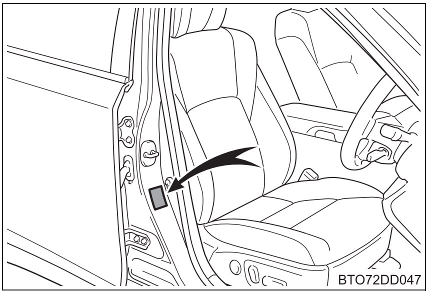
ホイールの汚れや水分を十分にふき取ってからラベルを貼り付けてください。ラベルを貼り付けることができない場合は、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換するときにパンク補修液注入済みであることを必ずお伝えください。



BTO72EU021

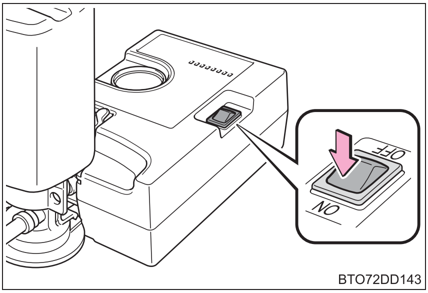
11 タイヤの指定空気圧を確認する

運転席側の空気圧ラベルで確認することができます。(→ P. 433)



12 ハイブリッドシステムを始動する

13 コンプレッサーのスイッチを ON にし、パンク補修液と空気を充填する

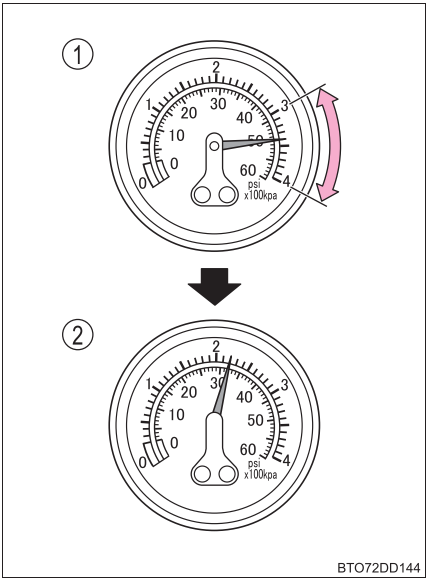


14 空気圧が指定空気圧になるまで充填する

① 一時的に空気圧計が 300 ～ 400kPa(3.0 ～ 4.0kg/cm^2)まで上昇し、徐々に減少します。

② スイッチを ON にしてから 1 分程度(低温の場合は 15 分程度)で実際の空気圧になります。

コンプレッサーのスイッチを OFF にして確認してください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。



10 分以上(低温の場合は 35 分以上)充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。コンプレッサーのスイッチを OFF にしてトヨタ販売店にご連絡ください。

空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。(→ P. 406, 433)

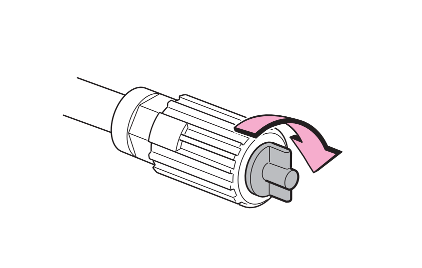
15 コンプレッサーのスイッチが OFF であることを確認した上で、アクセサリーソケットから電源プラグを抜き、バルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液がもれる可能性があります。

16 バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

17 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液がもれ、お車が汚れる可能性があります。

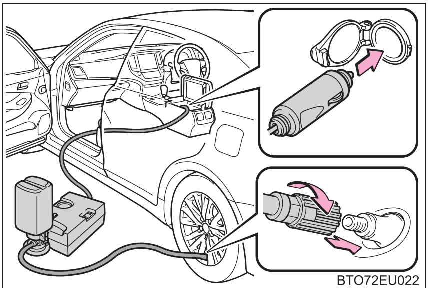


BTO72DD145

18 いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままトランク内に収納する

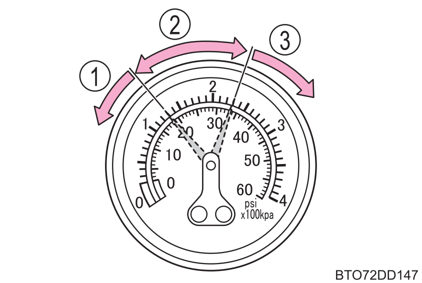
19 タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、すみやかに 5km 程度、速度 80km/h 以下で安全に走行する

20 走行後、平坦な場所に停車し、再度コンプレッサーを接続する



BTO72EU022

21 コンプレッサーのスイッチを ON にして数秒間経過後、スイッチを OFF にして空気圧を確認する



BTO72DD147

① 空気圧が 130kPa（1.3kg/cm^2）未満の場合：応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください

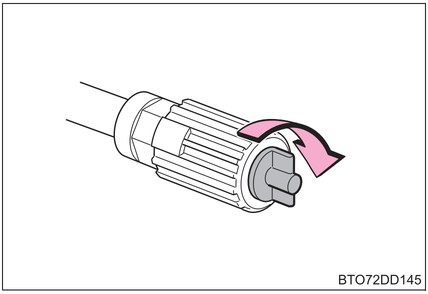
② 空気圧が 130kPa（1.3kg/cm^2）以上、指定空気圧未満の場合：手順 22 へ

③ 空気圧が指定空気圧（→ P. 433）の場合：手順 23 へ

22 コンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで空気を充填し、再度、約 5km 走行後にあらためて手順 20 から実施する

23 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液がもれ、お車が汚れる可能性があります。



24 ボトルとコンプレッサーを接続したままトランク内に収納する

25 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け、100km 以内、速度 80km/h 以下でトヨタ販売店まで慎重に運転する

知識

■応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- ●タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- ●タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- ●タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- ●タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ●ホイールが破損しているとき
- ●2 本以上のタイヤがパンクしているとき
- ●1 本のタイヤに 2 箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

■応急修理後のタイヤのバルブについて

応急修理キットを使用したときは、タイヤのバルブを新品に交換してください。

■応急修理キットの点検について

パンク補修液の有効期限の確認は定期的に行ってください。
有効期限はボトルに表示されています。
有効期限が切れたパンク修理液は使用しないでください。応急修理キットによる修理が正常にできない場合があります。

■**応急修理キットについて**

●応急修理キットは自動車タイヤの空気充填用です。

●パンク補修液には有効期限があります。有効期限は容器に表示されています。有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

●パンク補修液ボトル1本でタイヤ1本を1回応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。コンプレッサーは、くり返し使用できます。

●外気温度が－ 40 ℃～ 60 ℃のときに使用できます。

●応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。

●パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。

●パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。

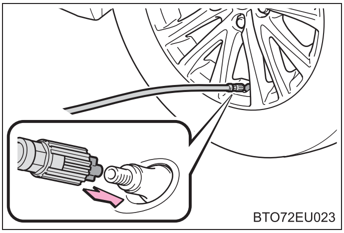
●コンプレッサー作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。

●タイヤ空気圧の点検や調整には使用しないでください。

■**空気を入れすぎてしまったとき**

1 タイヤからホースを取りはずす

2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあてて空気を抜く



3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する

4 コンプレッサーのスイッチを ON にして数秒間経過後、スイッチを OFF にして空気圧計を確認する
指定空気圧より低いときは、再度、コンプレッサーのスイッチを ON にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

⚠ 警告

■応急修理キットについて

●応急修理キットは指定の位置に収納してください。
急ブレーキ時などに応急修理キットが飛び出したりして破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●応急修理キットはお客様の車専用です。他の車には使わないでください。他の車に使うと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●指定タイヤサイズ以外のタイヤや他の用途には使用しないでください。パンク修理が完全に行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■パンク補修液について

●誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。

●もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■パンクしたタイヤを応急修理するとき

●車両を安全で平坦な場所に停止させてください。

●走行直後、ホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください
走行直後のホイールやブレーキまわりは高温になっている可能性があるため手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。

●タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしっかりと接続してください。

●接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。

●充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。

●充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。

●作業手順に従って応急修理を行ってください。
手順どおりに行わないとパンク補修液が噴出する場合があります。

●破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにキットのスイッチを OFF にし、修理を中止してください。

●応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。35 分以上連続で作動させないでください。

警告

●応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。ボトルとコンプレッサー接続箇所の金属部分は特に熱くなるため、使用中、または使用直後はふれないでください。

●速度制限シールは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などの SRS エアバッグ展開部に貼ると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

■補修液を均等に広げるための運転について

●低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。

●車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。

・タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。

・空気圧を確認してください。130kPa　未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

注意

■応急修理をするとき

●タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。
取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。

●応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。

●砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

■応急修理キットについて

●応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。

●応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。

●応急修理キットは砂埃や水を避けて収納してください。

●応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。

●分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

ハイブリッドシステムが始動できないときは

ハイブリッドシステムが始動できない原因は状況によって異なります。次のことをご確認いただき、適切に対処してください。

正しいハイブリッドシステムの始動方法（→ P. 167）に従っても始動できない

次の原因が考えられます。

- 電子キーが正常に働いていない可能性があります。（→ P. 413）
- 燃料が入っていない可能性があります。
  給油してください。
- イモビライザーシステムに異常がある可能性があります。（→ P. 68）
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。
- 電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、ハイブリッドシステムを一時的な処置でかけることができます。（→ P. 410）

室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 415）
- 補機バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。
  （→ P. 313）

室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 415）
- 補機バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
  （→ P. 313）

対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもハイブリッドシステムが始動できないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能

通常のハイブリッドシステム始動操作でハイブリッドシステムが始動しないときは、次の手順でハイブリッドシステムが始動する場合があります。
緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認する
2. シフトレバーが P の位置にあることを確認する
3. パワースイッチをアクセサリーモードにする
4. ブレーキペダルをしっかり踏んでパワースイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でハイブリッドシステムが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

シフトレバーがシフトできないときは

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

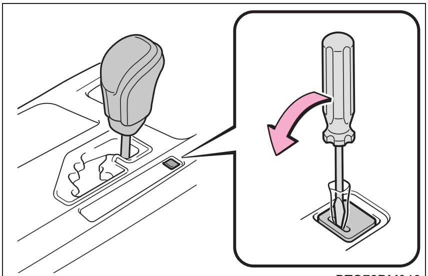
1 パーキングブレーキをかける

2 パワースイッチをアクセサリーモードにする

3 ブレーキペダルを踏む

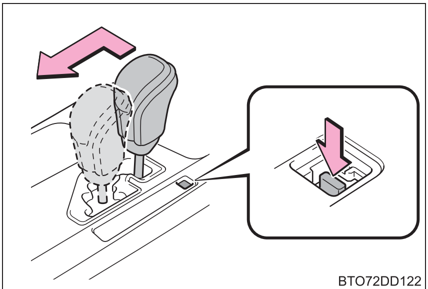
4 カバーをはずす

マイナスドライバーなどを使ってカバーをはずします。
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。


BTO72DM046

5 シフトロック解除ボタンを押す

ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。


BTO72DD122

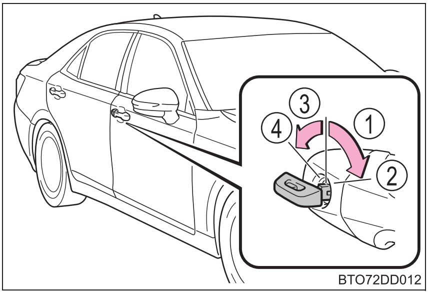
電子キーが正常に働かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり（→ P. 124)、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアやトランクを開けたり、ハイブリッドシステムを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠、トランクの解錠とキー連動操作

■ ドア

メカニカルキー（→ P. 101）を使って次の操作ができます。



① 全ドア施錠

② ドアガラスとムーンルーフ★が閉まる（まわし続ける）※

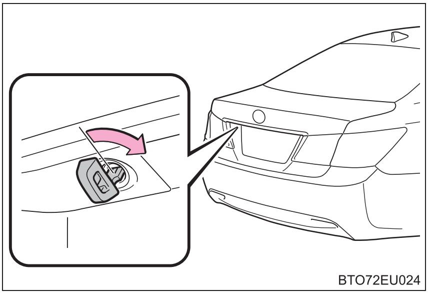
③ 全ドア解錠

④ ドアガラスとムーンルーフ★が開く（まわし続ける）※

※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。（→ P. 440）

■ トランク

メカニカルキーを時計まわりにまわして開ける



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

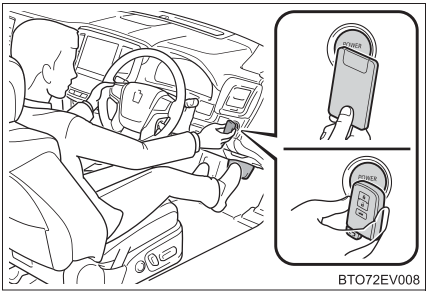
ハイブリッドシステム始動の方法

1 シフトレバーが P の状態でブレーキペダルを踏む

2 電子キーのクラウンエンブレム面で、パワースイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、ON モードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムの設定が非作動になっているときは、アクセサリーモードへ切りかわります。



3 ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイに が表示されていることを確認する

4 パワースイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

知識

■ハイブリッドシステムの停止方法

通常のハイブリッドシステムの停止方法と同様に、シフトレバーを P にしてパワースイッチを押します。

■電池交換について

ここで説明しているハイブリッドシステムの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 328)

■パワースイッチのモードの切りかえについて

ハイブリッドシステム始動方法の手順 3 で、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→ P. 168)

■電子キーが正常に働かない場合

●車両カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。(→ P. 439)

●電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。設定されている場合は解除してください。(→ P. 122)

警告

■**メカニカルキーを使ってドアガラスやムーンルーフを操作するとき**

ドアガラスやムーンルーフに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、メカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスやムーンルーフに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

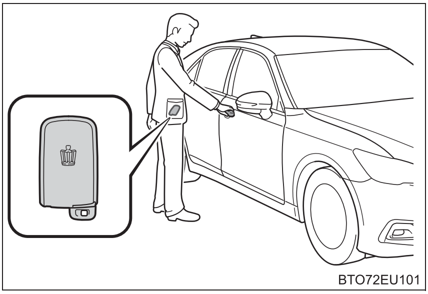
補機バッテリーがあがったときは

補機バッテリーがあがった場合、次の手順でハイブリッドシステムを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、ハイブリッドシステムを始動させることができます。

1 電子キーを携帯していることを確認する

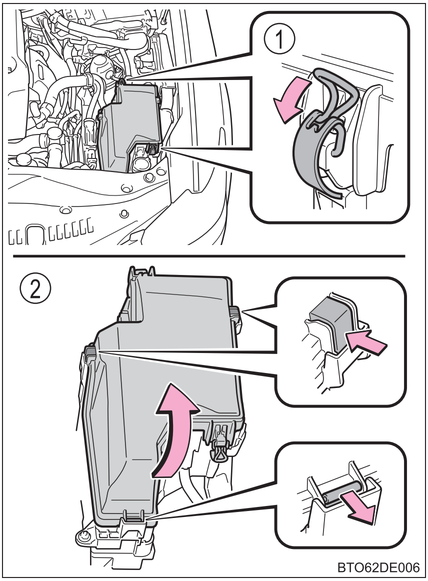
ブースターケーブル接続時、場合によっては、オートアラームが作動し自動的にドアが施錠されます。(→P. 70)



2 ボンネットを開け、ヒューズボックスを開ける

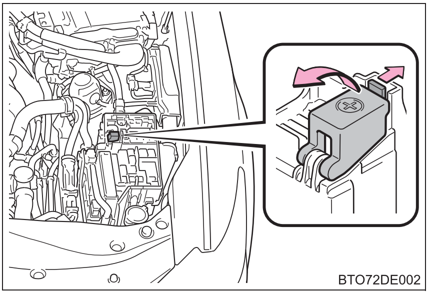
① クリップをはずす

② ツメを押しながら、カバーを取りはずす

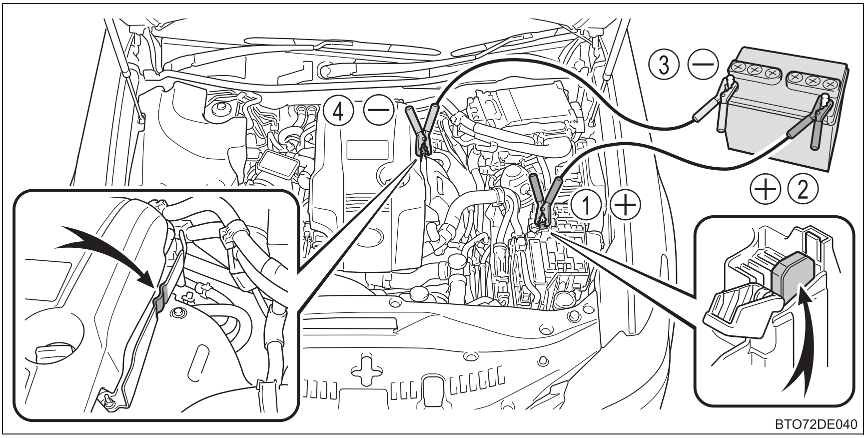


3 ヒューズボックス内の救援用端子カバーを開ける

ツメを軽く引きながら、カバーを開けます



4 ブースターケーブルを次の順につなぐ



① 赤色のブースターケーブルを自車の救援用端子につなぐ

② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの＋端子につなぐ

③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの－端子につなぐ

④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ

5 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車の補機バッテリーを充電する

6 パワースイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する

7 救援車のエンジン回転を維持したまま、パワースイッチをいったんONモードにしてからハイブリッドシステムを始動する

8 READY インジケーターが点灯することを確認する

点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。

9 ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

ハイブリッドシステムが始動しても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■補機バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■補機バッテリーあがりを防ぐために

- ●ハイブリッドシステムが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- ●渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■補機バッテリーについて

→ P. 313

■補機バッテリーの充電について

補機バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、補機バッテリーがあがってハイブリッドシステムを始動できなくなるおそれがあります。(補機バッテリーはハイブリッドシステムの作動中に自動で充電されます)

■補機バッテリーあがり時や取りはずし時など

- ●補機バッテリー脱着直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- ●補機バッテリー脱着後、最初の始動操作ではハイブリッドシステムが始動できないことがありますが異常ではありません。再度始動操作を行ってください。
- ●車両は常に電源の状態を記憶しています。補機バッテリー脱着時、車両は補機バッテリーをはずす前の状態に復帰します。補機バッテリーを脱着する際は、パワースイッチを OFF にしてから行ってください。
補機バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、補機バッテリー接続時は特に注意してください。

警告

■補機バッテリーの引火または爆発を防ぐために

補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子以外に接続しない
- ＋端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは＋側と－側の端子を絶対に接触させない
- 補機バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■補機バッテリーの取り扱いについて

補機バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- 補機バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などを補機バッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
  また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- 補機バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまを補機バッテリーに近付けない

■補機バッテリーあがりの処置をしたあと

早めにトヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。
補機バッテリーが劣化している場合、そのまま使い続けると補機バッテリーから異臭ガスが発生し、乗員に健康障害をおよぼすおそれがあり危険です。

■補機バッテリーの交換について

→P. 314

⚠ 注意

■ブースターケーブルの取扱いについて

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

■救援用端子について

この車の救援用端子は、他の車から応急的に補機バッテリーを充電するためのものです。この救援用端子を使用して、他の車のバッテリーあがりを救援しないでください。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- メーター内の水温計の針がレッドゾーンに入ったり、ハイブリッドシステムの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム高温」が表示される
- エンジンルームから蒸気が出る

対処方法

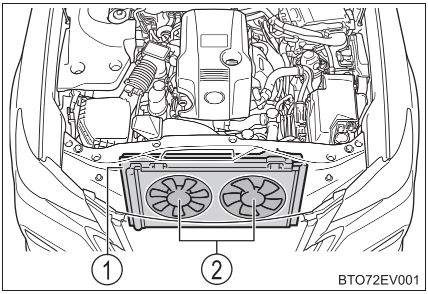
■ メーター内の水温計の針がレッドゾーンに入ったとき

1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、ハイブリッドシステムを停止する

2 蒸気が出ている場合：
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける

蒸気が出ていない場合：
注意してボンネットを開ける

3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

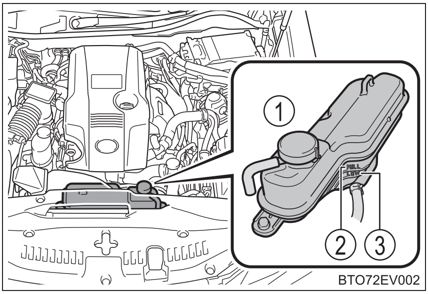


① ラジエーター

② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する



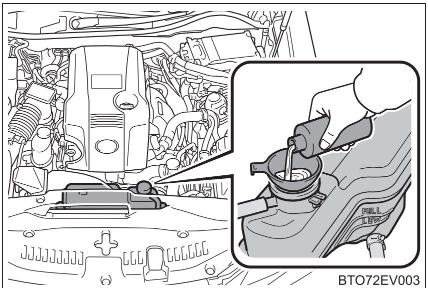
① リザーバータンク

② “FULL”（上限）

③ “LOW”（下限）

5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



BTO72EV003

6 ハイブリッドシステムを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

ハイブリッドシステムが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。
（ただし、氷点下となる寒冷地はファンが作動しないことがあります）

7 ファンが作動していない場合：
すぐにハイブリッドシステムを停止し、トヨタ販売店に連絡する

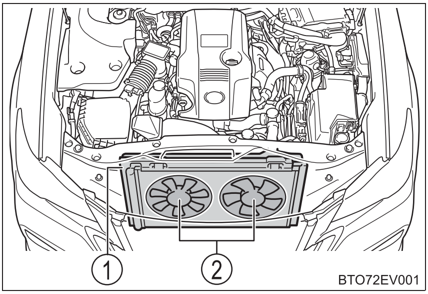
ファンが作動している場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

■ マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム高温」が表示されたとき

1 安全な場所に停車する

2 ハイブリッドシステムを停止し、注意してボンネットを開ける

3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

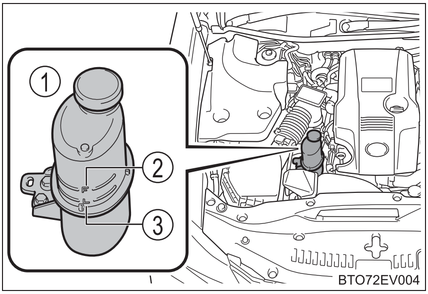


① ラジエーター

② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

4 冷却水の量がリザーバータンクの“F”（上限）と“L”（下限）のあいだにあるかを点検する



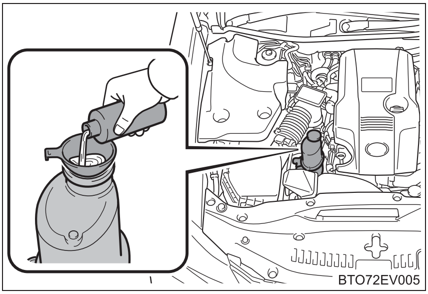
① リザーバータンク

② “F”（上限）

③ “L”（下限）

5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



6 ハイブリッドシステムを始動しマルチインフォメーションディスプレイを確認する

表示が消えない場合：
ハイブリッドシステムを停止してトヨタ販売店に連絡する

表示が消えている場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

警告

■エンジンルーム点検中の事故やけがをふせぐために

●エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●ハイブリッドシステムの停止後は、READY インジケーターが消灯していることを確認してください。ハイブリッドシステムが作動していると、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、ガソリンエンジンが停止していても、冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ベルトやファンなどの回転部分にふれたり、近付いたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●ハイブリッドシステムおよびラジエーターが熱いうちは冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意

■冷却水を入れるとき

ハイブリッドシステムが十分に冷えてから入れてください。
冷却水はゆっくり入れてください。
ハイブリッドシステムが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。

■冷却系統の故障を防ぐために

次のことをお守りください。

●異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない

●冷却水用添加剤を使用しない

スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

1 パーキングブレーキをかけシフトレバーをPにして、ハイブリッドシステムを停止する

2 タイヤ周辺の土や雪などを取り除く

3 タイヤの下に木や石などをあてがう

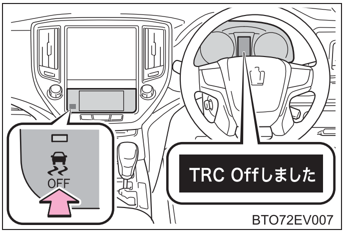
4 ハイブリッドシステムを再始動する

5 シフトレバーをDまたはRに入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

知識

■脱出しにくいとき

を押してTRCをOFFにしてください。



警告

■脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何もないことを確認してください。
スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■ **トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報 8

8-1. 仕様一覧
メンテナンスデータ
（指定燃料・オイル量など）.428
8-2. カスタマイズ機能
ユーザーカスタマイズ
機能一覧................................435

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量［L］（参考値）
・無鉛レギュラーガソリン ・バイオ混合ガソリン（レギュラー）※	65

※エタノールの混合率 10%以下または、ETBE の混合率 22%以下のガソリン（酸素含有率 3.7%以下）を使用することができます。

エンジンオイル

指定銘柄	容量［L］（参考値※1）	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタキャッスルモーターオイル SN 0W-20※2 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20 トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30 トヨタキャッスルモーターオイル SN 10W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30	4.1	4.5

※1 エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンの暖機後にハイブリッドシステムを停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

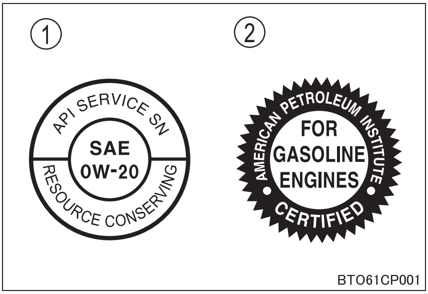
※2 0W-20 は上記表の中では最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をご使用ください。なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION（イルサックサーティフィケーション）マークが付いています。

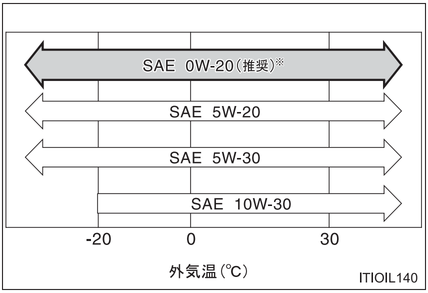
① API マーク

② ILSAC CERTIFICATIONマーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上記図に示す中では最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）:

・0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。

・0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。
粘度の高い（数値が大きい）オイルは高速または高負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	容量［L］（参考値）	
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30%　－ 12°C 濃度 50%　－ 35°C	ガソリンエンジン	8.2
	パワーコントロールユニット	2.2

トランスミッション

指定銘柄	容量［L］（参考値※）
トヨタ純正オートフルード　WS	3.8

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください

トランスファー（4WD 車）

オイルタイプ・推奨粘度	容量［L］（参考値）
トヨタ純正トランスファーギヤオイル LL80	0.7

フロントディファレンシャル（4WD 車）

オイルタイプ・推奨粘度	容量［L］（参考値）
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX （API GL-5 SAE 85W-90）	0.7

リヤディファレンシャル

オイルタイプ・推奨粘度	容量［L］（参考値）
トヨタ純正ディファレンシャルギヤオイル LT （API GL-5 SAE 75W-85）	1.35

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ ブレーキペダル

項目	基準値［mm］
遊び	1 ～ 6
踏み込んだときの床板とのすき間※	115 以上

※ ハイブリッドシステムが作動している状態で、500N（51kgf）の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値（回数）
踏みしろ 操作力 300N（30.6kgf）のときのノッチ※数	7 ～ 9

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ”という音）のことです

ウォッシャータンク

容量 [L]（参考値）
4.7

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイールサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa（kg/cm^2）	
			前輪	後輪
標準タイヤ	215/60R16 95H	16 × 7J	250 (2.5)	
	215/55R17 94V	17 × 7J ※ 1	230（2.3）	
		17 × 7 1/2J ※ 2		
	225/45R18 91W	18 × 8J	230（2.3）	
応急用タイヤ★	T155/70D17 110M	17 × 4T	420（4.2）	

※ 1 ロイヤル

※ 2 アスリート

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

電球（バルブ）※

電球		W（ワット）数
車外	フロント方向指示灯／非常点滅灯	21
	リヤ方向指示灯／非常点滅灯	21
	後退灯	16
	リヤフォグランプ★	21
	ドアミラー照明★	5
車内	バニティランプ	8
	トランクランプ	5

※ 表に記載のないランプは LED を採用しています。

車両仕様

名称	型式	エンジン	電動機型式	駆動方式
クラウン	AWS210	2AR-FSE (2.5L ガソリン)	1KM	FR (後輪駆動)
	AWS211			4WD (4 輪駆動)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてトヨタ販売店で作動内容を変更することができます。また、ナビゲーションシステム★・マルチインフォメーションディスプレイの操作により、設定を変更することができる機能もあります。

T-Connect サービスご契約のお客様は、マイカーカスタマイズ機能（T-Connect スマホアプリのご利用、またはトヨタ販売店へのご依頼）により、遠隔で設定変更ができます。
遠隔での設定変更が可能な項目に関してはT-Connectスマホアプリでご確認ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

設定変更のしかた

■ ナビゲーションシステムで設定するには（ナビゲーションシステム装着車）

1 ナビゲーションシステム画面に「設定・編集」画面を表示し、「車両」を選択する

ナビゲーションシステムの操作方法については、別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

2 設定を変更したいカテゴリーを選択する

BTO20EC022

3 一覧表示された中から設定を変更する項目を選択する

機能の作動内容を選択するメニューが表示されます。

4 機能の作動内容を選択する

作動・非作動を変更できる機能では、「する」（作動）・「しない」（非作動）を選択します。

音量やセンサーの感度などを変更できる機能では、「+」または「−」を選択してレベルを調整し、「完了」を選択します。

5 画面右下の「完了」を選択する

設定変更中画面が表示されます。
この画面が表示されているあいだは、他の操作を行わないでください。

■ マルチインフォメーションディスプレイで設定するには

→ P. 88

車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

① ナビゲーションシステムの画面操作で設定変更可能

② マルチインフォメーションディスプレイで設定変更可能

③ 車両側のスイッチ操作等で設定変更可能

④ トヨタ販売店で設定変更可能

■ オートアラーム（→ P. 69）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
窓が開いているときの侵入センサーの感度調節	標準	感度低	—	—	—	○
メカニカルキーを使って解錠したときのアラーム解除	あり	なし	—	—	—	○

■ メーター、マルチインフォメーションディスプレイ、（→ P. 88）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
EV 走行表示	On	Off	—	○	—	—
スイッチ設定※1	ドライブインフォ 1	お好みの設定※2	—	○	—	—
ドライブインフォ 1	瞬間燃費	※3	—	○	—	—
	リセット間平均燃費					
ドライブインフォ 2	航続可能距離	※3	—	○	—	—
	リセット間平均車速					
各割込み表示の ON ／ OFF 切りかえ※4（割込み表示）	On	Off	—	○	—	—
カラー	青白色	青色	—	○	—	—
		赤色				
		黄色				

※1 機能についての詳しい説明は P. 88 を参照してください

※2 登録できない項目もあります

※3 瞬間燃費・リセット間平均燃費・始動後平均燃費・給油後平均燃費・リセット間平均車速・始動後平均車速・リセット間走行時間・始動後走行時間・航続可能距離・始動後走行距離・ブランクから2項目を選択

※4 交差点案内★・電話着信★・ライト操作・照度調整

■ ITS Connect★（→ P. 223）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
右折支援	On	Off	―	○	―	―
右折支援時期	早	遅	―	○	―	―
赤信号支援	On	Off	―	○	―	―
赤信号支援時期	早	遅	―	○	―	―
一時停止支援※	On	Off	―	○	―	―
一時停止支援時期※	早	遅	―	○	―	―
前方停止車両通知※	On	Off	―	○	―	―
わき道車両通知※	On	Off	―	○	―	―
緊急車両通知	On	Off	―	○	―	―
信号待ち案内	On	Off	―	○	―	―
クルーズ（ITS）	On	Off	―	○	―	―

※ ETC2.0 装着車のみ

■ ドアロック（→ P. 106, 412）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
メカニカルキーによる解錠	1回で全ドア解錠	1回で運転席ドア解錠、連続2回で全ドア解錠	―	―	―	○
車速感応オートドアロック	あり	なし	○	―	○	○
シフトレバーをP以外にしたときの全ドア施錠（シフト操作連動ドアロック）	なし	あり	○	―	○	○
シフトレバーをPにしたときの全ドア解錠（シフト操作連動アンロック）	あり	なし	○	―	○	○

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
運転席ドアを開けたときの全ドア解錠（運転席ドア開連動アンロック）	なし	あり	○	—	○	○

■ スマートエントリー＆スタートシステム、ワイヤレスドアロック共通（→ P. 106, 121）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
作動の合図（ブザー音量調整）	レベル 5	OFF	○	—	—	○
		レベル 1 ～ 7				
作動の合図（非常点滅灯）	あり	なし	○	—	—	○
解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間	30 秒	60 秒	—	—	—	○
		120 秒				
半ドア警告ブザー	あり	なし	—	—	—	○

■ スマートエントリー＆スタートシステム（→ P. 121）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
スマートエントリー＆スタートシステム	あり	なし	○	—	—	○
解錠されるドアの選択	全席解錠	運転席のみ解錠	○	—	○	○
連続ロック操作の有効回数	2 回	無制限	—	—	—	○

■ ワイヤレスドアロック（→ P. 106）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
ワイヤレス機能	あり	なし	—	—	—	○
解錠時の操作	1 回で全ドア解錠	1 回で運転席ドア解錠、連続 2 回で全ドア解錠	○	—	—	○

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
トランク解錠時の操作	1 回押し続ける（短）	1 回押し 2 回押し 1 回押し続ける（長） 非作動	—	—	—	○

■ フロントシート★（→ P. 134）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
降車時の運転席シート移動量調節	標準	OFF 少なめ	○	—	—	○
メモリーコール機能と連動するドアの選択	運転席ドア	全ドア	—	—	—	○

■ ドアミラー★（→ P. 146）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
オート電動格納作動	ドアの施錠・解錠と連動	OFF パワースイッチと連動	—	—	—	○
リバース連動機能作動中の鏡面角度の変更・記憶	あり	なし	—	—	—	○

■ パワーウインドウ（→ P. 149）、ムーンルーフ★（→ P. 152）共通

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
ドアキー連動開閉機能	なし	あり	—	—	—	○
ワイヤレスリモコン連動開閉機能	なし	あり	—	—	—	○
ワイヤレスリモコン連動作動合図 (ブザー)	あり	なし	—	—	—	○
警告表示	あり	なし	—	—	—	○

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ランプ自動点灯・消灯システム（→ P. 183）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
ライトセンサーの感度調整	標準	－２～２	○	―	―	○
ライトを点灯するまでの時間	標準	長め	―	―	―	○

■ AFS（アダプティブフロントライティングシステム）★（→ P. 184）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
AFS の作動	あり	なし	―	―	―	○

■ アダプティブハイビームシステム★（→ P. 186）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
遮光範囲可変ビームの切りかえ	あり	なし	―	―	―	○
アダプティブハイビームシステムが作動する車速や遮光範囲可変ビームの追従角度	通常走行時	山道での走行時に煩わしさを感じない 市街地での走行時に煩わしさを感じない 市街地かつ車速が高い状態での走行時に煩わしさを感じない	―	―	―	○

■ クリアランスソナー★（別冊「ナビゲーションシステム取扱書」参照）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
フロントセンターセンサーの検知可能距離	遠い	近い	○	―	―	○
リヤセンターセンサーの検知可能距離	遠い	近い	○	―	―	○
ブザー音量	レベル３	レベル１～５	○	―	―	○
ソナー表示の切りかえ	すべて表示	表示なし	○	―	―	○

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ エアコン（→ P. 260）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
AUTO スイッチが ON のとき、連動して外気導入と内気導入を自動的に切りかえる	する	しない	○	—	—	○
AUTO スイッチを ON にしたとき、A/C（エアコン）スイッチが連動して ON になる	する	しない	○	—	—	○
自動でステアリングヒーターを作動させる	する	しない	○	—	—	○
ステアリングヒーターが自動で作動したときの作動時間	0（標準）	－2 ～ 2	○	—	—	○
シートヒーター、シートベンチレーション★が自動で作動したときの温度調整（運転席、助手席それぞれ変更可能）	0（標準）	－2 ～ 2	—	—	—	○

■ イルミネーション（→ P. 279）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
室内照明の点灯制御	あり	なし	—	—	—	○
室内灯の消灯までの時間	15 秒	OFF	○	—	—	○
		7.5 秒				
		30 秒				
パワースイッチ OFF 後の作動	あり	なし	—	—	—	○
解錠時の照明の点灯	あり	なし	—	—	—	○
接近時の照明の点灯	あり	なし	—	—	—	○
足元照明の点灯	あり	なし	—	—	—	○
ドアミラー照明の点灯制御	あり	なし	—	—	—	○
ドアミラー照明の消灯までの時間	15 秒	OFF	○	—	—	○
		7.5 秒				
		30 秒				
接近時のドアミラー照明の点灯	あり	なし	—	—	—	○

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
解錠時のドアミラー照明の点灯	あり	なし	—	—	—	○
周囲の明るさにより、メーターなどの照度を自動減光するためのセンサーの感度	0	−2～2	—	—	—	○
周囲の明るさにより、減光したメーターなどの照度をもとにもどすためのセンサーの感度	0	−2～2	—	—	—	○

■ リヤサンシェード★（→ P. 295）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
リバース連動機能	あり	なし	—	—	—	○
リバース連動機能が作動するまでの時間	約 0.7 秒	約 0 秒 約 0.9 秒 約 1.2 秒	—	—	—	○

■ 車両接近通報装置（→ P. 59）

機能の内容	初期設定	変更後	①	②	③	④
音量調整	レベル 1	レベル 2 レベル 3	—	—	—	○

8
車両情報

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■車両カスタマイズについて

●「車速感応オートドアロック」と「シフトレバーをP以外にしたときの全ドア施錠（シフト操作連動ドアロック）」を両方とも「あり」にした場合、次のように作動します。

・シフトレバーをP以外に入れると全ドアが施錠されます。
・全ドアが施錠された状態で発進した場合、車速感応式自動ドアロックは作動しません。
・発進前にいずれかのドアロックを解錠してから発進した場合は、車速感応オートドアロックが作動します。

●「スマートエントリー&スタートシステム」の設定が「なし」の場合、「解錠されるドアの選択」の設定はできません。

●解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠が作動したときの合図は、「作動の合図（非常点滅灯）」・「作動の合図音量（ブザー音量調整）」の設定に依存します。

■ナビゲーション画面でカスタマイズ設定を行うとき

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてください。また、補機バッテリーあがりを防ぐため、ハイブリッドシステムが作動している状態で操作を行ってください。

⚠警告

■ナビゲーション画面でカスタマイズ設定を行うとき

ハイブリッドシステムが作動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

さくいん

こんなときは
（症状別さくいん）............................446
車から音が鳴ったときは
（音さくいん）..................................450
アルファベット順さくいん..............452
五十音順さくいん.............................454

次の装備は、別冊「ナビゲーションシステム取扱書」をお読みください。

- GPS ボイスナビゲーション
- オーディオ＆ビジュアル
- 音声操作システム
- クリアランスソナー
- インテリジェント クリアランスソナー
- ETC システム
- バックガイドモニター
- パノラミックビューモニター（左右確認サポート付）
- インテリジェントパーキングアシスト
- ハンズフリー
- T-Connect
- ETC2.0

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない

キーをなくした

● メカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいメカニカルキーを作ることができます。
（→ P. 102）

● 電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→ P. 104）

施錠・解錠できない

● キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？ （→ P. 328）

● パワースイッチが ON モードになっていませんか？
施錠するときは、パワースイッチを OFF にしてください。
（→ P. 168）

● 電子キーを車内に置き忘れていませんか？
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。

● 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。 （→ P. 124）

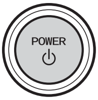
リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていませんか？
  チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。（→ P. 109）

誤ってトランク内にキーを閉じ込めた

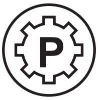
- キー閉じ込み防止機能が働き、通常通りトランクを開けることができます。キーを取り出してください。（→ P. 117）

故障かな？と思ったら



ハイブリッドシステムが始動できない

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらパワースイッチを押していますか？ （→ P. 167）
- シフトレバーは P になっていますか？ （→ P. 170）
- キーが車内の検知される場所にありますか？ （→ P. 121）
- ステアリングロックされていませんか？ （→ P. 170）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
  このときは、一時的な方法でハイブリッドシステムを始動することができます。（→ P. 413）
- 補機バッテリーがあがっていませんか？ （→ P. 415）

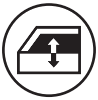


ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーが P から動かない

- パワースイッチは ON モードになっていますか？
  パワースイッチが ON モードでブレーキを踏んでも解除できないとき（→ P. 411）

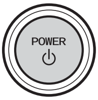
ハイブリッドシステムを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- 盗難防止のため、自動的にロックされます。（→ P. 170）



パワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウインドウロックスイッチが押されていませんか？
  ウインドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウインドウは操作できなくなります。（→ P. 149）



パワースイッチが自動的に OFF になった

- 一定時間アクセサリーモードまたはONモード(ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。（→ P. 169）

警告音・アラーム・ホーンが鳴りだした

● 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 450）をご確認ください。

警告灯や警告メッセージが表示されたとき

● 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 360、364 をご確認ください。

トラブルが発生した

タイヤがパンクした

● 応急用タイヤ装着車

車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。（→ P. 386）

● タイヤパンク応急修理キット装着車

車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→ P. 396）

立ち往生した

● ぬかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 424）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るとき／降りるとき

<table>
<tr><th>状況</th><th>原因</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>解錠したとき</td><td>盗難防止装置（オートアラーム）が作動した ※</td><td>P. 69</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ドアを開閉したとき</td><td>電子キーを車内に置き忘れている</td><td>P. 381</td></tr>
<tr><td>シフトポジションが P 以外になっている</td><td>P. 381</td></tr>
<tr><td>窓・ムーンルーフ★が開いている（ハイブリッドシステム停止中のみ）</td><td>P. 150
P. 154</td></tr>
<tr><td>盗難防止装置（オートアラーム）が作動した ※</td><td>P. 69</td></tr>
<tr><td>トランクを閉めたとき</td><td>電子キーをトランク内に置き忘れている</td><td>P. 117</td></tr>
<tr><td>ハイブリッドシステムを停止したとき</td><td>電子キーの電池残量が少なくなっている</td><td>P. 328</td></tr>
<tr><td rowspan="3">施錠しようとしたとき（施錠できないとき）</td><td>いずれかのドアが確実に閉まっていない</td><td>P. 123</td></tr>
<tr><td>電子キーを車内に置き忘れている</td><td rowspan="2">P. 381</td></tr>
<tr><td>シフトポジションが P 以外になっている</td></tr>
</table>

※ ドアまたはトランクを解錠する、またはパワースイッチを ON モードにするか、ハイブリッドシステムを始動すると、警報を解除することができます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドア・トランク・ボンネットが確実に閉まっていない	P. 369
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 370
	運転席・助手席・後席のシートベルトを着用していない※	P. 361
シフトダウンしたとき	シフトダウン制限をこえて操作した	P. 179
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 162
先行車に接近したとき	レーダークルーズコントロール★を使用している	P. 213
前方の障害物と衝突しそうになったとき	PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★が作動した	P. 239

※ 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

アルファベット順さくいん

A/C
（エアコン） 260
ABS
（アンチロックブレーキシステム） 232, 360, 366
AFS
（アダプティブフロントライティングシステム） 184, 366
AHS
（アダプティブハイビームシステム). 186, 366
AVS
（アダプティブバリアブルサスペンションシステム). 233
ECB
（エレクトロニカリーコントロールドブレーキシステム） 232
EDR
（イベントデーターレコーダー） 8
EPS
（エレクトリックパワーステアリング） 232
ETC
（エレクトロニックトールコレクション）※
EV
（エレクトリックビークル） 173
FR
（フロントエンジンリヤドライブ） 434
ILSAC CERTIFICATION
（イルサックサーティフィケーション） 430
ICS
（インテリジェントクリアランスソナー）※
ISOFIX
（アイソフィックス／イソフィックス） 43, 51

PCS
（プリクラッシュセーフティシステム） 239, 361, 365
SRS
（サプリメンタルレストレイントシステム）. 31, 360
TRC
（トラクションコントロール） 232
VDIM
（ビークルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント） 233
VSC
（ビークルスタビリティコントロール） 232

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

五十音順さくいん

あ

アームレスト
（リヤアームレスト）.................. 294
ITS Connect............................. 223
アウターミラー（ドアミラー）... 146
操作 146
リバース連動機能 147
アクセサリーソケット................ 293
アクセサリーモード.................... 168
アシストグリップ........................ 298
足元照明 279
アダプティブハイビーム
システム 186
アダプティブバリアブル
サスペンション（AVS）........... 233
アダプティブフロントライティング
システム（AFS）...................... 184
アラーム
オートアラーム 69
音さくいん.............................. 450
警告ブザー................... 360, 364
アンチロックブレーキシステム
（ABS）...................................... 232
アンテナ（スマートエントリー&
スタートシステム）.................. 121

い

イージークローザー
ドア 112
トランク.................................. 116
EV ドライブモード..................... 173
イグニッションスイッチ
（パワースイッチ）..................... 167
位置交換
（タイヤローテーション）.......... 320
イベントデータレコーダー
（EDR）..8
イモビライザーシステム.................68
イルミネーテッドエントリー
システム 281
インジケーター
ハイブリッドシステム
インジケーター.........................82
表示灯 78
READY 167
インナーミラー 144

う

ウインカー（方向指示灯）............181
電球（バルブ）の交換 334
方向指示レバー.......................181
ワット数 434
ウインドウ 149
ウォッシャー 195
パワーウインドウ...................149
リヤウインドウデフォッガー
....264
ウインドウロックスイッチ..........149
ウォーニングランプ（警告灯）....360
ウォッシャー 195
液の補給 318
スイッチ 195
タンク容量 432
冬の前の準備・点検................253
動けなくなったときは
（スタック）.................................424
雨滴感知式ワイパー 196
運転 158
運転を補助する装置................232
寒冷時の運転 253
正しい運転姿勢...........................24
手順...158
ハイブリッド車運転の
アドバイス............................251

運転席シートポジション
　システム 135

え

エアコン
　フィルターの交換 326
　フロントエアコン 260
　リヤエアコン 271
エアバッグ 31
　SRS エアバッグ警告灯 360
　作動条件 35
　配置 31
ESPO 画面 97
エネルギーモニター 93
エレクトリック
　パワーステアリング（EPS）.... 232
　機能 232
　パワーステアリング警告灯 360
エンジン
　イモビライザーシステム........... 68
　エンジン警告灯 360
　エンジンスイッチ 167
　エンジンルームカバー........... 317
　オーバーヒート 420
　ハイブリッドシステムの
　　始動方法 167
　パワースイッチ
　　（イグニッションスイッチ／
　　エンジンスイッチ）.............. 167
　ボンネット 313
エンジンオイル............................ 429
　警告メッセージ 365
　冬の前の準備・点検 253
　メンテナンスデータ 429
エンジンスイッチ
　（パワースイッチ）...................... 167
エンジンフード（ボンネット）....313
　開け方 313
　警告メッセージ....................... 369
エンジンルーム 317
　エンジンルームカバー 317
　エンジンルームから
　　蒸気が出ている..................... 420

お

オイル（エンジンオイル）............429
応急用タイヤ 386
　空気圧 433
　交換方法 386
オーディオ※
オートチルトアウェイ＆
　リターン機構 142
オートアラーム 69
オートドアロック・
　アンロック機能 109
オートマチックトランスミッション
　S モード 178
　シフトレバーが
　　シフトできない..................... 411
　トランスミッション 176
オートレベリングシステム
　（ヘッドランプ）......................... 185
オーバーヒート 420
オープナー
　トランク 115
　ボンネット 313
お子さまを乗せるとき...................... 42
　ウインドウロックスイッチ 149
　お子さまの安全のために 42
　子供専用シート........................... 43
　シートベルトの着用...........27, 28
　チャイルドシートの取り付け ...51
　チャイルドプロテクター 109

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

オドメーター 80
機能 80
表示の切りかえ・
リセットスイッチ.................... 81

か

カーテシランプ
装着位置.................................. 279
カーテンシールドエアバッグ 31
カードキー 100
カーペット 311
洗浄 311
フロアマットの取り付け方....... 22
外気温度表示 80
回生ブレーキ 59
外装の電球（バルブ）.................. 334
交換要領.................................. 334
ワット数.................................. 434
ガス欠になったとき........................ 64
カスタマイズ機能........................ 435
型式.. 434
カップホルダー............................ 285
カメラ
アダプティブハイビーム
システム 192
ガラスの曇り取り
（リヤウインドウデフォッガー）
.... 264
ガレージジャッキ........................ 316
冠水路走行 165
寒冷時の運転 253

き

キー 100
カードキー 100
キーナンバープレート 100
キーの構成 100
キーレスエントリー..... 106, 121
キーをなくした............. 102, 104
正常に働かない........................ 412
施錠・解錠ができない 412
電子キー 100
電池が切れた 328, 412
ハイブリッドシステムが
始動できない........................ 413
メカニカルキー........................ 101
ワイヤレスリモコン 106
キーレスエントリー 106, 121
スマートエントリー&
スタートシステム 121
ワイヤレスドアロック 106
給油 200
給油口が開けられない 203
給油のしかた 200
メンテナンスデータ 428
給油後平均燃費 87
緊急時シートベルト固定機構......... 28
緊急始動機能
（ハイブリッドシステム）........... 410

緊急時の対処
- オーバーヒートした 420
- キーの電池が切れた 328, 412
- 警告灯がついた 360
- 警告メッセージが表示された 364
- けん引 353
- 故障したときは 348
- シフトレバーがシフトできない 411
- 車両を緊急停止する 352
- スタックした 424
- 電子キーが正常に働かない 412
- ハイブリッドシステムが始動できない 409
- 発炎筒 350
- パンクした 386, 396
- 補機バッテリーがあがった 415

緊急停止システム 63

緊急ブレーキシグナル 233

く

空気圧（タイヤ） 433
- メンテナンスデータ 433

区間距離計（トリップメーター）... 80
- 機能 80
- 切りかえ・リセットスイッチ ... 81

駆動用電池 62
- 警告メッセージ 370
- 充電について 60
- 搭載位置 62
- 冷却用吸入口 63

曇り取り
- ミラーヒーター 264
- リヤウインドウデフォッガー 264

クラクション（ホーン） 142

クリアランスソナー※
- 警告メッセージ 366, 371
- 操作※

クリアランスランプ（車幅灯）.... 183
- スイッチ 183
- 電球（バルブ）の交換 344

クリップ
- エンジンルームカバー 317
- フロアマット 22

クルーズコントロール 204
- クルーズコントロール 204
- 警告メッセージ 366, 372
- レーダークルーズコントロール 208

グローブボックス 283

グローブボックスランプ 283

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

け

警音器（ホーン）........................... 142
計器類（メーター）......................... 80
照度調整................................... 81
マルチインフォメーション
ディスプレイ 84
メーター................................... 80
警告灯 77
ICS OFF 361
ABS ＆ブレーキアシスト 360
SRS エアバッグ.................... 360
エンジン................................. 360
後席シートベルト非着用........ 362
シートベルト非着用 361
スリップ表示灯 361
燃料残量................................. 361
パワーステアリング 360
PCS 361
プリテンショナー 360
ブレーキ................................. 360
マスターウォーニング........... 362
警告ブザー
シートベルト非着用 361
シフトダウン制限 179
接近警報（レーダークルーズ
コントロール）..................... 213
パーキングブレーキ
未解除走行時 370
半ドア.......................... 107, 123
半ドア走行時 369
ブレーキ................................. 364
窓開 150
ムーンルーフ開 154
リバース................................. 179
警告メッセージ 364
化粧ミラー（バニティミラー）....291
けん引...353
けん引のしかた.......................353
フック 354

こ

交換
キーの電池 328
タイヤ 386
電球（バルブ）.........................334
ヒューズ 330
工具（ツール）...................387, 397
後席シートベルトリマインダー.....77
航続可能距離 87
後退灯（バックアップランプ）
電球（バルブ）の交換...........334
ワット数 434
高電圧部位 62
コーションラベル 62
コートフック 298
子供専用シート 43
選択方法 43
取り付け方 51
小物入れ..287
コンソールボックス 284
コンライト
（自動点灯・消灯装置）..............183

さ

サービスプラグ.................................62
サイドエアバッグ.............................31
サイド方向指示灯..........................181
　電球（バルブ）の交換............344
　方向指示レバー.......................181
サイドミラー（ドアミラー）.......146
　操作..146
　リバース連動機能 147
サスペンションコントロール
（PCS）..239
サンシェード
　ムーンルーフ..........................153
　リヤ..295
　リヤドア 296
サンバイザー 291

し

シート..................................128, 132
　子供専用シート...........................43
　正しい運転姿勢...........................24
　調整...................................128, 132
　手入れ.......................................310
　ドライビングポジション
　　システム 135
　パワーイージーアクセス
　　システム 134
　ヘッドレスト 139
　メモリーコール機能 136
シートヒーター 276
シートベルト......................................26
　お子さまの着用..................27, 28
　緊急時シートベルト固定機構 ...28
　シートベルト非着用警告灯 361
　高さ調整.......................................26
　正しく着用するには...................26
　着け方・はずし方.......................26
　手入れ.......................................311
　妊娠中の方の着用 29
シートベルトコンフォートガイド.27
シートベルト非着用警告灯..........361
シートベルトプリテンショナー.....27
　機能..27
　プリテンショナー警告灯 360
シートベンチレーション..............277
シートポジションメモリー..........134
事故が発生したとき
（ハイブリッドシステムの注意）..66
室内灯（ルームランプ）................279
始動のしかた..................................167
シフトポジション 176

シフトレバー 176
　シフトレンジの切りかえ........ 176
　シフトロックシステム
　　（解除ボタン）........................ 411
　操作 176
　リバース警告ブザー 179
シフトレバーが
　シフトできないときは 411
締め付けトルク（ホイール）....... 394
ジャッキ
　ガレージジャッキ 316
　車載ジャッキ................ 387, 397
ジャッキハンドル............. 387, 397
車幅灯 183
　電球（バルブ）の交換............ 344
　ランプスイッチ 183
車両型式 434
車両仕様（スペック）.................. 428
車両接近通報装置........................... 59
車両データの記録............................. 7
車両を緊急停止するには 352
ジュニアシート............................... 44
収納装備 282
瞬間燃費 87
仕様（車両仕様）.......................... 428
衝撃感知ドアロック
　解除システム............................ 111
侵入センサー（オートアラーム）... 72

す

水温計..81
スイッチ
　アダプティブハイビームシステム
　　...187
　EV ドライブモード................173
　イグニッション.......................167
　ウインドウロック...................149
　ウォッシャー 195
　オーディオ※
　クリアランスソナー※
　クルーズコントロール..204,208
　シート調整 129, 132
　シートヒーター.......................276
　シートベンチレーション 277
　シートポジションシステム 135
　車間距離切りかえ（レーダー
　　クルーズコントロール）.......210
　車両接近通報一時停止 59
　助手席側面 130
　侵入センサー OFF.....................72
　ステアリングヒーター 275
　スノーモード 177
　電話※
　ドアミラー 146
　ドアロック 108
　トーク※
　ドライビングポジション
　　システム 135
　トランクオープナー................115
　トランクオープナーメイン 116
　パワーウインドウ...................149
　パワースイッチ.......................167
　ハンドル位置調整...................141
　PCS OFF................................240

非常点滅灯
（ハザードランプ）................ 349
VSC OFF 235
フォグランプ.......................... 193
ブラインドスポットモニター
（BSM）................................ 246
ヘッドランプクリーナー........ 199
方向指示レバー...................... 181
ホーン（警音器）.................... 142
ムーンルーフ.......................... 152
ランプ.................................... 183
リヤウインドウデフォッガー
.... 264
リヤサンシェード.................. 295
レーダークルーズコントロール
.... 208
ワイパー................................ 195
スタック **424**
ステアリングヒーター **275**
ステアリングホイール
（ハンドル）............................... **141**
位置調整................................ 141
オートチルトアウェイ＆
オートリターン機構............ 142
ステアリングスイッチ........... 299
ステアリングヒーター........... 275
ドライビングポジション
システム 135
ステアリングロック **170**
解除できないとき 170
警告メッセージ...................... 383
ストップランプ（制動灯）
電球（バルブ）の交換........... 344
スノータイヤ（冬用タイヤ）....... **253**
スピードメーター.......................... **80**
スペアタイヤ（応急用タイヤ）....**386**
空気圧....................................433
交換方法 386
スペック（車両仕様）..................**428**
スマートエントリー＆
スタートシステム......................**121**
アンテナの位置.......................121
カスタマイズ設定...................435
警告ブザー 123
警告メッセージ.......................367
作動範囲 121
正常に働かないとき...............412
節電機能 122
電波がおよぼす影響について 127
ドアの解錠・施錠...................106
トランクの解錠.......................115
ハイブリッドシステムの
始動 167
スモールランプ（車幅灯）...........**183**
電球（バルブ）の交換...........344
ランプスイッチ.......................183

せ

清掃 **306, 310**
アルミホイール.......................307
外装...306
シートベルト 311
内装...310
レーダーセンサー 222
制動灯
電球（バルブ）の交換...........344
積算距離計（オドメーター）...........**80**
機能...80
表示の切りかえ・
リセットスイッチ...................81
セキュリティインジケーター.**68, 69**

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

接近警報（レーダークルーズコントロール）......213
センサー
　アダプティブハイビームシステム......192
　インナーミラー......145
　雨滴感知センサー......197
　侵入センサー......72
　ライトセンサー......184
　レーダーセンサー......218, 240
洗車......306
前照灯（ヘッドランプ）......183
　電球（バルブ）の交換......344
　ライトセンサー......184
　ランプ消し忘れ防止機能......185
　ランプスイッチ......183

そ

走行モード（ドライブモード）......177
速度計（スピードメーター）......80

た

ターンシグナルランプ（方向指示灯）......181
　電球（バルブ）の交換......334
　方向指示レバー......181
　ワット数......434
タイヤ......320
　応急用タイヤ......386
　空気圧......433
　交換......386
　締め付けトルク......394
　低偏平タイヤ......321
　点検......320
　パンク応急修理キット......396
　パンクしたときは......386, 396
　ホイールサイズ......433
　ローテーション（位置交換）..320
タイヤが空まわりする（スタックした）......424
タイヤチェーン......253

ち

チェーン（タイヤチェーン）......253
チャイルドシート......43
　ISOFIX バーでの取り付け......53
　シートベルトでの固定......52
　選択方法......43
チャイルドプロテクター......109
駐車ブレーキ（パーキングブレーキ）......182
　警告メッセージ......370
　操作......182
　未解除走行時警告ブザー......370
　メンテナンスデータ......432

つ

ツール（工具）......387, 397

て

ディファレンシャル....................431
低偏平タイヤ................................321
手入れ................................306, 310
　アルミホイール.......................307
　外装...306
　シートベルト...........................311
　内装...310
　レーダーセンサー....................222
テールランプ（尾灯）..................183
　電球（バルブ）の交換...............344
　ランプスイッチ.......................183
デフォッガー（リヤウインドウ
　デフォッガー）..........................264
電気モーター................................62
電球（バルブ）
　交換要領（外装バルブ）..........334
　ワット数..................................434
点検基準値
（メンテナンスデータ）..............428
電子キー......................................100
　作動範囲..................................121
　正常に働かないとき................412
　節電機能..................................122
　電池が切れた............................412
　電池交換..................................328
電池交換（キー）..........................328
電話スイッチ※

と

ドア..106
　オートドアロック・
　　アンロック機能.....................109
　警告メッセージ........................369
　衝撃感知ドアロック解除
　　システム...............................111
　スマートエントリー＆
　　スタートシステム..................121
　チャイルドプロテクター.........109
　ドアガラス...............................149
　ドアロックスイッチ.................108
　半ドア走行時警告ブザー.........369
　ロックレバー...........................108
　ワイヤレスリモコン.................106
ドアカーテシランプ....................279
　位置..279
ドアミラー...................................146
　操作..146
　ブラインドスポットモニター
　　（BSM）.................................246
　リバース連動機能....................147
ドアミラー照明.............................279
　電球（バルブ）の交換..............334
　ワット数...................................434
盗難防止装置
　イモビライザーシステム...........68
　オートアラーム..........................69
トークスイッチ※
時計..292
トップテザーアンカー....................51
トヨタマルチオペレーションタッチ
　...300
ドライブインフォメーション
（マルチインフォメーション
ディスプレイ）...............................87

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

ドライビングポジション
システム 135
ドライブスタート
コントロールシステム 159
トラクションコントロール
(TRC).. 232
トランク 115
イージークローザー 116
オープナー 115
キー閉じ込み防止機能............ 117
警告メッセージ 369
電子キーが正常に
働かないとき 412
トランクオープナーを使用
できなくするには................ 116
トランク内の装備 289
メインスイッチ 116
トランクランプ............................ 116
ワット数.................................. 434
トランスミッション..................... 176
S モード.................................. 178
シフトダウン制限警告ブザー 179
操作 176
メンテナンスデータ 431
トリップメーター............................ 80
機能 80
切りかえ・リセットスイッチ... 81

な

内装
収納装備 282
手入れ 310
「ナノイー」....................................262
ナビゲーションシステム※

に

ニーエアバッグ 31
荷物
積むときの注意........................166
トランク 115

ぬ

ぬかるみにはまった(スタック)
....424

ね

燃費
　給油後平均燃費 87
　瞬間燃費 87
　平均燃費 87
燃費画面 95
燃料 428
　給油 200
　種類 428
　燃料残量警告灯 361
　容量 428
燃料計 80

は

パーキングブレーキ 182
　警告メッセージ 370
　操作 182
　未解除走行時警告ブザー 370
　メンテナンスデータ 432
パーソナルランプ 280
排気ガス 57
ハイビーム（ヘッドランプ）....... 183
　アダプティブハイビームシステム
　　.. 186
　電球（バルブ）の交換 344
　ランプスイッチ 183
ハイブリッドシステム 58
　EV ドライブモード 173
　運転のアドバイス 251
　オーバーヒート 420
　回生ブレーキ 59
　ガス欠になったとき 64
　緊急始動機能 410
　緊急時の停止方法 352
　緊急停止システム 63
　駆動用電池冷却用吸入口 63
　警告メッセージ 365
　高電圧部位 62
　サービスプラグ 62
　事故が発生したとき 66
　始動できないときは 409
　始動方法 167
　車両接近通報装置 59
　充電 60
　注意 62
　特徴 58
　特有の音と振動 61
　パワー（イグニッション）
　　スイッチ 167
　補機バッテリーがあがった 415
　メンテナンス・
　　修理・廃車するとき 61
ハイブリッドシステム
　インジケーター 82
ハイマウントストップランプ
　電球（バルブ）の交換 344
ハザードランプ（非常点滅灯）.... 349
　スイッチ 349
　電球（バルブ）の交換 334
　ワット数 434
挟み込み防止機能
　パワーウインドウ 149
　ムーンルーフ 153

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

発炎筒 350
バックアップランプ（後退灯）
電球（バルブ）の交換........... 334
ワット数 434
バックガイドモニター※
バッテリー（駆動用電池）............. 62
充電について 60
搭載位置.................................... 62
冷却用吸入口 63
バッテリー（補機バッテリー）... 313
搭載位置................................. 313
補機バッテリーがあがった.... 415
補機バッテリーを
交換するとき 314
バニティ（化粧用）ミラー 291
バニティミラーランプ 291
装備について 291
ワット数 434
パノラミックビューモニター※
バルブ（電球）
交換要領（外装のバルブ）...... 334
ワット数................................. 434
パワーイージーアクセス
システム 134
パワーウインドウ........................ 149
ウインドウロックスイッチ.... 149
閉めることができないときは 150
操作 149
ドアロック連動ドアガラス
開閉機能............................... 150
挟み込み防止機能 149
パワーコントロールユニット 62
パワー（イグニッション）
スイッチ 167
パワーステアリング 232
警告メッセージ........................367
パワーステアリング警告灯 360
パンクした
応急用タイヤ装着車................386
タイヤパンク応急修理キット
装着車 396
番号灯
（ライセンスプレートランプ）...183
電球（バルブ）の交換 344
ランプスイッチ.......................183
ハンズフリー※
ハンドル
（ステアリングホイール）..........141
位置調整 141
オートチルトアウェイ＆
オートリターン機構 142
ステアリングスイッチ 299
ステアリングヒーター 275
ドライビングポジション
システム 135

ひ

ビークルスタビリティ
コントロール（VSC）............... 232
ビークルダイナミクス
インテグレイテッド
マネジメント（VDIM）............. 233
ヒーター
エアコン・デフォッガー........ 260
シートヒーター 276
ステアリングヒーター........... 275
非常点滅灯（ハザードランプ）... 349
スイッチ.................................. 349
電球（バルブ）の交換........... 334
ワット数.................................. 434
尾灯（テールランプ）................... 183
電球（バルブ）の交換........... 344
ランプスイッチ 183
ヒューズ.. 330
表示灯.. 78
日よけ（サンバイザー）.............. 291
ヒルスタートアシスト
コントロール............................ 232

ふ

ブースターケーブルのつなぎ方..415
フォグランプ................................193
スイッチ 193
電球（バルブ）の交換............344
ブザー
シートベルト非着用警告........361
シフトダウン制限警告............179
接近警報（レーダークルーズ
コントロール）......................213
パーキングブレーキ未解除
走行時警告............................370
半ドア走行時警告....................369
ブレーキ警告 360
窓開警告 150
ムーンルーフ開警告................154
リバース警告 179
フック
けん引フック 354
コートフック 298
フロアマット固定フック...........22
フューエルメーター（燃料計）.......80
フューエルリッド（給油口）........200
給油口が開かない....................203
給油のしかた 200
冬の前の準備（寒冷時の運転）....253
冬用タイヤ....................................253
ブラインドスポットモニター
（BSM）......................................246
プリクラッシュセーフティ
システム（PCS）.......................239
機能..239
PCS OFF スイッチ 240
PCS 警告灯 361

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

ブレーキ
回生ブレーキ....59
緊急ブレーキシグナル....233
警告ブザー....364
警告メッセージ....364
パーキングブレーキ....182
ブレーキ警告灯....360
メンテナンスデータ....432
ブレーキアシスト....232
ABS &ブレーキアシスト警告灯....360
機能....232
ブレーキ付近からキーキー音が聞こえる....162
ブレーキフルード....432
フロアマット....22
フロントシート....128
シートヒーター....276
シートベンチレーション....277
シートポジションシステム....135
正しい運転姿勢....24
調整....128
手入れ....310
ドライビングポジションシステム....135
ヘッドレスト....139
フロントパーソナルランプ....280
スイッチ....280
フロントフォグランプ....193
スイッチ....193
電球（バルブ）の交換....344
フロント方向指示灯....181
電球（バルブ）の交換....334
方向指示レバー....181
ワット数....434
フロントワイパーデアイサー....265

へ

平均燃費....87
ヘッドランプ....183
クリーナー....199
電球（バルブ）の交換....344
ライトセンサー....184
ランプ消し忘れ防止機能....185
ランプスイッチ....183
ヘッドランプオートレベリングシステム....185
ヘッドレスト....139
ベビーシート....44
ヘルプネットスイッチパネル※
ベンチレーション（シートベンチレーション）....277

ほ

ホイール
交換（タイヤ）....386
メンテナンスデータ....433
方向指示灯....181
電球（バルブ）の交換....334
方向指示レバー....181
ワット数....434
ホーン（警音器）....142
補機バッテリー....313
交換するとき....314
搭載位置....313
補機バッテリーがあがった....415
保証....9
ボトルホルダー....285
ボンネット....313
開け方....313
警告メッセージ....369

ま

マイコンプリセットドライビング
ポジションシステム.................135
マスターウォーニング................362
マルチインフォメーション
ディスプレイ................................84
エネルギーモニター 93
警告メッセージ......................364
ドライブインフォメーション...87

み

ミラー
インナーミラー......................144
ドアミラー..............................146
バニティミラー......................291

む

ムーンルーフ 152
警告ブザー..............................154
警告メッセージ......................370
操作 152
ドアロック連動ムーンルーフ
開閉機構...............................153
挟み込み防止機能..................153

め

メーター（計器類）........................80
警告灯....................................360
照度調整...................................81
表示灯.......................................78
マルチインフォメーション
ディスプレイ...........................84
メーター 80
メカニカルキー............................101
メモリーコール機能....................136
メンテナンスデータ....................428

も

モーター（電気モーター）..............58
モーターでの走行
（EV ドライブモード）...............173

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能..........435
雪道ですべって動けない
（スタックした）.........................424
油脂類..428

※：別冊「ナビゲーションシステム取扱書」を参照してください。

ら

ライセンスプレートランプ
（番号灯）.................................... 183
電球（バルブ）の交換........... 344
ランプスイッチ 183
ラゲージマット............................ 289
ラゲージルーム
トランク................................. 115
ラゲージボックス 289
ラジエーター
オーバーヒート...................... 420
メンテナンスデータ 431
ランプ
室内灯..................................... 279
電球（バルブ）の交換........... 334
読書灯..................................... 280
パーソナルランプ 280
非常点滅灯
（ハザードランプ)................ 349
フロントパーソナルランプ.... 280
フロントフォグランプ........... 193
ヘッドランプ（前照灯)........... 183
方向指示灯（ターンシグナル
ランプ／ウインカー)........... 181
ライトセンサー...................... 184
ランプ消し忘れ防止機能........ 185
リヤフォグランプ 194
ワット数 434
ランプ消し忘れ防止機能 185

り

リバース連動機能
ドアミラー 147
リヤサンシェード...................297
リヤアームレスト 294
リヤウインドウデフォッガー
スイッチ......................................264
リヤエアコン 271
リヤサンシェード 295
リヤシートヒーター 276
リヤドアサンシェード.................296
リヤフォグランプ 194
スイッチ 194
電球（バルブ）の交換 334
ワット数 434
リヤ方向指示灯 181
電球（バルブ）の交換............334
方向指示レバー.......................181
ワット数 434

る

ルームミラー（インナーミラー）144
ルームランプ（室内灯)................279

れ

冷却水 431
水温計 81
冬の前の準備 253
メンテナンスデータ 431
冷却装置（ラジエーター） 431
オーバーヒート 420
メンテナンスデータ 431
レーダークルーズコントロール 208
警告メッセージ 366, 372
接近警報 213
レーダーセンサー 218
レバー
シフト 176
方向指示 181
ボンネット解除 313
ロック（ドア） 108

ろ

ロック
ウインドウロック 149
シフトロック 411
スマートエントリー＆スタートシステム 121
チャイルドプロテクター 109
ドア 106
ワイヤレスリモコン 106

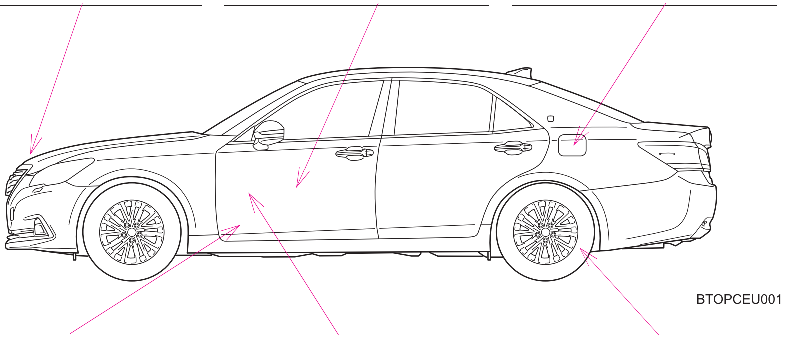
わ

ワイパー ＆ ウォッシャー 195
ワイパーデアイサー 265
ワイパー停止位置の切りかえ 254
ワイパーブレード（寒冷地用） 255
ワイヤレスリモコン 100
作動の合図 107
操作 106
電池の交換 328
半ドア警告ブザー 107
ワックス 306
ワット数 434

ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。

ボンネットフック	トランクオープナー	給油口
P. 313	P. 115	P. 202



ボンネット解除レバー	給油口オープナー	タイヤ空気圧
P. 313	P. 202	P. 433

<table>
<tr><td>燃料の容量（参考値）</td><td>65L</td></tr>
<tr><td>燃料の種類</td><td>無鉛レギュラーガソリン P. 428</td></tr>
<tr><td>タイヤが冷えているときの空気圧</td><td>標準タイヤ：
<table>
<tr><th>タイヤサイズ</th><th>前輪
kPa(kg/cm²)</th><th>後輪
kPa(kg/cm²)</th></tr>
<tr><td>215/60R16
95H</td><td colspan="2">250（2.5）</td></tr>
<tr><td>215/55R17
94V</td><td colspan="2">230（2.3）</td></tr>
<tr><td>225/45R18
91W</td><td colspan="2">230（2.3）</td></tr>
</table>
応急用タイヤ★：420kPa（4.2kg/cm²）</td></tr>
<tr><td>エンジンオイル容量（参考値）</td><td>オイルのみ交換時： 4.1L
オイルとフィルター交換時： 4.5L</td></tr>
<tr><td>エンジンオイルの種類</td><td>トヨタキャッスルモーターオイル
・ SN 0W-20（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20）
・ SN 5W-20（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20）
・ SN 5W-30（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30）
・ SN 10W-30（API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30）</td></tr>
</table>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター

全国共通・フリーコール

フリーコール 0800-700-7700

オープン時間　365日　9：00～18：00

所在地　〒450－8711　名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
http://www.toyota.co.jpにて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社

http://toyota.jp

ク-89

TOYOTA

M　30F51
01999ー30F51
CB−2015年９月24日
2015年10月１日　初版
クラウン(ハイブリッド車)